

# 和歌山県近代の文化遺産調査報告書Ⅱ

― 分野に基づく調査 ―

2024年3月

和歌山県教育委員会

# 和歌山県近代の文化遺産調査報告書Ⅱ

— 分野に基づく調査 —

2024年3月

和歌山県教育委員会





## 序

近代の我が国では、先進国入りを果たすために経済、社会、政治、文化などあらゆる分野で西欧化が図られてきました。和歌山県でも新たな産業の勃興や鉄道、道路などの交通機関の発達、国土の防衛、教育や文化の発展などのために多くの土木構造物や建築物、工作物が造られてきました。これらは、駅舎や橋梁、道路など我々が普段何気なく利用しているものも多く、歴史の一コマを物語る貴重な遺産でもあります。

しかし、近年の開発の進展や生活様式の変化等により、その重要性が認識されず、消滅や散逸等の危機にさらされているものもあります。また、文化財としては比較的新しく、文化財としての認識や評価が定着していないことから、保護措置が十分には講じられていない状況にあります。

和歌山県教育委員会では、建設後 50 年を経過し登録文化財の対象となり得る建造物や記念物等を対象とし、令和 2 年度から市町村文化財担当部局の協力を得て、近代の文化遺産調査を行ってきました。令和 2 年度からの調査では、平成 16～18 年度に行った近代化遺産調査（建造物等）及び平成 18～21 年度に行った近代和風建築調査の補足調査、記念物分野の文化財についての調査を実施し、近代の文化遺産の最新状況を把握しました。

令和 4 年度の報告書は、県内における近代の文化遺産の所在及び歴史的価値の最新の状況を明らかにし、今後の保護措置を講じる上での参考とすること等を目的に、市町村別の所在把握調査データと代表的な文化遺産を掲載しました。

引き続いて刊行する今年度の報告書では、県内に所在する近代の文化遺産を把握し活用するため、分野ごとに代表的な文化遺産を掲載することといたしました。

最後になりましたが、本調査報告に際し、多大な御指導・御協力を賜りました関係機関・関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

令和 6 年 3 月

和歌山県教育委員会  
教育長 宮 崎 泉

## 例 言

1. 本書は、令和5年2月末時点で把握している近代の文化遺産についての情報を、分野ごとに取りまとめたものである。
2. 分野ごとに掲載している文化遺産は、各小分類から和歌山県又は各地域の特徴を示す代表的な文化遺産を1つ以上（確認されていない小分類は除く）選び、写真掲載が可能なものを中心にピックアップした。分類は118ページの分類表を参照。
3. 本書の作成は、和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課（以下、県文化遺産課）が行った。
4. 本書の執筆は、県文化遺産課の職員で分担して行った。
5. 掲載写真は、県教育委員会の職員が撮影したものと、各市町村文化財部局等から提供を受けたものがある。写真のキャプションには撮影機関等、撮影年月を記載している。
6. 分野ごとの代表的な近代の文化遺産位置図は、地理院タイルに文化遺産の位置と名称を追記して掲載した。掲載ページは4・8・13・17・32・51・59・72・96・107ページである。
7. 本書で紹介している文化遺産は、所有者が個人及び団体等であるものが多く、現地確認や見学などの際は、プライバシーを十分尊重するとともに、所有者の許可が必要である。

## 凡 例

1. 国の指定・選定・登録文化財は以下のように記載している。
  - ・重要文化財(建造物)→国重文
  - ・登録有形文化財(建造物)→国登録
  - ・史跡→国史跡
  - ・名勝→国名勝
  - ・重要文化的景観→国景観
  - ・重要伝統的建造物群保存地区→国重伝建

## 目 次

|                   |    |
|-------------------|----|
| 県内の代表的な近代の文化遺産    | 1  |
| 01 鉱山             | 3  |
| (1) 妙法鉱山          | 5  |
| (2) 鉱石搬出港跡(鉛山鉱山)  | 5  |
| (3) 久木製錬焼成窯跡      | 6  |
| (4) 尻剣谷製錬所跡       | 6  |
| 02 エネルギー産業        | 7  |
| (1) 志古炭坑跡         | 9  |
| (2) 三田水力発電施設      | 9  |
| (3) 高津尾発電所        | 10 |
| (4) 殿山発電所(合川ダム)   | 11 |
| (5) 二川ダム          | 11 |
| (6) 七色ダム          | 11 |
| 03 重工業            | 12 |
| (1) 旧住友金属工業和歌山製鉄所 | 14 |
| (2) 海南港埋立地        | 14 |
| (3) 古座造船所         | 15 |
| (4) 旧東亜燃料工場       | 15 |
| 04 軽工業            | 16 |
| (1) 旧和歌山紡織紀ノ川工場   | 18 |
| (2) 旧日出紡績松原工場     | 18 |
| (3) 新宮製糸工場跡       | 19 |
| (4) 旧市川捺染工場       | 20 |
| (5) 初桜酒造          | 20 |
| (6) 高垣酒造          | 21 |
| (7) 伊勢屋           | 21 |
| (8) 尾崎酒造          | 22 |
| (9) 旧由良精工         | 22 |
| (10) 石灰焼成釜跡       | 23 |
| (11) 山本勝之助商店・住宅   | 23 |
| (12) 尾崎林太郎家住宅     | 24 |
| (13) 畑田家住宅        | 25 |

|                      |    |
|----------------------|----|
| (14) 田島漆店(旧工場) ..... | 25 |
| (15) たばこ乾燥小屋 .....   | 26 |
| (16) 凍豆腐製造小屋跡 .....  | 26 |
| (17) 除虫菊製品製造産業 ..... | 26 |
| (18) 醤油醸造産業 .....    | 27 |
| (19) 貝卸用貝殻散布地 .....  | 29 |
| (20) 中嶋山の採石場跡 .....  | 29 |
| (21) 闘雞神社の馬場堰堤 ..... | 29 |

## 05 交通・運輸・通信業 .....

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| (1) 旧加太軽便鉄道 加太駅 .....          | 33 |
| (2) 旧加太軽便鉄道 紀ノ川橋梁(河西橋) .....   | 33 |
| (3) 旧国鉄 紀伊中ノ島駅 .....           | 34 |
| (4) 南海電気鉄道 紀ノ川橋梁 .....         | 34 |
| (5) 南海電気鉄道和歌山軌道線 車両 .....      | 35 |
| (6) C57-119 蒸気機関車 .....        | 35 |
| (7) 旧野上軽便鉄道(旧野上電気鉄道) .....     | 35 |
| (8) 旧紀和鉄道 紀ノ川橋梁(岩出鉄橋) .....    | 36 |
| (9) 旧紀和鉄道 高野口駅 .....           | 36 |
| (10) 旧高野山電気鉄道(南海電気鉄道鋼索線) ..... | 37 |
| (11) 旧国鉄 紀伊湯浅駅 .....           | 37 |
| (12) 旧有田鉄道 .....               | 38 |
| (13) 旧御坊臨港鉄道(紀州鉄道) .....       | 38 |
| (14) 旧国鉄 新宮駅 .....             | 39 |
| (15) 新宮観光ケーブルカー路線跡 .....       | 39 |
| (16) 旧国鉄 丹鶴隧道 .....            | 40 |
| (17) 旧国鉄 熊野川鉄橋 .....           | 40 |
| (18) 旧国鉄 那智駅 .....             | 40 |
| (19) 故黒田恵一郎君 頌徳記念碑 .....       | 41 |
| (20) 県内の道路元標 .....             | 41 |
| (21) 北島橋 .....                 | 41 |
| (22) 中橋 .....                  | 42 |
| (23) 熊野大橋 .....                | 42 |
| (24) 奥瀬橋 .....                 | 42 |
| (25) 鵬雲洞・毛見隧道 .....            | 43 |
| (26) 新和歌浦第一隧道 .....            | 43 |
| (27) 鰈川隧道 .....                | 44 |
| (28) 旧池田隧道 .....               | 44 |
| (29) 岡阪隧道 .....                | 44 |

|                          |    |
|--------------------------|----|
| (30) 里川隧道                | 45 |
| (31) 棒杭                  | 45 |
| (32) 友ヶ島灯台・旧官舎           | 45 |
| (33) 市江崎灯台               | 46 |
| (34) 檜野崎灯台・旧官舎           | 46 |
| (35) 潮岬灯台・旧官舎            | 47 |
| (36) 黒江町石積防波堤            | 48 |
| (37) 紀ノ川改修堤防             | 48 |
| (38) 南紀白浜空港旧滑走路          | 48 |
| (39) 旧田殿郵便局              | 49 |
| (40) 橋本家旧米穀集荷事務所(旧湯川郵便局) | 49 |
| (41) 旧日本電信電話公社新宮別館       | 49 |

## 06 商業・金融業…………… 50

|                    |    |
|--------------------|----|
| (1) みそや別館          | 52 |
| (2) 珠数屋四郎兵衛店舗      | 52 |
| (3) 虎屋薬局           | 53 |
| (4) 旧浦清兵衛商店        | 53 |
| (5) 旧西本組本社ビル(西本ビル) | 54 |
| (6) 浦家住宅           | 54 |
| (7) 紀陽銀行本店         | 55 |
| (8) 旧伊都銀行本店        | 56 |
| (9) 旧湯浅信用金庫        | 56 |
| (10) 旧大同銀行         | 56 |

## 07 農林水産業…………… 57

|                  |    |
|------------------|----|
| (1) 井沢弥惣兵衛翁之碑    | 60 |
| (2) 貝尻用水         | 60 |
| (3) 小田井用水        | 61 |
| (4) 岩出頭首工        | 61 |
| (5) 旧大谷村農業倉庫     | 62 |
| (6) 有田地域の果樹栽培    | 62 |
| (7) 円筒分水         | 62 |
| (8) 笠松左太夫頌徳碑     | 63 |
| (9) 大沼排水隧道(新川隧道) | 63 |
| (10) 西岩吉翁頌功碑     | 63 |
| (11) 高野山森林鉄道     | 64 |
| (12) 旧高野営林署事務棟   | 64 |
| (13) 旧中川家住宅      | 64 |

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| (14) インクライン(筏流し関係)・         | 65 |
| (15) 新宮第一貯木場跡・              | 65 |
| (16) 旧本州製紙熊野事業所(王子製紙熊野工場跡)・ | 65 |
| (17) 鉄砲堰跡・                  | 66 |
| (18) 北海道大学和歌山研究林本館・         | 66 |
| (19) 旧戸田家住宅・                | 67 |
| (20) 勝浦沖難船溺死者の碑・            | 67 |
| (21) 水産共同組合事務所・             | 68 |
| (22) 近代捕鯨基地跡・               | 68 |
| (23) 燈明崎山見支度部屋跡・            | 68 |
| (24) 久木風穴・                  | 69 |
| (25) 田辺管内新庄村新築塩区之碑・         | 69 |

## 08 社会・

|                      |    |
|----------------------|----|
| (1) 真砂浄水場・           | 73 |
| (2) 和歌公園・            | 73 |
| (3) 和歌山城公園・          | 74 |
| (4) 琴ノ浦温山荘園・         | 75 |
| (5) 高野山の庭園・          | 76 |
| (6) 旧郭百甫医院(郭家住宅)・    | 76 |
| (7) 火伏医院・            | 77 |
| (8) 旧葛城館・            | 78 |
| (9) 上御殿本館・           | 78 |
| (10) 亀屋旅館本館・         | 79 |
| (11) 大前屋旅館・          | 79 |
| (12) 貴志川大被害復興記念碑・    | 80 |
| (13) 餓死人塚の碑・         | 80 |
| (14) 大地震津波心得の記碑・     | 81 |
| (15) 広村堤防・           | 81 |
| (16) 濱口家住宅・          | 82 |
| (17) クヌッセン機関長救命艇・    | 82 |
| (18) 明治22年水害記念碑・     | 83 |
| (19) 為後鑒・            | 83 |
| (20) 津波の碑・           | 83 |
| (21) 平運丸遭難碑・         | 84 |
| (22) ノルマントン号遭難碑・     | 84 |
| (23) 漂流人記念碑・         | 84 |
| (24) エルトゥールル号遭難事件遺跡・ | 85 |
| (25) 和合庵・            | 86 |

|           |                     |            |
|-----------|---------------------|------------|
| (26)      | 松下幸之助君生誕の地          | 86         |
| (27)      | 紀伊風土記の丘 松下記念資料館     | 86         |
| (28)      | 陸奥宗光先生乃像            | 87         |
| (29)      | 森田節斎翁墓地             | 87         |
| (30)      | 旧四所庄官家岡家            | 88         |
| (31)      | 菊池海莊屋敷跡             | 88         |
| (32)      | 耐久社                 | 88         |
| (33)      | 旧南方熊楠家住宅            | 89         |
| (34)      | 南方熊楠の墓              | 89         |
| (35)      | 南方熊楠記念館本館           | 89         |
| (36)      | 旧西村家住宅(西村伊作記念館)     | 90         |
| (37)      | 旧チャップマン邸            | 91         |
| (38)      | 旧佐藤春夫邸(佐藤春夫記念館)     | 92         |
| (39)      | 千田軍之助宅              | 92         |
| (40)      | 十禅律院                | 92         |
| (41)      | 旧野田家住宅              | 93         |
| (42)      | 遊心庵(旧田中家住宅)         | 93         |
| (43)      | 天誅倉                 | 94         |
| <b>09</b> | <b>政治</b>           | <b>95</b>  |
| (1)       | 和歌山県庁本館             | 97         |
| (2)       | 旧加太警察署              | 98         |
| (3)       | 旧和歌山県会議事堂           | 98         |
| (4)       | 橋本警察署高野幹部交番         | 99         |
| (5)       | 雑賀崎台場               | 100        |
| (6)       | 由良要塞跡               | 100        |
| (7)       | 旧海軍日ノ御埼防備衛所・特設見張所跡  | 102        |
| (8)       | 紀伊防備隊基地跡            | 102        |
| (9)       | 白崎の回天基地跡            | 103        |
| (10)      | 震洋の基地跡              | 103        |
| (11)      | B29 墜落地・慰霊碑         | 103        |
| (12)      | イサデ飛行場燃料庫           | 104        |
| (13)      | 旧海軍無線送信所            | 104        |
| (14)      | 双青閣(紀伊藩主徳川頼倫別邸)     | 105        |
| (15)      | 有間皇子結松記念碑           | 105        |
| <b>10</b> | <b>文化</b>           | <b>106</b> |
| (1)       | 旧制和歌山中学校図書館・運動場スタンド | 108        |
| (2)       | 旧高野口尋常高等小学校         | 109        |



|                              |     |
|------------------------------|-----|
| (3) 旧湯浅尋常高等小学校講堂             | 110 |
| (4) 城桂谷の碑                    | 110 |
| (5) 農学博士高橋克己頌徳碑              | 111 |
| (6) 和歌山城公園動物園                | 111 |
| (7) 高野山大学図書館                 | 112 |
| (8) 高野山霊宝館                   | 112 |
| (9) 三輪崎青年会館                  | 113 |
| (10) NHK 新宮放送局               | 113 |
| (11) 和歌山放送新宮放送局              | 114 |
| (12) 岡公園室内体育館(旧武徳殿)          | 114 |
| (13) 日本聖公会橋本基督教会旧礼拝堂         | 115 |
| (14) 日本基督教団紀南教会              | 115 |
| (15) 金剛峯寺における昭和9年御遠忌記念事業の建築群 | 116 |
| (16) 徳本上人生誕地の碑               | 117 |
| (17) 叶王子神社旧跡の碑               | 117 |

#### 和歌山県 近代の文化遺産一覧表(分野別)

|              |     |
|--------------|-----|
| 01 鉱山        | 119 |
| 02 エネルギー産業   | 119 |
| 03 重工業       | 120 |
| 04 軽工業       | 121 |
| 05 交通・運輸・通信業 | 123 |
| 06 商業・金融業    | 140 |
| 07 農林水産業     | 141 |
| 08 社会        | 147 |
| 09 政治        | 159 |
| 10 文化        | 172 |
| 11 その他       | 196 |

#### 歴史的事象一覧表(テーマに基づく文化遺産群の調査)

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 1 和歌山県における明治維新     | 197 |
| 2 和歌山県における近代の軍事遺産  | 197 |
| 3 和歌山県における近代交通の発展  | 199 |
| 4 和歌山県を支えた近代における産業 | 202 |
| 5 和歌山県における近代の災害と防災 | 207 |
| 6 和歌山県で起こった近代の重大事件 | 210 |
| 7 近代における和歌山県民の生活   | 211 |
| 8 和歌山県の近代の偉人       | 211 |
| 9 その他              | 214 |

## 県内の代表的な近代の文化遺産

### 1 調査の経緯

近代の文化遺産の全国的な取り組みは、平成6年9月の文化庁による「近代の文化遺産の保存・活用に関する調査研究協力者会議」が設置に始まり、記念物分科会において調査研究結果（「近代の文化遺産の保存と活用について（報告）」）が取りまとめられている。この調査結果において、史跡指定の対象とする遺跡の時期として当面は第二次世界大戦終結頃までとすること、対象とすべき文化遺産の分野として政治・経済・文化・社会等あらゆる分野における重要な歴史的遺跡とすることが適当とされた。同時に、近代の文化遺産の保護を推進するにあたって、遺存状況の全国調査を実施する必要があると提言されたことを受けて、平成8年（1996）度から文化庁による近代の文化遺産の調査が開始され、平成8～10年（1996～1998）には和歌山県でも調査を行い、文化庁へ成果を提出している。この時に始まった調査については、文化庁において今なお詳細調査として実施され、報告書が刊行されている。なお、国による史跡指定と並行して、地方公共団体による積極的な保護措置の推進を図る必要があるとの提言もなされている。

また、平成8年（1996）度の文化財保護法改正による登録文化財制度の創設により、概ね建設後50年を経過した文化財についても保護措置の対象となった。

和歌山県における近代の文化遺産調査の取り組みとしては、建造物分野については、土木遺産・建築遺産を対象に県教育委員会が平成16～18年（2004～2006）度の実施した近代化遺産調査（建造物等）及び平成18～21年（2006～2010）度の実施した近代和風建築調査があげられる。また、記念物分野では、平成10年（1998）に文化庁に提出した近代の文化遺産の所在調査がある。これらの調査は文化遺産の件数や分野に偏りがあり、また、所在調査の段階から評価を求められるなど、調査当初から取捨選択がなされ、必ずしも悉皆的に実施されたとは言えないものであった。さらには、各調査から相当の期間が経過したこともあり、当時把握できていた文化遺産で現在は既に失われているものや、当時の調査で調査対象外とされたもの、当時ではその価値に疑問があった文化遺産、あるいは把握できていなかった文化遺産があることが考えられた。

### 2 調査の目的

近代の文化遺産に関して和歌山県は、建造物分野では調査を行ってきたものの、記念物分野ではこれまで積極的に調査を行ってきたとは言いがたい。また、建造物分野においても前回の調査から10年以上が経過しているため、県内における近代の文化遺産の所在及び歴史的価値の最新の状況を明らかにし、今後の保護措置を講じる上での参考とすることを目的として、近代の文化遺産の所在把握調査を実施した。

### 3 調査の対象

調査の対象は、近代直前の江戸時代末期から昭和45年（1970）頃までの文化遺産のうち、不動産（建造物・土木構造物・石碑・遺跡等（車両・船舶等も含む））全般とした。調査は文化庁の分類を参考に、鉱業、エネルギー産業（鉱業除く）、重工業、軽工業、交通・運輸・通信業、商業・金融業、農林水産業、社会、政治、文化及びその他の11分野を対象とした。

また、建設・設置時期が対象時期に該当しない文化遺産のうち、江戸時代末期から昭和 45 年（1970）頃の時期に特に関係の深いものについては対象とした。

#### 4 調査の体制

本調査は、県文化遺産課が主体となり、市町村文化財担当部局に域内に所在する近代の文化遺産所在把握調査と一覧表の作成を依頼して実施した。

なお、調査を実施するにあたり、専門的見地から指導を得るため、調査指導会を開催した。指導員は、日本近代史・整備活用・建築史・土木史の有識者に依頼した。

調査指導会（肩書は令和 6 年 3 月時点）

|       |                       |         |
|-------|-----------------------|---------|
| 小風 秀雅 | （お茶の水女子大学名誉教授）        | 【日本近代史】 |
| 小野 健吉 | （大阪観光大学観光学部教授）        | 【整備活用】  |
| 清水 重敦 | （京都工芸繊維大学デザイン・建築学系教授） | 【建築史】   |
| 岡田 昌彰 | （近畿大学理工学部教授）          | 【土木史】   |

#### 5 調査の内容及び方法

令和 2 年度に県文化遺産課から県内市町村文化財担当部局に対して、以下の事項に留意して所在把握調査を行うよう依頼した。

- ・所在把握調査は、悉皆的な所在把握を目的とするため、文化財的価値や保存状態などに関わらず、可能な限り一覧表に記載する。
- ・調査にあたっては、市町村文化財担当部局のみでの把握だけでなく、他部局、市町村文化財保護審議委員、県文化財保護指導委員、郷土史家、地元自治会（地元住民）など、できるだけ多くの方から情報を収集するようにする。
- ・県史、市町村史、郷土史に関する書籍などに記載されているものは、もれなく記入する。

令和 2 年度に実施した所在把握調査成果は県文化遺産課で取りまとめ、県内全市町村の一覧表を令和 4 年度に市町村文化財部局に送付し、他の市町村の調査を参考に補足調査を依頼した。その後、これを取りまとめて編集を行い、和歌山県近代の文化遺産一覧表を作成した。

調査方法は各市町村で異なるが、文献調査、聞き取り調査、地図に記載された情報などをもとに実施した現地調査など、各市町村が工夫して実施した。市町村によっては、調査対象地域が広域であったり、調査対象が膨大であったりしたため、悉皆調査とはなっていない可能性がある。調査成果の取扱いにあたっては、その点を留意いただきたい。

また、所在把握調査と併せて、テーマに基づく文化遺産群の所在調査も依頼した。

テーマに基づく文化遺産群の所在調査は、9 つのテーマ（和歌山県における明治維新、和歌山県における近代の軍事遺産、和歌山県における近代交通の発展、和歌山県を支えた近代における産業、和歌山県における近代の災害と防災、和歌山県で起こった近代の重大事件、近代における和歌山県民の生活、和歌山県の近代の偉人、その他）を設定し、それに沿った歴史的事象の選定とそれに関連する文化遺産群の抽出を行った。

令和 4 年度の報告書では、市町村別の代表的な文化遺産の紹介と市町村別の所在把握調査一覧表を掲載した。今回の報告書では、分野別の傾向と代表的な文化遺産の紹介、分野別の所在把握調査一覧表、歴史的事象一覧表を掲載する。

## 01 鉱山

### <傾向>

中分類 01 鉱山は、小分類に分けると、01 鉄山、02 銅山、03 金銀山、04 その他各種鉱山に分けられる。

鉄山は、新宮市熊野川町で確認されており、江戸時代から昭和まで採掘が行われていた大山かな山跡などが確認されている。

銅山は、紀の川市の飯盛鉱山や那智勝浦町の妙法鉱山などが確認されている。紀ノ川南岸の三波川変成帯や熊野地域では銅山開発が盛んであり、古座川町では多くの小規模鉱山跡が確認されている。また、飯盛鉱山と妙法鉱山は県内では比較的大規模に採掘が行われていた。

金銀山は、新宮市の細谷鉱山跡が確認されており、金、銀、銅を産出していた。

その他各種鉱山は、アンチモニーを採鉱した日高川町の三湯鉱山や船原鉱山、水銀鉱を採掘した日高川町の権爺穴などが確認されている。非金属の鉱山としては、白浜町の富田石石切り場が確認されているほか、田辺市の神子浜でも採石が行われている（神子浜は軽工業に分類している）。白浜町では、大正から昭和に鉱石を搬出していた港跡が確認されている。また、白浜町と那智勝浦町では石組みの焼成窯跡が確認されている。これらの窯跡は銅の製錬に使われたと見られるが、詳細が不明なため、その他各種鉱山に分類した。

県内で確認されている鉱山の文化遺産数は 49 件、うち 01 鉄山が 3 件、02 銅山が 30 件、03 金銀山が 1 件、04 その他各種鉱山が 15 件である。鉱山から算出する鉱物は混在しているので、主な算出物ということで参考としてみていただきたい。

所在地別では、紀の川市が 2 件、かつらぎ町が 3 件、九度山町が 2 件、高野町が 1 件、有田市 1 件、日高川町 3 件、白浜町 5 件、那智勝浦町 7 件、新宮市 4 件、古座川町 21 件で紀南に多い傾向がある。これは古座川弧状岩脈の鉱脈型熱水性鉱床で多くの鉱山が開発されたためである。

鉱山に関する記録は少なく、詳細が不明な鉱山が多くある。白浜町の石組みの焼成窯跡は、町誌などの史料に書かれておらず、地元の古老の話を基に近年発見されており、まだ知られていない鉱山が多くあると思われる。





01 鉱山関係の代表的な文化遺産 分布図

## (1) <sup>みょうほうこうざん</sup> 妙法鉱山

所在地：那智勝浦町井関

建設・設置時期：江戸～昭和 47 年(1972)

熊野の鉱山では、古くから銅のほか金銀も採掘されており、天正 8 年(1580)に羽柴秀吉が天正通宝を鑄造した際に、那智の鳴滝金山から金が献上された記録が残る。江戸時代になると那智の銅山開発が盛んとなり、全国でも十指に入る産出量だったという。

太平洋戦争中には円満地鉱山(石原産業)、色川鉱山(井筒鉱業)、勝浦鉱山(日室鉱業)、那智鉱山(藤田組)、平野・佐野・高原鉱山(昭和産業)が割拠していたが、これらの鉱山と戦争末期の帝国鉱産の中央選鉱場を戦後に石原産業が買収して、妙法鉱山の名称で開発を進め、昭和 28 年(1953)には 500 トン／日の優先浮遊選鉱場を建設している。

昭和 29 年(1954)には三菱金属鉱業が買収して銅や硫黄を採掘したが、その後昭和 33 年(1958)の落盤事故や昭和 47 年(1972)の銅価格の暴落などを受けて閉山した。山肌にシクナー、選鉱所、ホッパーなどの大規模な遺構が残されている。



妙法鉱山跡 選鉱場跡

(那智勝浦町教育委員会提供、2024.2 撮影)

## (2) <sup>こうせきはんしゅつこうあと</sup> 鉛石搬出港跡 <sup>かなやまこうざん</sup> (鉛山鉱山)

所在地：白浜町湯崎周辺(梶原谷)

建設・設置時期：大正 8 年(1919)

鉛山鉱山は、戦国時代には鉄砲玉に使用する鉛を採掘して鉛山千軒と呼ばれる活況を呈したが、江戸時代前期の元禄年間には廃れている。

大正から昭和に原庄組・三菱鉱業・昭和鉱業が経営していたころには、採鉱した原石を梶原谷の浜から帆船に積み込み製錬所へ運んでいたが、温泉脈への影響の心配から反対運動があり、昭和 31 年(1956)に採掘の権利が町へ返還された。



梶原谷積み出し港跡

(白浜町提供、2013.5 撮影)



### (3) <sup>ひさきせいれんしょうせいかまあと</sup>久木製錬焼成窯跡

所在地：白浜町久木

建設・設置時期：江戸～近代

白浜町久木の山中で、令和3年に発見された銅の製錬に使われたと考えられる焼き窯を中心とする遺構群である。地元の古老からタタラ場の存在が推定されていたことから、地元の有志団体と町が確認したものである。

焼き窯は、長さ約15m、幅約3mの範囲に、石組の焼成窯を大小3窯ずつ配置している。周囲に坑道口や鋼滓、燃料となる炭を焼いた炭焼き窯などが確認されている。



製錬焼成窯跡

(白浜町提供、2021.11撮影)

### (4) <sup>しりけんたにせいれんじょあと</sup>尻剣谷製錬所跡 町史跡

所在地：那智勝浦町市野々

建設・設置時期：近世～近代

那智川の支流を市野々で西へ遡上した地点に展開する製錬所跡の遺構群である。

谷筋北岸には石組の焼成窯跡が上下9窯ずつ2列に並ぶ(計18窯)。周囲に坑道やズリ山、平坦面や祠跡などがあり、スラグ・からみや近世・近代の陶磁器片が少量散布する。南岸には江戸時代中期までの墓石が多数あり、近世から近代にかけての遺構群であると考えられる。



尻剣谷製錬所跡 焼成窯跡

(和歌山県教育委員会、2022.3撮影)

## 02 エネルギー産業

### <傾向>

中分類 02 エネルギー産業は、小分類に分けると、01 炭鉱、02 油田、03 発電所、04 ダム、05 その他に分けられる。

炭鉱は、新宮市熊野川町の松沢炭鉱や志古炭鉱などが確認されており、掘り出した石炭は熊野川を船で運び、新宮市内で積み替えられ、阪神地域へと海上輸送された。炭鉱以外に石炭の積み替えを行った石炭場跡が確認されている。日本でのエネルギー源は、古くは薪や炭等であったが、近代化に伴い製鉄や鉄道などで石炭が多く用いられるようになった。しかし第二次世界大戦後は、エネルギーの主体は石炭から石油に変わり、ほとんどの炭鉱は採算性がとれなくなり閉山した。

油田は、県内では確認されていない。

発電所は、有田川の三田水力発電施設や日高川の高津尾発電所・柳瀬発電所などが確認されている。田辺市の殿山発電所はダム水路式で現在も発電を行っている。県内では有田川水系や日高川水系を中心に、大正から昭和初期にかけて多くの水力発電所が建設され、現在でも発電を行っている施設が多くある。火力発電所は和歌山市の手平火力発電所跡が確認されているが、近年にレンガ倉庫が取り壊され、当時の痕跡は残っていない。

ダムは、水力発電にともなって設置されたダム以外のもので、有田川町の二川ダムは洪水調節と発電、工業用水の確保を兼ねて建設された多目的ダムである。また、ダムに関する記念碑も確認されている。

その他は、高野町や新宮市で変電所施設や電柱跡などの送電に関するものが確認されている。

県内で確認されているエネルギー産業の文化遺産数は 45 件、うち 01 炭鉱が 11 件、02 油田は 0 件、03 発電所が 24 件、04 ダムが 4 件、05 その他が 6 件である。

所在地別では、炭鉱は熊野炭田があった新宮市にしかなく、発電所はほとんどが水力発電所であるため、大きな河川の上流部に位置する市町である有田川町・日高川町・田辺市に集中している。





02 エネルギー産業関係の代表的な文化遺産 分布図

## (1) <sup>し こ たんこうあと</sup>志古炭鉱跡

所在地：新宮市熊野川町志古

建設・設置時期：明治～昭和

旧熊野川町日足付近の炭鉱の一つで、炭鉱の貯蔵庫にあたるホッパー跡が残る。その上には索道が続き、下にはトロッキ軌道で熊野川の川原まで運ぶように整備されており、志古ジェット船乗場付近で船に積み替えて全国各地へ運ばれていたようである。

周辺には志古炭鉱のほか、宮井、松沢、熊野、三和、三熊、音河、萬歳炭鉱や三重県薬師炭鉱が分布していた。



志古炭坑跡 ホッパー  
(新宮市提供、2019.12 撮影)

## (2) <sup>み た すいりょくはつでんしせつ</sup>三田水力発電施設

所在地：有田川町三田

建設・設置時期：昭和4年(1929)

旧南海水力は明治43年(1910)に開業し、広く海草郡、有田郡、那賀郡に及ぶ範囲で電力事業に取り組んだ。同じ有田川水系の修理川発電所や川口発電所・遠井発電所等の水力発電所を所有していたが、昭和17年(1942)に関西配電に統合された。関西電力の管理施設では、有田川水系で唯一残るものである。

三田水力発電施設は、昭和4年(1929)に運転を開始し、当初より出力536kw、水路式である。水路の堰堤は重力式で堤高約2.7m、排砂口部分を除くと全長47.8mで、止水面はコンクリート造り。国の重要文化的景観として選定されている「あらぎ島」の景観を構成する構造物の一つであり、堰堤の越流部は曲線を描く石張り構造となっている。堰堤の東側には取水口があり、887mのトンネルを抜いて、水槽に至っている。堰堤の上流部は水をたたえ湾曲する流路となり、下流の河床には岩盤が露出し、上部に鉄橋がかかっている。



三田水力発電施設 堰堤  
(和歌山県教育委員会、2022.10 撮影)



### (3) <sup>たかつ お はつ でん し ょ</sup>高津尾発電所

所在地：日高川町上田原・高津尾

建設・設置時期：大正 7 年(1918)～平成 11 年(1999)

和歌山水力電気による日高川水系の水路式水力発電所で、大正 4 年(1915)起工、大正 7 年運転開始。県内最大規模の水力発電所であったが、大正 11 年(1922)に京阪電鉄に買収され、その後合同電気、東邦電気、関西配電を経て、昭和 25 年(1950)には関西電力の施設として稼働した。

日高川に設けられたコンクリート造重力式堰堤は堤長 60.0m、高さ 5.5m あり、石造の取水口から 124.5m の開水路、285m の第 1 トンネル、806m の水路、沈殿池、990m の第 2 トンネルを経て、調整池に至る。第 2 トンネルの出口には、田邊朔郎博士の書「利百姓」の題額がかかる。調整池の堰堤はコアを持つフィルダムで、上流面は石張り、堰高 26.5m、堤長 85.5m ある。旧発電機棟は桁行約 23.5m、梁間約 20.4m の煉瓦造建物で、内部に発電機が設置される。平成 11 年(1999)に新高津尾発電所の運用が開始され、旧発電所は現在使われていない。



旧高津尾発電所 建屋  
(日高川町提供、2021.11 撮影)



和歌山水力電気社章  
(日高川町提供、2021.11 撮影)

#### (4) <sup>とのやまはつでんしょ</sup> 殿山発電所

所在地：田辺市合川

建設・設置時期：昭和 32 年(1957)

殿山発電所は日置川水系にある発電所で、関西電力により昭和 30 年(1955)に工事が着工され、昭和 32 年(1957)に完成して運用を開始した。ダム水路式の発電所であり、堤高 64.5m、堤頂長約 128.7m、導水路の総延長は 1861m ある。取水先の殿山ダムは日本初のドームアーチ式ダムであり、現地の地名から合川ダムとも呼ばれている。



殿山ダム(合川ダム)  
(田辺市提供、2024.2 撮影)

#### (5) <sup>ふたがわ</sup> 二川ダム

所在地：有田川町二川・遠井

建設・設置時期：昭和 41 年(1966)

和歌山県が有田川水系に造った重力式コンクリートのダムで、堤高 67.4m、堤頂長 222.8m。本体工事施工者は大豊建設である。

昭和 28 年(1953)7 月 18 日の水害を契機に洪水調節と発電、工業用水の確保をかねて建設された多目的ダムである。

現地には、ダム建設に伴う記念碑が建てられている。



二川ダム  
(有田川町提供、2024.1 撮影)

#### (6) <sup>なないろ</sup> 七色ダム

所在地：東牟婁郡北山村七色

建設・設置時期：昭和 40 年(1965)

戦後の電源開発に伴い、新宮川水系の北山川に造られた重力式アーチ型ダムで、堤高 61m、堤頂部長は 200.8m。ダム事業者は電源開発株式会社で、本体施工者は大林組である。

ダムの左岸は三重県熊野市神川町で、ダム天端を国道 169 号線が通っている。

上流にある池原ダムとの間で揚水発電を行っている。最大出力は 35 万 kW。



七色ダム  
(北山村提供、2023.3 撮影)

## 03 重工業

### ＜傾向＞

中分類 03 重工業は、小分類に分けると、01 製鉄、02 冶金、03 機械、04 造船、05 自動車、06 石油コンビナート、07 その他に分けられる。

製鉄は、明治に入り洋式製鉄技術が導入され、釜石や八幡に官営製鉄所が建設され、各地に製鉄所が作られていく中、県内では昭和に入ってから、和歌山市と海南市に大規模な製鉄所が作られている。広大な土地が必要であり、資材や製品の輸送の利便性から、埋立地に工場は立地している。特に和歌山市の旧住友金属工業和歌山製鉄所は、和歌山市経済の象徴とも言われ、和歌山市は企業城下町として発展した。その一方で、騒音や煙害などの公害が問題視され、公害反対運動が起こり対策が取られることとなった。

冶金は、鉱石その他の原料から有用な金属を採取・精製・加工する産業で、県内には大規模な鉱山がないことから確認されていない。

機械は、紀北地域を中心に大規模な機械工場はあるが、近代の文化遺産が残る工場は確認されていない。

造船は、明治に入り神奈川、神戸、長崎など大規模な港湾都市に洋式造船所が作られていくが、県内では近代の大規模な造船所はないが、漁業が盛んであるため、中小規模の造船所が紀南地域を中心に確認されている。このうち、古座造船所は水爆実験で被災した第五福竜丸を建造した造船所として知られている。また、古座造船所は海軍の指定を受けており、串本造船所は陸軍の造船所として戦時中は機能していた。

自動車は、県内に自動車を製造する工場がないため確認されていない。

石油コンビナートは、海南市から有田市にかけての海岸線沿いに旧東亜燃料工業和歌山工場が所在する。軍用航空揮発油・潤滑油を製造する会社として発足し、戦後も日本のエネルギーと地域経済を支えてきた。令和2年の製造出荷額は、県全体の20%弱、有田市全体の90%以上を占め、地域経済の核を担ってきた。

県内で確認されている重工業の文化遺産数は13件、うち01 製鉄が2件、02 冶金が0件、03 機械が0件、04 造船が3件、05 自動車が0件、06 石油コンビナートが8件、07 その他が0件である。

所在地で見ると、和歌山市・海南市・有田市といった紀北地域に集中している。





03 重工業関係の代表的な文化遺産 分布図



## (1) 旧住友金属工業和歌山製鉄所

所在地：和歌山市松江

建設・設置時期：昭和 17 年(1942)

紀ノ川河口北岸から北に広がる埋立地に立地している。昭和 17 年(1942)に住友金属工業の和歌山製鉄所として操業開始した。昭和 36 年(1961)に第一高炉が完成し、その後も昭和 38 年(1963)に第二高炉、昭和 40 年(1965)に第三高炉、昭和 42 年(1967)に第四高炉、昭和 44 年(1969)に第五高炉が新設され、生産量を拡大させている。昭和 44 年(1969)には高炉 5 基で粗鋼生産 922 万トンとなっている。最盛期には関連会社を含めて 3 万人もの社員が働いており、和歌山市内で最大規模の事業所であった。

住友金属工業は、平成 24 年(2012)に新日本製鐵と合併し新日鐵住金となり、平成 31 年(2019)に日本製鐵に商号変更しており、現在は日本製鐵関西製鐵所和歌山地区として、原油や天然ガスの掘削や輸送に用いられるシームレスパイプなどの製造を行っている。



旧住友金属工業和歌山製鉄所  
(和歌山県教育委員会、2023.12 撮影)

## (2) 海南港埋立地

所在地：海南市日方・船尾・藤白

建設・設置時期：昭和 36 年(1961)

海南市中心部の西側沿岸部で古くから埋立てが行われており、明治期以降には 12 か所で埋立てが行われている。特に和歌山県が北部臨海工業地帯の一環として海南港港湾整備と工業用地造成を大規模に行っている。昭和 36 年(1961)に起工し、第一地区(面積 19 万 9751 m<sup>2</sup>)が昭和 38 年(1963)に完成。第二地区(面積 121 万 5001 m<sup>2</sup>)が昭和 41 年(1966)に完成。第三地区(面積 20 万 0413 m<sup>2</sup>)が昭和 38 年(1963)に完成。現在は、日本製鐵、ENEOS 和歌山石油精製等の工場が立地しており、海南市の発展に寄与してきた。



海南港埋立地  
(和歌山県教育委員会、2021.8 撮影)

### (3) <sup>こざぞうせんじょ</sup>古座造船所

所在地：串本町中湊

建設・設置時期：大正～昭和

古座川の中州に立地しており、造船所の周辺には工場や喫茶店等が並び賑った。古座造船所は海軍指定でもあり、軍用運搬船の建造も行われていた。昭和 29 年(1954)にビキニ環礁で行われたアメリカの水爆実験で被災した第五福竜丸はこの造船所で建造された。昭和 22 年(1947)にカツオ漁船第七事代丸として建造され、昭和 28 年(1953)にマグロ漁船に改造され第五福竜丸と改名された。

造船所は廃業しており、現在は古座大橋の西詰に第五福竜丸建造の地の石碑が建てられている。



戦時中の古座造船所 軍用運搬船の竜骨  
(串本町教育委員会提供、撮影時期不明)

### (4) <sup>きゅうとうあねんりょうこうじょう</sup>旧東亜燃料工場

所在地：有田市初島町浜

建設・設置時期：昭和 16 年(1941)

有田川河口北岸から北に広がる埋立地に立地している。昭和 16 年(1941)5 月に東亜燃料工業和歌山工場として操業し、昭和 20 年(1945)7 月 28 日の空襲で壊滅的被害を受け操業停止したが、昭和 25 年(1950)に操業再開した。

敷地内には、下津港岸壁と工場を結ぶトンネルが 2 本あり、西側の No.1 トンネルが 500m、東側の No.2 トンネルが 613m となっている。現在は廃止されているが、工場の近くにある JR 初島駅との間には専用貨物線が引かれ、製品の輸送が行われていた。

東亜燃料工業は、平成元年(1989)に東燃に商号変更し、平成 12 年(2000)にゼネラル石油と合併して東燃ゼネラル石油となり、平成 29 年(2017)に JX エネルギーと合併して JXTG エネルギーとなり、令和 2 年(2020)に ENEOS に商号変更している。令和 5 年(2023)10 月までは、和歌山製油所として燃料油、潤滑油、石油化学製品を生産していたが、石油精製機能を停止し、ENEOS 和歌山製造所と名前を変え、SAF(持続可能な航空燃料)の製造等、カーボンニュートラルに資する新規事業の準備を進めている。



空から見た和歌山製油所  
(ENEOS 株式会社提供、2016.3 撮影)

## 04 軽工業

### ＜傾向＞

中分類 04 軽工業は、01 紡織、02 製糸、03 その他繊維産業、04 食品、05 化学、06 窯業、07 セメント、08 地場産業、09 その他に分けられる。

紡織は、繊維・織物産業で綿や羊毛・麻などの短繊維に撚りをかけ長い糸の状態にするまでの工程を行うもので、幕末の開港後に、手紡ぎが衰退して機械化・工業化が進んだ。県内では、和歌山市や御坊市、美浜町などに紡績工場が建てられており、御坊市と美浜町にあった旧日出紡績は大正時代に建てられた大規模な紡績工場であるが現在でも松原工場は多くの建物が残されている。また、有田市にはメリヤス工場が多く確認されている。

製糸は、蚕が作る繭から絹織物の原料糸となる生糸を製造する工程で、明治5年(1872)設立の富岡製糸場などで器械製糸技術が発展し、明治末年には世界最大の生糸輸出国となっている。県内では、新宮市に製糸工場の繭の倉庫が確認されている。

その他繊維産業は、染色業や絹織物業、毛織物業、化学繊維業の工場である。県内では、和歌山市に明治19年(1886)に全国に先駆けて染色教習所が作られ、明治33年(1900)には、染色会社が誕生し和歌山の地場産業として発展していく。和歌山市の旧市川捺染工場は大正時代に建てられ、現在もネル加工工場として使われている。

食品は、酒類醸造、缶詰製造、醤油・味噌醸造、製粉業などがある。県内では、各地で酒造会社が確認されている。湯浅町の醤油醸造は地場産業であるため、食品には分類していない。

化学は、化学製品を製造する工場である。県内では、現在も化学工場として使われているところも多く、建替えなどにより残されている建物は少ない。旧由良精工は、日本で初めてベンゾール精製に成功したことから、工場正門近くに製造装置が展示されている。

窯業は、陶磁器や瓦に加え、煉瓦やタイルなどである。県内では、新宮市で瓦屋が確認されている。また、串本町にはサンゴを原料として石灰を製造していた窯跡が確認されている。

セメントは、県内で確認されていない。

地場産業は、海南市周辺の棕櫚や漆器、湯浅町周辺の醤油、紀の川市のたばこ、橋本市の凍豆腐、有田市周辺の除虫菊製品などが確認されている。

その他は、田辺市神子浜の中嶋山の採石場跡とその石を使用した構造物が確認されている。

県内で確認されている軽工業の文化遺産数は100件、うち01 紡績が17件、02 製糸が6件、03 その他繊維産業が4件、04 食品が13件、05 化学が7件、06 窯業が4件、07 セメントが0件、08 地場産業が39件、09 その他が9件である。







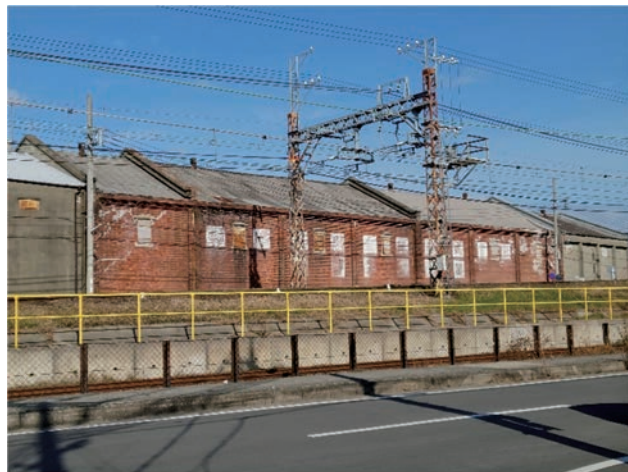
きゅうわ か や まぼうしよく き の かわこうじょう

## (1) 旧和歌山紡織紀ノ川工場

所在地：和歌山市東布経丁

建設・設置時期：大正 8 年(1919)

明治 44 年(1911)に和歌山織布が和歌山紡績を吸収して和歌山紡織が誕生した。その 5 番目の工場として建てられたのが当工場である。工場は煉瓦造で 7680 坪、紡機は 58,816 錠、職工数は 1,311 人という記録があり、綿布などが生産された。昭和 16 年(1941)に合併し大和紡績となったが、昭和 20 年(1945)に和歌山空襲で全焼。敷地の大半は競輪場となったが、現在も倉庫が残されている。



旧和歌山紡織紀ノ川工場

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)

きゅうひのでぼうせきまつばらこうじょう

## (2) 旧日出紡績松原工場

所在地：美浜町吉原

建設・設置時期：大正 14 年(1925)

日出紡績松原工場として、日高郡美浜町吉原(旧松原村)に大正 14 年(1925)に操業を開始した工場である。日出紡績は大正 2 年(1913)に先行して御坊市(旧御坊町)に工場を完成させており、本工場はそれに続く第二の工場として建設された。昭和 16 年(1941)に日出紡績は和歌山紡織、錦華紡績、出雲製織と合併して大和紡績となった。戦時中に軍需工場に転用され爆撃を受けるも、戦後に大和紡績に返還され操業を続けた。昭和 32 年には織布部門が移転し、本工場は紡績専紡工場となった。昭和 40 年(1965)に大和紡績和歌山工場と改称、平成 14 年(2002)にはダイワボウマテリアルズ和歌山工場となった。しかし、令和 3 年に事業の整理のため出雲工場に各地の工場が集約され、和歌山工場は長く続いた操業を停止した。

西川右岸の広大な敷地には、工場や変電施設とともに従業員のための食堂や寄宿舍、診療所などが建てられていた。また御坊臨港鉄道からの専用線が敷地内に引き込まれ、貨車用のプラットホームが設けられ、ホームに接して原綿庫や製品庫が建てられた。

現在は寄宿舍や食堂などが、建物の破損のために撤去されているが、工場部分の主要部と事務棟はほぼそのまま残っている。工場は中央東に第一工場、西に第二工場を建て、第二工場の南には前紡室がある。これらが合わさり巨大な工場空間を造っている。側壁を鉄筋コンクリート造、内部は木造や鉄骨で架構した北向き採光の鋸屋根の建造物である。戦前期大規模工場の典型的な姿を示し、内部床は調湿に優れた桜材を用いる。昭和 9 年に大規模に増築し、原綿の粉塵を外部に吹き飛ばす特徴的な煙突状の塵突も造られた。



第一工場

(和歌山県教育委員会、2023.11 撮影)



第二工場 内部

(和歌山県教育委員会、2023.11 撮影)



前紡室

(和歌山県教育委員会、2023.11 撮影)



出荷倉庫とプラットフォーム

(和歌山県教育委員会、2023.11 撮影)

### (3) しんぐうせいしこうじょうあと 新宮製糸工場跡

所在地：新宮市神倉2丁目

建設・設置時期：大正7年(1918)

大正7年(1918)に熊野蚕糸株式会社が設立され、新宮第三尋常高等小学校の跡地に製糸工場等が建設された。

昭和2年(1927)の地図には「郡是繭糸販売組合双盟社」とあるが、金融恐慌の影響もあり、昭和14年(1939)に東郡蚕糸会社新宮製糸場が閉鎖される。戦後は市営住宅地となったが、繭の倉庫一棟が車庫として現存している。



新宮製糸工場跡 繭の倉庫

(新宮市提供、2022.12 撮影)



きゅういちかわなっせんこうじょう

#### (4) 旧市川捺染工場

所在地：和歌山市西布経丁

建設・設置時期：大正4年(1915)

大正4年(1915)に操業を開始した染色の工場で、大正15年(1926)の時点で職工数は105人にのぼり、捺染ネルと捺染縮を主な製品とした。工場は煉瓦造の壁体をもち、内部は木製のトラス構造による小屋組で、アーチを描く観音開きの窓をあけ、窓台は白御影石、鉄扉が取り付けく。

現在は和歌山織物加工協同組合のネル加工工場となっている。



旧市川捺染工場

(和歌山県教育委員会、2024.2撮影)

はつざくらしゅぞう

#### (5) 初桜酒造 国登録

所在地：かつらぎ町中飯降

建設・設置時期：明治初期

近世和歌山城下町からみて紀の川の上流にあたる、川上酒と呼ばれた酒造りが盛んな地域にある酒造会社で、もとは木下酒造といった。明和2年(1765)に創業し、伝統を今に伝えて、「初桜」や「高野山般若湯」といった銘柄の日本酒造りを続けている。

敷地内を旧大和街道が東西に抜けており、大正期に建てられたと伝えられる主屋は街道の北側に位置している。主屋の背後にある。明治2年(1869)上棟を示す棟札があった仕込蔵は梁間6間で中央を2階建てとし、2階北寄りには麹室を設けている。仕込蔵の東側には明治後期頃に増築されたとみられる囲蔵などが建ち並ぶ。

旧大和街道の南側の敷地には離座敷が建ち、かつては米置場や水車精米所があり、小田井の水を引き、水車を回して精米していたという。

平成18年(2006)8月に主屋、仕込蔵、囲蔵の3棟が国の登録有形文化財に登録された。



初桜酒造 主屋

(かつらぎ町提供、2021.8撮影)

たかがきしゅぞう  
(6) 高垣酒造 国登録

所在地：有田川町小川

建設・設置時期：大正 15 年(1926)

天保 11 年(1840)に高垣家 2 代又右エ門が湯浅の栖原屋太七郎から 150 石の造酒株高を取得し、近隣の青田地区に酒造場を構えたことに始まる。大正 15 年(1926)に約 3,800 m<sup>2</sup>の広さのある現在地へ移転し、現在まで「紀勢鶴」などの銘柄を作り続けている。

昭和 8 年(1933)及び 10 年(1935)の配置図について当県の『近代化遺産(建造物等)総合調査報告書』で書き起こしが行われているが、中央の主屋の西に「玄米置場・白米置場・精米所」、その北に「麴室」を建て、敷地北端は西から「仕込蔵・槽場」と「貯蔵庫・釜場・洗場・燻場」を並べた作業工程に応じた配置が、現在でもよく残されていることがわかる。また、敷地の東側には土蔵、離座敷、納屋が配置されている。

主屋は南面する木造平屋建てで一部 2 階建てとなっており、棧瓦葺きの和風意匠でまとめられている。仕込蔵は桁行 10 間、梁間 6 間、貯蔵庫は桁行 11 間、梁間 5 間の土蔵造二階建てで、優れた技術で建てられた大規模な近代の酒蔵として貴重であるとともに、造り酒屋特有の景観を作り出している。



高垣酒造 貯蔵庫・仕込み蔵  
(有田川町提供、2021.3 撮影)

いせや  
(7) 伊勢屋 国登録

所在地：御坊市藺

建設・設置時期：明治

御坊市小竹八幡神社東方にある田淵家は、伊勢屋の屋号をもち、元禄年間より酒造業を営む家であった。近代になって主屋の南東に建てられた酒蔵が、現在も残されている。

北蔵は明治時代に生活用具庫と作業場が接続した蔵で、作業場内部は柱を減らして空間を確保している。南蔵は大正時代に建てられた蔵で、増築部で北蔵に接続する。

昭和 62 年(1987)に廃業した。



伊勢屋 南蔵  
(和歌山県教育委員会、2018 撮影)



## (8) <sup>おざきしゅぞう</sup>尾崎酒造

所在地：新宮市船町

建設・設置時期：明治 13 年(1880)

明治 13 年(1880)に初代・尾崎作次郎が新宮氏三本杉地区で創業し、明治中頃に熊野速玉大社と新宮城跡の間、熊野川沿いにあたる船町に移転した。熊野川の伏流水と仕込みの時期に熊野川から蔵へ吹く風を利用した熊野地域唯一の造り酒屋であり、通りに面して土蔵造りの景観となっている。主要銘柄は太平洋。



尾崎酒造

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)

## (9) <sup>きゅうゆらせいこう</sup>旧由良精工

所在地：和歌山市小雑賀

建設・設置時期：大正

大正 3 年(1914)11 月に、由良浅次郎が純ベンゾール精製に成功し、それを原料に日本で初めてのアニリンの工業的合成に成功した。当時盛んになっていた綿ネル業の染料を国産化・企業化するために、由良精工を操業。染料の原料となる中間体他の大量生産にも成功し、由良染料を設立して、和歌山における染料化学工業の基礎を築いた。

工場事務所は昭和 16 年(1941)竣工の木造平屋鋸屋根スレート葺き。地階があり、外壁下見板張りで、内部は昭和 52 年(1977)に改装されている。現図書室は竣工年や用途が不明だが、煉瓦造り平屋スレート葺きの建物である。工場の敷地と道路の境界には煉瓦塀が続き、往時の景観を残している。

昭和 30 年(1955)より本州化学工業(和歌山工場)が引き継ぎ、工場内にはベンゾール精製装置が展示されている。



旧由良精工 ベンゾール精製装置

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)

## (10) <sup>せっかいしょうせいかまあと</sup>石灰焼成窯跡

所在地：串本町田並

建設・設置時期：江戸時代末期～昭和40年代

串本町和深から南の海域はサンゴの群生地であり、沿岸部に造られた窯でサンゴを原料とした焼石灰の製造が行われていた。石灰石を原料とする石灰に対して、この地域の石灰は熊野灰と呼ばれ、江戸時代末期には和歌山城の改築にも使用されたと伝えられている。

明治時代には檜野埼灯台や潮岬灯台の漆喰にも使用され、大正時代にかけて盛期を迎えたが、昭和40年代初めに生産は途絶えた。



石灰焼成窯跡 上面

(上野一夫氏提供、2023.6撮影)

## (11) <sup>やまもとかつのすけしょうてん</sup>山本勝之助商店・<sup>じゅうたく</sup>住宅 国登録

所在地：海南市阪井

建設・設置時期：明治39年(1906)

山本勝之助商店は、棕櫚産業の発展と社会事業に貢献した山本勝之助により明治後期以降に棕櫚皮商の店舗として建てられた建物群である。

事務所は南面する間口3間、奥行8間の木造二階建てで、寄棟造棧瓦葺きの東西棟の裏に切妻造本瓦葺きの南北棟が続く。一階表の事務所には鉄柱を用いている。南面は一・二階ともにガラス窓とし、東面南端に戸口を開く。

店蔵は、大正時代に建てられた切妻造棧瓦葺き、白漆喰塗りの土蔵造倉庫。店蔵一は桁行7間、梁間4間、128㎡で、腰に鉄板を張る。店蔵二は桁行5間、梁間2間の61㎡、店蔵三は桁行8間、梁間3間の119㎡で、それぞれ腰は縦板張、一階は板床とする。

山本勝之助住宅は事務所の東に建つ建築群で、近世末期から昭和までの建物が並ぶ。

主屋は近世末期の木造平屋一部三階建て建物で、明治39年(1906)に増築されている。主屋の増築と同時期に整備された門と石塀が残されている。門は間口四尺の腕木門で、切妻屋根と袖塀は和歌山特有の丸棧瓦で葺く。石塀は延長18mあり、地元の青石で乱石積みとしており、特有の景観を形成しているといえる。

大正時代には、内蔵一・二が建てられている。花崗岩の石垣積基礎4の上に建つ土蔵造2階建ての蔵で、外壁は白漆喰塗りで、腰を縦羽目板張り、屋根は切妻造本瓦葺きとする。

これらのほか、昭和12年(1937)に、小路を挟んだ別敷地に隠居所と赤倉が建てられている。隠居所は木造平屋建て、入母屋造棧瓦葺きで、南正面に切妻屋根の玄関が取り付く。

赤倉は木造二階建て、寄棟造棧瓦葺きの建物で、外壁木部の赤ペンキ塗りから赤倉と呼ばれている。



山本勝之助商店 事務所

(海南市教育委員会提供、2021.12 撮影)



山本家住宅 主屋

(海南市教育委員会提供、2007.10 撮影)

## (12) <sup>おざきりんたろうけじゅうたく</sup>尾崎林太郎家住宅 国登録

所在地：海南市黒江

建設・設置時期：江戸、大正

江戸時代に大庄屋を務めた旧家で、明治時代より漆器問屋を営む。建物は座敷が江戸時代、それ以外は主に大正時代に建てられている。

主屋は敷地中央に東面して建つ、木造2階建て、入母屋造、棧瓦葺き。店舗と居室部から成り、玄関は漆塗り格天井にするなど格式の高い意匠が凝らされている。

主屋と長屋門の間には三階蔵が建ち、漆器商品を収蔵している。棧瓦葺きの土蔵造り三階建てで、上棟式の御幣より大正13年(1924)に建てられたことがわかる。また、ほぼ同時期に建てられたとみられる前蔵は、棧瓦葺き土蔵造り二階建てで、両妻側の梁で棟木を受け、太い垂木を架けた小屋構造や、妻壁の通風の丸窓など、この地域に共通する手法がみられる。

主屋背面西側には、江戸時代に建てられた座敷が建つ。平屋建て、入母屋造り、棧瓦葺きで、北面と西面に土庇を廻す。ザシキ廻りは江戸中期と思われ、床棚、付書院など整った数寄屋風意匠でまとめられている。大正中期の屋敷整備により、巧みに平面が主屋と接続されている。



尾崎林太郎家住宅 主屋

(海南市教育委員会提供、2021.12 撮影)



はた だ け じゅうたく  
(13) 畑田家住宅 国登録

所在地：海南市船尾

建設・設置時期：昭和4年(1929)

海南市船尾にある漆器業者の旧宅で、黒江よりやや海側に位置している。主屋は木造二階建て、棧瓦葺き、入母屋造りで、出桁造り、黒漆喰塗りの重厚な仕上がりを見せる。内部は一階が居室、二階が座敷となる。

敷地の庭の周囲をコンクリート造の塀で囲み、その頂部と門柱をモルタル洗い出し仕上げとする。



畑田家住宅 主屋

(海南市教育委員会提供、2021.9撮影)

た じ まうるしてん きゅうこうじょう  
(14) 田島漆店(旧工場) 国登録

所在地：海南市船尾

建設・設置時期：大正11年(1922)

田島漆店は明治初期創業で、漆生産では県内随一を誇り、この工場で精製された漆や黒江の漆器生産を支えていた。玄関棟・商品蔵は昭和28年(1953)、食堂は昭和前期、新蔵は昭和9年(1934)、詰場は昭和33年(1958)に建築されている。

玄関棟は敷地西端南寄りにあり、木造平屋建て、正面外壁の腰をモルタル洗い出し仕上げ、他を色モルタル仕上げとする。

商品蔵は敷地南西隅にあり、煉瓦造り平屋建て、切妻造り棧瓦葺きで、内外壁面をモルタル塗りとする。外壁の四隅に柱形を付け、鉢巻を回す。

食堂は玄関棟の東にあり、木造平屋建てで切妻造り金属板葺き。内部の床上部には食堂2室と台所、風呂を並べ、南半通路は土間部とする。

新蔵は敷地の北西部にあり、土蔵造り二階建て、切妻造り棧瓦葺き。一階は元生漆保管庫。

詰場は敷地南西にあり、煉瓦造り平屋建て、切妻造り。内部は主室と前室から成り、前室西側の出入り口は食堂に繋がる。



田島漆店 旧工場

(和歌山県教育委員会、2020撮影)



## (15) <sup>かんそう ご や</sup>たばこ乾燥小屋

所在地：紀の川市東三谷ほか

建設・設置時期：昭和 11 年(1936)

東三谷の西川友治家のたばこ乾燥小屋は昭和 11 年(1936)に建てられたもので、旧打田町では昭和 10 年代にたばこ農家が急増し、約 50 軒あったという。乾燥小屋は専売公社の補助で作られており、木造・切妻屋根・棧瓦葺き・内壁は土壁の真壁造り。乾燥室は吹き抜けで、燻す時に気密性を高めるため、入り口は二重になる。昭和 40 年代後半まで使用されていた。



たばこ乾燥小屋

(紀の川市提供、2023.2 撮影)

## (16) <sup>こおりどうふせいぞう こ や あととう</sup>凍豆腐製造小屋跡等

所在地：橋本市高野口町九重・山田・吉原

建設・設置時期：文化 4 年(1807)

南葛城山の周囲の谷筋には高野豆腐製造小屋の名残(水槽・石臼等)が点在する。製造者宅より山頂へ、牛を使って材料の大豆を運搬したルートが残し、周辺地区の家では記録資料・道具・商標ラベル等が残る。また、上りで凍豆腐の原材料の大豆を運搬し、下りで商品を運んだ紀和索道駅の脇にあった紀の川口駅(大阪高野鉄道株式会社)のプラットホームが残されている。



凍豆腐製造小屋跡

(橋本市提供、撮影時期不明)

## (17) <sup>じょちゅうぎくせいひんせいぞう</sup>除虫菊製品製造産業

所在地：有田市山田原ほか

建設・設置時期：明治 18 年(1885)

上山英一郎は明治 18 年(1885)に上山商店を設立し、翌明治 19 年(1886)に福沢諭吉の紹介で H. E. アモアから除虫菊の種子を入手した。

明治 21 年(1888)に、紀州工場の前身である上山英工場を建設し、明治 23 年(1890)に世界初の棒状蚊取り線香を発明。紀州工場は「蚊取り線香発祥の地」となった。

その後、明治 28 年(1895)に渦巻型の蚊取り線香を発明し、長時間化に成功。明治 32 年(1902)より販売を開始。この渦巻型は蚊取り線香の原型として現在まで受け継がれている。

大正 8 年(1919)に株式会社・大日本除虫粉に組織変更し、昭和 9 年(1920)にキンチョー

ル液を発売したことにより、翌昭和 10 年(1921)に社名を大日本除虫菊株式会社に変更。現在は紀州工場の建物と創業者の住宅が残る。

除虫菊の初期の製品は粉末の「のみとり粉」であったが、明治期は多数の製造家が個人経営で、大正期に会社経営に転換、製造工場が多数建設された。有田市周辺には、ライオンケミカル(有田市辻堂)、児玉兄弟商会(海南市下津町丁)、紀陽除虫菊(海南市下津町上)などの製造会社があり、一大生産地となっている。

なお、昭和 12 年(1937)に有田市山田原に除虫菊記念碑が建てられている。また、有田市須佐神社には昭和 17 年(1942)に上山英一郎のコンクリート像が建てられ、現在は銅像となっている。



金鳥紀州工場

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)



除虫菊記念碑

(有田市教育委員会提供、2024.2 撮影)

## (18) しょうゆせいぞうさんぎょう 醤油製造産業 国重伝建

所在地：湯浅町湯浅

建設・設置時期：江戸・明治

湯浅町湯浅は、紀伊水道の湯浅湾に面する町で、重要な港であるとともに熊野街道が貫く交通の要衝であった。また、有田地方の政治や経済の中心として、近世から近代にかけて近隣屈指の商工業都市に大きく発展した。「通り」と「小路」からなる近世の特徴的な地割とともに、近世から近代にかけての伝統的な町家や土蔵等をよく残し、重厚で落ち着いた町並みを形成している。その歴史的風致は価値が高く、平成 18 年(2006)に和歌山県内で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。当地は醤油醸造の発祥地とされる地でもあり、町には醤油醸造家が多く存在した。大型の醸造家建築としては、重要文化財(建造物)角長(加納家住宅)や、県指定有形文化財(建造物)旧栖原家住宅が挙げられる。

角長は、湯浅の歴史的建造物において醤油醸造を今日もおこなう唯一の醸造家である。北町通りに面して建ち並ぶその建物群には、江戸末期に創業した醤油醸造家が明治期以降

に事業を拡大していく中で、創業当初の建物群を核としながらも敷地や施設の拡張・増築を行ってきた過程が良く残る。角長の北側に位置する大仙堀は醤油を積み出した内港で、大正時代に有田鉄道の線路敷設のため一部が埋め立てられたものの、現在も当地の景観を形成する重要な要素である。

旧栖原家住宅は、明治7年(1874)に湯浅屈指の醤油醸造家であった久保家の6代目が、新たに事業を興す三男のために建造したもので、明治39年(1906)に栖原家が事業を引き継いだ。鍛冶町通りに面して主屋が建てられ、主屋背面側に文庫蔵と土蔵が並び建つ。かつては同敷地内に作業場、麹室、仕込蔵もあった。昭和57年まで醸造がなされた後、平成29年に湯浅町の所有となり、令和4年に保存修理と公開施設整備が完了した。特に規模の大きな主屋は全体に質が高く、作業空間であるツメバを設ける等、醤油醸造家らしい独特の造りである。

事業拡大に合わせて建物群を充実させていった角長と、当初から屋敷全体が醤油醸造を前提として計画された旧栖原家住宅はいずれも、当地における醤油醸造の歴史と建築を知る上で重要な住宅である。



北町通り角長付近  
(湯浅町教育委員会提供、2024.1撮影)



旧栖原家住宅  
(和歌山県教育委員会、2023.5撮影)



## (19) <sup>かいぼたんようかいがらさん ぶ ち</sup>貝卸用貝殻散布地

所在地：白浜町富田

建設・設置時期：明治～昭和

明治時代後期から昭和中期にかけて、貝ボタンの製造が盛んだった白浜町富田に、原料として繰り抜いた後の貝殻散布地がある。大正時代中期には、周辺に工場が立ち並び、従業員数は450人以上に達したという。

富田川と高瀬川が合流する河口部南東側には、廃棄する貝殻を焼いて漆喰の原料となる貝灰を作った径2mほどの石積みของ窯が残る。



貝卸用貝殻散布地  
(白浜町提供、2023.11撮影)

## (20) <sup>なかじまやま さいせきじょうあと</sup>中嶋山の採石場跡

所在地：田辺市神子浜二丁目

建設・設置時期：明治～昭和

田辺市神子浜・文里の丘陵地には上質の砂岩層があり、高さ20m、延長250mにわたる広大な石山となっている。中嶋山は当地では最も規模が大きく、上質の砥石や各種石材を大量に産出した。産出した石材は荒砥石のほか、石垣や護岸工事などに使用されたが、昭和40年頃には採石は終了した。現地には採石の痕跡が残されている。現地には、石取場跡碑が建てられている。



採石場  
(田辺市提供、2020.7撮影)

## (21) <sup>とうけいじんじゃ ば ば えんてい</sup>闘雞神社の馬場堰堤

所在地：田辺市東陽

建設・設置時期：近世～近代

闘雞神社境内地の北西側に馬場があり、本来は100mほど長く若宮神社まで続いていた。江戸時代から流鏝馬や競馬が行われており、昭和39年(1964)に危険防止のため中止された。

馬場の両側には土木工事用材として広く使用された積み石(かた石)を布積みした土居がある。落とし積みにする場所や三段積み上げる場所もあり、適宜加工した石が使われている。



闘雞神社の馬場堰堤  
(和歌山県教育委員会、2023.12撮影)

## 05 交通・運輸・通信業

### ＜傾向＞

中分類 05 交通・運輸・通信業は、小分類に分けると、01 鉄道、02 道路、03 橋梁、04 隧道、05 港湾、06 倉庫、07 灯台、08 運河、09 河川・堤防、10 飛行場、11 郵便、12 電信、13 電話、14 その他に分けられる。

鉄道は、駅舎や橋梁、トンネルなどの鉄道施設や車両などが確認されている。日本で鉄道が開業したのは、明治5年（1872）の新橋駅から横浜駅までが初めてである。県内に鉄道が初めて開通したのは、明治31年（1898）で紀和鉄道（現在の JR 西日本和歌山線）が奈良県の五条駅から橋本駅、和歌山駅から船戸駅までを開業させている。続いて、明治36年（1903）に南海鉄道（現在の南海電気鉄道）が大阪府の難波駅から和歌山駅を開業させた。駅舎は建て替えや無人化に伴う取り壊しなどにより、年々減少しているが、橋梁やトンネルは当初のまま使用されている事例が多い。車両は廃線後に公園などに移されて保存されているものが多くあり、有田川町の鉄道公園のように動態保存されているものもある。

道路は、開通記念碑や開通に尽力した人の頌徳碑、道標、路線などが確認されている。開通記念碑や開通に尽力した人の頌徳碑は各地で見られる。道標は各地に多く残されており、粉河寺や紀三井寺、道成寺、那智山といった有名な観光地のものが多い。道路元標は撤去されたり、設置場所が変わったりしているものも多いが、橋本市の道路元標は橋本市指定文化財になっている。

橋梁は、自動車橋や歩道橋、橋の設置を記念する顕彰碑などが確認されている。県内には紀ノ川や有田川、日高川、富田川、日置川、古座川、熊野川といった大きな川も多く、橋梁は多く確認されている。古座川町などの山間部では吊橋も多くみられる。人口が多い紀北地域を流れる紀ノ川には多くの橋梁が架けられているが、架け替えが進んでいる。

隧道は、自動車道や鉄道の橋の設置を記念する記念碑などが確認されている。県内最古のレンガ造トンネルと考えられる紀の川市の旧池田隧道や、和歌山市と海南市を結んでいた毛見隧道、鵬雲洞など、山が多い県土に道路や鉄道を通すために多くのトンネルが作られている。近年はバイパス道が整備され、廃道となり使われなくなったトンネルも多くある。また、コンクリートで補強工事を行う事例も見られ、往時の姿をとどめるトンネルが少なくなっている。

港湾は、発着場跡や渡し場跡、港湾施設などが確認されている。白浜町の棒杭は商品を積みだすための船を舫う石製の棒で、白良浜周辺で確認されている。港湾施設は改修されやすいためか、件数は多くないが、新宮市では調査が進んでおり、渡し場跡が多く確認されている。また、熊野川を運航していたプロペラ船発着場跡が確認されている。

倉庫は、運送会社の倉庫などが確認されている。老朽化や規模の問題などから、建て替えが進んでいるためか、ほとんど確認できていない。

灯台は、灯台や官舎などが確認されている。檜野埼灯台、潮岬灯台、友ヶ島灯台（明治23年に移動・改築されている）は、R. H. ブラントンにより設計された日本最初期の灯台で、

江戸条約及び大阪条約で整備された条約灯台である。3つの灯台は旧官舎も残されている。

運河は、陸地を掘って造られた水路のことであり、県内では確認されていない。

河川・堤防は、堤防や防波堤、建設や改修記念碑などが確認されている。和歌山県は紀伊山地を中心に雨が多く、洪水被害が多発していたことから、紀ノ川や各地の河川で堤防が築堤されている。河川堤防以外に海南市の黒江町石積防波堤や、串本町の古座川河口導流堤といった堤も確認されている。

飛行場は、旧滑走路や顕彰碑などが確認されている。県内では、白浜空港の旧滑走路や飛行船開発の先駆者である山田猪三郎の顕彰碑が確認されている。

郵便は、郵便局や貨物施設などが確認されている。郵便局は現役のものから、転用された局舎、主に国鉄による貨物荷物を扱った日本通運の施設などが確認されている。

電信は、木製電柱や村内放送設備などが確認されている。木製電柱は串本町だけで確認されているが、ほかの市町村では対象と考虑していなかっただけだと考えられる。

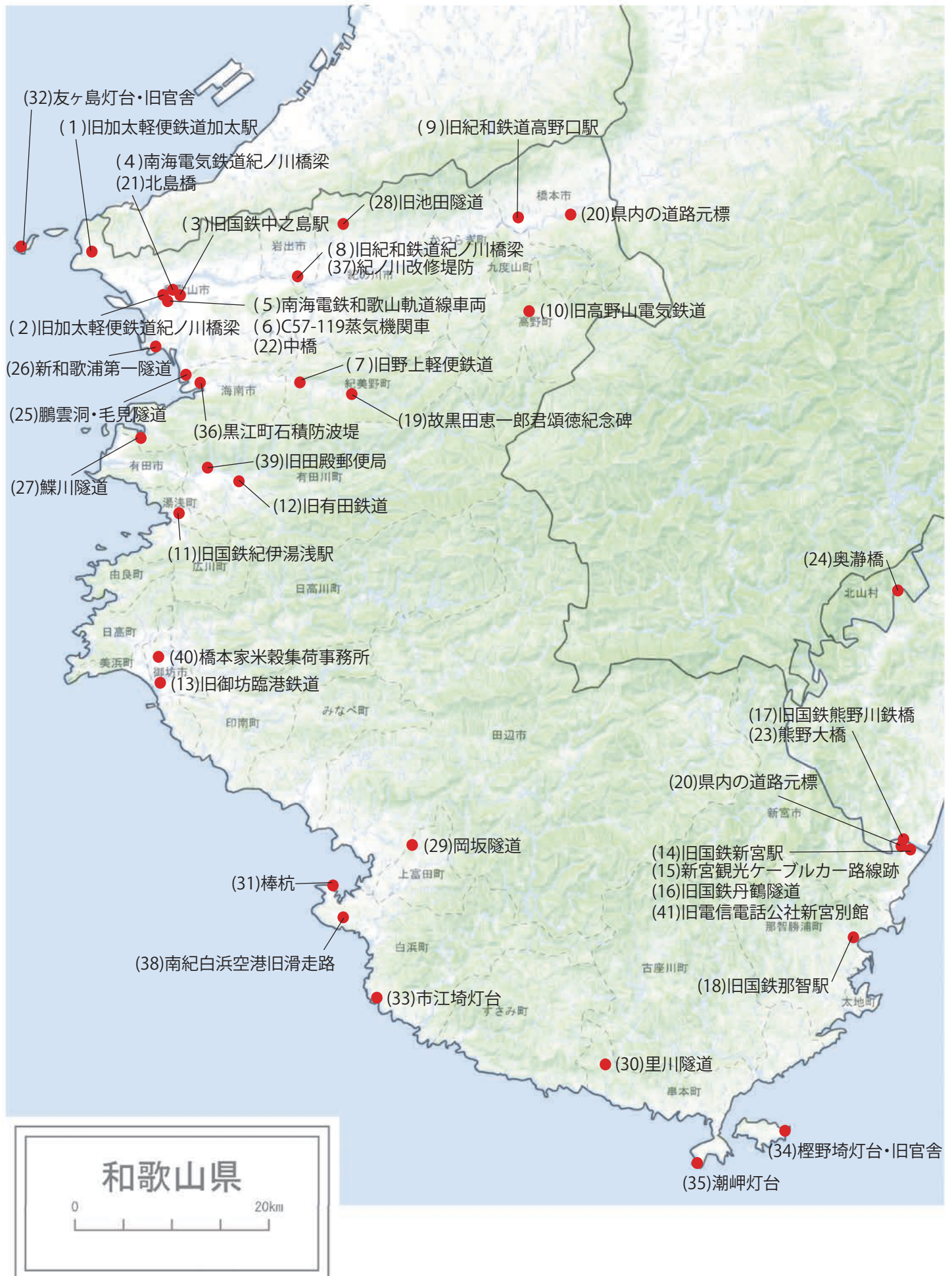
電話は、電報電話局などが確認されている。新宮市の西日本電信電話株式会社新宮別館は、電話交換のダイヤル自動化に伴い建てられ、今も建物が残されている。

その他は、索道跡や灯籠、境界石柱などが確認されている。高野町では、トラック輸送が盛んになるまで、索道により日用品や食品などの物資輸送が行われていた。

県内で確認されている交通・運輸・通信業の文化遺産数は 968 件、うち 01 鉄道が 240 件、02 道路が 161 件、03 橋梁が 361 件、04 隧道が 67 件、05 港湾が 30 件、06 倉庫が 1 件、07 灯台が 26 件、08 運河が 0 件、09 河川・堤防が 20 件、10 飛行場が 2 件、11 郵便が 36 件、12 電信が 8 件、13 電話が 3 件、14 その他が 13 件である。

海南市、みなべ町、田辺市、新宮市、古座川町、串本町では、この分野において他の市町村よりも所在確認が進んでいるため、件数が多くなっている。





05 交通・運輸・通信業関係の代表的な文化遺産 分布図

## (1) <sup>きゅうかだけいべんてつどう</sup>旧加太輕便鐵道 <sup>か だ え き</sup>加太駅

所在地：和歌山市加太

建設・設置時期：明治 45 年(1912)

南海電鉄加太線は淡路・四国方面と本州を結ぶ連絡要港としての役割を担っていた加太から和歌山市への連絡輸送を目的として、明治 45 年(1912)に加太輕便鐵道が開業した。駅舎は開業と同じ時期に建設された木造駅舎である。屋根はスレート瓦に葺替えられているが、開業当時から大きく変わらない洋風の外観で、煉瓦の基礎、木製のベンチ、上げ下げ窓などに開業当時の面影が見られる。

加太輕便鐵道は、大正 3 年(1914)に紀ノ川を渡る鐵道橋が完成し、和歌山市駅に乗り入れるまでは紀ノ川北岸にあった和歌山口駅(のちの北島駅)と加太を結ぶ路線であった。



旧加太輕便鐵道 加太駅

(和歌山県教育委員会、2024.1 撮影)

## (2) <sup>きゅうかだけいべんてつどう</sup>旧加太輕便鐵道 <sup>き の かわきょうりょう</sup>紀ノ川橋梁 <sup>か せい ば し</sup>(河西橋)

所在地：和歌山市西蔵前町

建設・設置時期：大正 3 年(1914)

大正 3 年(1914)に紀ノ川に架橋された加太輕便鐵道の鐵道橋である。昭和 7 年(1932)頃に紀ノ川の河川改修の際に橋の改修が行われている。昭和 17 年(1942)に住友金属和歌山製鐵所が沿線に開所したため、輸送力強化を目的に昭和 19 年(1944)に南海本線の紀ノ川橋梁を経由する支線が作られた。昭和 28 年(1953)の水害により、橋脚 1 本が洗掘のため傾き使用を休止し、南海本線の紀ノ川橋梁を経由する路線に変更され、鐵道橋としての役割を終えた。

その後、和歌山市へ譲渡され河西橋と名前を変え市道として利用されたが、その後も台風などにより流失と復旧を繰り返したが老朽化してきたため、平成 26 年(2014)から上流側に新たな橋の架け替え工事を行っており、令和 7 年度に完成予定となっている。



旧加太輕便鐵道 紀ノ川橋梁 (河西橋)

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)



### (3) きゅうこくてつ 旧国鉄 き い なかのしまえき 紀伊中ノ島駅

所在地：和歌山市中之島

建設・設置時期：昭和 7 年 (1932)

昭和 7 年 (1932) に阪和電気鉄道の阪和中之島駅として開業したのがこの駅の始まりである。その後、阪和天王寺駅と阪和東和歌山駅 (現在の和歌山駅) を結ぶ阪和電気鉄道と、五条駅と和歌山駅 (現在の紀和駅) を結ぶ国鉄和歌山線の乗換駅として、昭和 10 年 (1935) に国鉄が紀伊中ノ島駅を開業した。昭和 11 年 (1936) に阪和電気鉄道側の駅舎は撤去され、共同使用することとなった。現存する駅舎は当時のままであるが、和歌山線は現在の和歌山駅に乗り入れる形に変わりホームだけが残されている。阪和電気鉄道は昭和 19 年 (1944) に戦時買収で国有化され、現在は JR 西日本阪和線となっている。

阪和電気鉄道が建設したホームの屋根を支える鉄骨が、八幡製鉄所が操業を開始した当初に製造したレールを転用したものであることが発見され、平成 20 年 (2008) に産業遺産学会推薦産業遺産として認定された。



旧国鉄 紀伊中ノ島駅  
(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)

### (4) なんかいでんきてつどう 南海電気鉄道 き の かわきょうりょう 紀ノ川橋梁

所在地：和歌山市粟～宇治鉄砲場

建設・設置時期：明治 36 年 (1903)

南海本線の紀ノ川駅と和歌山市駅の間に位置する紀ノ川に架かる鉄道橋である。上り線の橋梁は、明治 36 年 (1903) に完成し、全長は 627.5 メートルで、当時としては日本最長の鉄道橋であった。下り線の橋梁は、大正 11 年 (1922) に完成し、日本の技術者が設計し、日本の工場で製造したもので、国産の鉄道橋としては最初期のものの一つである。

明治期と大正期のトラス橋が上下線に並ぶ現役の鉄道施設であり、橋梁技術の進展や維持管理の重要性を伝える貴重な土木遺産との評価を受け、令和 4 年 (2022) に土木学会選奨土木遺産に認定された。



南海電気鉄道 紀ノ川橋梁  
(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)



## (5) <sup>なんかいでんきてつどうわ か や ま き どうせん</sup>南海電気鉄道<sup>しやりょう</sup>和歌山軌道線 車両

所在地：和歌山市岡山丁（岡公園内）

建設・設置時期：昭和 38 年（1963）

南海電気鉄道和歌山軌道線は、和歌山市と海南市を結んでいた路面電車路線である。明治 42 年（1909）に和歌山水力電気が和歌山軌道線として開業し、経営母体の変遷と社名変更を繰り返した。和歌山市民の足や和歌浦への観光路線として多くの人に利用されていた。ただモータリゼーションの波には勝てず、昭和 46 年（1971）に廃止された。

廃線後はほとんどの車両が処分されたが、321 形が和歌山市の岡公園と海南市の室山団地ちびっこ広場に静態保存されている。



南海電気鉄道和歌山軌道線 車両  
（和歌山県教育委員会、2022.5 撮影）

## (6) <sup>じょうききかんしゃ</sup>C57-119 蒸気機関車

所在地：和歌山市岡山丁（岡公園内）

建設・設置時期：昭和 14 年（1939）

和歌山市の岡公園に静態保存されている。岡公園の蒸気機関車は昭和 14 年（1939）に三菱重工で作られ、関西、関東、九州で活躍した後、昭和 34 年（1959）に和歌山機関区に配属されて紀勢線と和歌山線で走り続け、昭和 47 年（1972）に役目を終えて岡公園に設置された。県内には、岡公園の車両以外に 6 両の蒸気機関車が保存されている。



C57-119 蒸気機関車  
（和歌山県教育委員会、2022.5 撮影）

## (7) <sup>きゅうのかみけいべんてつどう</sup>旧野上轻便鉄道<sup>きゅうのかみでんきてつどう</sup>（旧野上電気鉄道）

所在地：紀美野町下佐々～海南市日方

建設・設置時期：大正 5 年（1916）

大正 2 年（1913）に野上轻便鉄道が設立され、大正 5 年（1916）に海南市の日方駅から紀美野町の野上駅（後に紀伊野上駅に改称）間が開業した。昭和 3 年（1928）には、野上駅から生

石口駅（後に登山口駅に改称）までの区間が開業し、野上電気鉄道に社名変更された。沿線の特産品である棕櫚製のロープやたわしなどを、港のある日方町に運搬するのが主な収入源であった。平成6年(1994)に鉄道営業を終了し、会社を解散している。

廃線跡の一部は、遊歩道として整備され、駅跡は公園となっている。旧車両は下佐々駅跡付近の公園と医院に保存されている。



旧野上電気鉄道 龍光寺駅 線路跡  
(紀美野町提供、2009.1撮影)

## (8) <sup>きゅうきわてつどう</sup>旧紀和鉄道 <sup>きのかわきょうりょう</sup>紀ノ川橋梁(岩出鉄橋)

所在地：岩出市清水～船戸

建設・設置時期：明治33年(1900)

JR 和歌山線の岩出駅と船戸駅の間に位置する紀ノ川に架かる鉄道橋である。明治33年(1900)に開業した紀和鉄道の一部として建設され、昭和5年(1930)に下部工を再利用して今の鉄橋が架けられた。

紀和鉄道は、奈良県の五条駅から和歌山県の和歌山市駅(現在の紀和駅)までを結ぶ私設鉄道で、明治37年(1904)に関西鉄道に譲渡され、明治40年(1907)に鉄道国有法により国有化された。



紀ノ川橋梁(岩出鉄橋)  
(岩出市提供、2023.2撮影)

## (9) <sup>きゅうきわてつどう</sup>旧紀和鉄道 <sup>こうやぐちえき</sup>高野口駅

所在地：橋本市高野口町名倉

建設・設置時期：明治34年(1901)

明治34年(1901)に紀和鉄道の名倉駅として開業し、明治36年(1903)に高野口駅と改称している。

高野山への参詣客で賑わっていた名残か、やや大きく古い木造駅舎が残っており、開業当時のものと考えられる装飾が残る。車寄せの柱には「明治45年4月」と書かれた建物財産標が付けられている。



旧紀和鉄道 高野口駅  
(橋本市提供、2024.1撮影)



駅の近くには、江戸時代から続く商家の邸宅や、明治後期の木造三階建ての和風建築である葛城館など、レトロな町並みが見られる。

## (10) きゅうこうやさんでんきてつどう なんかいでんきてつどうこうさくせん 旧高野山電気鉄道(南海電気鉄道鋼索線)

所在地：高野町大字高野山

建設・設置時期：昭和3年(1928)

大正14年(1925)に高野山電気鉄道が設立され、昭和3年(1928)に高野下駅から神谷駅間の鉄道線が開業した。昭和4年(1929)には極楽橋駅まで延伸し、昭和5年(1930)には鋼索線として極楽橋駅から高野山駅間が開業し、高野山への参詣客や観光客の輸送に大きく貢献した。昭和22年(1944)に南海電気鉄道と改称し、鉄道線は高野線の一部となっている。鋼索線は通称「高野ケーブル」とも呼ばれており、距離が0.8kmと短いながらも高低差が328mあるため、最急勾配が568.2%となっている。

高野山駅は昭和3年(1928)に建てられた木造2階建ての駅舎である。洋風建築の外観で、頂上に水煙形の棟飾りを載せるなど寺院風の宝形造の屋根となっている。平成17年(2005)に国の登録有形文化財に登録された。



南海電気鉄道鋼索線 高野山駅  
(高野町教育委員会提供 2009.06 撮影)

## (11) きゅうこくてつ きいゆあさえき 旧国鉄 紀伊湯浅駅 国登録

所在地：湯浅町湯浅

建設・設置時期：昭和2年(1927)

湯浅の市街地南東に所在する、昭和2年の紀勢西線延伸に伴って建設された駅舎である。

昭和35年(1960)に北側1間半が増築され、屋根や内部窓口等が大きく改装された。近年まで現役の駅舎として地域に親しまれたが、令和2年に北隣に新築された施設に駅改札が移転した。令和3年に湯浅町の所有となり、令和5年には外観の復元や内部の改修が行われ、飲食物販施設として活用されている。本屋は木造平屋建て、半切妻造、鉄板菱葺きの南北棟である。外観は真壁造で、漆喰塗壁の腰をモルタル洗い



旧国鉄 紀伊湯浅駅  
(和歌山県教育委員会、2024.1 撮影)



出し仕上げとし、縦長の上げ下げ窓を並べた洋風建築である。内部はかつて南側を待合室、カウンターを挟んで北側を事務室や職員休憩室等として用いた。旧待合室は三面に設けた窓と高い天井により、広く明るい空間を確保している。また、両翼に吹き放しの庇を設け小荷物扱所を造り、事務室のホーム側には閉塞器室を突き出すなど、戦前期駅舎建築の特徴を備えている。

## (12) <sup>きゅうありだてつどう</sup>旧有田鉄道

所在地：有田川町大字明王寺～徳田

建設・設置時期：大正4年(1915)

沿線で栽培されていた有田みかんなどの農産品や木材を、積出港であった湯浅港まで運搬する目的で、大正2年(1913)に有田軽便鉄道が設立され、同年に有田鉄道に商号変更されている。大正4年(1915)に海岸駅から下津野駅間が開業し、翌年に金屋口駅まで延伸したが、昭和19年(1944)に海岸駅から藤並駅間が休止されている。みかん等の輸送は次第にトラック輸送への切り替えが進み、昭和59年(1984)に貨物営業は廃止され、大きな収入源を失うこととなった。その後、平成14年(2002)に鉄道路線を廃止し、現在はバス事業を行う会社として存続している。

廃線跡の一部は遊歩道として整備されており、金屋口駅は有田川町に譲渡され、有田川鉄道公園として整備され、金屋口駅の駅舎・ホームが現存している。約500m分の線路も残されており、有田鉄道で使われていた車両や紀州鉄道の車両などが動態保存されている。



旧有田鉄道 金屋口駅  
(有田川町提供、2024.1撮影)

## (13) <sup>きゅうごほうりんこうてつどう</sup> <sup>きしゅうてつどう</sup>旧御坊臨港鉄道(紀州鉄道)

所在地：御坊市湯川町小松原～名屋町

建設・設置時期：昭和6年(1931)

昭和3年(1928)に御坊臨港鉄道が設立され、昭和6年(1931)に御坊駅から御坊町駅(現在の紀伊御坊駅)間が開業し、その後、日高川駅まで延伸した。昭和30年(1955)には大和紡績和歌山工場までの専用線が開通し、昭和59年(1984)まで使用された。昭和48年(1973)に紀州鉄道に事業譲渡され、平成元年(1989)に西御坊駅から日高川駅が廃止され、現在は御坊駅か



旧御坊臨港鉄道 西御坊駅  
(御坊市提供、2023.2撮影)

ら西御坊駅までの 2.7 k m で営業している。

令和 5 年には、「紀州鉄道及び旧御坊臨港鉄道廃線部分」として土木学会選奨土木遺産に認定された。

#### (14) <sup>きゅうこくてつ</sup>旧国鉄 <sup>しんぐうえき</sup>新宮駅

所在地：新宮市徐福 1 丁目

建設・設置時期：昭和 27 年(1952)

大正 2 年(1913)に新宮鉄道の駅として、現在の駅よりも北側の位置に開業したのが始まりである。新宮鉄道は新宮駅と勝浦駅を結んでおり、昭和 9 年(1934)に国有化され紀勢中線(現在の紀勢本線)となった。昭和 13 年(1938)に現在の位置に移転するが、火災により焼失し、三代目の駅舎として現在の駅舎が昭和 27 年(1952)に完成した。国鉄民営化により、新宮駅は JR 西日本と JR 東海の境界駅になっている。



旧国鉄 新宮駅

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)

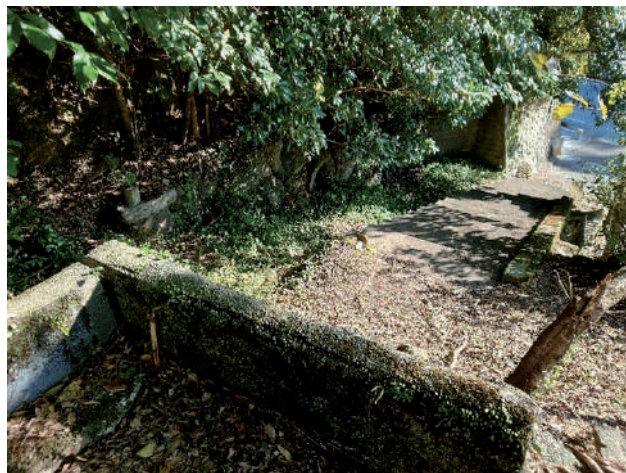
#### (15) <sup>しんぐうかんこう</sup>新宮観光ケーブルカー <sup>ろせんあと</sup>路線跡

所在地：新宮市丹鶴(新宮城跡)

建設・設置時期：昭和 29 年(1954)

昭和 30 年代に新宮城跡の鐘ノ丸(二ノ丸)にあった旅館「二の丸」のアクセス用として、丹鶴駅から二の丸駅間の約 100 m を単線で結んでいた。

旅館の利用者や観光客に利用されていたが、昭和 55 年(1980)に旅館が廃業したことから営業を休止し、平成 6 年(1994)に正式に廃止された。現在はホームや線路跡が残されている。



新宮観光ケーブルカー路線跡

(和歌山県教育委員会、2023.11 撮影)



## (16) きゅうこくてつ 旧国鉄 たんかくずいどう 丹鶴隧道

所在地：新宮市丹鶴

建設・設置時期：昭和 15 年(1940)

紀勢本線の新宮駅と鷺殿駅の間にあるトンネルで、熊野川の南岸にある。昭和 15 年(1940)に紀勢西線延伸工事として鉄道省岐阜工事が建設した。同年に紀勢西線が新宮駅まで延伸され、紀勢中線を編入している。トンネルは国指定史跡である新宮城跡がある丹鶴山を貫通している。



旧国鉄 丹鶴隧道

(和歌山県教育委員会、2023.11 撮影)

## (17) きゅうこくてつ 旧国鉄 くまのがわてつきょう 熊野川鉄橋

所在地：新宮市～三重県紀宝町

建設・設置時期：昭和 15 年(1940)

昭和 15 年(1940)の紀勢西線延伸工事に伴い熊野川河口にかけられた鉄道橋である。橋の構造は下路ワーレントラス橋で、橋長は 489m あり、ベントとポータブルクレーンにより架設された。橋の中心部付近が和歌山県と三重県の県境となっている。熊野川河口に一番近い橋であったが、河口側に新宮紀宝道路の熊野川河口大橋が架けられた。



旧国鉄 熊野川鉄橋

(和歌山県教育委員会、2023.11 撮影)

## (18) きゅうこくてつ 旧国鉄 なちえき 那智駅

所在地：那智勝浦町浜ノ宮

建設・設置時期：昭和 11 年(1936)

大正元年(1912)に新宮鉄道が勝浦駅から三輪崎駅までを開業させ、翌年に新宮駅まで延伸している。新宮鉄道は木材の運搬や、熊野速玉大社と熊野那智大社への参拝客輸送を目的にしていた。昭和 11 年(1936)に 2 代目の駅舎として建てられたものが残っている。



旧国鉄 那智駅

(那智勝浦町教育委員会提供、2024.2 撮影)



## (19) <sup>こくろ だけい いちろうくん</sup>故黒田恵一郎君 <sup>しょうとく きねん ひ</sup>頌徳記念碑

所在地：紀美野町大角

建設・設置時期：大正 11 年(1922)

明治 33 年(1900)に長谷毛原村(現在の紀美野町)の村長に選ばれた黒田恵一郎は現在の海南市と村を結ぶ道路建設に着手し、その後も私財をつぎ込み村内の道路を完成させ、海南までの村々に工事を呼びかけ、息子の儀助も資金を寄付するなどして大正 9 年(1920)に完成した。道路は現在の国道 370 号線となっており、黒田親子の偉業をたたえ、大正 11～14 年(1922～1924)の期間に、沿線 3 ヶ所で記念碑が建てられた。



黒田恵一郎彰徳碑

(和歌山県教育委員会、2022.6 撮影)

## (20) <sup>けんない どうろげんびょう</sup>県内の道路元標

所在地：橋本市橋本一丁目ほか

建設・設置時期：大正

道路元標は、大正 8 年(1919)に制定された旧道路法施行令で規定されたもので、各市町村の中心部などに設置が進められたものである。設置されなかったところや、撤去されたり、設置場所が変わったところも多いが、県内では 18 ヶ所に残されている。橋本町(現在の橋本市)の道路元標は、国道 24 号線の拡幅整備により撤去された後に紀陽銀行橋本支店前に再設置され、平成 9 年(1997)に橋本市指定文化財に指定されている。



旧橋本町道路元標

(橋本市提供、2024.1 撮影)

## (21) <sup>きたじまばし</sup>北島橋

所在地：和歌山市北島

建設・設置時期：昭和 11 年(1936)

県道 15 号線の紀ノ川に架かる道路橋である。元々は国道 26 号線の一部であったが、バイパス道路が完成し、県道 15 号線となった。明治 7 年(1874)に木造橋が架橋され、何度か修繕と架け替えが行われたが、昭和 11 年(1936)に現在の曲弦下路ワーレントラス橋が架橋された。ト



北島橋

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)

ラス材には大阪鐵工所政策のプレートが残されている。昭和 63 年(1988)に北詰部分の道路拡幅が行われている。

## (22) <sup>なかはし</sup>中橋

所在地：和歌山市十二番丁・福町

建設・設置時期：昭和 28 年(1953)

和歌山市中心部を流れる市堀川に架かる道路橋である。1980 年代に英国製の鉄道用トラス橋として東海道線上り京都桂川に架かっていたが、大正元年には徳島市と小松島市の間を流れる勝浦川に移設され、昭和 28 年(1953)に徳島県から移設して道路橋に改造したものである。同じ和歌山市内の大門川に架けられている新興橋も同じ構造の橋である。



中橋

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)

## (23) <sup>くまのおおはし</sup>熊野大橋

所在地：新宮市～紀宝町

建設・設置時期：昭和 10 年(1935)

昭和 10 年(1935)に開通した熊野川に架かる橋長 418.5m の道路橋である。

国道 42 号線の一部であったが、すぐ上流に新熊野大橋が昭和 54 年(1979)に架橋され、国道 42 号線は新熊野大橋を通ることとなった。現在は、三重県側から和歌山県側への一方通行の道路となっている。



熊野大橋（手前）、新熊野大橋（奥）

(和歌山県教育委員会、2023.11 撮影)

## (24) <sup>おくろばし</sup>奥瀬橋

所在地：北山村竹原

建設・設置時期：昭和 35 年(1960)

北山川に架かる和歌山県東牟婁郡北山村と三重県熊野市を結ぶ道路橋である。昭和 35 年(1960)に林道橋として架けられ、現在でも生活道路として利用されている。昔は渡し船しか三重県側にわたる手段がなかったが、昭和 40 年(1965)に竣工した七色ダムと小森ダムの完成前後に、資材運搬用やダム補償による村道の延長改修により、6ヶ所の橋が急速に整備され、総称として北山六橋と呼ばれている。



奥瀬橋

(北山村提供、2023.3 撮影)



## (25) <sup>ほううんどう</sup> 鵬雲洞・<sup>けみずいどう</sup> 毛見隧道

所在地：和歌山市毛見

建設・設置時期：鵬雲洞：明治 44 年(1911)・毛見隧道：大正 14 年(1925)

和歌山市と海南市の境にある船尾山を貫くトンネルである。鵬雲洞は、明治 44 年(1911)に和歌山水力電気により掘削され、和歌山市駅と海南駅を結ぶ和歌山軌道線(後の南海電鉄和歌山軌道線)が通っていた。廃線後は遊歩道(紀三井寺緑地)として活用されている。

毛見隧道は、大正 14 年(1925)に県道として開通し、その後、国道 42 号線となる。ポータル(入口)は和歌山県で多く産出する紀州青石と花崗岩で作られており、南側の坑門には「乾坤純和」の銘盤がつけられている。鵬雲洞と毛見隧道の間には国道 42 号線の新毛見トンネルが通っており、下り線が昭和 46 年(1971)に上り線が平成 6 年(1994)に開通した。



鵬雲洞

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)



毛見隧道

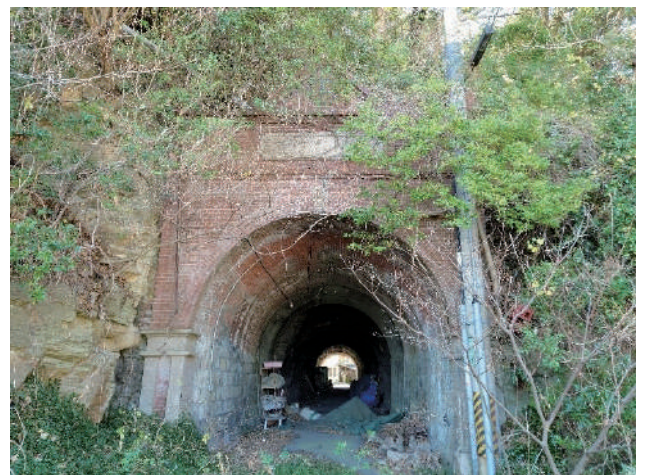
(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)

## (26) <sup>しんわかうらだいいちずいどう</sup> 新和歌浦第一隧道

所在地：和歌山市新和歌の浦

建設・設置時期：明治 44 年(1911)

明治時代に新和歌浦の観光開発に尽力した森田庄兵衛によって明治 44 年(1911)に建設された。古くから景勝地として栄えていた和歌の浦から新たに観光開発を行っている新和歌浦への道路の建設に伴い、和歌浦漁港の西側にトンネルが掘られた。トンネルはレンガ造りで、ポータルにつけられた破風には森田庄兵衛の家紋である丸十字が入っている。また、西に約 350m の場所には新和歌浦第二隧道が残されている。現在は、新和歌浦第一隧道は使われておらず、北側に新和歌浦隧道が昭和 46 年(1971)に作られ、県道 151 号が通っている。



新和歌浦第一隧道

(和歌山県教育委員会、2024.1 撮影)



## (27) <sup>かれがわずいどう</sup> 鰐川隧道

所在地：海南市下津町鰐川

建設・設置時期：大正 8 年(1919)

国道 42 号線鰐川トンネルの南約 180m の場所にあり、大正 8 年(1919)に旧県道に造られたレンガ造りのトンネルである。長さ 16.32m、幅 5.40m、トンネル抗口はイギリス積、アーチ部は長手積で、坑道はイギリス積となっている。旧熊野街道(熊野古道)がここより東側の山中を通っており、車両の通行できない道であったため、新しいルートとしてこの隧道が造られた。



鰐川隧道

(海南市提供、2013.12 撮影)

## (28) <sup>きゅういけだずいどう</sup> 旧池田隧道 市史跡

所在地：紀の川市重行～神通

建設・設置時期：明治 19 年(1886)

明治 17 年(1884)に起工し、明治 19 年(1886)に竣工した県内最古のレンガ造トンネルである。設計監理は、紀伊藩の留学生として陸奥宗光とともに渡米し、最新技術を持ち帰った、高橋市右エ門が行った。県道 62 号が通っていたが、昭和 49 年(1974)に現在の池田隧道が開通したため、廃道となった。昭和 50 年(1975)に紀の川市指定史跡となった。



旧池田隧道

(和歌山県教育委員会、2022.1 撮影)

## (29) <sup>おかさかずいどう</sup> 岡阪隧道

所在地：上富田町岡

建設・設置時期：大正 4 年(1915)

田辺市と上富田町を結ぶトンネルで大正 4 年(1915)に完成した。延長約 65m、幅 2.7m、高さ約 4.5m でポータルはレンガ積、側面素掘りであったが、現在はコンクリートが塗られている。扁額には「大正二年施工」と「工事受負人 堀儀太郎」と書かれている。県道 35 号が通っていたが、近くに新岡坂トンネルが平成 8 年(1996)作られルートが変わっている。



岡阪隧道

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)

さがわすいどう  
(30) 里川隧道

所在地：串本町里川

建設・設置時期：大正 3 年(1914)頃

竣工時期には諸説あり大正 3 年(1914)から昭和 6 年(1931)の間に建設された。延長 86m、幅員 4.2m、高さ 4m で、ポータルはレンガと石積みである。県道 39 号が通っていたが、平成 5 年(1993)に新里川トンネルが開通し廃道となった。



里川隧道

(串本町教育委員会提供、2024.1 撮影)

ぼうぐい  
(31) 棒杭

所在地：白浜町沿岸部(白良浜等)

建設・設置時期：大正～昭和

白浜町内の海岸や海の中に残されている石製の杭で、明治から大正にかけて設置された。棒杭は白砂を運ぶ機帆船を係留するためのもので、白良浜の白い砂には石英砂(珪砂)が多く含まれており、ガラスの原料としてガラス工場などに売られていた。白砂の積み出しは、明治 21 年(1888)から大正 12 年(1923)まで行われていたが、砂が少なくなったことから、オーストラリアから輸入された砂を投入する養浜事業が行われた。



棒杭

(白浜町提供、2014.9 撮影)

ともがしまとうだい きゅうかんしゃ  
(32) 友ヶ島灯台・旧官舎 国登録

所在地：和歌山市友ヶ島

建設・設置時期：明治 23 年(1890)

友ヶ島灯台は、紀淡海峡にある和歌山市友ヶ島の西端に所在する現役の灯台である。灯台の開設は明治 5 年(1872)で、日本の洋式灯台で最も早い時期に点灯された灯台の一つである。英国より来日した土木技師 R. H. ブラントンが手がけたものである。竣工後、明治 22 年(1889)から 23 年にかけて旧陸軍の要塞建設のため東に 20m 移設したとされる。



友ヶ島灯台(右)・旧官舎(左)

(和歌山県教育委員会、2022.7 撮影)



灯塔は石造で、石造灯塔の上部に鋼製の灯室を載せる。灯塔内部には階段が設けられる。灯塔の周りには半円形の付属屋を造り、入口は端部2ヶ所に開ける。なお現状の灯塔の形状は古図とは若干異なっており、明治22年(1889)の移設時に改変されている可能性がある。

旧官舎は石造、平屋建てで、灯塔に並んで建つ。使用されなくなって荒廃していたものを、海上保安庁により昭和54年(1979)に復旧修理されている。ベランダを備える外観で、ブラントンによる当初のものではなく、明治22年(1889)の移築時に新築された可能性も指摘されている。

### (33) <sup>いちえさきとうだい</sup>市江崎灯台

所在地：白浜町市江

建設・設置時期：大正10年(1921)

八角形のコンクリート造りの白い灯塔で、塔の高さは11m、平均水面から灯火までの高さは95mある。灯塔には平屋の付属室が接続する。大正10年(1921)10月に初点灯し、紀伊水道を航行する船舶の道しるべとなっている。昭和52年(1977)に無人化している。周辺には日晷儀(にっきぎ)台や旗竿の支線錨塊が残されている。



市江崎灯台

(白浜町提供、2017.8撮影)

### (34) <sup>かしのさきとうだい</sup> <sup>きゅうかんしゃ</sup>檜野崎灯台・旧官舎 国史跡・国登録

所在地：串本町檜野

建設・設置時期：明治3年(1870)

檜野崎灯台は、東牟婁郡串本町の紀伊大島東端の檜野崎に所在する現役の灯台である。外国との条約による日本8灯台のうちの一つで、R. H. ブラントンによる灯台施設としては潮岬灯台、神子島灯台と共に日本で最初期に着工されたものである。明治23年(1890)にはこの沖合でトルコ軍艦エルトゥールル号が遭難し、その救出の舞台ともなった灯台である。

灯塔は、完成時は江崎灯台(明石海峡)と同形で、低い円形の石造灯塔に灯室を載せ、灯塔の周囲に半円形平面の石造付属室を付けたものであった。昭和29年(1954)に鉄筋コンクリート造で灯塔が継ぎ足され現状の高さとなった。また平成14年(2002)には灯台に並んで見学用の外部階段が取り付けられた。灯塔下部には井戸状に深い穴が掘られており、灯器を回転させる動力を発生する錘が垂下出来るように造られている。

官舎は灯塔近くに直交して建つ、石造、平屋建てである。石材は対岸の古座川中流域の宇津木の石材を用いる。串本町が所有しており、平成22年(2010)には修理がなされ、当初の仕様を残す方針で復原・復旧された。建具には木目塗りも残されており、建設時の官舎の姿を良く知ることが出来る。





檜野埼灯台

(串本町提供、撮影時期不明)



檜野埼灯台旧官舎

(和歌山県教育委員会、2021.10 撮影)

### (35) しおのみさきとうだい きゅうかんしゃ 潮岬灯台・旧官舎

所在地：串本町潮岬

建設・設置時期：明治 11 年(1878)

潮岬灯台は、東牟婁郡串本町潮岬に所在する本州最南端の現役の灯台である。灯台の開設は明治 3 年(1870)で、仮灯台の段階を経て明治 6 年(1873)に木造灯台が正式点灯した。官舎・倉庫は開設当時のものであるが、現在の灯塔は二代目のもので明治 11 年(1878)に石造で改めて建設され、ブラントンの後任のマクリッチが建設の中心となった。灯塔の石造部分の高さは地上より約 18m で、内部は石造螺旋階段で上る。頂部には鋼製フレームにガラス貼りの灯室が載る。灯室には灯器やレンズを地震から守る免震装置が残るのは珍しい。平屋建ての灯塔基壇部は中央に入口を設け洋風門形として飾る。基壇部内部は倉庫などを設ける。

官舎は灯塔と向かい合って建つ、石造、平屋建てである。ブラントンによる灯台官舎としては 2 番目に竣工したもので、竣工時の居住部の平面は同時期に完成した檜野埼灯台官舎と概ね同様のものである。戦後になって風除室が設けられたり、内部が合板張りにされたり、間仕切りも変更されているが、主要な構造体は良く残る。



潮岬灯台(奥)、旧官舎(手前)

(串本町教育委員会提供、2024.1 撮影)

くろ えちょういしづみぼうはてい  
(36) 黒江町石積防波堤

所在地：海南市黒江

建設・設置時期：大正 7 年(1918)

大正 5 年(1916)に起工し、大正 7 年(1918)に完成した。海南市黒江は紀州漆器と呼ばれる漆器の生産地であり、黒江の港は漆器の積み出しや物資の運搬に欠かせない重要な拠点であったため、緑泥片岩によって石積防波堤が築堤された。現在は約 270m が残されているが、周辺で埋立てが盛んに行われたことから、奥まった場所にある。



黒江町石積防波堤

(海南市教育委員会提供、2013.3 撮影)

き の かわかいしゅうていぼう  
(37) 紀ノ川改修堤防

所在地：和歌山市～橋本市

建設・設置時期：大正 12 年(1923)～

大正 6 年(1917)の大洪水を契機として、大正 12 年(1923)に紀の川改修計画が策定され、国による改修事業に着手し、昭和 24 年(1949)に完成した。紀の川河口から現岩出市域までの約 20km を対象として堤防整備や河川内の掘削等が実施された。昭和 25 年(1950)には、岩出市から橋本市に至る約 30km 及び貴志川の合流点から約 6km の区間を追加して改修を行った。紀の川市桃山町には昭和 36 年(1961)に建てられた築堤記念碑が残っている。



紀ノ川築堤記念碑

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)

なん きしらはまこうこうきゅうかつそう ろ  
(38) 南紀白浜空港旧滑走路

所在地：白浜町

建設・設置時期：昭和 43 年(1968)

昭和 43 年(1968)に 1200m の滑走路を持つ空港として開港した。プロペラ機のための運航で、東京、大阪、名古屋とを結んでいた。滑走路が短くジェット機が就航できないことや、地形の関係で拡張が困難であることなどから、平成 8 年(1996)に東側の隣接地に 1800m の滑走路(後に 2000m に延長)を持つ新たな空港が開港し



南紀白浜空港 旧滑走路

(白浜町提供、2020.9 撮影)



た。旧滑走路等の施設は残されており、イベント会場や駐車場として利用されている。

### (39) <sup>きゅうたどのゆうびんきょく</sup>旧田殿郵便局

所在地：有田川町井口

建設・設置時期：昭和 16 年(1941)

昭和 16 年(1941)に田殿郵便局として開局した。建物の南側には国道 480 号が通り、2 階が道路と同じ高さになっているため、出入口と窓口が作られている。昭和 49 年(1974)まで局舎として利用されていたが、現在は西側の新しい建物に郵便局は移転している。



旧田殿郵便局

(有田川町提供、2024.1 撮影)

### (40) <sup>はしもと け きゅうべいこくしゅうかじ むしよ きゅうゆかわゆうびんきょく</sup>橋本家旧米穀集荷事務所(旧湯川郵便局) 国登録

所在地：御坊市湯川町小松原

建設・設置時期：大正後期

当地方の大地主であった橋本家が小作米の集荷を行った事務所である。大正後期に建設されたと伝わり、戦後は湯川郵便局の局舎として使用された。

木造平屋建て、寄棟造、瓦葺きで旧熊野街道に面して建つ。外壁は下見板張りにペンキ塗りとし、上げ下げ窓を開いた洋風建築である。内部は東西に洋室を二室並べ、西側は玄関を兼ねた前室、東側は事務室である。



橋本家旧米穀集荷事務所

(和歌山県教育委員会、2020 撮影)

### (41) <sup>きゅうにほんでんしんでん わこうしゃしんぐうべっかん</sup>旧日本電信電話公社新宮別館

所在地：新宮市下本町

建設・設置時期：昭和 36 年(1961)

和歌山県内で 2 番目にダイヤル自動化されることに伴い、新宮城跡の南西側に昭和 36 年(1961)に建てられた。以前は伊佐田池という池があり、その後に新宮消防署が建っていた跡地に建てられていることから、基礎が深い岩盤まで届く強固な工法を用いて建てられた。現在も NTT 西日本が利用している。



旧日本電信電話公社新宮別館

(和歌山県教育委員会、2023.11 撮影)



## 06 商業・金融業

### <傾向>

中分類 06 商業・金融業は、小分類に分けると、01 会所、02 商館、03 商店・百貨店、04 市場、05 会社、06 金融機関、07 その他に分けられる。

会所は、商人組合の事務所や取引所のことであり、東京、大阪等の大都市ではみられるが、県内では確認されていない。

商館は、居留地貿易の中心で、外国人の宿舎と店舗・倉庫を兼ねたものであり、神奈川・兵庫・長崎等の外国人居留地が存在する場所にはみられるが、県内では確認されていない。

商店・百貨店は、明治以降に郵便や電信といった情報通信網の整備、銀行設立の増加による金融の発展、港湾や道路整備といった流通の発展により、商品流通が活発化した。県内では高野山や、湯浅町の伝統的建造物群保存地区などで、大正から昭和初期の商店が確認されている。

市場は、古くから市として存在しており、魚市や青物市などが各地に設けられていた。明治以降は市場施設・荷受機関・仲買人というように分化して、競売制度が採用されていく。県内では昭和 31 年に和歌山市中央市場が開設され、県内各地にも地方卸売市場が開設されているが、移転や建替えなどが進んだためか、県内では確認されていない。

会社は、営利を目的とする共同出資企業である。明治 11 年（1878）に会社の設立が各府県長官の裁量に委ねられたことから、会社の設立が活発化していく。県内では国登録有形文化財となっている旧西本組本社ビル（西本ビル）などが確認されているが、空襲などによる焼失や、開発などにより取り壊された建物が多いのか、確認された件数は少なかった。

金融機関は、明治 5 年（1872）に国立銀行条例が制定され、翌年に渋沢栄一により第一国立銀行が設立されている。明治 9 年（1876）に国立銀行条例が全部改正され、国立銀行設立が増加していく。和歌山県では、明治 11 年（1878）に第四十三国立銀行が設立され、ている。第四十三国立銀行は昭和 5 年（1930）に紀伊貯蓄銀行、紀陽銀行、三十四銀行、大同銀行、田辺銀行、六十八銀行の 6 行に分割買収されている。県に本拠を置く唯一の銀行である紀陽銀行は、明治 28 年（1895）に紀陽貯蓄銀行として設立された。本店の建物は昭和 29 年（1954）に建てられ、現在も本店として使われている。県内各地に支店等の建物が確認されているが、その多くは別の用途に使われているものが多い。特に新宮市では元支店であった建物が多く確認されている。

県内で確認されている商業・金融業の文化遺産数は 48 件、うち 01 会所が 0 件、02 商館が 0 件、03 商店・百貨店が 22 件、04 市場が 0 件、05 会社が 5 件、06 金融機関が 19 件、07 その他が 2 件である。



06 商業・金融業関係の代表的な文化遺産 分布図



## (1) <sup>べっかん</sup>みそや別館 国登録

所在地：橋本市橋本

建設・設置時期：明治 17 年(1884)

橋本市橋本は高野山の客僧木食應其により町建てされた由緒を持つ町で、街道や水運の要衝であるとともに、商業の奨励策により近世に近隣屈指の町場として発展し、近代になっても、その発展は続いた。

みそやは谷口家が営む呉服店の商号である。別館とは、登録有形文化財の登録時に本店が別の場所にあったことによるもので、現在はみそや呉服店の本店である。旧大和街道に面して店舗兼住宅の屋敷が構えられ、正面側に主屋、その背面側に上蔵・離れ座敷や下蔵が建てられている。主屋は木造 2 階建て、切妻造、棧瓦葺きの町家建築である。棟札より明治 17 年(1884)の建設であること、大工棟梁が東家(橋本市)と西京(京都市)の大工による共作であることが知られる。主屋の屋根を上から見ると、コ字形をした独特の造りになっており、通り土間中央上部に屋根をかけない。これは京の商家の造りである「表屋造」を模したもので、和歌山では極めて珍しいものである。また、通し柱構造や軒の釣底など、京町家らしい特徴を備えている。



みそや別館

(橋本市提供、2018.1 撮影)

## (2) <sup>じゅずやしるべえてんぼ</sup>珠数屋四郎兵衛店舗 国登録

所在地：高野町大字高野山

建設・設置時期：昭和 8 年(1933)

高野山の主要な通りであり、土産物屋や飲食店が並ぶ小田原通りの中心部に位置する。創業は江戸元禄の頃と伝えられ、当初は寺の一角で数珠を商っていたという。

現在の建物は、弘法大師入定 1100 年御遠忌大法会に合わせその前年の昭和 8 年(1933)に建て替えられたものである。棟梁は地元大工の阪田平造と伝える。木造 2 階建て、入母屋造、銅板葺きで、正面 2 階中央に唐破風を設け、外壁は漆喰塗りとする。おおよそ竣工時の姿を現在まで遺している。内部は 1 階の道路側にあた



珠数屋四郎兵衛店舗

(高野町教育委員会提供、2017.04 撮影)



る北側を店舗、南側を住居とする。2階は幅1間の広い中廊下を挟んで南北に室を配置する。北側は33畳と22畳の二間続きの大広間とし、観光客の休憩室として使用している。南側は西から二間続きの和室や、応接室として用いられた洋室等を並べる。洋室は、片開戸や内部欄間等の要所にステンドグラスを配し、この建築では唯一洋風意匠を取り入れた部屋である。この建築は商店名とともによく知られ、地域の人々から広く親しまれている。

### (3) <sup>とらやつきょく</sup> 虎屋薬局

所在地：高野町大字高野山

建設・設置時期：明治24年(1891)

虎屋薬局は高野山の市街地中心部の目抜き通りの小田原通りを千手院橋から東に100mほどの位置にある薬局店で、高野山名物の錠薬「陀羅尼助」の販売で知られる。

高野山は全国より多くの参詣者を集めていたこともあり、寺院以外にも多数の商家が近世には存在し、町家や長屋が建ち並び市街地を形成していた。明治5年(1872)には女人禁制が解かれたこともあり、近代に大きく市街地が発展し、開創記念年の機会などにより、街路も整えられた。

虎屋薬局の店舗は、木造2階建て、切妻造り鉄板葺きの町家で、明治23年(1890)の火災後再建の、明治24年(1891)建設とされ、高野山の町家の中では古いものの一つである。店舗の背面側には土蔵が建つ。店舗の1階正面は全面を雨戸構えとした開放的な構えで、内部は店舗に造る。2階正面は真壁造りに漆喰塗り壁とし、格子窓と虫籠窓を開ける。西側の軒下には松菱模様の袖うだつを設けるのが特徴的である。建ちが比較的低く、建設年代の古さが現れている。



虎屋薬局

(高野町教育委員会提供、2017.10撮影)

### (4) <sup>きゅううらせいべえしょうてん</sup> 旧浦清兵衛商店 国登録

所在地：広川町広

建設・設置時期：明治後期

旧広村中心部の四つ辻の角地に所在する。浦家がかつて営んでいた酒蔵の旧店舗である。浦家は酒造業のほか、代々山林経営、肥料業、石灰製造業や海運業等を営んだ。

建物は2階建、入母屋造、瓦葺きで、明治後期に建設された。外壁は黒漆喰塗で、2階は縦板を張る伝統的な外観である。1階の座敷は良材を用いた上質な部屋であり、2階は街路に向



旧浦清兵衛商店

(広川町提供、2022.6撮影)

けて大きな格子窓を二面に開く。

広川町が令和元年に建物を公有化し、改修を経て現在は古民家コワーキング施設として活用されている。令和5年に国の登録有形文化財に登録された。

## (5) <sup>きゅうにしもとぐみほんしゃ</sup>旧西本組本社ビル(<sup>にしもと</sup>西本ビル) 国登録

所在地：和歌山市小野町

建設・設置時期：昭和2年(1927)

和歌山市中心部の西側に位置しており、第二次世界大戦の空襲で焼け野原となった和歌山市内に残った数少ない近代洋風建築の一つである。

建物は鉄筋コンクリート造りの3階建て、1階部分は花崗岩の化粧張り、2階から上は茶色のテラコッタ様のタイル張りがされている。玄関部にはペディメントをイオニア式柱で支えたポーチコがとりつく。立面のデザインと細部の装飾はよく均整がとれている。設計は早大出身で西本家の縁戚であり、西本組に勤めた岩井信一。

西本組は、明治20年(1887)に西本健次郎によって和歌山市で創業し、昭和20年(1945)に三井建設工業株式会社に社名変更し、三井建設を経て現在は三井住友建設となっている。

三井建設が和歌山から撤退後に西本組の創業家である西本家が保存を目的に買い戻し、現在は事務所や店舗として活用されている。平成12年(2000)に国の登録有形文化財に登録された。



旧西本組本社ビル(西本ビル)  
(和歌山県教育委員会、2024.1撮影)

## (6) <sup>うらけじゅうたく</sup>浦家住宅 国登録

所在地：広川町広

建設・設置時期：江戸末期～昭和前期

旧広村の中心部に所在し、現在は主屋の一部を改装して浦家が経営する会社の事務所として使用している。浦家は代々山林経営、肥料業、石灰製造業や海運業等を営み、昭和29年(1954)に中央工業株式会社を設立し現在に至る。主屋は主体部と座敷部からなり、南北に走る通りに東面して建つ。木造2階建て、入母屋造、瓦葺きの主体部と、その北側に平屋建て、切妻造、



浦家住宅 主屋  
(和歌山県教育委員会、2021撮影)

瓦葺きの座敷部が取り付く。小屋裏まで吹抜けのホール(旧台所)や、良材を駆使した座敷は見応えがある。隠居屋は建ちの高い2階建ての座敷で、平屋建ての風呂が付属する。北東二面の外壁は定規筋を設けた大壁とし、重厚な外観を造る。内部は各階に2室ずつ座敷を設けた上質な造りである。文庫蔵は、隠居屋の縁側より接続し、妻入の正面に庇を設けた土蔵で、正面入口を観音開戸とし、格式高く造る。前蔵・中蔵及び櫓蔵は、3つの蔵が一体となったL字型の土蔵で、正面側を海鼠壁で飾った外観は、文庫蔵と共に屋敷の景観を引き締めている。

## (7) <sup>きようぎんこうほんてん</sup>紀陽銀行本店

所在地：和歌山市本町

建設・設置時期：昭和29年(1954)

和歌山市中心部の本町に位置しており、周辺には銀行や証券会社などが集まっている。昭和29年(1954)に紀陽銀行の本店として竣工したこの建物は、鉄筋コンクリート造りの地上5階、地下1階で、現在も本店として使われている。

建物の外観は、5分割されたフレームに中央の4本の円柱が支えるシンプルな構成である。タイル貼りの壁面やガラスブロックの開口部、2階上部のレリーフなど、細部にわたってデザインが施されている。レリーフは、和歌山県出身の彫刻家保田龍門が制作したもので、林業・漁業・柑橘・繊維という和歌山県の主要産業を表現している。

紀陽銀行は、明治28年(1895)に紀陽貯蓄銀行として設立され、大正11年(1922)に普通銀行に転換し株式会社紀陽銀行となり、平成18年(2006)に和歌山銀行と経営統合し、現在、和歌山県内に本拠を置く唯一の銀行となっている。



紀陽銀行本店

(和歌山県教育委員会、2024.2撮影)



保田龍門作のレリーフ「繊維」

(和歌山県教育委員会、2024.2撮影)



## (8) <sup>きゅういとぎんこうほんてん</sup>旧伊都銀行本店

所在地：かつらぎ町大字妙寺

建設・設置時期：明治

伊都銀行の本店として旧大和街道沿いに建てられ、木造2階建、瓦葺、漆喰塗の近代和風建築である。

伊都銀行は、明治29年(1896)に設立され、大正13年(1924)に伊那合同銀行となり、平成に入って和歌山県商工信用組合になるが、平成11年(1999)に紀陽銀行に事業譲渡し解散する。

現在は閉鎖されているが建物外観はほぼ当時のままである。



旧伊都銀行本店  
(かつらぎ町提供、撮影時期不明)

## (9) <sup>きゅうゆあさしんようきんこ</sup>旧湯浅信用金庫

所在地：湯浅町湯浅

建設・設置時期：昭和12年(1937)

昭和12年(1937)に湯浅信用金庫の本店として建てられた、鉄筋コンクリート造2階建ての建物である。

湯浅信用金庫は、大正11年(1922)に湯浅信用組合として設立され、その後湯浅信用金庫になり、平成20年(2008)にきのくに信用金庫と合併した。現在は閉鎖されており、昭和58年(1983)に住居として改修されている。



旧湯浅信用金庫  
(和歌山県教育委員会、2024.2撮影)

## (10) <sup>きゅうだいどうぎんこう</sup>旧大同銀行

所在地：那智勝浦町勝浦

建設・設置時期：昭和3年(1928)

那智勝浦港の近くに位置し、昭和3年(1928)に大同銀行那智勝浦支店として建てられ、鉄筋コンクリート造2階建ての建物である。

大同銀行は大正14年(1925)に北山銀行、那智銀行、山口銀行の3行が合併して設立され、昭和20年(1945)に三和銀行(現在の三菱UFJ銀行)に合併されるまで存続した。

支店が閉鎖してから令和6年1月までは、那智勝浦港郵便局として使われてきた。



旧大同銀行  
(那智勝浦町教育委員会提供、2024.2撮影)

## 07 農林水産

### ＜傾向＞

中分類 07 農林水産業は、小分類に分けると、01 農業、02 牧畜、03 開拓、04 林業、05 漁業、06 養蚕業、07 製塩業、08 その他に分けられている。

農業は、やや偏りを含むものの地域の特徴が表れている。紀ノ川流域では、江戸時代に整備が行われ、近代の改修工事に伴い暗渠化や渡井の設置が行われた灌漑用水路に関する文化遺産が多数確認されている。小田井用水は、宝永4年（1707）に紀州藩の命で、大畑才蔵らが開削した紀ノ川水系の代表的な灌漑用水路であり、龍之渡井をはじめとする近代の構造物は国の登録有形文化財に登録されている。そのほか、藤崎井用水、六箇井用水など、紀ノ川からの取水口の地名をもつ各用水路によって紀の川流域に大きな農業生産高の増収をもたらした。溜池も多数作られており、各地で記念碑が確認されている。県内全域に治水事業関係の構造物と石碑がみられ、紀南の沿岸部では災害復旧等で耕地を復旧した記念碑などが確認されている。県内各地で果樹栽培も盛んにおこなわれ、地域別の産業として発展した。みなべ町及び田辺市周辺は礫質で急傾斜が多い山地でありながら、梅林・薪炭林とミツバチの共生により梅の生産を続けてきたことから、「みなべ・田辺の梅システム」として平成27年（2015）に世界農業遺産に認定された。海南市下津町地域は収穫したみかんを土壁の蔵で熟成させてから出荷しており、「下津蔵出しみかんシステム」として平成31年（2019）に日本農業遺産に認定された。また、有田地域では蜜柑栽培を持続可能な生計の手段に発展させており、「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」として令和2年に日本農業遺産に認定されている。

牧畜は、石碑等が確認されている。印南町の西岩吉翁頌功碑は乳牛を導入して酪農をはじめた人物の記念碑である。外国種牛の導入と牛乳事業は明治8年（1875）に西牟婁郡三舞村で並木弘が開始し、明治30年（1897）に海草郡和佐村での繁殖の成功をへて、その後現在まで、黒澤牧場・木村牧場・尾鷲牧場・天満牧場など県内各地で小規模な生産が継続されている。銘柄牛肉である熊野牛は平安時代の荷牛がルーツと言われるが、改良・ブランド化されたのは近年のことである。

開拓は、石碑等が確認されている。田辺市や上富田町で開拓や土地改良の記念碑が確認されている。

林業は、高野山では森林鉄道が建設され、信仰のための参詣道とは別に、トロッコ用の線路軌道が山麓と高野山及びその周辺に張り巡らされた。現在では線路は撤去されているが、各所に軌道が散策道や廃線として残されているほか、軌道の施設等が確認されている。熊野川沿いには林業関係の文化遺産が多数あり、山地で切り出した木材は、筏に組まれて河口へ送られた。流量の少ない支流で木材を流すための鉄砲堰跡や、上流域の仮置き場であるヒラバリ跡、川岸に設けられた筏を組む土場跡、筏の集積場所であるアバ（網場）跡があり、河口には大規模な貯木場や木材市場、製材所が設けられた。下流まで木材を運んだ筏師が再び山中へ戻るための筏師の道や筏師宿跡も知られ、安全祈願のために各地に金毘

羅さんや不動さん、山の神が祀られた。熊野川以外でも紀南を中心に筏流しが行われ、河口の町には製材所などが設けられている。そのほか、林道や木馬道跡、ヤエン(索道)跡がみられるほか、山中の道沿いに炭焼き窯などが確認されている。

漁業は、港に関するものや、漁業関係者が建てた供養塔や記念碑などの石造物が確認されている。各地の港には特色があり、有田市では明治・大正時代から八角網を使った定置網漁を行っており、太刀魚の漁獲量は日本一を誇る。広川町では畠山家により築かれた養源寺堀があり、近世頃には旅網と称して九州や関東へ出漁した伝統が知られる。太地町には近代捕鯨の基地や組合事務所があり、岬には鯨の位置を確認し漁の指揮をする山見跡、港には鯨引き上げのためのスロープが設置された。また、串本町には明治中期から昭和初期にかけて、オーストラリアの木曜島へ出稼ぎに行った移民の顕彰碑が建てられている。

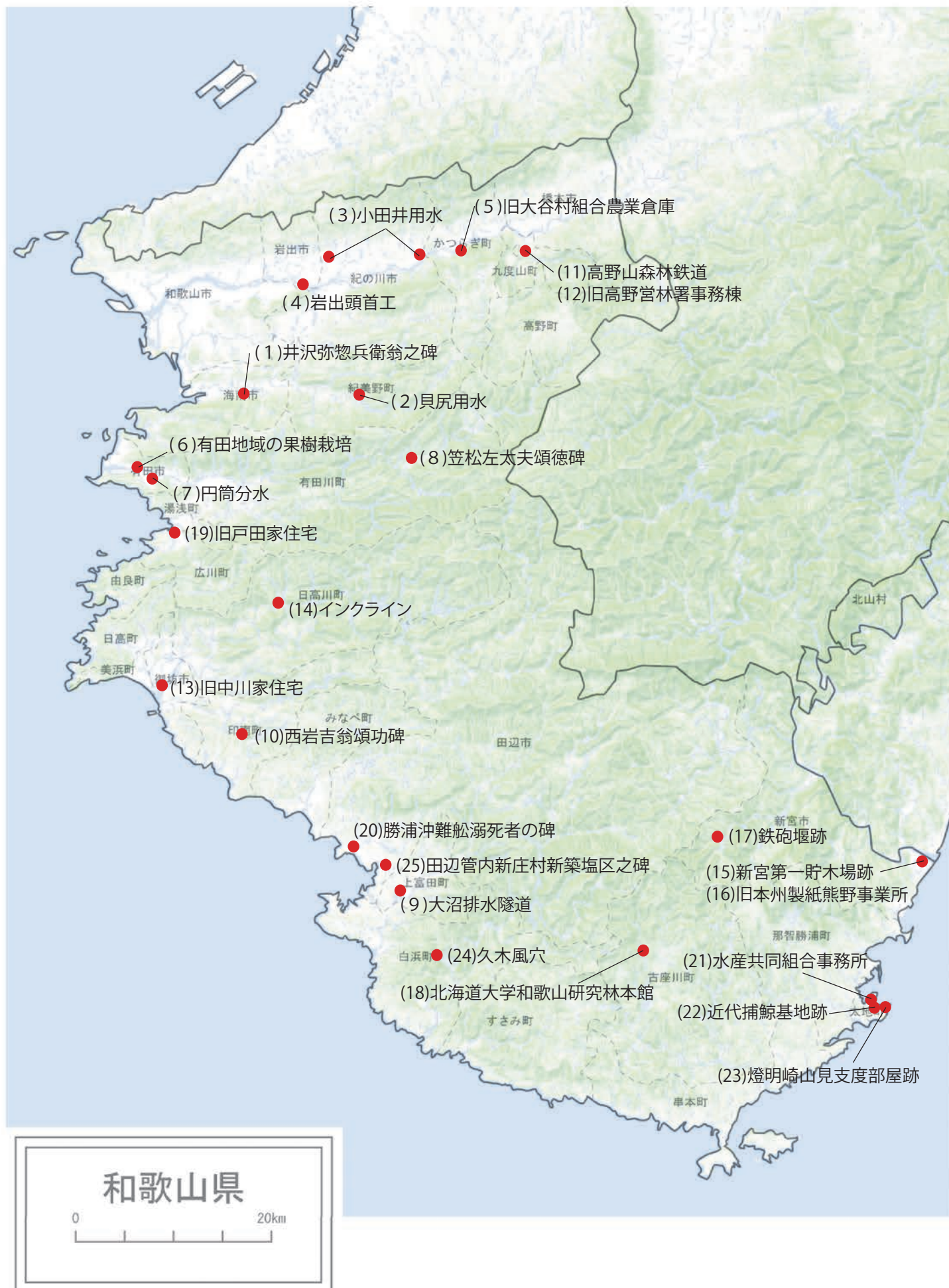
養蚕業は、記念碑や慰霊碑等の石造物や蚕保存用の風穴が確認されている。

製塩業は、古代より盛んで近世にも塩田で塩の生産が行われてきたが、近代のものとしては塩田の記念碑が確認されている。

その他は、海南市での埋立て事業や各種記念碑などが確認されている。

県内で確認されている農林水産業の文化遺産数は 373 件、01 農業が 187 件、02 牧畜が 3 件、03 開拓が 8 件、04 林業が 92 件、05 漁業が 54 件、06 養蚕業が 9 件、07 製塩業が 2 件、08 その他が 20 件である。





07 農林水産業関係の代表的な文化遺産 分布図



## (1) <sup>いざわやそべえおうのひ</sup>井沢弥惣兵衛翁之碑

所在地：海南市阪井

建設・設置時期：大正 3 年 (1914)

井沢弥惣兵衛は江戸時代の治水家で、承応 3 年 (1654) 生まれ、元文 3 年 (1738) 没。紀州藩主であった徳川吉宗の命を受け、紀ノ川流域の新田開発を行った。後に將軍となった吉宗の命により、各地の灌漑や新田開発事業をおこなった。亀ノ川改修・亀池築造・佐々井用水改修などをした弥惣兵衛翁の功績を称え、大正 3 年に水利組合が亀池堤に碑を建立した。



井沢弥惣平衛翁之碑

(海南市教育委員会提供、2021.9 撮影)

## (2) <sup>かいじりようすい</sup>貝尻用水

所在地：紀美野町三尾川～神野市場

建設・設置時期：大正 4 年 (1915)

貝尻兼蔵は紀美野町神野で農業を営んだ資産家で、嘉永 4 年 (1851) 生まれ、大正 5 年没 (1916)。兼蔵は耕地が少なく水不足となる神野市場の地で水を安定確保するため、天拝峠にトンネルを掘削して貴志川の水をひくことを企画し、全長約 4 km の農業用水路を完成させた。天拝峠の全長約 50m のトンネルは難工事であったが、工事 3 年目に貫通し水路が完成している。水路の取水口は貴志川の天拝峠上流側にあり、下流を堰止め取水口へ水が流れ込む構造をしている。現在、取水口は塞がれており、トンネル出口付近も河川改修工事が行われ改変を受けている。発電施設跡とその下流の水路は残存しており、固い地盤を掘削した区間では往事の苦労が偲ばれる。U 字溝を埋設した地点などのほか、崩落箇所もあり、現在では水路として利用はされていない。貝尻兼蔵の功績を顕彰するため、神野橋のたもとに大正 15 年 (1926) に記念碑が建立されている。



貝尻用水

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)



貝尻用水 竣工記念碑

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)

### (3) <sup>おだいようすい</sup>小田井用水 国登録

所在地：橋本市小田～岩出市

建設・設置時期：江戸(明治 39 年から改修)

小田井は宝永 4 年(1707)より、紀州藩主の命により大畑才蔵らによって開削された紀の川右岸の河岸段丘に築かれた基幹灌漑用水路である。明治 39 年(1906)より大正期にかけて改修が行われており、小河川との交差点に、国登録文化財となった計 4 つの煉瓦造りの水路橋(渡井)と伏越(サイフォン)がある。

明治 42 年(1909)には、かつらぎ町笠田東の小庭谷川に小庭谷川渡井が築かれた。大正 3 年(1914)には紀の川市西三谷の小積川に小積川渡井が築かれている。

大正 8 年(1919)には、紀の川市西野山・かつらぎ町高田間に、穴伏川を跨ぐ橋長 20.5m、橋幅 5.3m の龍之渡井が築かれた。

明治 42 年(1909)には、小田井がかつらぎ町中飯降の中谷川と交差する地点に中谷川水門と呼ばれる暗渠が設けられた。サイフォン原理を利用した吹樋で水路は河床下をくぐり下流へ流れている。

なお、小田井用水は平成 29 年(2017)10 月に、国際かんがい排水委員会により世界かんがい施設遺産に認定・登録されている。



小田井灌漑用水路 龍之渡井  
(かつらぎ町提供、2023.3 撮影)

### (4) <sup>いわでとうしゅこう</sup>岩出頭首工

所在地：岩出市清水

建設・設置時期：昭和

昭和 28 年(1953)の紀州水害で流失した宮・小倉井・四箇井・六箇井の 4 つの井堰を国営災害復旧事業により統合して建設した。旧井堰は木工沈床主体で、新井堰はケーソン基礎。操作橋の延長は 258m である。

岩出頭首工で汲み取られた水は、紀の川下流両岸の水路を流れ、流域の田畑に水を供給している。



岩出頭首工  
(岩出市提供、2024.1 撮影)



きゅうおおたにむらのうぎょうそうこ  
(5) 旧大谷村農業倉庫

所在地：かつらぎ町大谷

建設・設置時期：大正～昭和

大谷村(昭和 30 年(1955)に旧伊都町と合併)が存在していた頃から続く農業倉庫で、現在でも J A 紀北かわかみの選果場の一つとして使用されている。

正確な建築時期は不明であるが、地元では大正末期から昭和初期の建物と伝わる。木造平屋建瓦葺きの近代和風建築である。



旧大谷村農業倉庫

(かつらぎ町提供、昭和初期撮影)

ありだちいき かじゅさいばい  
(6) 有田地域の果樹栽培

所在地：有田市周辺

建設・設置時期：江戸～

山寄りの地域開発や、段々に石垣を築いて山腹の斜面を開く技法が、有田地域では慶長年間頃から盛んに行われた。元和・寛永(1615～43)頃には、商品としてのみかんの大量生産が始まったとみられる。昭和 23 年(1948)には、明神山の傾斜畑へモノラックを架設した。

令和 2 年には、この地域の「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」が日本農業遺産に認定された。



有田市のみかん畑

(有田市教育委員会提供、2024.2 撮影)

えんとうぶんすい  
(7) 円筒分水

所在地：有田市保田・古江見

建設・設置時期：昭和 34 年(1959)

農業用水などを一定の割合で分配するための利水施設で、中央にあるコンクリート製の円筒形部分からサイフォンの原理で用水を湧き出させ、溢れ出る水を複数に分けて水路へ流す仕組みとなっている。

なお、県内では有田川町出にあるなど有田川沿いに多く、その他に橋本市名古屋に所在している。



保田円筒分水

(有田市教育委員会提供、2019.12 撮影)

かさまつさだゆうしょうとく ひ  
(8) 笠松左太夫頌徳碑 国景観

所在地：有田川町清水

建設・設置時期：昭和 2 年 (1927)

笠松左太夫は江戸時代前期に活躍した清水地域の大庄屋で、昭和 2 年に蘭島をはじめとした新田開発や用水路の建設、保田紙の振興等の功績を讃える碑が建てられている。左太夫が私財を投じて造った上湯用水路は、有田川支流の湯川川から取水する約 3.2 km の用水路であり、国の重要文化的景観「蘭島及び三田・清水の農山村景観」の重要な構成要素となっている。



笠松左太夫頌徳碑

(有田川町提供、2019.3 撮影)

おおぬまはいすいずいどう しんかわずいどう  
(9) 大沼排水隧道(新川隧道)

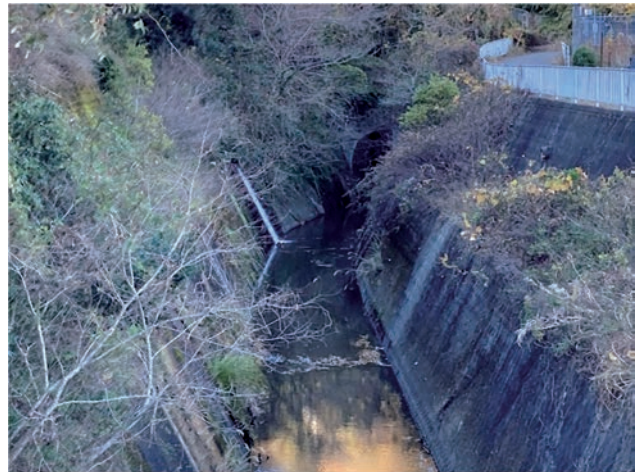
所在地：上富田町朝来

建設・設置時期：昭和 2 年 (1947)

朝来駅周辺(約 40ha)の字大沼・大内水入・峠・大内谷一帯は沼沢地であり、降雨により大辺路の通行が止まることもしばしばであった。

排水は水路を通して新庄村(現田辺市)滝内へ流出させる難しいもので、大正 4 年(1915)に全工事が完結した。

その後、排水能力が不十分で、昭和 53 年(1978)に大規模改修が行われている。



大沼排水隧道(新川隧道)

(上富田町提供、2023.12 撮影)

にしいわきちおうしょうとく ひ  
(10) 西岩吉翁頌徳碑

所在地：印南町羽六

建設・設置時期：昭和 38 年 (1963)

大正 3 年(1914)、村の助役である西岩吉(後に村長)が村内の疲弊を救うため乳牛を導入して酪農をはじめ、県下の牛乳の一大産地となる基礎を作った。

その功德を頌して、昭和 38 年に、中紀(現切目川)酪農協同組合が印南町羽六にある切目川小学校の校庭にこの石碑を建立した。



西岩吉翁頌功碑

(印南町教育委員会提供、2024.1 撮影)



### (11) こうやさんしんりんてつどう 高野山森林鉄道

所在地：九度山町・高野町

建設・設置時期：明治 42 年～昭和 34 年

明治 42 年(1909)、高野山～九度山貯木場間約 26 kmの森林鉄道が完成した。鉄筋コンクリート造の橋脚・桁、隧道等が多数あり、線路は撤去され九度山町内の鉄道敷約 10 kmは町道となり一部散策道となっている。九度山貯木場は、現在は道の駅となっており、丹生川左岸沿いに竜王溪を遡上するトロッコ電車の軌道跡は、舗装道区間と地道区間があり、看板を見ながら上古沢駅まで歩くことができる。



高野山森林鉄道跡遺構

(九度山町提供、2021.12 撮影)

### (12) きゅうこうやえいりんしよじむとう 旧高野営林署事務棟

所在地：九度山町九度山

建設・設置時期：昭和

九度山町役場の隣接地に移築・保存されている事務棟である。高野森林鉄道を運営した大阪営林局高野営林署の元庁舎で、建設時期は不明だが、昭和 10 年代と考えられる。木造平屋建て、入母屋造り、棧瓦葺きで、正面に玄関を突き出す。内外ともに真壁造りに漆喰塗り壁で和風を基調とした意匠になる。玄関ホールを挟んで署長室と経理室の 2 室が設けられる。



旧高野営林署事務棟

(九度山町提供、2024.1 撮影)

### (13) きゅうなかがわけじゅうたく 旧中川家住宅 国登録

所在地：御坊市御坊

建設・設置時期：昭和 12 年(1937)

寺内町に位置し、山林業を営む中川家の居宅として建設された。現在は県福祉事業団がギャラリー等に活用している。主屋は重厚な風格ある外観で、木造平屋建て一部二階建て、瓦葺きとし、通りから 60cm ほど石垣を積んだ上に建つ。良材を使用し意匠的にも優れ、かつ機能的な平面計画がなされている。東蔵と西蔵を含め、昭和前期の優れた近代和風住宅として貴重である。



旧中川家住宅

(御坊市提供、2015.7 撮影)



## (14) インクライン<sup>いかだなが かんけい</sup>(筏流し関係)

所在地：日高川町

建設・設置時期：大正

日高川の筏流しは江戸時代初頭に始まったといわれ、木材の流通が盛んになった明治時代に隆盛した。日高川には難所が多く、高津尾発電所の出現によって、大正年間に滝型流筏路(バイパス)も設置された。筏流しは昭和 28 年(1953)の大水害を機に終わったが、「佐井の鳴滝」と呼ばれる難所には、記念碑が建てられている。



下田原橋付近のインクライン 内部  
(日高川町提供、2023.12 撮影)

## (15) 新宮第一貯木場跡<sup>しんぐうだいいちちょぼくじょうあと</sup>

所在地：新宮市あけぼの

建設・設置時期：明治 24 年(1891)

熊野川流域では大量の木材が筏にして流され、河口には約一万坪の大規模な水面貯木場が形成された。この貯木場は、喫水の高い汽船が近づけなかったため、木材を輸送する新宮鉄道が敷設され、勝浦方面へと運搬された。

貯木場はダム建設の影響もあり、昭和 42 年(1967)に埋められ、その一部は新宮原木市場となり、現在は新宮北 IC として工事中である。



貯木場開掘碑  
(新宮市提供、2023.2 撮影)

## (16) 旧本州製紙熊野事務所(王子製紙熊野工場跡)<sup>きゅうほんしゅうせいしくまのじむしょ おうじせいしくまのこうじょうあと</sup>

所在地：蓬莱町一丁目 4

建設・設置時期：明治 45 年(1912)

明治 45 年に創設された紀熊製紙所を前身として、大正 2 年(1913)に熊野製紙合資会社、大正 7 年(1918)熊野製紙株式会社、大正 13 年(1924)富士製紙熊野工場、昭和 8 年(1933)王子製紙熊野工場となり、地元木材を原料に特殊紙を製紙した。戦後も操業を続けたが、平成 12 年(2000)に操業停止。現在は王子製紙記念公園となり、工場正門、熊野地駅引込線、熊野川導水管が残る。



王子製紙記念公園  
(和歌山県教育委員会、2023.11 撮影)

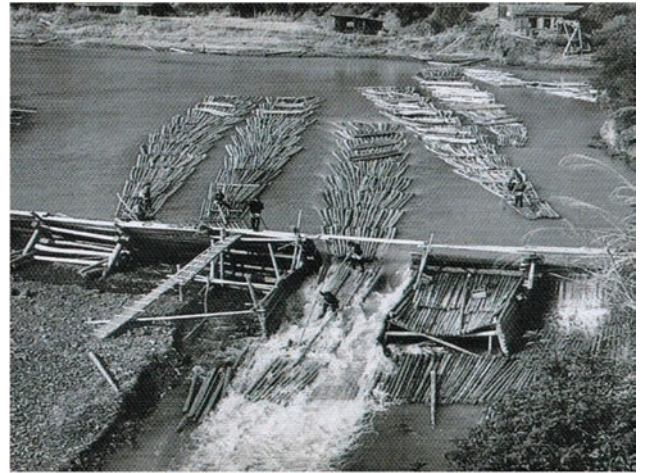
てっぼうぜきあと  
(17) 鉄砲堰跡

所在地：新宮市熊野川町畝畑、瀧本

建設・設置時期：明治～昭和

熊野の山林で切り出した木材は、水量が多い川であれば筏を汲んで流したが、水量の少ない支流の谷の場合、流れを堰き止め、水を溜めてから破堤し、鉄砲水により一気に木材を流した。

堰には主に木材を使用し、隙間には苔を詰めて水を止め、いくつかの堰が満水になると堰を切り、材木を流した。戦後、ダム建設、トラック輸送の増加とともに、鉄砲堰構築も終了した。



鉄砲堰

(中瀬古友夫氏提供、撮影時期不明)

ほっかいどうだいがく か や ま け ん き ゅ う り ん ほん か ん  
(18) 北海道大学和歌山研究林本館 国登録

所在地：古座川町平井

建設・設置時期：昭和2年(1927)

北海道帝国大学は大正14年(1925)に暖地林の研究・実習上の必要性から、演習林427haを購入、開設した。演習林の学生・教員の寄宿施設として庁舎が昭和2年に建設された。

建物の設計は北海道帝国大学営繕課で、現在大学に大正15年(1926)度と記載された設計図面が9枚保管されており、建物の全体構成や間取りはあまり大きな変更は受けていない。

室内の床や壁は改修されているが、廊下と建具は当初の状況を残している。屋根は昭和52年(1977)に葺き替えられているが、意匠・材料等は当時の状況を継承している。

庁舎東側に調理場や食堂、洗面所などの共用部分を介し、平屋の教官等棟が続く。

平成7年(1995)に改修を受け、現在、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション和歌山研究林本館として使われている。



北海道大学和歌山研究林本館

(北海道大学和歌山研究林提供、2024.1撮影)



## (19) <sup>きゅうと だ けじゅうたく</sup>旧戸田家住宅 国登録

所在地：広川町広

建設・設置時期：大正～

江戸時代から「網屋」として製網業を営んだ戸田家の旧邸宅。新上五島町奈良尾近海へ出漁し、後に分家が移住し漁法を伝えた。

主屋は、通りに西面する瓦葺きの木造二階建てで、南に土間、北に床上部四室を配して、その背面に台所を突出させる。二階は土間上の一部を吹き抜けとして、西北隅八畳は棹縁天井を折り曲げる。

主屋の北に桁行 28m の長大な木造二階建ての建物を建てて製網用の空間を確保する。一階は土間を三室に区切り、奥の一室は土壁で囲う。

主屋の南には二階建て土蔵造りの西蔵と東蔵が並ぶ。

敷地の東北隅には、入母屋造り棧瓦葺き木造平屋建ての大座敷棟がある。檜の良材を用いて上質な意匠でまとめた客座敷で、庭に面して銅板葺きの庇と縁をめぐらす。

主屋の背面には独立して隠居棟を建てる。

旧戸田家住宅は広川町広地区の伝統的建築を代表する建物であり、日本遺産「百世の安堵」の構成文化財の一つとなっている。



旧戸田家 主屋

(和歌山県教育委員会、2016 撮影)

## (20) <sup>かつうらおきなんせんできししや ひ</sup>勝浦沖難船溺死者の碑

所在地：田辺市古尾

建設・設置時期：明治

明治 25 年(1892)12 月 28 日、勝浦沖で突然の暴風雨に会い、サンマ漁船の出漁者が大勢亡くなる事件があった。

田辺市など紀南地域からの出漁者 749 名のうち、陸にたどり着いた者が 291 名、行方不明者が 229 名、船が操縦できなくなり八丈島、青が島、御蔵島に漂着した者が 229 名であった。田辺市古尾にその慰霊碑が建立されている。



勝浦沖難船溺死者の碑

(田辺市提供、撮影時期不明)



すいさんきょうどうくみあいじむしょ  
(21) 水産協同組合事務所 国登録

所在地：太地町太地

建設・設置時期：大正7年(1918)

太地漁港の通りに西面して建つ水産協同組合の事務所。桁行11m梁間9.5mの木造入母屋造棧瓦葺で、正面中央に玄関、北側に台所があり、事務室は南側に配されている。

太地の町には一定数ペンキ塗りの家屋がみられるが、当事務所も外部木部は建具を含め淡いピンク色のペンキが塗られた特異な外観を呈している。平成23年(2011)に国の登録有形文化財に登録された。



水産共同組合事務所  
(太地町提供、2016.1撮影)

きんだいほげいきちあと  
(22) 近代捕鯨基地跡

所在地：太地町太地

建設・設置時期：江戸～昭和

江戸時代の向島には鯨組大納屋があり、近代は帝国水産が捕鯨基地を建設した。

昭和36年(1961)から極洋捕鯨が3年間、昭和51～62年(1976～1987)までは日本捕鯨が操業した。現在、向島は陸地としてつながっており、海に面して護岸やスロープが作られている。向島の山頂平坦地には土塀や池の跡が残されている。



近代捕鯨基地跡スロープ  
(太地町提供、2008.4撮影)

とうみょうざきやまみしたくべやあと  
(23) 燈明崎山見支度部屋跡 町史跡

所在地：太地町太地

建設・設置時期：江戸～明治

山見支度部屋は、海上に目を凝らし鯨の噴気を探したり海上の鯨舟を指揮した山見従事者が、準備や休憩するための建物があった場所である。建物は残っていない。昭和57年度に「古式捕鯨支度部屋跡」として太地町文化財指定(史跡)となっている。

なお、隣には、寛永13年(1636)に紀州藩が設置した燈明を管理する藩士が居住した燈明番士住居跡と、住居を囲む石垣が残っている。



燈明崎山見支度部屋跡  
(和歌山県教育委員会、2021.10撮影)

## (24) <sup>ひさぎふうけつ</sup>久木風穴

所在地：白浜町久木

建設・設置時期：大正～

日置川を河口から約 10 km 遡った、旧日置川町久木にある風穴で、近代には蚕の保存用に使われた洞窟であったという。現在、現地を確認できておらず、入り口が塞がっている可能性も考えられる。

日置川をさらに上流へ行くと、田辺市大塔村木守の風穴があり、冷気が吹き出す状況を確認できる。



久木風穴 遠景

(白浜町提供、2024.1 撮影)

## (25) <sup>たなべかんないしんじょうむらしんちくえんくのひ</sup>田辺管内新庄村新築塩区之碑 市指定

所在地：田辺市新庄町

建設・設置時期：明治 44 年 (1911)

天保飢饉時の天保 9 年 (1838) に新庄村の塩田を田畑にすることが建議され、四町二反の田畑が開拓された。塩田開拓工事の際の雇い金は、困窮する民の救済にもなり、田辺領の家臣 3 名の功績が讃えられている。

当初は塩田の一隅に建っていたようであるが、明治 44 年 (1911) に新庄尋常高等小学校校内へ、平成 28 年 (2016) に現在地へ移築された。



田辺管内新庄村新築塩区之碑

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)

## 08 社会

### < 傾向 >

中分類 08 社会は、小分類に分けると、01 水道施設、02 都市開発、03 集合住宅、04 公衆浴場、05 公園、06 保健医療施設、07 社会福祉施設、08 娯楽・観光施設、09 災害、10 社会運動、11 個人住宅、12 その他、13 その他（偉人関係）、14 その他（歴史的事件）に分けられる。

水道施設は、大正 14 年（1925）に和歌山市内に引かれた上水道関連施設など、大正・昭和期の上下水道施設が確認されている。和歌山市の真砂浄水場は現在でも使用されている。また、海南市、有田市、新宮市などで昭和 30 年代頃の水道施設が確認されている。

都市開発は、串本町の下浦海岸埋立などが確認されている。串本町の市街地は陸繋砂州を中心に広がっており、埋め立てによる漁港の築造や宅地造成などが進み、串本の町並みは大きく変化した。

集合住宅は、新宮市で団地・長屋が確認されている。新宮市だけで確認されているが、積極的に調査されたためこのような結果となったが、他の市町村においても残存しているものと考えられる。

公衆浴場は、白浜の牟婁の湯などが確認されている。風呂が設置された住宅が増えたこともあり、全国的に銭湯が減少していることや、建て替えられるなどしているため、件数は少なく、今は現存していないものも一覧表に記載されている。

公園は、和歌山市の和歌山城公園や和歌公園のような都市公園や、海南市の琴ノ浦温山荘庭園のような個人邸宅の庭園、高野町の塔頭寺院に造られた庭園などが確認されている。塔頭寺院に造られた庭園は 6 ヶ所が、国の登録記念物（名勝地関係）となっており、和歌公園の一部や琴ノ浦温山荘庭園は国指定名勝となっている。

保健医療施設は、県内各地で和風建築に洋風建築が取り入れられている建物が確認されている。有田市では、明治 37 年（1904）に大流行した赤痢の隔離病棟跡地が一覧表に記載されている。また、医師や病院開設に協力した人物の記念碑も多く確認されている。

社会福祉施設は、保健所や老人福祉施設、学童保育施設などが確認されている。

娯楽・観光施設は、旅館やホテルなどの宿泊施設、劇場や映画館などの娯楽施設などが確認されている。みなべ町では、長岡佐介によって開発された鹿島遊園地や千里遊園地に関する文化遺産が確認されている。鹿島遊園地や千里遊園地は、一般的に使われている遊園地とは異なり、宿泊所や観光施設などを設けた公園のようなものであった。新宮市では、木材の集積地として栄えていたことから、映画館や劇場の跡地が多く確認されている。

災害は、災害を記録した石碑が多く確認されており、主に明治 22 年（1889）、昭和 28 年（1953）の水害、嘉永 7 年（1854）の安政南海地震、昭和 21 年（1946）の昭和南海地震に関するものである。明治 22 年（1889）と昭和 28 年（1953）の水害に関するものは、紀北・紀中地域を中心に多く確認されている。有田市では、昭和 28 年（1953）水害の最高水位標が多く建てられている。嘉永 7 年（1854）の安政南海地震に関するものは、湯浅町に石碑



が建てられているほか、広川町に国指定史跡となっている広村堤防や関連する記念碑などが建てられている。田辺市では、安政南海地震や昭和南海地震、チリ地震の津波到達点の石碑が多く建てられており、串本町では、昭和南海地震から50周年となる平成8年(1996)に津波到達標柱が多く建てられている。また、紀南地域には串本町にあるエルトゥールル号遭難事件関係の文化遺産や、太地町にある漂流人記念碑のような水難事故に関する石碑が多く確認されている。

社会運動は、人権運動に取り組んだ人物の石碑などが確認されている。

個人住宅は、国登録有形文化財である和歌山市の島村邸や高野町の和合庵などが確認されている。

その他は、串本町にある検潮所や測候所跡や新宮市では集会所などが確認されている。

その他(偉人関係)は、和歌山県に関係ある偉人に関するものである。パナソニックの創業者である松下幸之助、領事裁判権の回復を実現した明治期の外交官である陸奥宗光、博物学や民俗学の分野における近代日本の先駆者的存在である南方熊楠、

初代和歌山県会議長で津波から村人を救った物語『稲むらの火』のモデルとしても知られる濱口梧陵、文化勲章受章者で作家の佐藤春夫や各地域にとっての偉人の記念碑や住宅などが確認されている。

その他(歴史的事件)は、和歌山県に関係する歴史的イベントに関するものである。地租改正反対一揆である粉河騒動、明治天皇の暗殺が計画された明科事件を発端に、全国の社会主義者や無政府主義者を逮捕・起訴して死刑や有期刑判決を下した政治的弾圧・冤罪事件である大逆事件などに関係する住宅や立ち寄り先などが確認されている。また、和歌山県は全国で6番目に海外移住者数が多く、美浜町三尾はカナダへ多くの移民を送り出した地域であり、その移民した人達が帰国後に建てた住宅などが多く残されており、アメリカ村と呼ばれている。

県内で確認されている社会の文化遺産数は577件で、01 水道施設が25件、02 都市開発が2件、03 集合住宅が26件、04 公衆浴場が8件、05 公園が44件、06 保健医療施設が41件、07 社会福祉施設が9件、08 娯楽・観光施設が51件、09 災害が231件、10 社会運動が2件、11 個人住宅が10件、12 その他が17件、13 その他(偉人関係)が75件、14(歴史的イベント)が27件である。





## (1) <sup>まさごじょうすいじょう</sup>真砂浄水場

所在地：和歌山市吹上

建設・設置時期：大正 14 年(1925)

和歌山市の水道施設は、大正 12 年(1923)に起工、大正 14 年(1925)に通水を開始した。紀ノ川の新六ヶ井井関から取水し、有本の集水井から真砂浄水場へポンプで導水し、ろ過した浄水を城跡の配水場から配水した。

真砂浄水場は市街地に南北に続く丘陵地、和歌山城や岡山の時鐘堂などの南側に位置する小高い場所に建てられている。創設工事では真砂浄水場に、量水井、ろ過池 4 池、集合井、第 2 唧箇所(北送ポンプ室)、洗砂場等が設置された。

昭和 9～11 年(1934～1936)にかけて、第 1 期拡張工事が行われ、予備機関室(発電機室)や塩素滅菌室が設置された。昭和 17 年(1942)には第 2 期拡張工事が開始されたが、昭和 19 年(1944)に戦争により中止、南送ポンプ室は昭和 29 年(1954)までに完成したとみられる。

北送ポンプ室、発電機室、南送ポンプ室は各時代の鉄筋コンクリート造りで、合理的な建物にそれぞれの時代の意匠が垣間見える建物となっている。



真砂浄水場

(和歌山県教育委員会、2022.5 撮影)

## (2) <sup>わかこうえん</sup>和歌公園

所在地：和歌山市和歌浦

建設・設置時期：明治 29 年(1896)

奈良時代の聖武天皇行幸の際、和歌に詠われた名勝である和歌の浦は、江戸時代に紀州徳川家の祖先を祀る地となり、明治時代になると和歌公園が設置され観光地として整備された。

明治 43 年(1910)には奠供山に日本初となる屋外展望エレベーターが設置され、翌年には新和歌浦遊園が落成、昭和 30 年代に日帰り客を中心に年間 300 万人が訪れる観光地となった。現在周辺は、日本遺産「絶景の宝庫和歌の浦」に認定されている。



和歌公園

(和歌山県教育委員会、2024.1 撮影)



### （3）<sup>わかやまじょうこうえん</sup>和歌山城公園

所在地：和歌山市一番丁

建設・設置時期：明治 34 年(1901)

和歌山城は天正 13 年(1585)に、紀州を平定した羽柴秀吉の命により築かれた城で、江戸時代には浅野家、次いで紀州徳川家の居城となった。

江戸時代が終わり、明治 4 年(1871)には、廃藩置県が実施され和歌山藩は和歌山県とされ、和歌山城の内郭部分も兵部省の所轄となった。明治 6 年(1873)には、県権令の伺いが許可されて和歌山城を期間限定で県民に縦覧させている。

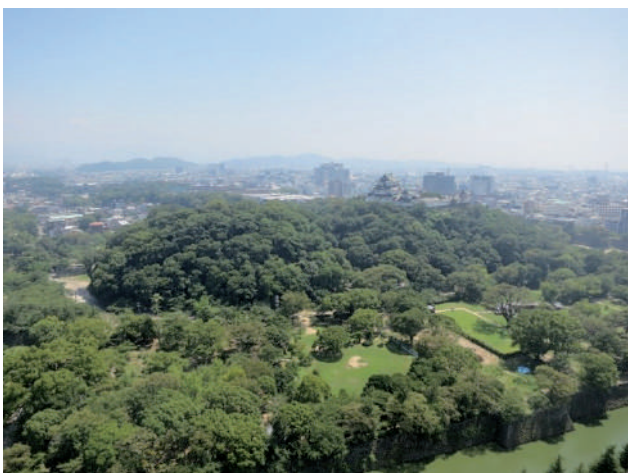
明治 31 年(1898)、和歌山連隊区司令部が二の丸に移転されたが、明治 34 年(1901)には和歌山城内郭を和歌山城公園として一般に公開している。また、二の丸に県物産陳列場が建設されている。その後、県立図書館が建設され、明治 45 年(1912)、和歌山城公園を市立公園とするため、県は和歌山市への払い下げを許可した。

大正時代に入ると、西の丸への和歌山市役所の移転、本丸御殿跡への上水給水場の設置、南堀の埋め立てが行われた。また、城内に動物園が開設された。

和歌山城公園では、和歌山城の内郭部分が公開された。現在では門や土堀の一部を残して建物は失われたが、石垣は緑色片岩や和泉砂岩を用いた築城以来各時期のものが重層的に残されており、かつては近世城郭と近代建築、公園施設が混在する集積地として、大勢の人で賑わったという。

昭和 6 年(1931)に和歌山城は史蹟に指定され、昭和 10 年(1935)には天守閣が国宝に指定されたが、戦災により天守閣は焼失してしまう。戦後の昭和 32 年(1957)、残された岡口門が重要文化財に指定され、翌年には天守閣が鉄筋コンクリート造で再建された。

現在は、城の入り口にあたる一の橋と大手門のほか、西之丸庭園、近年では御橋廊下が復元され、人々を楽しませている。



和歌山城公園

(和歌山市提供、2013.7 撮影)



和歌山城天守閣

(和歌山市提供、2017.12 撮影)

こと の うらおんざんそうえん  
(4) 琴ノ浦温山莊園

国名勝・国重文

所在地：海南市船尾

建設・設置時期：大正期～

琴ノ浦温山莊園は海南市黒江湾の北西に位置する海と山に面した風光明媚な場所に建てられた。大正初期に、大阪の実業家新田長次郎の別荘として建設され、塩入の泉水と礫山を取り込んだ。広大な敷地をもっている。茶室及び庭園は木津宗栓、本館等は新田の娘婿で建築顧問であった木子七郎によるものとみられる。

本館はコンクリート造りの基礎に、地階を有した木造平屋建ての建物を載せた建物で、大正4年(1915)5月26日に上棟された記録が残る。屋根は入母屋造と寄棟造りを複雑に組み合わせた瓦葺屋根で、建築面積422㎡の大規模な建物となっている。

本館の東西には塩入りの池が配され、敷地南端の斜面地には高い床を張りだして建てられた浜座敷がある。浜座敷は本館に先行する建物と伝えられており、寺院ゆかりの建物が移築されたとも考えられており、本瓦葺入母屋屋根と寄棟屋根を接続した建築となっている。

そのほか、茶室や伴待部屋、休息所、蔵が建てられている。また、正門、北冠木門、西冠木門、南冠木門、中門がある。また、矢ノ嶋を抜けて西の海岸に通じるトンネルが作られるなど、景観を楽しむ趣向に富んだ庭園となっている。

昭和11年(1936)の絵図では、現在の温山莊園に面した国道42号線に路面電車が走り、現在の県立自然博物館との間にはグラウンドと公会堂、テニスコート場などが設けられていたことが分かる。また、隣接する山地には蜜柑や柿、三宝柑、梅などの果樹園や茶畑が展開していた。

温山莊園は単なる個人の別荘地というだけでなく、一般遊覧者のために開放する目的があり、社員の慰労や運動会にも使われており、近代の実業家による社会文化的事業として評価される。



琴ノ浦温山莊園 庭園

(和歌山県教育委員会、2014.10撮影)



琴ノ浦温山莊園 主屋

(和歌山県教育委員会、2014.10撮影)

## (5) <sup>こうやさん ていえん</sup>高野山の庭園

所在地：高野町高野山

建設・設置時期：昭和 27～38 年(1952～1963)

高野山には 117 の寺院があり、そのうち 51 の寺は宿坊として、参詣者が宿泊できる。各宿坊では山内の地勢を反映して、趣向の異なる庭園が設けられており、安土桃山～江戸初期に活躍した小堀遠州の作庭した宝善院、普門院、天徳院などの名勝の庭園もあるが、近代の庭園も多い。

高野山真言宗の総本山である金剛峯寺の本坊には、日本最大級の 2,340 m<sup>2</sup>の広さを誇る石庭、蟠龍庭がある。蟠龍庭は雲海と龍を表現した庭で、そのほかに、高野六木を配した池のある中庭も作られている。

山内には重森三玲の作庭した庭園が多く、桜池院、西禅院、光臺院、正智院、本覚院にある庭園は国登録記念物となっている。

桜池院は後嵯峨天皇が桜と池を詠んだ歌にちなんだ名の寺院で、白砂と 15 石による島々が表現された枯山水の庭園が造られている。西禅院では昭和 26～28 年(1951～1953)の間に 3 つの庭が造られており、松下幸之助氏も長期滞在した。光臺院庭園は州浜形の池を中心とした鑑賞式庭園である。正智院は高野八傑と言われる中興の祖道範大徳ゆかりの寺院で、水墨山水画的な発想を元にして、明神岩を背景として作庭された苔と岸壁の美しい枯山水庭園がある。また、本覚院庭園は屈曲する回廊に面した傾斜地に築かれた庭園である。

重森三玲が手掛けた庭園はこれらの国の登録記念物に登録された庭園のほかにも、当初書院前庭の池泉式庭園として造られた西南院庭園、赤と緑の石が屹立する不動院の庭園があり、再晩年にあたる 1973～1975 年にかけて手掛けた福智院庭園も有名である。

また、高野山内には重森以外の作庭による庭園も多数あり、昭和の庭園では、森蘊の手掛けた持明院庭園等が知られている。



光臺院書院庭園

(高野町教育委員会提供、2015.12 撮影)

## (6) <sup>きゅうかくひやくすけいん かくけじゅうたく</sup>旧郭百甫医院(郭家住宅) 国登

録

所在地：和歌山市今福

建設・設置時期：明治 10 年(1877)

郭家住宅は、和歌山市今福に所在する住宅で、かつて郭医院として営まれた擬洋風建築である洋館を始めとした建造物群よりなる。郭家は近世に紀州藩の藩医を務め、近代に至って民間医療の拠点として郭医院を開業した。広い屋敷には明治時代から大正時代にかけて



て建設された建造物が良く残されている。

洋館は木造2階建て、寄棟造り、棧瓦葺きで正面に吹き放しのポーチを設け、2階にベランダを設けた擬洋風建築である。神戸より大工を呼び寄せたと伝えるが、それを証する資料は今のところ見つかっていない。明治10年(1877)に建設されたことが資料より明らかで、国内で最も古いグループに属する洋風医院建築である。

座敷は洋館の背面側に建つ木造平屋建て、寄棟造り、棧瓦葺きで、数寄屋趣味の濃厚な室内意匠を持つ。建築年代は襖の絵師の年代観より江戸時代末期と推定される。陸奥宗光の生家である伊達家から移築したものと伝えるが、資料では確認出来ない。移築自体は明治14年(1881)であることが史料から判明する。



旧郭百甫医院(郭家住宅)  
(和歌山市提供、2019.7撮影)

## (7) <sup>ひふせいいいん</sup>火伏医院 国登録

所在地：橋本市橋本

建設・設置時期：江戸中期、大正期

火伏医院は、橋本市橋本の旧大和街道沿いに建てられた内科医院である。江戸時代には塩問屋をしていたが、醤油醸造も行っていたという。病院が開業されたのは大正6年(1917)のことで、江戸時代の主屋の隣に大正期の病院棟が建てられている。

病院棟は棧瓦葺木造二階建てで、正面は寄棟造、背面は切妻造とする。外面は下見板張で、内部は一階に待合室、診療室、薬局・事務室、準備室があり、二階にも4室が配されている。病院棟の一階床は地盤面から約1.3mの高さに張られ、洪水に悩まされた橋本ならではの対策として注目されている。

主屋は、享保6年(1721)の棟札があり、建立年代の確認できる町屋建築としては県内最古の建物である。木造2階建て、瓦葺切妻造、平入の町屋で、正面から奥まで続く土間の両側に床上部を設ける中土間形式とする。上手には座敷を増築している。



火伏医院  
(橋本市提供、2018.1撮影)

きゅうかつらぎかん  
(8) 旧葛城館 国登録

所在地：橋本市名倉

建設・設置時期：明治 34 年(1901)以降

明治 34 年(1901)に旧紀和鉄道(現 JR 和歌山線)の名倉駅が設置され、高野参詣に便利であったこの駅は、明治 36 年(1903)には高野口駅と改称された。駅前には十数件の旅館が立ち並んでいたというが、駅に対して北面して建つ旧葛城館だけが、高野参詣の玄関口の 1 つとして賑わいをみせた往事を偲ぶことのできる貴重な旅館建築として残っている。

正面玄関部分は国の登録有形文化財に登録される木造三階建瓦葺建物で、軒を銅板葺きとした棧瓦葺き入母屋造屋根で、千鳥破風と軒唐破風を付す。各階の正面と東面には銅板葺きの底をめぐらせる。現状では各階にガラス戸をめぐらしており、軽快な佇まいを見せている。1 階には玄関及び炊事場、受付部分が設けられている。この正面部分の後ろには二層で 15 間の和室の客室が続いていた。建築面積は 113 m<sup>2</sup>であった。平成 13 年(2001)11 月 20 日に、国登録有形文化財に登録された。

平成 5、6 年(1993、1994)頃までは宴会場として使用されており、現在は喫茶店として利用されている。



旧葛城館

(橋本市提供、2010.2 撮影)

かみごてんほんかん  
(9) 上御殿本館 国登録

所在地：田辺市龍神村龍神

建設・設置時期：明治 18 年(1885)

龍神温泉は、空海が難蛇龍王のお告げによって開いたといわれ、江戸時代に紀州徳川家の特別な保護を受けた湯治場で、近年は日本三美人の湯として知られている。

上御殿は、紀州徳川家初代の徳川頼宣が湯治に訪れるための宿として建てられ、家臣のための宿である下御殿とともに拝領した屋号を使用して、明治時代以降も一般向きの温泉旅館として経営されていた。両旅館は明治 17 年(1884)に付近の火災で類焼したが、上御殿は翌年に木造建築で、藩主用の座敷も元と同じ間取りで再現された。



上御殿本館

(田辺市提供、2006.2 撮影)



上御殿は、旧国道 424 号線に面して間口が広く、本瓦葺入母屋造屋根で周囲に下屋庇を廻し、1 階は縁側、障子の開放的な部屋としている。1、2 階ともに客室があるが、2 階の南西には控間と御成りの間を設けているのが、大きな特徴である。なお、平成 15 年(2003)に客室個室化のため、一部襖・障子が撤去され壁が設けられている。

## (10) <sup>かめやりよかんほんかん</sup> 亀屋旅館本館 国登録

所在地：田辺市本宮町川湯

建設・設置時期：昭和 3 年(1928)

本宮大社の南西側の山中には湯の峰、渡瀬などいくつかの温泉地が知られているが、熊野川支流の大塔川では、河原を掘るとすぐに暖かい湯が沸き出る川湯温泉があり、川沿いには旅館が立ち並んでいる。亀屋旅館はその中の一軒であり、伝統的な外観を残す唯一の旅館としてその歴史を伝えている。

亀屋旅館は、川の増水に備えて約 1 m 屋敷地をかさ上げした上に建てられている。

本館は総二階建ての木造建築、棧瓦葺入母屋造りであり、桁行 15m、梁間 9 m。1 階には銅板葺きの庇を廻す。1 階には濡れ縁、2 階には手すりを設けて、旅館らしい風情ある造りとしている。建築面積は 154 m<sup>2</sup>。建物正面中央に南面して玄関を設ける。1、2 階ともに中廊下式で、廊下の両側に部屋を配している。

平成 20 年(2008)に国の登録有形文化財に登録されている。



亀屋旅館

(田辺市提供、2007.9 撮影)

## (11) <sup>おおまえやりよかん</sup> 大前屋旅館 国登録

所在地：新宮市三輪崎

建設・設置時期：明治 36 年(1903)

新宮市三輪崎は古くから漁港として栄え、捕鯨のほかブリ漁も盛んで、明治初期にはオーストラリア付近へのシロチョウガイの採集のための基地ともなった。

大前屋旅館は三輪崎の通りに北面する近代和風旅館である。明治 36 年に建てられた木造 2 階建て入母屋造りの旅館で、棧瓦葺き、庇を付している。1 階の東寄りに玄関を開け、両脇には出格子を構え、2 階には出桁造の軒や高欄



大前屋旅館

(新宮市提供、2019.6 撮影)



付きの腰高窓を設けている。

内部は玄関ホールから中廊下があり、廊下を挟んだ両側に客室が並ぶ。建物に面した通りや海がよく眺められるように配置されている。

各室に縁や出窓を設け、海や通りへの眺望を確保する。昭和 48 年(1973)には建物内部の一部が改修されたが、平成元年(1989)頃まで営業しており、その後は住宅として使用されている。近くには建物正面の日の出のマークが知られる三輪崎青年会館があり、ともに国の登録有形文化財に指定され、周辺の景観形成の一役を担っている。

## (12) <sup>き し が わ だ い す い が い ふ っ こ う き ね ん ひ</sup> 貴志川大水害復興記念碑

所在地：紀の川市桃山町調月

建設・設置時期：昭和 31 年(1956)

昭和 28 年(1953)7 月 18 日の紀州大水害では、この周辺でも大きな被害がでており、川の改修や耕地整理が終わったことを記念して石碑が建てられた。

紀の川市桃山町調月の大歳神社入口にある鳥居の近くに板状の石碑が建てられ、災害復興記念碑という文字と、災害復興の概要が刻まれている。



貴志川大水害復興記念碑

(紀の川市教育委員会提供、撮影時期不明)

## (13) <sup>が し に ん づ か ひ</sup> 餓死人塚の碑 市史跡

所在地：紀の川市竹房

建設・設置時期：幕末

紀の川市竹房にたてられた石碑。

天明・天保の大飢饉で、農民は食べるものが無く、藩の救済がなされても多くの餓死者を出した。安政 5 年(1858)年に、餓死者の冥福を祈り、この石碑が建立された。

緑色片岩の板碑で、文章を刻む面を平滑にするほか、その上部に僧形の像が彫り出されている。今は、傍らに小さなお堂が建てられている。紀の川市指定史跡となっている。



餓死人塚の碑

(紀の川市教育委員会提供、2006.10 撮影)

だいじしんつなみこころえ き ひ  
(14) 大地震津波心得の記碑 県史跡

所在地：湯浅町湯浅

建設・設置時期：安政 3 年 (1856)

安政 3 年 (1856)、湯浅の伝統的建造物群保存地区の南側にある深専寺門前に建立された石碑で、安政地震と津波の被害、教訓を石碑に記し後世まで残すため設置された。

地震が起きた場合、必ず津波が押し寄せるものと考え、火の用心をしたうえで、浜辺や川筋には逃げず、石碑のある深専寺から東に向かい、天神山へ逃げるよう、記されている。



大地震津波心得の記碑

(和歌山県教育委員会、2023.12 撮影)

ひろむらていぼう  
(15) 広村堤防 国史跡

所在地：広川町広

建設・設置時期：安政 5 年 (1858)

安政元年 (1854)、東海地震が起きた翌日に南海地震が発生し、津波が広村を襲った。濱口梧陵は暗闇の中逃げ道が分からない人々がいると考え、田んぼの稲むらに火をつけ、高台へ進む目印とした。この有名な稲むらの火の話の舞台となった地が、広村堤防の築かれた場所である。

広村には元々、畠山氏が築いた石堤があったが、大きな津波を防ぐことはできず、村は荒廃した。梧陵は 1572 両の私財を投じ、延べ 56,736 人の村人を日雇いし、津波の被害にあった村から人々の離散を食い止めた。その結果、安政 5 年 (1858) に完成したものが広村堤防で、高さ 3.4m、幅約 17m、長さ 652m の規模がある。

「是れ此の築堤の工を起こして住民百世の安堵を図る所以なり」という梧陵の言葉のとおり、昭和 21 年 (1946) の昭和南海地震では、市街地への津波の流入を防いだ。

平成 30 年 (2018) に広村堤防及び周辺の防災関係の文化財は、日本遺産「百世の安堵」に認定されている。また、「稲むらの火」の話は小泉八雲により世界に発表された文章が元になっているほか、安政の津波の起きた 11 月 5 日は国連により「世界津波の日」と定められた。



広村堤防

(和歌山県教育委員会、2022.5 撮影)



## (16) <sup>はまぐちけいじゅうたく</sup>濱口家住宅 国重文

所在地：広川町広

建設・設置時期：江戸～

濱口家住宅は、有田郡広川町広に所在し、広の中心部に広い敷地を構える。当家は東濱口家と通称し、江戸時代中期には関東へ出て主に塩・醤油を扱う問屋「廣屋」を創業し、発展した。明治以降も廣屋の経営のほか、多方面の事業で活躍した。代々吉右衛門を名乗る広を代表する実業家の一つである。

敷地には街路に面して江戸時代建設の主屋が建つほか、文化 11 年(1814)頃の上棟とみられる本座敷が続き、その他文庫や米蔵などの土蔵群が建つ。

当家における近代の建築で最も注目されるのが、主屋背面に建つ御風楼である。明治 42 年(1909)頃に建設された、木造 3 階建て、瓦葺き及び銅板葺きで、1 階は台所などの生活空間とし、2 階と 3 階にそれぞれ座敷を設ける。3 階座敷は天井を折上天井とするなど格式高く仕上げ、三方に縁を廻らせてガラス戸を入れ、西方に広がる海の景色を楽しむことができるよう工夫されている。和風を基調としながらも、創意に富んだ平面構成、内部意匠を持ち、煉瓦や鋼材の使用など近代的な手法も取り入れた上質の座敷棟である。



濱口家住宅 御風楼  
(広川町提供、2014.5 撮影)

## (17) <sup>きかんちょうきゅうめいてい</sup>クヌッセン機関長救命艇

所在地：日高町阿尾

建設・設置時期：昭和 32 年(1957)

昭和 32 年(1957)、高砂丸船員を救助しようとしたエレンマースク号の救命艇がクヌッセン機関長救命艇保管庫にて当時の状態のまま保管されている。保管庫は平成 24 年(2012)に移転しリニューアルした。

また、昭和 32 年に地元の日高町田杭区が「クヌッセン機関長遺骸発見之地」石碑を建立した。



クヌッセン機関長救命艇  
(日高町提供、2012.5 撮影)



## (18) <sup>めいじ</sup> <sup>ねんすいがいきねん</sup> 明治22年水害記念碑 町民俗

所在地：日高川町若野

建設・設置時期：明治38年(1905)

明治22年(1889)の豪雨は十津川水害と呼ばれるが、豪雨の土砂崩れにより谷筋に大規模な天然ダムが発生・決壊し、田辺市や上富田町で甚大な被害をもたらした。

日高川沿いの若野地区でも、水害の記念碑が建てられており、自然石に「明治廿二年八月廿二日大雨紀州日高川決矣害及全部家流人畜多死而若野村最甚失家三十七殞命者三十九…」と記されている。



明治22年水害記念碑

(日高川町提供、2023.12月撮影)

## (19) <sup>のちのためのかがみ</sup> 為後鑒 町建造物

所在地：すさみ町周参見

建設・設置時期：安政4年(1857)

安政の南海地震の後、すさみ町周参見の王子神社裏山の大日山では、山崎地区の村人が、津波から避難したこの山に石碑を建てた。石碑は高さ約90cm、幅48cm。

元々、山の中腹にあったが、昭和48年に山の頂上へ移設された。昭和54年(1979)に大日如来堂を再建し、毎年1月に餅投げなどを行い、その行事が津波からの避難訓練になっているという。



為後鑒

(すさみ町提供、撮影時期不明)

## (20) <sup>つなみ</sup> <sup>ひ</sup> 津波の碑 町建造物

所在地：すさみ町周参見

建設・設置時期：昭和21年(1946)

昭和21年(1946)の南海地震では、死者17名、家屋流失136戸、浸水403戸との記録が残る。南海地震の後には、周参見町が、津波の状況について後世の参考になるように、JR周参見駅の東にある萬福寺境内に津波の碑を建てた。石碑は高さ約1.6m、幅約1mで、板面には、津波が起きた際の安全な避難場所は小学校・万福寺などであると記されている。



津波の碑

(すさみ町提供、2019.5撮影)

## (21) <sup>へいうんまるそうなんひ</sup>平運丸遭難碑 町建造物

所在地：すさみ町周参見

建設・設置時期：明治4年(1871)

明治4年(1871)8月に周参見沖で沈没した平運丸の犠牲者を慰霊するために建てられた。

平運丸には、政府より北海道日高郡新ひだか町静内へ移住と開拓を命ぜられた、徳島藩筆頭家老稲田家の旧家臣と家族の546人が乗船していたが沈没により83名が犠牲となった。開拓先の北海道日高郡新ひだか町にも平運丸遭難の碑が残されている。



平運丸遭難碑

(すさみ町提供、2017.10撮影)

## (22) <sup>ごうそうなんひ</sup>ノルマントン号遭難碑

所在地：那智勝浦町狼煙山

建設・設置時期：昭和10年(1935)

明治19年(1886)10月に熊野灘で暴風雨に遭い沈没した事件の犠牲者を追悼するために建立された。沈没事故の際に、日本人乗客25名は全員水死した。この事件は、不平等条約撤廃を求める世論が高まるきっかけとなったことでも知られている。同年11月に木碑が建立され、その後、昭和10年(1935)に石碑が建立された。



ノルマントン号遭難碑

(那智勝浦町教育委員会提供、2024.2撮影)

## (23) <sup>ひょうりゅうじんきねんひ</sup>漂流人記念碑

所在地：太地町太地

建設・設置時期：明治～大正

明治11年(1878)に起きた太地の捕鯨史上最大の悲劇を記念するために建てられた石碑である。大脊美(おおせみ)流れと呼ばれる惨事で、クジラを追って沖に出た船団が悪天候に遭い、100人以上が帰らぬ人となった。東の浜に建てられたが、昭和34年(1959)に別の場所に移され、平成14年(2002)に太地港を見下ろす場所に移された。



漂流人記念碑

(太地町提供、撮影時期不明)



## (24) エルトゥールル<sup>ごうそうなんじけんいせき</sup>号遭難事件遺跡 国史跡

所在地：串本町檜野

建設・設置時期：明治 23 年(1890)～

明治 23 年(1890)に和歌山県東牟婁郡串本町の大島にある檜野崎で起きた、オスマン帝国(現在のトルコ)の軍艦エルトゥールル号の海難事故と、その後の救助・慰霊に関する文化財が残されている。軍艦エルトゥールル号は、オスマン帝国の皇帝アブデュルハミト 2 世が明治天皇に勲章を贈るために派遣した軍艦で、トルコに帰国するために横浜を出港し、台風によって紀伊大島の檜野崎にある船甲羅に衝突し、司令官オスマン・パシャを含む 500 名以上が死亡又は行方不明となった。生存者は檜野崎灯台の明かりを頼りに灯台にたどり着き、地元の住民等により 69 名が救助された。住民は食料や衣類を提供し、医師や日本赤十字社の要員が負傷者の治療を行った。生存者は、海軍の比叡と金剛により、イスタンブールまで送り届けられた。

令和 2 年(2020)に檜野崎灯台、船甲羅、生存者が上陸したと伝えられる遭難者上陸地、犠牲者を葬った遭難者墓地等を含む一帯が国指定史跡となった。

この事件は、日本とトルコの友好関係の礎となった重要な出来事として知られており、串本町では 5 年ごとに慰霊祭が執り行われている。



エルトゥールル号遭難事件遺跡 船甲羅  
(和歌山県教育委員会、2020.10 撮影)



エルトゥールル号遭難事件遺跡 遭難者墓地  
(串本町提供、撮影時期不明)



(25) <sup>わごうあん</sup>和合庵 国登録

所在地：高野町大字高野山字一心院谷

建設・設置時期：大正 15 年(1926)

大正 15 年(1926)に建てられた住宅で、敷地の中央に主屋、南に塀、北端に土蔵、主屋の南東に門を置く。主屋は、桁行 4 間半、梁間 4 間、南北棟、入母屋造鉄板葺の木造 2 階建。土蔵は、桁行 2 間半、梁間 2 間の切妻造棧瓦型銅板葺の 2 階建。塀は、長 7.4m の棧瓦型銅板葺の木造屋根塀。門は、寄棟造鉄板葺の腕木門で、北面に「和合庵」の扁額を掲げる。平成 20 年(2008)に国登録有形文化財に登録された。



和合庵

(高野町教育委員会提供、2017.10 撮影)

(26) <sup>まつしたこうのすけくんせいたん</sup>松下幸之助君生誕の地 <sup>ち</sup>

所在地：和歌山市禰宜

建設・設置時期：昭和 39 年(1964)

日本の大手電機メーカーのパナソニックの創業者である松下幸之助が明治 27 年(1894)に生まれた場所で、近隣には松下家の墓所と松下公園がある。昭和 39 年(1964)に石碑が建てられ、石碑の題字はノーベル物理学賞受賞者の湯川秀樹によるものである。



松下幸之助君生誕の地 石碑

(和歌山県教育委員会、2022.5 撮影)

(27) <sup>きいふどき</sup>紀伊風土記の丘 <sup>おか</sup> <sup>まつしたきねんしりょうかん</sup>松下記念資料館 国登録

所在地：和歌山市岩橋

建設・設置時期：昭和 46 年(1971)

国の特別史跡である岩橋千塚古墳群の保全と公開を目的として、昭和 46 年(1971)に開館した。資料館は郷土出身の実業家である、松下幸之助の寄付によって建てられた。モダニズム建築で定評のある浦辺鎮太郎によって設計され、古代から着想を得たデザイン要素を取り入れて、景観に溶け込む建築となっている。

外観は弥生時代の高床式住居を模しており、外壁には地元原産の青石を小口積みで貼り、古墳の風情を出している。格子には、銅鐸文様を



紀伊風土記の丘松下記念資料館

(和歌山県教育委員会、2022 撮影)

模したアルミの鋳物が施されている。内部の展示室は、竪穴式住居を彷彿させるような勾配のある天井となっている。令和4年に国の登録有形文化財に登録された。

## (28) <sup>むつむねみつせんせいのぞう</sup>陸奥宗光先生乃像

所在地：和歌山市岡山丁

建設・設置時期：昭和46年(1971)

明治時代に外務大臣として日本の近代化と国際的地位の向上に貢献した陸奥宗光を讃えるために、和歌山市の岡公園に昭和46年(1971)に建立された。陸奥宗光は岡公園から南西約1kmの場所に生まれ、明治政府では、外務省の官僚として、欧米諸国との不平等条約の改正に尽力した。銅像は、保田龍門のエスキースをもとに息子の保田春彦によって制作された。



陸奥宗光先生乃像

(和歌山県教育委員会、2024.1撮影)

## (29) <sup>もりたせつさいおうぼち</sup>森田節斎翁墓地 県史跡

所在地：紀の川市荒見

建設・設置時期：明治元年(1868)

森田節斎は、幕末の医師・思想家・儒学者・教育家である。京都で塾を開いて尊王攘夷を唱え、吉田松陰ら尊攘志士を輩出した。幕府から追われ荒見村(現在の紀の川市粉河町荒見)に移り、「簡塾」とよばれる塾を開き子弟の教育にあたっていたが、慶応4年(1868)に死去し、森田節斎墓が建てられた。近隣には、大正14年(1925)に森田節斎先生顕彰碑が建てられている。墓地は昭和33年(1958)に県指定史跡となった。



森田節斎翁墓地

(紀の川市教育委員会提供、2008.4撮影)



きゅうよししょうかんけおかけ  
(30) 旧四所庄官家岡家 国登録

所在地：九度山町入郷

建設・設置時期：幕末

道の駅くどやまの南約 300m、紀ノ川中流南岸の集落最上部に南面して建っている。岡家は高野山の中心的な荘園であった「官省符荘」を管理する「四所庄官」のひとつに数えられ、四所庄官家として唯一残されている。室町時代から江戸時代末期までは、紀の川南岸の荘園を管理する「河南執行」の職責を務めていた。令和元年に建物が国登録有形文化財に登録された。



旧四所庄官家岡家  
(九度山町提供、2017 撮影)

きくちかいそうやしきあと  
(31) 菊池海荘屋敷跡

所在地：湯浅町栖原

建設・設置時期：江戸～

漁業によって栄えた和歌山県有田郡湯浅町栖原地区に所在している。菊池家は、代々栖原に本宅を置いて江戸で薬種・砂糖問屋を営み、豪商として栖原の繁栄を支えた家であり、多くの文化人を輩出した。菊池海荘は、紀州藩や朝廷に海防を献策し、地域の青年を教育して農兵隊を組織しており、幕末の軍事・海防面において注目された人物であり、漢詩人としても著名であった。鹿島祠と呼ばれる社や、芳雲碑と呼ばれる石碑や井戸、水路などが残されている。



菊池海荘屋敷跡  
(湯浅町教育委員会提供、2024.2 撮影)

たいきゅうしゃ  
(32) 耐久社 県史跡

所在地：広川町広

建設・設置時期：明治3年(1870)

明治3年(1870)に建てられた平屋建瓦葺建物。嘉永5年(1852)に濱口梧陵らが故郷の子弟教育のため広村田町に稽古場として剣術、漢学を教授した私塾である。何度か移転しており、現在は耐久中学校敷地内にある。耐久社は耐久学舎と名前を変え、現在は広川町立耐久中学校、和歌山県立耐久高等学校となっている。昭和33年(1958)に県指定史跡となった。



耐久社  
(和歌山県教育委員会、2022.7 撮影)



きゅうみなかたくまぐすけじゅうたく  
(33) 旧南方熊楠家住宅 国登録

所在地：田辺市中屋敷町

建設・設置時期：明治中期～

在野の博物学者として著名な南方熊楠が大正5年(1916)から25年間過ごした住宅。主屋、書斎、土蔵、井戸屋形、庭が残る。庭で新属新種の変形菌(粘菌)を発見するなど熊楠にとって、居住・研究の場として大切な空間であった。平成27年(2015)に国の登録有形文化財に登録された。



旧南方熊楠家住宅 書斎

(田辺市提供、2014.4撮影)

みなかたくまぐす はか  
(34) 南方熊楠の墓

所在地：田辺市稲成町

建設・設置時期：昭和16年(1941)

昭和16年(1941)に74歳で永眠し、旧南方熊楠家住宅から北に約1kmの場所にある高山寺境内墓地に墓が建っている。墓石の字は弟子の雑賀貞次郎が、熊楠の自筆文字の中から選んだものである。高山寺境内墓地には合気道の創始者である植芝盛平の墓も建てられている。



南方熊楠の墓

(田辺市提供、2024.1撮影)

みなかたくまぐすきねんかんほんかん  
(35) 南方熊楠記念館本館 国登録

所在地：白浜町字崎の北

建設・設置時期：昭和40年(1965)

記念館は番所山公園内の最高地点に位置する。南方熊楠はかつて田辺湾に停泊した軍艦上で田辺湾の神島を始めとした植物について昭和天皇へ進講しており、熊楠没後に昭和天皇が白浜に行幸された際、神島を見て熊楠を思う御製を詠まれたことが記念館設立のきっかけとなった。本館はモダニズムを基調とした建物で、鉄筋コンクリート造2階建て、緩い糸巻き型とした細長い平面形である。正面は2階を腕木で張り出して造り、特徴的な2階の底は丸みを帯びたコンクリート研りの量感のあるものとなる。薄く仕上げた袖壁を正面両側に突き出



南方熊楠記念館

(和歌山県教育委員会、2020撮影)

し、緩い上すばまりの安定感ある立面で、屋上まで突き出た塔屋状の螺旋階段部が左右対称性を破り、アクセントとなっている。1階内部は正面に玄関ホール、会議室等を設ける。玄関ホールには螺旋階段があり、階段はコンクリートで美しく造られている。2階には展示室とその背面に貴賓室がある。貴賓室は北面の間口一杯に設けられた窓から田辺湾が一望出来る設計で、開館後、多くの皇族がこの貴賓室を使用された。

### (36) きゅうにしむらけじゅうたく にしむらいさくきねんかん 旧西村家住宅(西村伊作記念館) 国重文

所在地：新宮市丹鶴

建設・設置時期：大正3年(1914)

旧西村家住宅(西村伊作記念館)は、新宮市丹鶴の住宅街に所在する西村伊作(1884-1963)により設計された、西村の自邸である。西村は新宮市出身で、文化学院の創立者としても知られる教育者、文化人であり、そして建築家であった。この元自邸は昭和53年(1978)より西村伊作記念館として一般に公開されており、平成22年(2010)に重要文化財(建造物)に指定された。根本的な保存修理が完了し各所が復原され、令和2年より改めて一般公開されている。

住宅は大正3年(1914)から翌年にかけて建設された、木造2階建て、切妻造り、棧瓦葺きの建物である。1階の間取りは、玄関ホールがあり廊下が延びて、廊下に沿って居間(リビング)と食堂(ダイニング)、台所(キッチン)を並べる。玄関ホールには2階に上がる階段があり、2階には家族の寝室や和室、浴室などがある。和室を除けば上げ下げ窓など洋風意匠で統一される。座敷を中心とした接客を重んじるそれまでの伝統的な住宅に対し、家族の生活のための居間や食堂を第一として設計されており、給排水設備や給湯設備も備えるなど、現代では当たり前となった住宅スタイルを実現させた初期の建物として貴重である。いっぽうでそれまでの住宅様式が西村によりすべて否定されたものではない。屋根側面の軒下には熊野地方でガンギと呼ばれる垂れ壁を付け雨除けにし、石積みの塀には近隣民家の塀のように玉石を用いるなど、地域の伝統へのリスペクトと調和が見られる点に西村の設計思想が現れている。



旧西村家住宅(西村伊作記念館)  
(新宮市提供、2020.1撮影)

(37) <sup>きゅう</sup>旧チャップマン<sup>てい</sup>邸 国登録

所在地：新宮市丹鶴

建設・設置時期：大正 15 年 (1916)

東京の文化学院創設者である西村伊作が設計した住宅の一つである。チャップマンは米国長老派教会から派遣された宣教師で、新宮を基点としてプロテスタントの布教に努めた。この住宅は重要文化財（建造物）旧西村家住宅の筋向かいにあり、チャップマンは西村の家族とも親しく交流したという。住宅はその後所有者が推移し、一時旅館としても使われたこともあったが、平成 27 年 (2015) に新宮市が取得して整備を行い、平成 31 年 (2019) より観光交流施設として公開活用されている。主屋は木造 2 階建て、切妻造、スレート葺きの洋館である。建物のほぼ中央に正面玄関とホールを設け、そこを動線の要として各部屋に通じる。1 階は南東の部屋をリビングとし、南に半八角形のベイウインドウ、西に暖炉等を配し、北側はダイニングに続く。2 階は階段ホールを中心として、バルコニーを設けた寝室の他、学習室や浴室等からなる。西村が提唱した居間中心型の住宅となっており、外観も全体には装飾を抑えながらも変化に富み、西村の作風を伝えている。



旧チャップマン邸

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)



旧チャップマン邸 リビング

(和歌山県教育委員会、2024.2 撮影)



きゅうさとうはるおてい さとうはるおきねんかん  
(38) 旧佐藤春夫邸(佐藤春夫記念館)

所在地：新宮市新宮

建設・設置時期：昭和2年(1927)

佐藤春夫(1892－1964)は新宮に生まれ多くの作品を残した近代日本の詩人・小説家である。東京都文京区に昭和2年(1927)に建設された佐藤春夫の自邸を、平成元年(1989)に熊野速玉大社境内に移築したものである。木造2階建て、瓦葺き、八角塔が目を引く洋館で、吹き抜けのサンルームや2階八角形の小部屋などに特徴がある。

旧チャップマン邸の近くへの移転工事の準備が進められている。



旧佐藤春夫邸(佐藤春夫記念館)

(新宮市提供、撮影時期不明)

せんだぐんのすけたく  
(39) 千田軍之助宅 市建造物

所在地：紀の川市南志野

建設・設置時期：明治5年(1872)

千田家は代々庄屋を勤めた家であり、千田軍之助は、地租や非常特別税の引き下げや農業保護などに尽力した人物である。明治9年(1876)には地租改正反対運動を児玉仲児らと主導した。この運動は数千人の請願行動に拡大し、県が軍隊の出動を要請するに至り、粉河騒動と呼ばれている。



千田家住宅 主屋

(紀の川市教育委員会提供、2009.4撮影)

じゅうぜんりつじん  
(40) 十禅律院 県建造物

所在地：紀の川市粉河

建設・設置時期：江戸

粉河寺の北東隣接地にあり、寺院を構成する本堂以下の建物がそのまま保存されている。紀州藩の援助を得て建てられたことが棟札などの資料から判明している。粉河騒動後に、県から地価合計帳の差出を厳しく催促されたが、その際の県令の宿泊所となった場所でもある。平成15年(2003)に県指定有形文化財に指定された。



十禅律院 本堂

(紀の川市教育委員会提供、2021.11撮影)

きゅうの だ け じゅうたく  
(41) 旧野田家住宅 国登録

所在地：美浜町三尾

建設・設置時期：昭和9年(1934)頃

日ノ御埼に程近い漁村集落である三尾に所在する、近代の洋風住宅である。江戸時代の三尾は主として漁業を営む村であったが、明治中期より漁民がカナダに渡航し、次第にカナダへの集団的な移民が始まった。帰国した人々はカナダの生活様式を持ち帰ったことから、三尾はアメリカ村とも呼ばれる。この住宅はカナダから帰国した中津家が建設し、後に野田家の住まいとなり、現在は美浜町が所有しカナダミュージアムとして活用されている。主屋は木造2階建て、寄棟造、洋瓦葺きで、外観は下見板張りに水色のペンキ塗りで洋風に造る。主屋正面には円柱やアーチ状の垂壁を用いた玄関ポーチを張り出す。内部は主棟部、台所部、和室部、浴室部をロ字型に連ね、中央に小さな中庭を設ける。本格的な洋室の応接室や食堂等を備える一方で、畳敷きの座敷や居室も備えた和洋折衷の造りである。敷地の東南二面に設けられたコンクリート造の門及び塀とともに、三尾の景観上重要な住宅となっており、アメリカ村の象徴的な存在である。



旧野田家住宅 主屋

(和歌山県教育委員会、2020撮影)

ゆうしんあん きゅうたなか けじゅうたく  
(42) 遊心庵(旧田中家住宅) 国登録

所在地：美浜町三尾

建設・設置時期：昭和8年(1935)頃

カナダへの移民の歴史で知られる三尾地区中心部の高台に所在する住宅である。カナダにおいて鮭漁で成功した三尾出身の田中松蔵によって建設された。田中家の後、数名の所有者を経て、現在は美浜町が所有しゲストハウスとして活用されている。東西に長い敷地の南面に石垣を築き、敷地中央に主屋を建てる。主屋は木造平屋建て、入母屋造、瓦葺きで、正面東端を前方に突出させ、西側には洋間を備えた別棟が接続する。内部は玄関より東側を土間、西側を床上部とし座敷を設ける。別棟は洋風の応接間で、外観も下見板を張り洋風意匠とする。内



遊心庵

(和歌山県教育委員会、2020撮影)



外観ともに落ち着いた和風意匠を基調とするが、一部に洋風を取り入れている点に特徴があり、当地区の民家の歴史を考える上でも重要な建物である。敷地正面に建つ門及び塀は、コンクリート造のモルタル洗い出し仕上げとし、伝統的な屋敷構えに近代的な彩りを添えている。三尾地区において昭和戦前期までに建設された住宅のなかでも、規模が大きく上質で、保存状態も良好な事例として貴重である。

(43) <sup>てんちゅうくら</sup>天誅倉 県史跡

所在地：田辺市龍神村小又川

建設・設置時期：幕末

王政復古を企て挙兵した天誅組の一員、水郡長雄ら8名が自首して京都に護送されるまでの2日間幽閉された農家の米倉である。天誅組は尊皇攘夷派の武装集団で、文久3年(1863)に大和国五條代官所に討ち入り、幕府の追討を受けることとなった。水郡長雄らは追討を逃れてきたが、この地の警備隊に自首している。

現在の倉は、昭和39年(1964)の大雨で倒壊した後に復元されたものである。昭和43年(1968)に県指定史跡に指定された。



天誅倉

(田辺市提供、2006.2撮影)



## 09 政治

### < 傾向 >

中分類 09 政治は、小分類に分けると、01 行政、02 立法、03 司法、04 政治活動、05 外交、06 軍事、07 その他、08 その他（皇室関係）に分けられる。

行政は、県庁・役所・役場、議事堂など地方公共団体が行政事務や議会を行う場所や、行政機関に関する石碑などである。和歌山県庁の本館が国登録有形文化財に登録されており、旧和歌山県会議事堂が重要文化財に指定されている。警察署や交番もいくつか確認されており、旧加太警察署や橋本警察署高野幹部交番が国登録有形文化財に登録されている。

立法は、日本国憲法では国会が唯一の立法機関とされている。国会・憲法等に関するものとして、和歌山市に大日本帝国憲法発布 30 周年記念関係の石碑が確認されている。

司法は、裁判所や刑務所などである。新宮市で拘置支所跡地と裁判所が確認されている。和歌山地方裁判所は老朽化のため、平成 25 年（2013）に建て替えられている。

政治活動は、天誅組など明治維新に関係するようなものや、政治家に関する石碑などとして、頌徳碑や記念碑などの石碑や、住宅などが確認されている。

外交は、外交活動にかかわった人物に関するものとして、満州国皇帝であった愛新覚羅溥儀の通訳を務めた林出賢次郎の家が確認されている。

軍事は、幕末の台場跡や詰所、旧陸海軍の施設や防空壕、忠魂碑や供養塔などの石碑などである。幕末の台場跡や詰所は岬などの見晴らしが良く、海上交通の要衝に作られたことから、後の時代に新たな施設が作られたところも多く、確認できたものが少ない。旧陸海軍の施設は、紀淡海峡周辺に大阪湾防備を目的に作られた由良要塞跡で多くの施設が残されている。また、基地があった由良町、串本町等にも多く施設が残されている。石碑は高野山に慰霊碑が多くみられるほか、各地の寺社に英霊碑・忠魂碑などが残されている。また、日本人だけでなく、田辺市龍神村に墜落した B29 の乗組員を慰霊した石碑も確認されている。

その他は、紀伊藩主の別邸である双青閣や、個人・団体の石碑が確認されている。

その他（皇室関係）は、神武東征に関する顕彰碑や、紀元 2600 年・昭和天皇の即位御大典記念関係の石碑、行幸啓記念碑が確認されている。

県内で確認されている政治の文化財遺産数は 638 件、うち 01 行政が 41 件、02 立法が 1 件、03 司法が 2 件、04 政治活動が 51 件、05 外交が 1 件、06 軍事が 469 件、07 その他が 8 件、08 その他（皇室関係）が 65 件である。

県庁所在地である和歌山市や紀中地域の中心都市である田辺市、紀南地域の中心都市である新宮市に多いが、慰霊碑が多くある高野町も多い傾向である。



09 政治関係の代表的な文化遺産 分布図



わ か や ま け ん ち ょ う ほ ん か ん  
(1) 和歌山県庁本館 国登録

所在地：和歌山市小松原通

建設・設置時期：昭和13年(1938)

和歌山市小松原通一丁目に所在する県庁舎本館で、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造4階建である。昭和13年(1938)に竣工した。和歌山県設置以降3代目の庁舎となり、初代と2代目の県庁舎は現在と異なる西汀丁に建っていた。2代目庁舎の時代までは県会議事堂が併設されておらず、議事堂は別の場所にあつて議会運営にも不便であった。現在地に移転することで、議事堂を備えた現庁舎を新築したものである。

基本設計は県の松田茂樹技師が担当し、実施設計にあたっては、東京帝国大学教授内田祥三が監修を務めた。内田は当時日本建築学会会長を務め、鉄筋コンクリート造の第一人者であった。県が目指したのは強度に優れた建築物で、実施設計は意匠設計を富山県庁舎の設計を行った内務官僚の増田八郎が担当し、構造設計を内田門下の坪井善勝が担当した。施工は清水組(現在の清水建設)であった。

昭和天皇が和歌山に行幸された昭和22年(1947)6月には、知事室に宿泊されている。平成22年(2010)に耐震改修工事を完了し、平成25年(2013)に国の登録有形文化財となった。数多くの人々によって県庁舎は使い続けられ、役割を果たしてきた。

外観は黄色のタイルとテラコッタで飾ったもので、歴史主義からモダニズムに意向する過渡的な意匠を見せる。正面大庇に玄関が設けられ、2階へ上がる。階段ホール の 壁 面 に は 和 歌 山 県 出 身 の 彫 刻 家 保 田 龍 門 の レ リ ー フ が 飾 ら れ る 。 正 庁 や 議 場 、 知 事 室 は 特 に 内 部 意 匠 が 凝 っ た 部 屋 に な り 、 重 厚 か つ 繊 細 な 表 現 が 見 ら れ る 。 そ の 他 の 執 務 室 は 、 平 成 22 年 (2010) の 改 修 時 に 内 装 が 一 新 さ れ て い る 。



和歌山県庁本館 外観

(和歌山県教育委員会、2023.12撮影)



彫刻家保田龍門作のレリーフ

(和歌山県教育委員会、2023.12撮影)



## (2) <sup>きゅうかだけいさつしよ</sup>旧加太警察署 国登録

所在地：和歌山市加太

建設・設置時期：大正 10 年(1921)頃

加太地域の中心部に所在し、加太の警察署として長年地域の人々に親しまれた、洋風の警察署庁舎である。昭和 39 年(1964)までは加太地域の警察活動の拠点として使用され、その後売却され個人の所有となった。現在、内部は住宅に改められているが、外部はほぼ竣工時の姿を保っている。木造 2 階建て、寄棟造、瓦葺きで、北面して建ち、背面には別棟で署長室を接続する。正面は左右対称形で両翼を持ち、正面中央にペディメントを付け、その左右に屋根窓風に小さな破風を二か所並べる。外壁は下見板張りとし、窓はかつて木製の上げ下げ窓であった。小屋組はキングポストトラスである。内部はかつて、入口を入るとカウンターがあり、その奥を広い執務室とし、執務室の左右に小部屋を設けていたという。建設当時、県内には同様の外観を持った洋風警察署建築が複数あったが、これらの類似例は既に失われている。本建築は、当時の洋館建築として、また残存する警察署建築として貴重である。



旧加太警察署 外観

(和歌山県教育委員会、2024.1 撮影)

## (3) <sup>きゅうわかやまけんかいぎじどう</sup>旧和歌山県会議事堂 国重文

所在地：岩出市根来

建設・設置時期：明治 31 年(1898)

旧和歌山県会議事堂は、和歌山城の東側、和歌山市一番丁に明治 31 年(1898)に建設された、和歌山県会(現県議会)の議事堂建築である。木造 2 階建て一部平屋建て、瓦葺き屋根、間口 31m、奥行 47m、建築面積 1,239 m<sup>2</sup>の大規模な建造物で、当時、市内有数の壮麗なる白木の建物と評された。

議事堂は正面より本館、議場、控室の各部に分かれる。本館には接見室、議長室、議員休憩室などが設けられた。議場は正面に床の間が構えられ、上部には彫刻飾りを設けた唐破風が付く。議場を土間廊下で取り巻き、2 階には傍聴席が設けられた。控室は高等官控所や参事会員室、県庁員控所などが設けられた。議場は公会堂としても使われ、明治 44 年(1911)には夏目漱石が「現代日本の開化」と題して講演したこともある。

当時の県庁舎は和歌山城西側の西汀丁にあり、洋風意匠の木造建築であったが、議事堂は腰に下見板を張り、壁を漆喰塗、屋根を瓦葺とした和風意匠で建てられた。外観に洋風要素は見られないが、大空間を造るために、小屋組には洋式のトラス構造が採用されている。

昭和 13 年(1938)に議場を備えた現県庁舎が完成すると、同 16 年(1941)に和歌山市美園町、同 37 年(1959)に岩出町の根来寺に移築され、根来寺の山号「一乗山」にちなんで「一乗閣」と名付けられた。平成 24～27 年度の保存整備事業によって、建築当初の姿に戻され、道の駅ねごろ歴史の丘の東側に移築された。本建造物は木造和風意匠の府県会議事堂として現存唯一であり、近代の和歌山県政史を物語る遺構として価値が高い。



旧和歌山県会議事堂 外観  
(岩出市提供、2024.1 撮影)



旧和歌山県会議事堂 議場  
(和歌山県教育委員会、2020.4 撮影)

#### (4) はしもとけいさつしよこうやかんぶこうばん 橋本警察署高野幹部交番 国登録

所在地：高野町大字高野山

建設・設置時期：大正 10 年(1921)

高野山の中心部に所在し、当初は橋本警察署高野分署庁舎として建設された後、高野警察署を経て、現在に至るまで橋本警察署高野幹部交番として使用されている。建物は木造 2 階建て、切妻造、銅板葺きで、反りのある切妻屋根の正面中央に千鳥破風を設ける。縦長窓等の洋風意匠も取り入れながらも、藁股や舟肘木、妻の豕叔首(いのこさす)等、社寺建築の意匠を各所に散りばめ、和洋の要素が巧みに調和した外観が特徴である。内部は 1 階に執務室や所長室等を配し、2 階は正面側を広く一室の集会室とし、増築とみられる背面側には畳敷きの 4 室を並べる。内部は主に洋風を基調とし、壁及び天井は漆喰塗りで上部に蛇腹を廻し、1 階は腰までを板張りとする。各室だけでなく、吹き抜けに造った階段室までも、控えめな装飾ながらも整った意匠となっている。この交番は竣工当時の外観を良く遺し、高野山の歴史的景観に配慮した近代和風建築の好例である。



橋本警察署高野幹部交番 外観  
(高野町教育委員会提供、撮影時期不明)

## (5) <sup>さいかざきだいば</sup> 雑賀崎台場 県史跡

所在地：和歌山市雑賀崎

建設・設置時期：嘉永7年(1854)

和歌山市南西のトンガの鼻と呼ばれる岬の先端に位置している。江戸時代末期には外国船が日本近海に多く来航しており、外国船に備えるために、18世紀後半から19世紀前半にかけて紀州藩により県内各地に台場が築かれた。

発掘調査により、丘陵先端部に土塁がめぐり、土塁の下には石垣が構築されていることが確認されている。中央部には逆V字状の石積み遺構が確認され、これは砲台に関連する施設であると考えられる。江戸時代末期の海防に関する貴重な遺跡である。



雑賀崎台場跡 土塁

(和歌山県教育委員会、2021.10撮影)

## (6) <sup>ゆらようさいあと</sup> 由良要塞跡

所在地：和歌山市友ヶ島、深山、加太

建設・設置時期：明治22年(1889)～

明治政府は大阪湾防衛を目的として、明治22年(1889)から紀伊半島と淡路島の間にある紀淡海峡周辺に由良要塞の建設を始めた。由良要塞は、淡路島の鳴門地区、由良地区、和歌山市の友ヶ島地区、加太・深山地区の4地区に分けられ、各地区には砲台や堡塁、観測所などが設置された。要塞司令部は兵庫県洲本市由良に置かれ、和歌山市側には深山重砲兵連隊が置かれた。

友ヶ島地区には、第1～第5砲台、友ヶ島電灯、虎島堡塁が置かれた。これら『友ヶ島砲台群』は、平成15年(2003)に土木学会選奨土木遺産に選ばれている。また、潜水艦の侵入を探知するための海軍聴音所も置かれている。令和5年度に、和歌山市が発掘調査を行っている。

加太・深山地区は、和歌山市加太を中心に、北側に深山第1・第2砲台、男良谷砲台、城ヶ崎電灯、大川山堡塁、高森山砲台、南側に加太砲台、田倉崎砲台、東側に佐瀬川堡塁、西ノ庄堡塁が置かれた。加太・深山地区等への補給は、加太軽便鉄道(現在の南海電気鉄道加太線)が担っていた。令和3年度には、和歌山県教育委員会が深山第1砲台跡と男良谷砲台跡で発掘調査を行っている。

第二次世界大戦後には、連合国軍総司令部(GHQ)によって一部が破壊されるが、多くの施設が比較的良好な状態で残存しており、日本の近代化と軍事史にとって貴重な遺産である。





友ヶ島第1砲台 観測所  
(和歌山県教育委員会、2022.7撮影)



友ヶ島第2砲台  
(和歌山県教育委員会、2022.7撮影)



友ヶ島第3砲台  
(和歌山市提供、2022.7撮影)



友ヶ島第4砲台  
(和歌山県教育委員会、2022.7撮影)



友ヶ島第5砲台  
(和歌山県教育委員会、2022.7撮影)



将校宿舎跡  
(和歌山県教育委員会、2022.7撮影)





深山第1砲台跡 砲座調査状況  
(和歌山県教育委員会、2022.3撮影)



男良谷砲台跡 砲座調査状況  
(和歌山県教育委員会、2022.3撮影)

## (7) きゅうかいぐん ひ の みさき ぼう びえいしょ とくせつ みはりじょあと 旧海軍日ノ御埼防備衛所・特設見張所跡

所在地：美浜町三尾

建設・設置時期：昭和17年(1942)

日の岬の先端に位置しており、近くには紀伊日ノ御埼灯台がある。昭和17年(1942)9月に開設され、電波探信儀(対艦レーダー)や二式磁気探知機及び九七式水中聴音機を配置した水中監視部隊が配備され、敵艦の侵入を防ぎ、大阪湾の防御を図ることを目的に構築された。

令和4年度に和歌山県教育委員会が発掘調査を行っている。

隣接地には明治28年(1895)1月25日に初点燈した日ノ御埼灯台跡地がある。



電波探信儀の基礎  
(和歌山県教育委員会、2023.3撮影)

## (8) き い ぼう びたい き ち あと 紀伊防備隊基地跡

所在地：由良町里

建設・設置時期：昭和14～20年(1939～1945)

海上自衛隊阪神基地隊由良基地から由良町役場の一帯に位置していた。紀伊防備隊は、昭和12年(1937)に基地建設が決定され、昭和14年(1939)に完成した。主な任務は敵潜水艦の大阪湾侵入阻止である。基地の周辺には弾薬庫跡や震洋の格納庫などの軍事遺跡が多く残っている。由良町役場前には、昭和54年(1979)に建立された石碑がある。



紀伊防備隊基地跡の石碑  
(由良町提供、撮影時期不明)



## (9) <sup>しらさき</sup>白崎の<sup>かいてん き</sup>回天<sup>ち あと</sup>基地跡

所在地：由良町大引

建設・設置時期：昭和

白崎海洋公園に位置する。明治 20 年頃より石灰石の採掘が開始されるが、坑道を転用して基地が作られている。この基地には、紀伊水道へ侵攻してくる敵艦を攻撃するため、回天(爆薬を充填した一人乗りの潜水艇)が配備された。回天は人間魚雷とも言われ、特攻隊員が配属されていたが、出撃することなく終戦を迎えている。戦後は石灰石の採掘が再開されるが、昭和 47 年(1972)に閉山し、その後に和歌山県自然公園に指定されている。



回天基地跡(白崎海岸)  
(和歌山県教育委員会、2021.10 撮影)

## (10) <sup>しんよう</sup>震洋の<sup>き</sup>基地<sup>ち あと</sup>跡

所在地：田辺市新庄町

建設・設置時期：昭和 24 年(1949)

田辺市の内ノ浦湾に面した鳥の巣泥岩岩脈にトンネルが掘られている。周辺はリアス式海岸で入り組んだ海岸線となっている。この場所に震洋(敵艦に対して自爆攻撃を仕掛けるボート)を配備した基地があり、格納トンネルが 7 本確認されている。平成 27 年(2015)に NPO 法人震洋鳥の巣基地跡保存会が鳥の巣平和公園を開設し、休憩室・石碑・説明板・原寸大復元ボートを設置している。



震洋の基地跡  
(和歌山県教育委員会、2022.1 撮影)

## (11) <sup>ついらくち</sup>B29<sup>いれい ひ</sup>墜落地・慰霊碑

所在地：田辺市龍神村殿原

建設・設置時期：昭和

県道 371 号線宮前大橋の近くにある惣大明神横に石碑が建てられている。昭和 20 年(1945)5 月 5 日に B29 が旧日本軍の紫電改に撃墜され、搭乗員 7 人が死亡したほか、パラシュートで脱出した 4 人のうち 3 人がその後に処刑され、1 人は不明とされている。昭和 22 年(1947)12 月に墜落した山中に慰霊碑を建立後、水害などで



連合軍戦没アメリカ将士の石碑  
(田辺市提供、2006.2 撮影)



数回場所を変えている。石碑には連合軍戦没アメリカ将士之碑の文字が刻まれている。地元では毎年5月に慰霊祭を開いている。

## (12) <sup>ひこうじょうねんりょう こ</sup>イサデ飛行場燃料庫

所在地：串本町潮岬

建設・設置時期：昭和4年(1929)

串本町立潮岬中学校周辺にはイサデと呼ばれる芝地があり、昭和4年(1929)に土地が買収され、昭和8年(1933)にから終戦まで飛行場として利用されていた。飛行場ではあるが、敷地が狭かったことから、芝生が張られた不時着陸場として使われたが、使用はほとんどなかったとされている。飛行場の跡地には中学校が建てられ、周辺は住宅地となっている。現在は鉄筋コンクリート造りの燃料庫が1棟残されているだけである。



イサデ飛行場燃料庫 外観  
(串本町教育委員会提供、2024.1撮影)

## (13) <sup>きゅうかいぐんむ せんそうしんじょ</sup>旧海軍無線送信所

所在地：串本町串本

建設・設置時期：昭和19年(1944)

串本町須賀漁港東側の住宅地に位置している。敵の潜水艦の居場所を探る航空機に無線で連絡を取るための送信施設で、戦争の激化により、昭和19年(1944)に通信設備は全て爆弾の投下にも耐えられる頑強な造りの地下施設に移された。地下の空間は長さ約20m、幅約4mと細長く、送信機や発電機を置く部屋に分かれている。地上には入口が3カ所、通気口がある。



旧海軍無線送信所 地下送信所入口  
(串本町教育委員会提供、2022.3撮影)

そうせいかく きいはんしゅとくがわよりみちべってい  
(14) 双青閣(紀伊藩主徳川頼倫別邸) 国登録

所在地：海南市阪井

建設・設置時期：大正9年(1920)

海南市の市街地から東に約4kmの場所にある亀池の中島に建てられている。亀池は、宝永7年(1710)に井沢弥惣兵衛(徳川吉宗の命により、灌漑や新田開発といった事業に尽力した人物。)によって灌漑用池として造られた県下最大級の池である。元々は旧紀伊藩主の徳川頼倫が、大正9年(1920)に徳川入国300年を記念して、和歌山市の和歌浦東照宮の下に建てたものであり、昭和43年(1968)に現在の場所に移築された。

建築面積は144㎡で、木造2階建の入母屋造で1階に庇がつく構造である。4間半の四周に縁が巡り、北西に玄関、東に階段を突出させている。内部は1階に4室、2階に6室を配しており、2階南西の10畳が主座敷となる。

平成16年(2004)11月に国の登録有形文化財に登録されている。



双青閣 外観

(海南市教育委員会提供、2019.10撮影)

ありまのみこむすびまつきねんひ  
(15) 有間皇子結松記念碑 県史跡

所在地：みなべ町西岩代

建設・設置時期：昭和11年(1936)

JR岩代駅から西に約800mの国道42号線の横に建てられた石碑である。石碑が建つ場所は、孝徳天皇の皇子である有間皇子が、謀反の罪に問われ、白浜の牟婁の湯に行幸していた斉明天皇と中大兄皇子の元に護送される途中で、自分の命の平安無事を祈って和歌を詠んだ場所である。昭和11年(1936)に岩代村青年団によって建立され、表面に蘇峰学人の文字で「有間皇子結松記念碑」、裏面に有間皇子の和歌二首が刻まれている。

石碑が建つ場所は、昭和33年(1958)に和歌山県指定史跡となっている。



有間皇子結松記念碑

(和歌山県教育委員会、2023.6撮影)



## 10 文化

### ＜傾向＞

中分類 10 文化は、小分類に分けると、01 学校、02 研究施設、03 文化施設、04 出版・報道、05 スポーツ施設、06 宗教施設、07 その他に分けられる。

学校は、校舎や私塾の建物、石碑、銅像などである。橋本市の高野口尋常高等小学校は国指定重要文化財に指定されており、湯浅町の旧湯浅尋常高等小学校講堂や、和歌山市の旧制和歌山中学校運動場スタンド・図書館は国登録有形文化財に登録されている。校舎は小学校が多い傾向にある。石碑としては、先生や学校の開設に尽力した人のものが確認されている。銅像としては、二宮金次郎の像や先生の像などが確認されている。

研究施設は、天文台や実験場のほか、学者の記念碑などである。世界で初めてビタミン A 抽出に成功した農学博士高橋克己の頌徳碑と生誕地に石碑が確認されている。

文化施設は、図書館や博物館、動物園、市民会館などである。高野町の高野山大学図書館や高野山霊宝館、新宮市の三輪崎青年会館は国登録有形文化財に登録されている。和歌山城公園動物園といった古くから市民に親しまれている施設も確認されている。

出版・報道は、有線放送や放送局、書籍新聞に関係した人物の記念碑などである。新宮市の住宅地には NHK と和歌山放送の送信アンテナが確認されている。

スポーツ施設は、体育館やグラウンド、スポーツ選手に関する記念碑などである。明治 38 年（1905）に建てられた岡公園室内体育館（武徳館）は移築された現在も使われている。

宗教施設は、寺社の石造物や建造物、キリスト教の教会などである。高野町の金剛峯寺には、弘法大師入定千百年御遠忌大法会記念で建てられた建造物群が確認されている。キリスト教の教会では、那智勝浦町の日本基督教団紀南教会が国登録有形文化財に登録されている。和歌山市やかつらぎ町では、寺社の石造物調査が進んでいるため、他の地域よりも多く確認されている。

その他は、様々な職種の人物に関する石碑や土地を記念する石碑、歌碑・句碑などである。人物に関する石碑は、偉人から一般の人まで、様々な人の石碑が確認されている。土地を記念する石碑としては、遺跡や記念物などの記念碑が確認されている。歌碑・句碑は、公園や社寺に建てられていることが多く、ほかの場所から移転してきたものも多くある。和歌山市が行った石碑の調査では、幕末期に紀州藩に仕えた漢学者の倉田績が撰文した石碑が多く残されていることを確認している。

県内で確認されている文化の文化遺産数は 1342 件、うち 01 学校が 158 件、02 研究施設が 6 件、03 文化施設が 26 件、04 出版・報道が 11 件、05 スポーツ施設が 7 件、06 宗教施設が 852 件、07 その他が 282 件である。



10 文化関係の代表的な文化遺産 分布図



きゅうせいわ か や まちゅうがっこうとしょかん うんどうじょう  
(1) 旧制和歌山中学校図書館・運動場スタンド 国登録

所在地：和歌山市吹上

建設・設置時期：大正 11 年(1922)・昭和 4 年(1929)

旧制和歌山中学校は明治 12 年(1879)最初の県立中学校として真砂町に開校した。その後移転を経て、大正 4 年(1915)に現在地に校舎を新築した。戦後は、旧制和歌山女学校とともに、昭和 23 年(1948)に新制高等学校である桐蔭高等学校が開校し現在に至っている。

図書館は、開校 50 周年の記念事業として保護者の寄付金で建てられた。鉄筋コンクリート造、平屋建て、陸屋根の建築で、当時敷地の北側にあった正門を入れてすぐ東に西面して建つ。昭和 53 年(1978)に閲覧室後方の書庫を撤去し、同窓会館として改修されたが、旧閲覧室部の外観は旧態をよく遺す。正面玄関ポーチには太い円柱や手摺りを置いて重厚な意匠とすると同時に、底下の蛇腹や正面壁面中央に飾られた旧制中学校校章によって、水平線を強調している。側面は連続縦型窓を配し、奥行きを強調しており、モダンな意匠の近代建築である。細部は和歌山中学校の「中」をモチーフにした床下換気グリルに至るまで工夫が見られる。

運動場スタンドは、敷地背後の丘陵斜面を活かしたコンクリート製の観客席で、校地東半を占める運動場の北辺と東辺に設けられた。大正 11 年(1922)に全国中等学校優勝野球大会での 2 年連続優勝を果たした直後、和歌山県や和歌山市、また有志からの寄付金によって建設された。竣工後に皇太子(後の昭和天皇)が行啓され、初めて野球観戦をされたとの記録が残る。北翼部は長さ約 52m で、西側 11 段、東側 10 段、長さ約 112m の東翼部は 12 段から成る。最上段に設けられた塀は当初コンクリート柱に鉄線張りであったが、現在はコンクリートブロック造である。塀のほか、客席の細部において外観上の変更が見られるものの、スタンド全体の構成としては当初の様子をよく残し、今なお同校の運動場スタンドとして現役で使用されている。これらは、和歌山県下の名門旧制中学校の歴史を物語る貴重な遺構である。



旧制和歌山中学校 図書館  
(和歌山県教育委員会、2021 撮影)



旧制和歌山中学校 運動場スタンド  
(和歌山県教育委員会、2021 撮影)

きゅうこうやぐちじんじょうこうとうしょうがっこう  
(2) 旧高野口尋常高等小学校 国重文

所在地：橋本市高野口町名倉

建設・設置時期：昭和 12 年(1937)

旧高野口尋常高等小学校は、紀の川北岸の平野部である橋本市高野口町名倉に所在する。もとは明治 8 年(1875)に村学と称して開設されたのに始まり、明治 44 年(1911)に高野口尋常高等小学校と改称した。その後校地を移転して、昭和 12 年(1937)に新しく建設されたのが本校舎である。昭和 22 年(1947)に高野口小学校と改称、平成 18 年(2006)3 月の高野口町と橋本市の合併により橋本市立となった。平成 23 年(2011)には大規模な改修工事を完了し、現在も現役の小学校校舎として使用されている。

広い敷地には、東に校舎を、西に体育館や運動場を配する。校舎は東を正面とした、木造、平屋建て、棧瓦葺きで、建築面積は 3,500 m<sup>2</sup>を超える県下屈指の大規模木造建築である。校舎の設計者は、地元高野口町出身で同校の卒業生でもある藪本芳一(1908-1992)とされる。

校舎は正面に桁行 100m 近い南北棟をおき、その背後に 4 棟の東西棟を楕形に接続させ廊下で繋ぎ、各教室を連ねる。全体に真壁造り、漆喰塗りの和風建築として造られるが、柱は太く、筋交いや方杖を多用するなど、耐震・耐風に関する工夫が随所に認められる。屋根構造は様式のトラス構造である。大正 12 年(1923)の関東大震災や昭和 9 年(1934)の第一室戸台風などの災害を経て発展・改良された、当時最新の構造手法が取り入れられたものと考えられる。

昭和前期の木造小学校校舎として全国的に見ても規模が大きく、構造に工夫をこらした特色ある校舎として高い価値を有している。



高野口小学校 正門前  
(橋本市提供、撮影時期不明)



高野口小学校 廊下  
(橋本市提供、撮影時期不明)



きゅうゆあさじんじょうこうとうしょうがっこうどう  
(3) 旧湯浅尋常高等小学校講堂 国登録

所在地：湯浅町湯浅

建設・設置時期：昭和 11 年(1936)

湯浅小学校の敷地北端に建つ鉄骨造平屋建ての大規模な講堂で、現在に至るまで現役の講堂として使用されている。かつて分立されていた湯浅小学校の男女両校が大正後期に合併され、旧講堂が手狭となったため、昭和に入って大講堂建設の議が起こり、町の人々の努力によって昭和前期に竣工した。当時、小学校の講堂としては県内最大の規模であったという。また、戦後は湯浅第二庁舎や有田地方事務局としても使用されたほか、大相撲の興行等教育以外でも活用され、町民にとって文化会館的役割も持つ施設であった。建物は切妻造の大きな屋根を持ち、妻面に正面玄関を設ける。内部は後方の舞台と倉庫以外は広い 1 室とし、舟底天井とする。外観は鉄骨造に木造の洋風デザインを施す。正面玄関は 3 連アーチを設けた荘重なポーチを持ち、両側面は柱型を見せた凹凸のあるリズムカルな外観で、下部は横目地を入れた板張りを基調とし、上部は平坦なモルタル塗りとする。改修箇所も少なく、戦前の学校建築の雰囲気を今に伝える建物として貴重である。



旧湯浅尋常高等小学校 講堂  
(湯浅町教育委員会提供、撮影時期不明)

じょうけいこく ひ  
(4) 城桂谷の碑 町建造物

所在地：すさみ町江住

建設・設置時期：明治 15 年(1882)

石碑はすさみ町立江住小学校の校舎前に建てられている。城桂谷は県会議員在職中の明治 15 年(1882)10 月に江住の私邸に紀南地方最初の中等学校である熊野私学校を創立した。学校は城の私財と近隣各村の有志の賛助金で運営され、門下生は大辺路、古座川筋の村々から 53 人集まった。明治 17 年(1884)に城は学校運営資金調達之行脚に出たが、思うに任せず遂に里野海岸へ投身し、37 才の若さで亡くなり学校は閉校した。大正 10 年(1921)に門下生により潮音寺裏の丘に石碑が建立され、現在は江住小学校へ移設されている。



城桂谷の碑  
(すさみ町提供、2023.2 撮影)

のうがくはかせたかはしかつみしょうとく ひ  
(5) 農学博士高橋克己頌徳碑

所在地：和歌山市岡山丁

建設・設置時期：昭和 44 年(1969)

石碑は昭和 44(1969)年に高橋克己博士顕彰会が岡公園に建てたもので、石碑裏面の文書は、当時の和歌山市長であった宇治田省三によるものである。高橋克己は明治 25 年(1892)に和歌山県海部郡木本村(現在の和歌山市木ノ本)で生まれ、東京帝国大学で農学を学び、理化学研究所で研究生として研究を続けた。大正 11 年(1922)に抽出が困難とされていたビタミン A を世界で初めて抽出することに成功したが、大正 14 年(1925)に病に倒れ、32 歳の若さで亡くなった。



農学博士高橋克己頌徳碑  
(和歌山県教育委員会、2024.1 撮影)

わかやまじょうこうえんどうぶつえん  
(6) 和歌山城公園動物園

所在地：和歌山市一番丁

建設・設置時期：大正 4 ～ 8 年(1915～1919)

和歌山城南の丸跡に作られた動物園である。大正 4 年(1915)に和歌山市が和歌山公園全体の整備に着手し、5ヶ年の整備のなかで「鹿、猿、水禽の飼養場」が作られたのが始まりである。この時期には、上野動物園、京都市動物園、天王寺動物園の3園しかなく、動物園という言葉もなじみのない時代であったが、大正 8 年(1919)の新聞で初めて「動物園」という言葉が用いられて紹介された。第二次世界大戦中は食糧難で一時閉園されたが、戦後に再開されている。その後、昭和 45 年(1970)に「童話園」と「水禽園」の2つに分かれる形でリニューアルされたため、大正期の施設は残っていない。お城の中に動物園があるのは珍しく、和歌山城と姫路城・高岡城だけであり、動物園の敷地は国指定史跡和歌山城となっている。



和歌山城公園動物園  
(和歌山市提供、2012.3 撮影)



こうやさんだいがくとしょかん  
(7) **高野山大学図書館** 国登録

所在地：高野町大字高野山

建設・設置時期：昭和4年(1929)

高野山大学は、明治19年(1886)に真言宗古義大學林として創立された。30万冊の仏教書を収蔵公開し、建設当時はその美しさから東洋一の図書館とも称されたという。設計は武田五一、施工は清水組である。武田は当時京都帝国大学教授であり、アールヌーヴォー等の新しいデザインを日本へ紹介した建築家としても知られる。鉄筋コンクリート造地下室付3階建て、銅板葺きで、内外の装飾を控えたモダンな造りの質実な図書館建築である。内部は主に南半を閲覧室、北半を研究室とし、閲覧室の背後には各層の天井高を抑えた内部5層の書庫を配する。特に2、3階吹き抜けの閲覧室にはヴォールト天井が架けられ、魅力的な意匠である。戦後、陸屋根の上に置き屋根がされたほか、外壁や窓枠が改修されたが、全体として竣工時の姿をよく遺している。建設年代や設計者が明らかで、意匠的にも優れており、高野山内の近代建物を代表する施設のひとつである。



高野山大学図書館

(高野町教育委員会提供、2018.1撮影)

こうやさんれいほうかん  
(8) **高野山霊宝館** 国登録

所在地：高野町大字高野山

建設・設置時期：大正9年(1920)

高野山内の貴重な文化遺産を保存展観することを目的に設けられた博物館相当施設で、数多くの国宝・重要文化財他を収蔵する。弘法大師入定1100年御遠忌大法会記念事業として建設された施設で、設計には工務部長として大江新太郎が携わった。大江は明治神宮造営、伊勢神宮造営などの主任技師として活躍する他、宝物館等も多く手がけ、この方面の第一人者であった。霊宝館は、紫雲殿、玄関・北廊・中廊、放光閣、南廊及び西廊をロ字型に配し、その南西部に宝蔵を独立して建てる。紫雲殿は正面奥に位置する単層切妻造で、正殿に当たる。玄関・北廊・中廊は霊宝館の受付部で、中廊により紫雲殿と、北廊により放光閣と結ばれる。放光閣は重層の方形造で内部に阿弥陀如来他を安置する。南廊及び西廊は紫雲殿と放光殿を繋ぐ矩折れの廊下で、内部は展示室とする。これらの棟の構造は、高野山の厳しい気候条件や過去の度重なる火災を考慮して、宝蔵以外は木造漆喰塗りとし、宝蔵は校倉形式の鉄筋コンクリート造とする。



高野山霊宝館

(高野町教育委員会提供、2018.7撮影)

## (9) <sup>みわさきせいねんかいかん</sup>三輪崎青年会館 国登録

所在地：新宮市三輪崎

建設・設置時期：昭和2年(1927)

三輪崎は江戸時代から漁業で栄え、捕鯨も盛んであった。青年会館は三輪崎港近くの、町家や旅館が並ぶ街路に面して建つ。青年会はこの会館の建設前は一般民家を借りていたが、三輪崎の篤志家土井稲造から土地の提供を受け、専用の会館を建設した。会館は青年会の集会だけでなく、地域で使用される公民館的な文化施設であった。現在も、県指定無形民俗文化財である三輪崎の鯨踊の練習場となっている。

会館は木造平屋建て(一部2階建て)、瓦葺きである。正面外壁は板張りとし、茶色のペンキ塗を施す。左右翼部を張り出し、正面妻面に日の出マークが付けられた独特の外観が町並みのシンボルとなっている。正面玄関を入ると内部は広い一室で、講堂として使用する部屋である。天井を5mと高く取った広い空間で、北側に間口2間の舞台を設けている。外観は洋風であるが内部は和風が基調で、真壁造とし漆喰で仕上げる。2階は正面側に設けた18畳の部屋で、芝居等の観覧が出来る栈敷のような造りで、吹き抜けとなる講堂部を望むことが出来る。



三輪崎青年会館  
(新宮市提供、2019.3撮影)

## (10) <sup>しんぐうほうそうきょく</sup>NHK新宮放送局

所在地：新宮市王子町

建設・設置時期：昭和17年(1942)

新宮市立王子ヶ浜小学校の南側に位置するNHKのラジオ中継放送所である。昭和17年(1942)11月に日本放送協会大阪中央放送局新宮臨時放送所として開局しラジオ第一の放送を開始、昭和23年(1948)に新宮ラジオ中継放送所に昇格、昭和28年(1953)にラジオ第二の放送を開始した。現在は新宮市、那智勝浦町、太地町、三重県南牟婁郡紀宝町の一部に向けてNHKラジオ第一・第二の放送を行っている。



NHK新宮放送局 アンテナ  
(和歌山県教育委員会、2023.11撮影)



わ か や ま ほうそうしんぐうほうそうきょく  
(11) 和歌山放送新宮放送局

所在地：新宮市王子町

建設・設置時期：昭和 34 年(1959)

王子神社(浜王子跡)の北側に位置する和歌山放送のラジオ中継放送所である。昭和 34 年(1959)に和歌山県を放送対象地域とした AM ラジオ放送局として和歌山放送が開局した際に、親局の和歌山放送局、中継局の田辺放送局・新宮放送局が開局した。NHK 新宮放送局とは 200m 程度しか離れておらず近距離に位置している。アンテナ横には局舎が建てられている。



和歌山放送新宮放送局 アンテナ  
(和歌山県教育委員会、2023.11 撮影)

おかこうえんしつないたいいくかん きゅうぶとくでん  
(12) 岡公園室内体育館(旧武徳殿)

所在地：和歌山市岡山丁

建設・設置時期：明治 38 年(1905)

大日本武徳会によって、明治 38 年に和歌山市真砂丁に建設された武道場である。全国でも京都、奈良に次いで古い武徳殿である。昭和 36 年(1961)に現在地の岡公園内に移築され、和歌山市が所管し武道場として使用され続けている。木造 2 階建て、切妻造り、棧瓦葺きの和風建築で、二重の屋根に特徴があり、各地の武徳殿と共通する特異な外観を持つ。



岡公園室内体育館(武徳殿)  
(和歌山県教育委員会、2024.1 撮影)

### (13) 日本聖公会橋本基督教会旧礼拝堂

国登録

所在地：橋本市古佐田

建設・設置時期：明治初期

かつて奈良県吉野にあった農家を、明治33年(1900)に現在地に移築及び改造し、礼拝堂として使用したものである。紀の川河岸段丘上に立地し、現在地へ移築した際の十字架型の棟札も残る。木造平屋建て、切妻造、瓦葺きで、四周に下屋庇を廻す。重厚な屋根の大棟及び隅棟には十字架を刻した鬼瓦が載る。西を正面にして建ち、四間取型の平面で、南側が礼拝堂、北側が牧師の執務と住居を兼ねた部屋であった。礼拝堂部分は、吉野の農家の時代は土間であったが、移築時に床を張り、その奥に床を一段高くした祭壇を角屋状に設け、礼拝の場として整えた。北側の旧床上部の4室は農家であった時代から大きな改変はなく、書院座敷の床の間廻りもかつての姿のまま使用されているという。日本聖公会には、重要文化財(建造物)日本聖公会奈良基督教会をはじめとする和風の教会等、特色ある建築が近畿周辺に多い。中でもこの旧礼拝堂は、農家を移築し、転用した教会礼拝堂の珍しい事例である。



日本聖公会橋本基督教会 旧礼拝堂

(橋本市提供、2024.1撮影)

### (14) 日本基督教団紀南教会

国登録

所在地：那智勝浦町下里

建設・設置時期：大正14年(1925)

太田川河口の左岸に所在する、西村伊作の設計による教会堂である。西村はキリスト教から大きな影響を受け、宣教師や牧師らと親しく交流した。西村の建築作品は住宅が主だが、教会堂もいくつか手がけており、教会堂作品としては当教会や日本基督教団倉敷教会等がある。建物は間口6.4メートル、奥行11.7メートルの単廊式教会堂で、西面して建ち、正面中央に玄関ポーチを設ける。玄関ポーチは会堂部よりも高く造り、急傾斜の屋根を掛けて強調し、石造風の柱型やアーチで装飾する。全体を上空から見ると、屋根の形状は十字架のように見える。屋根は当初天然スレート葺きであったが、現在は銅板葺きとする。内部は玄関ポーチから入ると一室の会堂となっており、会堂の正面にあたる東側に講壇を設け、会堂西側には2階を造る。内部壁は漆喰塗とし、床は板張りで、天井は設けずに小屋組を見せる。室内は装飾が少なく簡素で、白い漆喰壁と床や小屋組等の木部の構成が美しい教会堂である。



日本基督教団紀南教会

(那智勝浦町提供、2023.2撮影)



## (15) <sup>こんごう ぶ じ</sup>金剛峯寺における<sup>しょうわ</sup>昭和<sup>ねんご おん き きねんじぎょう</sup>9年御遠忌記念事業の<sup>けんちくぐん</sup>建築群

所在地：高野町大字高野山

建設・設置時期：昭和7年(1932)～昭和11年(1936)

金剛峯寺は高野山真言宗総本山の寺院で、明治2年(1869)に青巖寺と興山寺が合併して成立した。昭和9年(1934)には弘法大師入定1100年を迎え御遠忌大法会が開かれた。これを記念し、様々な事業が実施された。

金剛峯寺奥殿は、本坊のうち旧興山寺跡地に建つ規模の大きな書院建築で、入母屋造り銅板葺きで、正面に切妻造りの玄関を設ける。弘法大師入定1100年御遠忌大法会の記念に昭和8年(1933)に建設されたもので、皇族を迎える貴賓室として使用された。上質な材料を用いた高い格式と、中門廊風の外観が特徴的である。

金剛峯寺別殿は奥殿の東に並び建つ書院建築で、奥殿同様に弘法大師入定1100年御遠忌大法会の記念事業で建設されたものである。入母屋造り、銅板葺きで内部は畳敷きの大部屋を8室並べる。宗派の会議や一般信徒の休憩に使用された。奥殿同様上質な意匠を持つ近代の書院建築である。

高野山の壇上伽藍は、高野山一山の主要な行事が開催される高野山の信仰上の聖地である。金剛峯寺本坊の南東にあたる段丘上に、金堂や根本大塔、御影堂、山王院本殿など多数の堂塔が建ち並ぶ。金堂は伽藍の中心に建つ高野山一山の本堂である。火災のたびに再建されてきたもので、昭和9年(1934)の弘法大師入定1100年御遠忌大法会のため、昭和7年(1932)に再建されたものである。設計は意匠が天沼俊一、構造が武田五一であり、耐震耐火を目指し鉄骨・鉄筋コンクリート造とされ、見え掛かりは木材が貼り付けされた。内陣は天井を高くとり壮麗な空間をなす。

根本大塔は金堂の北東に建つ大日如来を象徴した高さ48mを誇る巨大な多宝塔である。こちらも弘法大師入定1100年御遠忌大法会のために再建されたもので昭和11年(1936)の建設である。金堂同様主体構造は鉄骨・鉄筋コンクリート造とされたが、屋根回りは木造の混構造とする。



金剛峯寺 奥殿

(高野町教育委員会提供、2019.12撮影)



金剛峯寺 金堂  
(和歌山県教育委員会、2022.9 撮影)



金剛峯寺 根本大塔  
(和歌山県教育委員会、2022.9 撮影)

## (16) <sup>とくほんしょうにんせいたんち</sup>徳本上人生誕地の碑 <sup>ひ</sup> 県史跡

所在地：日高町志賀

建設・設置時期：昭和3年(1928)

石碑は誕生院に建てられている。徳本上人は宝暦8年(1758)に日高町志賀に生まれ、江戸時代後期に全国各地を行脚し念仏信仰を広めた浄土宗の「木食僧」で、生涯を民衆の中に生きた念仏行者として知られている。誕生院は、徳本上人生誕の地に紀伊藩10代藩主の徳川治宝により創建された。石碑は昭和3年(1928)に志賀村学生会が建立している。徳本上人生誕の地は和歌山県指定史跡となっている。



徳本上人生誕地の碑  
(和歌山県教育委員会、2022.8 撮影)

## (17) <sup>かのうおうじじんじゃきゅうせき</sup>叶王子神社旧跡の碑 <sup>ひ</sup> 町史跡

所在地：印南町印南

建設・設置時期：大正3年(1914)

印南港の西側に位置している。熊野参詣道紀伊路にあった津井王子が移転し叶王子となったと「紀伊続風土記」に記されており、江戸時代には叶王子神社が所在していた。明治41年(1908)に山口八幡神社に合祀され、現在は石碑のみが残されている。吐王子神社旧跡と記された石碑は大正3年(1914)に建立され、叶王子社跡は昭和61年(1986)に町指定史跡となっている。



叶王子社跡  
(和歌山県教育委員会、2022.8 撮影)



# 分類表

| 大分類 | 経済         |            |             |            |              |           |          |               |              |           | 社会     | 政治 | 文化 | その他 |
|-----|------------|------------|-------------|------------|--------------|-----------|----------|---------------|--------------|-----------|--------|----|----|-----|
| 中分類 | 01 鉱山      | 02 エネルギー産業 | 03 重工業      | 04 軽工業     | 05 交通・運輸・通信業 | 06 商業・金融業 | 07 農林水産業 | 08 社会         | 09 政治        | 10 文化     | 11 その他 |    |    |     |
| 小分類 | 01 鉄山      | 01 炭鉱      | 01 製鉄       | 01 紡績      | 01 鉄道        | 01 会所     | 01 農業    | 01 水道施設       | 01 行政        | 01 学校     | 01 その他 |    |    |     |
|     | 02 銅山      | 02 油田      | 02 冶金       | 02 製糸      | 02 道路        | 02 商館     | 02 牧畜    | 02 都市開発       | 02 立法        | 02 研究施設   |        |    |    |     |
|     | 03 金銀山     | 03 発電所     | 03 機械       | 03 その他繊維産業 | 03 橋梁        | 03 商店・百貨店 | 03 開拓    | 03 集合住宅       | 03 司法        | 03 文化施設   |        |    |    |     |
|     | 04 その他各種鉱山 | 04 ダム      | 04 造船       | 04 食品      | 04 隧道        | 04 市場     | 04 林業    | 04 公衆浴場       | 04 政治活動      | 04 出版・報道  |        |    |    |     |
|     |            | 05 その他     | 05 自動車      | 05 化学      | 05 港湾        | 05 会社     | 05 漁業    | 05 公園         | 05 外交        | 05 スポーツ施設 |        |    |    |     |
|     |            |            | 06 石油コンビナート | 06 窯業      | 06 倉庫        | 06 金融機関   | 06 養蚕業   | 06 保健医療施設     | 06 軍事        | 06 宗教施設   |        |    |    |     |
|     |            |            | 07 その他      | 07 セメント    | 07 灯台        | 07 その他    | 07 製塩業   | 07 社会福祉施設     | 07 その他       | 07 その他    |        |    |    |     |
|     |            |            |             | 08 地場産業    | 08 運河        |           | 08 その他   | 08 娯楽・観光施設    | 08 その他(皇室関係) |           |        |    |    |     |
|     |            |            |             | 09 その他     | 09 河川・堤防     |           |          | 09 災害         |              |           |        |    |    |     |
|     |            |            |             |            | 10 飛行場       |           |          | 10 社会運動       |              |           |        |    |    |     |
|     |            |            |             |            | 11 郵便        |           |          | 11 個人住宅       |              |           |        |    |    |     |
|     |            |            |             |            | 12 電信        |           |          | 12 その他        |              |           |        |    |    |     |
|     |            |            |             |            | 13 電話        |           |          | 13 その他(偉人関係)  |              |           |        |    |    |     |
|     |            |            |             |            | 14 その他       |           |          | 14 その他(歴史的事件) |              |           |        |    |    |     |

# 和歌山県 近代の文化遺産一覧表（分野別）

## 【01 鉱山】

| 小分類 | 市町村     | 名称            | 所在地          | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|---------|---------------|--------------|----------|-----|
| 01  | 鉄山      |               |              |          |     |
| 01  | 新宮市     | 大山かな山跡        | 新宮市熊野川町大山    | 江戸～昭和    | —   |
| 01  | 新宮市     | 六貫谷鉱山跡        | 新宮市熊野川町上長井   | 昭和18年    | —   |
| 01  | 新宮市     | 鎌塚鉱山跡         | 新宮市熊野川町鎌塚    | 昭和       | —   |
| 02  | 銅山      |               |              |          |     |
| 02  | 紀の川市    | 飯盛鉱山          | 紀の川市麻生津      | 明治11年～   | —   |
| 02  | 紀の川市    | 貴志鉱山          | 紀の川市貴志川町西山   | 幕末～      | —   |
| 02  | 九度山町    | 久保鉱山跡         | 九度山町久保       | 大正3年     | —   |
| 02  | 九度山町    | 笠木鉱山跡         | 九度山町笠木       | 明治24年    | —   |
| 02  | 高野町     | 昭和鉱山跡（銅山）     | 高野町大字細川      | 明治～昭和    | —   |
| 02  | かつらぎ町   | 入道山鉱山         | かつらぎ町東浜田     | 明治10年    | —   |
| 02  | かつらぎ町   | 古峠の銅鉱山        | かつらぎ町上天野     | 明治7年     | —   |
| 02  | かつらぎ町   | 丸山鉱山          | かつらぎ町御所      | 明治       | —   |
| 02  | 那智勝浦町   | 妙法鉱山          | 那智勝浦町妙法山周辺   | 江戸～      | —   |
| 02  | 古座川町    | 平井露頭跡         | 古座川町平井       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 峯谷鉱山跡         | 古座川町         | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 下露鉱山跡         | 古座川町下露       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 黒谷鉱山跡         | 古座川町佐田       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 海老鉱山跡         | 古座川町長追       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 中の畑谷鉱山跡       | 古座川町真砂       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 宮ノ平鉱山跡        | 古座川町長追       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 松ノ前鉱山跡        | 古座川町大川       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 久留美谷鉱山跡       | 古座川町佐田・大川    | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 蔵土鉱山跡         | 古座川町蔵土       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 松原鉱山跡         | 古座川町南平       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 池田鉱山跡         | 古座川町明神       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 潤野鉱山跡         | 古座川町潤野       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 高瀬鉱山跡         | 古座川町高瀬       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 大谷鉱山跡         | 古座川町直見       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 月野瀬鉱山跡        | 古座川町月野瀬      | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 国王鉱山跡         | 古座川町直見       | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 白倉鉱山跡         | 古座川町池野山      | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 口広鉱山跡         | 古座川町池野山      | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 西畑谷鉱山跡        | 古座川町池野山      | 江戸～昭和    | —   |
| 02  | 古座川町    | 添谷鉱山跡         | 古座川町小川       | 江戸～昭和    | —   |
| 03  | 金銀山     |               |              |          |     |
| 03  | 新宮市     | 細谷鉱山跡         | 新宮市佐野        | 昭和8年     | —   |
| 04  | その他各種鉱山 |               |              |          |     |
| 04  | 有田市     | 白倉山 珪石（石英・水晶） | 有田市宮原町畑      | 昭和10年頃   | —   |
| 04  | 日高川町    | 三湯鉱山跡         | 日高川町寒川       | 明治～昭和    | —   |
| 04  | 日高川町    | 船原鉱山跡         | 日高川町串本       | 明治～昭和    | —   |
| 04  | 日高川町    | 権爺穴（水銀鉱採掘跡）   | 日高川町和佐       | 江戸～昭和    | —   |
| 04  | 白浜町     | 間歩穴           | 白浜町湯崎周辺      | 昭和か      | —   |
| 04  | 白浜町     | 鉱山施設跡         | 白浜町湯崎周辺（梶原谷） | 大正8年～    | —   |
| 04  | 白浜町     | 鉱石搬出港跡        | 白浜町湯崎周辺（梶原谷） | 大正8年～    | —   |
| 04  | 白浜町     | 精錬焼成窯跡        | 白浜町久木        | 江戸～近代    | —   |
| 04  | 白浜町     | 富田石石切り場跡      | 白浜町堅田        | 明治～大正    | —   |
| 04  | 那智勝浦町   | 円満地鉱山         | 那智勝浦町円満地     | 昭和       | —   |
| 04  | 那智勝浦町   | 色川鉱山          | 那智勝浦町色川      | 昭和       | —   |
| 04  | 那智勝浦町   | 勝浦鉱山          | 那智勝浦町勝浦      | 昭和       | —   |
| 04  | 那智勝浦町   | 那智鉱山          | 那智勝浦町        | 昭和       | —   |
| 04  | 那智勝浦町   | 平野・佐野・高原鉱山    | 那智勝浦町        | 昭和       | —   |
| 04  | 那智勝浦町   | 尻剣谷精錬所跡       | 那智勝浦町市野々     | 江戸～近代    | —   |

## 【02 エネルギー産業】

| 小分類 | 市町村 | 名称    | 所在地       | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|-----|-------|-----------|----------|-----|
| 01  | 炭鉱  |       |           |          |     |
| 01  | 新宮市 | 松沢炭坑跡 | 新宮市熊野川町宮井 | 明治24年    | —   |
| 01  | 新宮市 | 宮井炭坑跡 | 新宮市熊野川町宮井 | 明治18年    | —   |



| 小分類 | 市町村 | 名称       | 所在地       | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|-----|----------|-----------|----------|-----|
| 01  | 新宮市 | 志古炭坑跡    | 新宮市熊野川町志古 | 明治       | —   |
| 01  | 新宮市 | 笹地炭坑跡    | 新宮市高田口高田  | 不明       | —   |
| 01  | 新宮市 | 熊野炭坑跡    | 新宮市       | 明治       | —   |
| 01  | 新宮市 | 三和炭坑跡    | 新宮市       | 明治       | —   |
| 01  | 新宮市 | 三熊炭坑跡    | 新宮市       | 明治       | —   |
| 01  | 新宮市 | 尾崎石炭場跡   | 新宮市小濱     | 不明       | —   |
| 01  | 新宮市 | 松沢炭鉱貯炭場跡 | 新宮市徐福     | 不明       | —   |
| 01  | 新宮市 | 松沢石炭場跡   | 新宮市池田     | 不明       | —   |
| 01  | 新宮市 | 東鉱社石炭所跡  | 新宮市小濱     | 不明       | —   |

### 03 発電所

|    |       |                        |                         |       |     |
|----|-------|------------------------|-------------------------|-------|-----|
| 03 | 和歌山市  | 和歌山水力電気 手平火力発電所        | 和歌山市手平                  | 大正元年  | —   |
| 03 | 橋本市   | 旧橋本電気（樫山製材所倉庫）         | 橋本市古佐田                  | 明治44年 | —   |
| 03 | 九度山町  | 九度山発電所                 | 九度山町九度山他                | 明治43年 | —   |
| 03 | 九度山町  | 九度山発電所 水路橋             | 九度山町九度山                 | 明治44年 | —   |
| 03 | 有田川町  | 修理川水力発電施設（南海水力発電第一発電所） | 有田川町修理川                 | 明治43年 | —   |
| 03 | 有田川町  | 川口水力発電施設（南海水力発電第二発電所）  | 有田川町川口（有田川河川内）          | 大正8年  | —   |
| 03 | 有田川町  | 遠井水力発電施設（南海水力発電第四発電所）  | 有田川町遠井（有田川河川内）          | 昭和3年  | —   |
| 03 | 有田川町  | 三田水力発電施設（南海水力発電第六発電所）  | 有田川町遠井（有田川河川内）          | 昭和4年  | 国景観 |
| 03 | 日高川町  | 船津発電所（日高川水力電気）         | 日高川町船津                  | 大正12年 | —   |
| 03 | 日高川町  | 高津尾発電所（和歌山水力電気）        | 日高川町高津尾                 | 大正7年  | —   |
| 03 | 日高川町  | 越方発電所                  | 日高川町船津                  | 明治40年 | —   |
| 03 | 田辺市   | 水電起業記念碑（川中口・秋津川水力発電所）  | 田辺市上秋津                  | 大正7年  | —   |
| 03 | 田辺市   | 甲斐川発電所                 | 田辺市龍神村甲斐ノ川              | 大正    | —   |
| 03 | 田辺市   | 柳瀬発電所（日置川水力電気）         | 田辺市龍神村柳瀬                | 大正8年  | —   |
| 03 | 田辺市   | 四村川発電所（旧四村川電気下湯川発電所）   | 田辺市本宮町下湯川               | 大正14年 | —   |
| 03 | 田辺市   | 五味発電所跡                 | 田辺市龍神村小家                | 昭和    | —   |
| 03 | 田辺市   | 殿山発電所（合川ダム）            | 田辺市合川                   | 昭和    | —   |
| 03 | 新宮市   | 高田小水力発電所               | 新宮市西高田                  | 大正8年  | —   |
| 03 | 新宮市   | 十津川第2発電所               | 新宮市熊野川町椋呂               | 昭和37年 | —   |
| 03 | 新宮市   | 関西電力 滝本発電所             | 新宮市熊野川町滝本               | 大正10年 | —   |
| 03 | 新宮市   | 新宮火力発電所跡               | 新宮市あけぼの                 | 不明    | —   |
| 03 | 那智勝浦町 | 関西電力 那智発電所 堰堤・水路       | 那智勝浦町飛滝（第1堰堤）・市野々（第2堰堤） | 大正2年  | —   |
| 03 | 那智勝浦町 | 関西電力 滝本発電所 堰堤・水路       | 那智勝浦町口色川（第1堰堤）・大野（第2堰堤） | 大正10年 | —   |
| 03 | 北山村   | 電源開発㈱ 七色ダム             | 東牟婁郡北山村七色               | 昭和40年 | —   |

### 04 ダム

|    |      |          |              |       |   |
|----|------|----------|--------------|-------|---|
| 04 | 紀の川市 | 山田ダムの堰堤  | 紀の川市貴志川町井ノ口他 | 昭和32年 | — |
| 04 | 紀の川市 | 武本馬太郎頌徳碑 | 紀の川市貴志川町井ノ口  | 昭和    | — |
| 04 | 有田川町 | 二川ダム     | 有田川町二川・遠井    | 昭和42年 | — |
| 04 | 有田川町 | 二川ダム記念碑  | 有田川町二川       | 昭和42年 | — |

### 05 その他

|    |     |                 |           |       |   |
|----|-----|-----------------|-----------|-------|---|
| 05 | 高野町 | 細川変電所（南海電気鉄道関係） | 高野町細川     | 昭和7年  | — |
| 05 | 新宮市 | 新宮水力電気株式会社跡     | 新宮市新宮（登坂） | 明治32年 | — |
| 05 | 新宮市 | 新宮水力電気木製電柱跡     | 新宮市新宮     | 明治33年 | — |
| 05 | 新宮市 | 新宮水力電気送電線支柱跡    | 新宮市新宮     | 明治33年 | — |
| 05 | 新宮市 | 宮井変電所           | 新宮市熊野川町宮井 | 不明    | — |
| 05 | 新宮市 | 新宮変電所           | 新宮市下田2丁目7 | 不明    | — |

## 【03 重工業】

| 小分類 | 市町村  | 名称              | 所在地    | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|-----------------|--------|----------|-----|
| 01  | 製鉄   |                 |        |          |     |
| 01  | 和歌山市 | （旧）住友金属工業和歌山製鉄所 | 和歌山市松江 | 昭和17年年   | —   |

| 小分類                | 市町村 | 名称                | 所在地           | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|--------------------|-----|-------------------|---------------|--------------|-----|
| 01                 | 海南市 | 海南港第二地区埋立         | 海南市船尾         | 昭和41年        | —   |
| <b>04 造船</b>       |     |                   |               |              |     |
| 04                 | 新宮市 | 土井造船所跡            | 新宮市阿須賀        | 昭和初期頃        | —   |
| 04                 | 串本町 | 古座造船所<br>(古座川の中州) | 串本町中湊         | 大正～昭和        | —   |
| 04                 | 串本町 | 串本造船所             | 串本町串本         | 昭和           | —   |
| <b>06 石油コンビナート</b> |     |                   |               |              |     |
| 06                 | 海南市 | 東燃棧橋              | 海南市下津町下津      | 昭和           | —   |
| 06                 | 海南市 | 海南港第三地区埋立         | 海南市藤白         | 昭和38年        | —   |
| 06                 | 海南市 | 方地先埋立             | 海南市下津町方       | 昭和12年        | —   |
| 06                 | 海南市 | 方地先埋立             | 海南市下津町方       | 昭和16年        | —   |
| 06                 | 有田市 | 東亜燃料工場            | 有田市初島町浜       | 昭和14年        | —   |
| 06                 | 有田市 | トンネル (下津港岸壁～工場)   | 有田市初島町浜       | 昭和16年        | —   |
| 06                 | 有田市 | 原油タンク             | 有田市初島町浜       | 昭和17年        | —   |
| 06                 | 有田市 | 東燃専用貨物線           | 有田市初島町浜 (初島駅) | 昭和11年        | —   |

## 【04 軽工業】

| 小分類               | 市町村   | 名称                   | 所在地              | 建設・設置<br>時期等   | 指定等 |
|-------------------|-------|----------------------|------------------|----------------|-----|
| <b>01 紡績</b>      |       |                      |                  |                |     |
| 01                | 和歌山市  | 紀北紡績前レンガ塀            | 和歌山市新生町          | 不明             | —   |
| 01                | 和歌山市  | 某紡績工場 (現岡部染工)        | 和歌山市東釘貫丁         | 大正?            | —   |
| 01                | 和歌山市  | 旧和歌山紡績紀ノ川工場          | 和歌山市東布経丁         | 大正8年           | —   |
| 01                | 和歌山市  | 旧紀陽織布株式会社本社工場        | 和歌山市手平           | 明治43年          | —   |
| 01                | 和歌山市  | 宮本翁頌徳碑               | 和歌山市道場町 (浄専寺)    | 昭和29年          | —   |
| 01                | 和歌山市  | 吊魂碑                  | 和歌山市男野芝丁 (吹上寺)   | 明治35年          | —   |
| 01                | 有田市   | 織工所                  | 有田市初島町           | 明治34年頃         | —   |
| 01                | 有田市   | メリヤス製造               | 有田市初島            | 大正元年           | —   |
| 01                | 有田市   | 旧紀伊メリヤス会社            | 有田市箕島            | 大正8年           | —   |
| 01                | 有田市   | 作業手袋工場               | 有田市              | 大正7年           | —   |
| 01                | 有田市   | 旧坂本メリヤス工場            | 有田市箕島 (大日本電線の工場) | 大正10年頃         | —   |
| 01                | 有田市   | 和歌山紡績株式会社箕島工場        | 有田市箕島 (大日本電線の工場) | 昭和2年?<br>大正14? | —   |
| 01                | 湯浅町   | 旧湯浅製氷冷蔵              | 湯浅町湯浅            | 昭和7年           | —   |
| 01                | 広川町   | 旧内海紡績広工場 (日東紡績和歌山工場) | 広川町広             | 大正13年          | —   |
| 01                | 御坊市   | 旧日の出紡織工場 (本社工場)      | 御坊市名屋            | 大正2年           | —   |
| 01                | 御坊市   | 前田種五郎翁の碑             | 御坊市湯川町財部         | 大正13年          | —   |
| 01                | 美浜町   | 大和紡績 旧日の出紡績松原工場      | 美浜町吉原            | 大正13年          | —   |
| <b>02 製糸</b>      |       |                      |                  |                |     |
| 02                | 紀の川市  | 竜門風穴                 | 紀の川市杉原           | 明治             | —   |
| 02                | 紀の川市  | 道本良蔵遺功の碑             | 紀の川市貴志川町丸栖 (小学校) | 明治40年          | —   |
| 02                | 岩出市   | 吉村製糸株式会社             | 岩出市宮             | 明治37年          | —   |
| 02                | 橋本市   | 平井元右衛門翁碑             | 橋本市 二軒茶屋堤        | 昭和6年           | —   |
| 02                | 白浜町   | 豊田与之助君頌功碑            | 白浜町 南富田 (金毘羅宮)   | 明治44年          | —   |
| 02                | 新宮市   | 新宮製糸工場跡              | 新宮市神倉2丁目5～7      | 大正7年           | —   |
| <b>03 その他繊維産業</b> |       |                      |                  |                |     |
| 03                | 和歌山市  | 旧市川捺染工場              | 和歌山市西布経丁         | 大正4年           | —   |
| 03                | 橋本市   | 前田安助顕彰碑              | 橋本市高野口町名倉 庚申山    | 明治29年          | —   |
| 03                | 橋本市   | 西山定吉顕彰碑              | 橋本市高野口町名倉 庚申山    | 昭和17年          | —   |
| 03                | 橋本市   | 織物功労者之碑              | 橋本市高野口町名倉 庚申山    | 昭和37年          | —   |
| <b>04 食品</b>      |       |                      |                  |                |     |
| 04                | 和歌山市  | 旧丸治醤油工場              | 和歌山市加太           | 大正11年          | —   |
| 04                | 海南市   | 海南港第一地区埋立            | 海南市日方            | 昭和38年          | —   |
| 04                | 海南市   | 名手酒造                 | 海南市黒江            | 大正5年           | —   |
| 04                | 岩出市   | 吉村秀雄商店               | 岩出市畑毛            | 大正4年           | —   |
| 04                | かつらぎ町 | 初桜酒造                 | かつらぎ町中飯降         | 明治初期～          | 国登録 |
| 04                | 有田川町  | 旧岩本醤油醸造元 (カネイフ醤油)    | 有田川町小川           | 昭和6年           | —   |
| 04                | 有田川町  | 高垣酒造                 | 有田川町小川           | 大正15年          | 国登録 |
| 04                | 御坊市   | 岸野酒造                 | 御坊市御坊            | 大正8年           | —   |
| 04                | 御坊市   | 伊勢屋 (酒蔵)             | 御坊市菌             | 明治～昭和          | 国登録 |



| 小分類     | 市町村  | 名称                              | 所在地                    | 建設・設置時期等    | 指定等 |
|---------|------|---------------------------------|------------------------|-------------|-----|
| 04      | 白浜町  | 原民蔵之墓                           | 白浜町（草堂寺）               | 明治11年       | —   |
| 04      | 新宮市  | 尾崎酒造（尾崎屋酒造部）                    | 新宮市船町                  | 明治13年       | —   |
| 04      | 新宮市  | 新宮醤油                            | 新宮市下本町                 | 明治30年       | —   |
| 04      | 串本町  | 森嘉味噌醤油酒造元の外壁                    | 串本町串本                  | 明治          | —   |
| 05 化学   |      |                                 |                        |             |     |
| 05      | 和歌山市 | 旧南海晒粉 青岸工場                      | 和歌山市湊                  | 大正12年       | —   |
| 05      | 和歌山市 | 旧南海晒粉 小雑賀工場                     | 和歌山市小雑賀                | 大正7年        | —   |
| 05      | 和歌山市 | 旧キング化学和歌山工場                     | 和歌山市小雑賀                | 不明          | —   |
| 05      | 和歌山市 | 旧由良精工ベンゾール製造装置・工場事務所・図書館・塀      | 和歌山市小雑賀                | 大正          | —   |
| 05      | 和歌山市 | 竈山神社灯籠                          | 和歌山市和田（竈山神社）           | 昭和14年       | —   |
| 05      | 湯浅町  | 日本クエン酸製造工業発祥之地碑                 | 湯浅町湯浅                  | 昭和36年       | —   |
| 05      | 白浜町  | 仏国理学博士 今津明先生・同礼子夫人記念碑           | 白浜町（御幸通り）              | 昭和35年       | —   |
| 06 窯業   |      |                                 |                        |             |     |
| 06      | 新宮市  | 汐崎瓦製造所                          | 新宮市王子町2丁目5-44          | 不明          | —   |
| 06      | 新宮市  | 中山瓦工業                           | 新宮市あけぼの4-57            | 不明          | —   |
| 06      | 新宮市  | 池端瓦製造所跡                         | 新宮市橋本2丁目4～6（旧蛇沢3894-5） | 不明          | —   |
| 06      | 串本町  | 石灰焼成釜跡                          | 串本町田並                  | 昭和          | —   |
| 08 地場産業 |      |                                 |                        |             |     |
| 08      | 和歌山市 | 坂口徳次郎君頌徳碑                       | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）      | 明治36年       | —   |
| 08      | 海南市  | 山本勝之助翁之像                        | 海南市阪井                  | 昭和33年       | —   |
| 08      | 海南市  | 山本勝之助頌徳碑                        | 海南市阪井                  | 昭和          | —   |
| 08      | 海南市  | 山本勝之助商店事務所                      | 海南市阪井                  | 大正中期～       | 国登録 |
| 08      | 海南市  | 山本家住宅主屋・門・石塀・赤蔵・隠居所・住宅内蔵一・住宅内蔵二 | 海南市阪井                  | 明治39年～      | 国登録 |
| 08      | 海南市  | 山本勝之助商店蔵一・二・三                   | 海南市阪井                  | 大正中期～       | 国登録 |
| 08      | 海南市  | 頌徳尾崎好一翁之碑                       | 海南市野上中（国道42号線沿い）       | 昭和36年       | —   |
| 08      | 海南市  | 池庄漆器店主屋                         | 海南市黒江                  | 江戸後期        | 国登録 |
| 08      | 海南市  | 尾崎林太郎家住宅主屋・座敷・三階蔵・前蔵            | 海南市黒江                  | 大正中期～       | 国登録 |
| 08      | 海南市  | 畑田家住宅主屋・門及び塀                    | 海南市船尾                  | 昭和4年～       | 国登録 |
| 08      | 海南市  | 田島漆店旧工場玄関棟・食堂・商品蔵・新蔵・詰場         | 海南市船尾                  | 大正11年～      | 国登録 |
| 08      | 海南市  | 漆器組合創立五十周年記念碑                   | 海南市船尾                  | 昭和10年       | —   |
| 08      | 海南市  | 漆器組合創立七十周年記念碑                   | 海南市船尾                  | 昭和30年       | —   |
| 08      | 海南市  | 傘東京積同業組合の石碑                     | 海南市鳥居（浄土寺境内）           | 明治以降        | —   |
| 08      | 海南市  | 岡幾左衛門頌徳碑                        | 海南市沖野々                 | 大正9年        | —   |
| 08      | 海南市  | 森脇光三郎翁之碑                        | 海南市野上中                 | 昭和40年       | —   |
| 08      | 海南市  | 佐藤漆工場                           | 海南市黒江                  | 大正13年       | —   |
| 08      | 海南市  | 倉橋漆器問屋                          | 海南市船尾                  | 不明          | —   |
| 08      | 紀の川市 | たばこ乾燥小屋                         | 紀の川市西三谷                | 昭和10年代      | —   |
| 08      | 紀の川市 | たばこ乾燥小屋                         | 紀の川市池田新                | 不明          | —   |
| 08      | 紀の川市 | たばこ乾燥小屋                         | 紀の川市東三谷                | 昭和11年       | —   |
| 08      | 紀の川市 | たばこ乾燥小屋                         | 紀の川市池田新                | 不明          | —   |
| 08      | 橋本市  | 凍豆腐製造小屋跡（南葛城山）                  | 橋本市高野口町九重              | 文化4年～昭和24年  | —   |
| 08      | 橋本市  | 凍豆腐製造小屋跡（山田・吉原・九重地区）            | 橋本市山田・吉原・九重            | 文化4年～昭和24年  | —   |
| 08      | 橋本市  | 三石山（凍豆腐作り関連）                    | 橋本市山田                  | 文化4年～昭和24年  | —   |
| 08      | 橋本市  | 紀和索道（凍豆腐作り関連）                   | 橋本市妻～野迫川村              | 大正11年～昭和25年 | —   |
| 08      | 有田市  | 除虫菊記念碑                          | 有田市山田原（八王子公園）          | 昭和12年       | —   |
| 08      | 有田市  | 上山英一郎翁の銅像                       | 有田市千田（須佐神社前）           | 昭和17年       | —   |
| 08      | 有田市  | 除虫菊製品製造家                        | 有田市                    | 明治23年～      | —   |
| 08      | 有田市  | 除虫菊製品製造会社                       | 有田市                    | 大正          | —   |
| 08      | 有田市  | ブリキ缶工場                          | 有田市                    | 明治40年       | —   |
| 08      | 有田市  | ブリキ缶工場                          | 有田市                    | 大正7年        | —   |
| 08      | 有田市  | ドラム缶の製造                         | 有田市                    | 不明          | —   |
| 08      | 湯浅町  | 大仙堀                             | 湯浅町湯浅                  | 江戸～         | —   |

| 小分類           | 市町村  | 名称                | 所在地              | 建設・設置時期等 | 指定等    |
|---------------|------|-------------------|------------------|----------|--------|
| 08            | 湯浅町  | 伝統的建造物群保存地区       | 湯浅町湯浅            | 江戸～      | 国伝建    |
| 08            | 湯浅町  | 湯浅醤油株式会社跡         | 湯浅町湯浅            | 大正～昭和    | —      |
| 08            | 日高川町 | 小池甚一郎翁頌徳碑         | 日高川町鐘巻（道成寺山門脇）   | 大正15年    | —      |
| 08            | 印南町  | 鈴木梅仙の墓碑           | 印南町切目（光明寺付近火葬場脇） | 大正7年     | —      |
| 08            | 白浜町  | 貝釷用具殻散布地          | 白浜町富田            | 昭和       | —      |
| <b>09 その他</b> |      |                   |                  |          |        |
| 09            | 和歌山市 | 製筆開業三十三碑          | 和歌山市関戸（矢宮神社境内）   | 大正8年     | —      |
| 09            | 有田市  | 大日電線箕島工場          | 有田市箕島            | 昭和17年    | —      |
| 09            | 湯浅町  | 某レンガ倉庫            | 湯浅町湯浅            | 不明       | —      |
| 09            | 田辺市  | 中嶋山の採石場跡（神子浜採石業）  | 田辺市神子浜二丁目        | 明治～昭和    | —      |
| 09            | 田辺市  | 祇園八坂社（神子浜採石業）     | 田辺市神子浜二丁目        | 大正～      | —      |
| 09            | 田辺市  | ランボウの跡（神子浜採石業）    | 田辺市文里一丁目         | 不明       | —      |
| 09            | 田辺市  | 神楽神社拝殿の石垣（神子浜採石業） | 田辺市神子浜二丁目        | 不明       | —      |
| 09            | 田辺市  | 闘雞神社の馬場堰堤（神子浜採石業） | 田辺市東陽            | 不明       | 国史跡・名勝 |
| 09            | 田辺市  | 神島高校グラウンド（神子浜採石業） | 田辺市文里二丁目         | 昭和       | —      |
| 09            | 田辺市  | 石取場跡碑（神子浜採石業）     | 田辺市神子浜二丁目        | 平成       | —      |

## 【05 交通・運輸・通信業】

| 小分類          | 市町村  | 名称              | 所在地              | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|--------------|------|-----------------|------------------|----------|-----|
| <b>01 鉄道</b> |      |                 |                  |          |     |
| 01           | 和歌山市 | 加太軽便鉄道 加太駅      | 和歌山市加太           | 大正元年     | —   |
| 01           | 和歌山市 | 旧和歌山駅（紀和駅）      | 和歌山市中之島          | 大正8年     | —   |
| 01           | 和歌山市 | 紀伊小倉駅           | 和歌山市新庄           | 昭和13年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 布施屋駅            | 和歌山市布施屋          | 昭和9年     | —   |
| 01           | 和歌山市 | 千旦駅             | 和歌山市井ノ口          | 昭和27年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 田井ノ瀬駅           | 和歌山市岩橋           | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 中之島駅（紀伊中之島駅）    | 和歌山市中之島          | 昭和7年     | —   |
| 01           | 和歌山市 | 紀伊駅             | 和歌山市北野           | 昭和5年     | —   |
| 01           | 和歌山市 | 六十谷駅            | 和歌山市北野           | 昭和5年     | —   |
| 01           | 和歌山市 | 紀ノ川駅（旧南海鉄道）     | 和歌山市小路           | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 山東軽便鉄道 大池第1橋梁   | 和歌山市永山（大池遊園内）    | 昭和8年     | —   |
| 01           | 和歌山市 | 山東軽便鉄道 大池第2橋梁   | 和歌山市永山（大池遊園内）    | 昭和8年     | —   |
| 01           | 和歌山市 | 加太軽便鉄道 紀ノ川橋梁    | 和歌山市西藏前町         | 大正3年     | —   |
| 01           | 和歌山市 | 土入川橋梁（旧加太軽便鉄道）  | 和歌山市松江東～狐島       | 大正元年     | —   |
| 01           | 和歌山市 | 小倉用水開渠橋（旧紀和鉄道）  | 和歌山市上三毛          | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 真田川橋梁（旧紀和鉄道）    | 和歌山市嘉家作丁         | 明治36年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 和歌山線跨線橋         | 和歌山市中之島          | 不明       | —   |
| 01           | 和歌山市 | 中之島陸橋           | 和歌山市中之島          | 昭和4年     | —   |
| 01           | 和歌山市 | 紀勢西線跨線橋         | 和歌山市             | 不明       | —   |
| 01           | 和歌山市 | 南海鉄道紀ノ川橋梁       | 和歌山市栗～宇治鉄砲場（紀ノ川） | 明治36年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 第2栄谷開渠橋（旧南海鉄道）  | 和歌山市栄谷           | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 第3栄谷開渠橋（旧南海鉄道）  | 和歌山市栄谷           | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 第6栄谷開渠橋（旧南海鉄道）  | 和歌山市栄谷           | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 第1楠見開渠橋（旧南海鉄道）  | 和歌山市小路           | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 第1楠見橋梁（旧南海鉄道）   | 和歌山市小路           | 大正11年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 第7楠見開渠橋（旧南海鉄道）  | 和歌山市栗            | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 第8楠見架道橋（旧南海鉄道）  | 和歌山市栗            | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 不詳暗渠（旧南海鉄道）     | 和歌山市栗            | 不明       | —   |
| 01           | 和歌山市 | 宇治拱渠（旧南海鉄道）     | 和歌山市源蔵馬場         | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 宇治架道橋（旧南海鉄道）    | 和歌山市東布経丁         | 明治36年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 第一孝子トンネル（旧南海鉄道） | 和歌山市中～大阪府岬町      | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 第二貴志トンネル（旧南海鉄道） | 和歌山市中            | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 第三貴志トンネル（旧南海鉄道） | 和歌山市中            | 明治31年    | —   |
| 01           | 和歌山市 | 南海鉄道車両          | 和歌山市西字淀          | 昭和12年    | —   |



| 小分類 | 市町村  | 名称                      | 所在地                | 建設・設置時期等    | 指定等 |
|-----|------|-------------------------|--------------------|-------------|-----|
| 01  | 和歌山市 | 南海電鉄和歌山軌道線車両            | 和歌山市岡山丁（岡公園内）      | 昭和38年       | —   |
| 01  | 和歌山市 | C57-119蒸気機関車            | 和歌山市岡山丁（岡公園内）      | 昭和14年       | —   |
| 01  | 和歌山市 | 市電敷石                    | 和歌山市一番丁（和歌山城公園）    | 昭和46年       | —   |
| 01  | 海南市  | 旧野上軽便鉄道（旧野上電気鉄道）跡地      | 海南市名高・大野中・幡川・重根・阪井 | 大正5年        | —   |
| 01  | 海南市  | 黒江駅                     | 海南市岡田              | 昭和41年       | —   |
| 01  | 海南市  | 冷水駅                     | 海南市冷水              | 昭和28年       | —   |
| 01  | 海南市  | 加茂郷駅                    | 海南市下津町丸田・黒田        | 大正13年       | —   |
| 01  | 海南市  | 下津駅                     | 海南市下津町下津           | 昭和14年       | —   |
| 01  | 紀美野町 | 旧野上軽便鉄道（旧野上電気鉄道）跡地      | 紀美野町動木～下佐々         | 大正5年        | —   |
| 01  | 紀美野町 | 旧野上軽便鉄道（旧野上電気鉄道）登山口駅跡   | 紀美野町下佐々            | 昭和3年        | —   |
| 01  | 紀美野町 | 旧野上電鉄車両                 | 紀美野町下佐々            | 昭和7年        | —   |
| 01  | 紀美野町 | 旧野上電鉄車両                 | 紀美野町下佐々            | 昭和9年        | —   |
| 01  | 紀の川市 | 打田駅（旧紀和鉄道）              | 紀の川市打田1242-4       | 明治33年       | —   |
| 01  | 紀の川市 | 名手駅（旧紀和鉄道）              | 紀の川市名手市場           | 明治34年       | —   |
| 01  | 紀の川市 | 粉河駅（旧紀和鉄道）              | 紀の川市粉河             | 明治33年       | —   |
| 01  | 紀の川市 | 紀伊長田駅（旧紀和鉄道）            | 紀の川市深田             | 明治36年       | —   |
| 01  | 紀の川市 | 下井阪駅（旧紀和鉄道）             | 紀の川市下井阪            | 昭和13年       | —   |
| 01  | 紀の川市 | 名手谷川橋梁（旧紀和鉄道）           | 紀の川市名手市場           | 明治33年       | —   |
| 01  | 紀の川市 | 貴志駅（旧和歌山鉄道）             | 紀の川市貴志川町神戸         | 昭和8年        | —   |
| 01  | 紀の川市 | 大池第二橋梁（旧和歌山鉄道）          | 紀の川市貴志川町長山～和歌山市永山  | 昭和8年        | —   |
| 01  | 岩出市  | 船戸駅（旧紀和鉄道、現JR和歌山線）      | 岩出市船戸              | 明治31年       | —   |
| 01  | 岩出市  | 岩出駅（旧紀和鉄道、現JR和歌山線）      | 岩出市高塚              | 明治34年       | —   |
| 01  | 岩出市  | 岩出鉄橋（旧紀和鉄道、JR和歌山線紀の川橋梁） | 岩出市清水～船戸           | 明治33年       | —   |
| 01  | 岩出市  | 蒸気機関車 D51930号機          | 岩出市根来              | 昭和18年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 橋本駅（旧紀和鉄道）              | 橋本市古佐田             | 明治31年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 隅田駅（旧紀和鉄道）              | 橋本市隅田町             | 明治31年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 紀伊山田駅（旧紀和鉄道）            | 橋本市神野々             | 昭和27年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 高野口駅（旧名倉駅・旧紀和鉄道）        | 橋本市高野口町名倉          | 明治33年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 紀見峠駅（旧大阪高野鉄道）           | 橋本市紀見峠             | 大正4年        | —   |
| 01  | 橋本市  | 紀伊清水駅（旧大阪高野鉄道）          | 橋本市清水              | 大正13年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 学文路駅（旧大阪高野鉄道）           | 橋本市学文路             | 大正13年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 橋本駅（旧大阪高野鉄道）            | 橋本市古佐田             | 昭和34年       | —   |
| 01  | 橋本市  | JR和歌山線廃線区間（旧紀和鉄道）       | 橋本市隅田町芋生           | 不明          | —   |
| 01  | 橋本市  | 山田川橋梁（旧紀和鉄道）            | 橋本市野               | 明治33年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 大野第1号架道橋（旧紀和鉄道）         | 橋本市高野口町大野          | 明治33年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 大野第2号架道橋（旧紀和鉄道）         | 橋本市高野口町大野          | 明治33年       | —   |
| 01  | 橋本市  | JR橋本駅跨線橋（旧紀和鉄道）         | 橋本市古佐田             | 不明          | —   |
| 01  | 橋本市  | 南海橋本駅跨線橋（旧大阪高野鉄道）       | 橋本市古佐田             | 大正10年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 南海高野線跨線橋（旧大阪高野鉄道）       | 橋本市南馬場             | 大正13年～昭和23年 | —   |
| 01  | 橋本市  | 南海高野線紀の川鉄橋（旧大阪高野鉄道）     | 橋本市妻・向副            | 大正13年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 東谷川第一開渠（旧紀和鉄道）          | 橋本市高野口町大野          | 明治33年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 河瀬用水架道橋（旧紀和鉄道）          | 橋本市妻               | 明治31年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 八幡陸橋架道橋（旧紀和鉄道）          | 橋本市市脇              | 明治33年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 盲川架道橋（旧紀和鉄道）            | 橋本市高野口町名倉          | 明治33年       | —   |
| 01  | 橋本市  | JR 南海鉄道交叉橋（旧紀和鉄道）       | 橋本市妻               | 明治31年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 妻川拱渠（旧紀和鉄道）             | 橋本市妻               | 明治31年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 橋谷川拱渠（旧大阪高野鉄道）          | 橋本市橋谷              | 大正4年        | —   |
| 01  | 橋本市  | 旧菖蒲谷川拱渠（旧大阪高野鉄道）        | 橋本市小原田             | 大正4年        | —   |
| 01  | 橋本市  | 大師第10号拱渠（旧大阪高野鉄道）       | 橋本市学文路             | 大正13年       | —   |
| 01  | 橋本市  | 高野鉄道建設予定地               | 橋本市胡麻生             | 明治43年       | —   |

| 小分類 | 市町村   | 名称                  | 所在地                                              | 建設・設置時期等   | 指定等 |
|-----|-------|---------------------|--------------------------------------------------|------------|-----|
| 01  | 橋本市   | 紀の川口駅跡（旧大阪高野鉄道）     | 橋本市妻                                             | 大正4年～昭和34年 | —   |
| 01  | 橋本市   | 紀見トンネル（旧大阪高野鉄道）     | 橋本市矢倉脇～河内長野市天見                                   | 大正3年       | —   |
| 01  | 橋本市   | 山陽線遭難者供養塔           | 橋本市古佐田（丸山公園）                                     | 昭和14年      | —   |
| 01  | 九度山町  | 旧南海鉄道高野線 鋼索線（南海高野線） | 九度山町九度山                                          | 大正13年      | —   |
| 01  | 九度山町  | 九度山駅（南海高野線）         | 九度山町九度山                                          | 大正13年      | —   |
| 01  | 九度山町  | 高野下駅（南海高野線）         | 九度山町椎出                                           | 大正14年      | —   |
| 01  | 九度山町  | 上古沢駅（南海高野線）         | 九度山町上古沢                                          | 昭和3年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 下古沢駅（南海高野線）         | 九度山町下古沢                                          | 昭和4年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 九度山駅（南海高野線）         | 九度山町九度山                                          | 大正13年      | —   |
| 01  | 九度山町  | 大師第13号拱渠（南海高野線）     | 九度山町九度山                                          | 大正13年      | —   |
| 01  | 九度山町  | 大師第16号拱渠（南海高野線）     | 九度山町九度山                                          | 大正14年      | —   |
| 01  | 九度山町  | 丹生川橋梁（南海高野線）        | 九度山町九度山                                          | 大正14年      | —   |
| 01  | 九度山町  | 古沢川橋梁（南海高野線）        | 九度山町椎出                                           | 昭和2年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 中古沢橋梁（南海高野線）        | 九度山町中古沢                                          | 昭和2年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 笠木橋梁（南海高野線）         | 九度山町笠木                                           | 昭和3年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 椎出架道橋（南海高野線）        | 九度山町椎出                                           | 昭和34年      | —   |
| 01  | 九度山町  | 椎出トンネル（南海高野線）       | 九度山町九度山～椎出                                       | 大正14年      | —   |
| 01  | 九度山町  | 猪子山トンネル（南海高野線）      | 九度山町椎出～下古沢                                       | 昭和2年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 下古沢トンネル（南海高野線）      | 九度山町下古沢                                          | 昭和2年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 辨天山トンネル（南海高野線）      | 九度山町下古沢～中古沢                                      | 昭和2年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 大福山トンネル（南海高野線）      | 九度山町中古沢                                          | 昭和2年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 馬場山トンネル（南海高野線）      | 九度山町上古沢                                          | 昭和2年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 上古沢トンネル（南海高野線）      | 九度山町上古沢                                          | 昭和2年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 瀬戸トンネル（南海高野線）       | 九度山町上古沢～笠木                                       | 昭和2年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 蛇ノ窪トンネル（南海高野線）      | 九度山町笠木                                           | 昭和2年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 笠木トンネル（南海高野線）       | 九度山町笠木                                           | 昭和2年       | —   |
| 01  | 九度山町  | 大下トンネル（南海高野線）       | 九度山町笠木                                           | 昭和2年       | —   |
| 01  | 高野町   | 旧南海鉄道 鋼索線（南海電鉄鋼索線）  | 高野町大字高野山                                         | 昭和5年       | —   |
| 01  | 高野町   | 高野山駅（南海電気鉄道鋼索線）     | 高野町高野山（国有林第九林班ノは）                                | 昭和3年       | 国登録 |
| 01  | 高野町   | 紀伊神谷駅（南海電気鉄道）       | 高野町大字西郷字神谷                                       | 昭和3年       | —   |
| 01  | 高野町   | 極楽橋駅（南海電気鉄道）        | 高野町大字高野山（国有林第8林班）                                | 昭和4年       | —   |
| 01  | 高野町   | 紀伊細川駅（南海電気鉄道）       | 高野町大字細川                                          | 昭和3年       | —   |
| 01  | 高野町   | 四寸岩橋梁（南海電気鉄道）       | 高野町大字高野山                                         | 昭和4年       | —   |
| 01  | 高野町   | 入谷トンネル（南海電気鉄道）      | 高野町大字細川                                          | 昭和2年       | —   |
| 01  | 高野町   | 細川トンネル（南海電気鉄道）      | 高野町大字細川                                          | 昭和2年       | —   |
| 01  | 高野町   | 城谷トンネル（南海電気鉄道）      | 高野町大字細川                                          | 昭和2年       | —   |
| 01  | 高野町   | 前迫トンネル（南海電気鉄道）      | 高野町大字細川                                          | 昭和2年       | —   |
| 01  | 高野町   | 羽根山トンネル（南海電気鉄道）     | 高野町大字細川                                          | 昭和2年       | —   |
| 01  | 高野町   | 浦神谷トンネル（南海電気鉄道）     | 高野町大字細川                                          | 昭和2年       | —   |
| 01  | 高野町   | 王寺山トンネル（南海電気鉄道）     | 高野町大字細川                                          | 昭和3年       | —   |
| 01  | 高野町   | 神谷トンネル（南海電気鉄道）      | 高野町大字細川                                          | 昭和3年       | —   |
| 01  | 高野町   | 大迫トンネル（南海電気鉄道）      | 高野町大字細川～大字高野山                                    | 昭和3年       | —   |
| 01  | 高野町   | 指尾トンネル（南海電気鉄道）      | 高野町大字高野山                                         | 昭和3年       | —   |
| 01  | 高野町   | 不動トンネル（南海電気鉄道）      | 高野町大字高野山                                         | 昭和3年       | —   |
| 01  | 高野町   | 西郷トンネル（南海電気鉄道）      | 高野町大字高野山                                         | 昭和3年       | —   |
| 01  | 高野町   | 四寸岩トンネル（南海電気鉄道）     | 高野町大字高野山                                         | 昭和3年       | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 紀和鉄道                | かつらぎ町中飯降・西飯降・妙寺・丁ノ町・大藪・大谷・佐野・笠田東・笠田中・萩原・窪・背ノ山・高田 | 明治33年      | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 大谷駅（旧紀和鉄道）          | かつらぎ町大谷                                          | 昭和27年      | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 西笠田駅（旧紀和鉄道）         | かつらぎ町高田                                          | 昭和27年      | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 笠田駅（旧紀和鉄道）          | かつらぎ町笠田東                                         | 昭和2年       | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 妙寺駅（旧紀和鉄道）          | かつらぎ町丁ノ町                                         | 大正10年      | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 中飯降駅（旧紀和鉄道）         | かつらぎ町中飯降                                         | 昭和32年      | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 大谷川架道橋（旧紀和鉄道）       | かつらぎ町大谷                                          | 明治31年      | —   |

| 小分類 | 市町村   | 名称                    | 所在地                    | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-------|-----------------------|------------------------|--------------|-----|
| 01  | かつらぎ町 | 小黒谷川架道橋（旧紀和鉄道）        | かつらぎ町丁ノ町               | 明治31年        | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 第1大和街道架道橋（旧紀和鉄道）      | かつらぎ町丁ノ町               | 明治33年        | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 中谷川橋梁（旧紀和鉄道）          | かつらぎ町大藪                | 明治31年        | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 不詳構造物（旧紀和鉄道）          | かつらぎ町笠田東               | 明治？          | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 堂田川開渠（旧紀和鉄道）          | かつらぎ町笠田東               | 明治33年        | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 風呂谷川開渠（旧紀和鉄道）         | かつらぎ町萩原                | 明治33年        | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 中島川開渠（旧紀和鉄道）          | かつらぎ町萩原                | 明治33年        | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 久保谷川開渠（旧紀和鉄道）         | かつらぎ町萩原                | 明治43年        | —   |
| 01  | 有田市   | 紀勢西線箕島駅（JR紀勢本線）       | 有田市箕島                  | 大正13年        | —   |
| 01  | 有田市   | 紀勢西線紀伊宮原駅（JR紀勢本線）     | 有田市宮原町                 | 大正14年        | —   |
| 01  | 有田市   | 初島駅（JR紀勢本線）           | 有田市初島町                 | 昭和13年        | —   |
| 01  | 有田市   | 東燃専用貨物線（初島駅）          | 有田市初島町浜                | 昭和17年        | —   |
| 01  | 有田市   | 初島駅 信号扱所              | 有田市初島町浜                | 昭和17年        | —   |
| 01  | 有田市   | 初島駅 乗降場               | 有田市初島町浜                | 昭和17年        | —   |
| 01  | 有田市   | 初島駅 出改札室              | 有田市初島町浜                | 昭和18年        | —   |
| 01  | 有田市   | 初島駅（初代）               | 有田市初島町浜                | 昭和19年        | —   |
| 01  | 有田市   | 初島駅（2代目）              | 有田市初島町浜                | 昭和24年        | —   |
| 01  | 有田市   | 箕島駅～初島駅間のトンネル         | 有田市                    | 昭和42年        | —   |
| 01  | 湯浅町   | 有田鉄道 海岸駅跡             | 湯浅町湯浅                  | 大正4年～昭和      | —   |
| 01  | 湯浅町   | 有田鉄道 湯浅駅跡             | 湯浅町湯浅                  | 大正4年～昭和      | —   |
| 01  | 湯浅町   | 有田鉄道 吉川駅跡             | 湯浅町吉川                  | 大正4年～昭和      | —   |
| 01  | 湯浅町   | 有田鉄道 旧線路跡             | 湯浅町湯浅                  | 大正4年～昭和      | —   |
| 01  | 湯浅町   | 紀伊湯浅駅（JR紀勢本線）         | 湯浅町湯浅                  | 昭和2年         | 国登録 |
| 01  | 広川町   | 由良トンネル（JR紀勢本線）        | 広川町～由良町                | 昭和3年         | —   |
| 01  | 有田川町  | 旧有田鉄道金屋口駅             | 有田川町徳田                 | 大正5年         | —   |
| 01  | 有田川町  | 旧有田鉄道軌道               | 有田川町徳田                 | 大正4年         | —   |
| 01  | 有田川町  | 旧有田鉄道操車場              | 有田川町徳田                 | 昭和           | —   |
| 01  | 有田川町  | 旧有田鉄道御霊駅              | 有田川町庄                  | 大正5年         | —   |
| 01  | 有田川町  | 旧有田鉄道垣倉橋梁             | 有田川町垣倉・庄               | 大正5年         | —   |
| 01  | 有田川町  | 旧有田鉄道鳥尾川橋梁            | 有田川町下津野                | 昭和32年        | —   |
| 01  | 有田川町  | 旧有田鉄道下津野駅             | 有田川町下津野                | 大正5年         | —   |
| 01  | 有田川町  | 旧有田鉄道田殿口駅             | 有田川町上中島                | 大正4年         | —   |
| 01  | 有田川町  | 旧有田鉄道藤並駅              | 有田川町明王寺                | 不明           | —   |
| 01  | 有田川町  | 旧有田鉄道天満川橋梁            | 有田川町天満                 | 大正4年         | —   |
| 01  | 有田川町  | 旧有田鉄道車両               | 有田川町徳田                 | 昭和           | —   |
| 01  | 有田川町  | 紀勢西線有田川鉄橋跡            | 有田川町上中島・有田市宮崎町（有田川河川内） | 大正15年        | —   |
| 01  | 有田川町  | 藤並駅（JR紀勢本線）           | 有田川町明王寺                | 昭和2年         | —   |
| 01  | 御坊市   | 西御坊駅（旧御坊臨港鉄道）         | 御坊市藺                   | 昭和7年         | —   |
| 01  | 御坊市   | 日の出紡織（大和紡績）引込み線跡等（廃線） | 御坊市藺、名屋                | 昭和11年        | —   |
| 01  | 御坊市   | 道成寺駅（JR紀勢本線）          | 御坊市藤田町藤井               | 昭和5年         | —   |
| 01  | 御坊市   | 湯川第4橋梁（旧御坊臨港鉄道）       | 御坊市湯川町財部               | 昭和6年         | —   |
| 01  | 美浜町   | 御坊臨港鉄道の和紡績松原工場への引込線   | 美浜町吉原                  | 昭和           | —   |
| 01  | 日高町   | 小坊師トンネル（JR紀勢本線）       | 日高町～由良町                | 昭和3年         | —   |
| 01  | 由良町   | 紀伊由良駅（JR紀勢本線）         | 由良町里                   | 昭和3年         | —   |
| 01  | 由良町   | 小坊師トンネル（JR紀勢本線）       | 由良町～日高町                | 昭和3年         | —   |
| 01  | 由良町   | 由良トンネル（JR紀勢本線）        | 由良町～広川町                | 昭和3年         | —   |
| 01  | 日高川町  | 和佐駅（JR紀勢本線）           | 日高川町和佐                 | 昭和5年         | —   |
| 01  | 日高川町  | 下和佐ひ湍橋梁（JR紀勢本線）       | 日高川町和佐                 | 昭和           | —   |
| 01  | 日高川町  | 大山トンネル（JR紀勢本線）        | 日高川町入野                 | 昭和           | —   |
| 01  | 日高川町  | 柿の木トンネル（JR紀勢本線）       | 日高川町和佐                 | 昭和           | —   |
| 01  | 印南町   | 稲原駅（JR紀勢本線）           | 印南町印南原                 | 昭和5年         | —   |
| 01  | 印南町   | 印南駅（JR紀勢本線）           | 印南町印南                  | 昭和5年         | —   |
| 01  | 印南町   | 切目駅（JR紀勢本線）           | 印南町島田                  | 昭和6年         | —   |
| 01  | みなべ町  | 岩代駅（JR紀勢本線）           | みなべ町西岩代19-2            | 昭和6年         | —   |
| 01  | みなべ町  | 南部駅（JR紀勢本線）           | みなべ町芝371-2             | 昭和6年         | —   |
| 01  | 田辺市   | 紀伊新庄駅（JR紀勢本線）         | 田辺市新庄町                 | 昭和6年         | —   |
| 01  | 田辺市   | 田辺駅（JR紀勢本線）           | 田辺市湊                   | 昭和6年         | —   |



| 小分類 | 市町村   | 名称                   | 所在地            | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-------|----------------------|----------------|--------------|-----|
| 01  | 白浜町   | 椿駅（JR紀勢本線）           | 白浜町椿           | 昭和9年         | —   |
| 01  | 白浜町   | 紀伊日置駅（JR紀勢本線）        | 白浜町日置          | 昭和9年         | —   |
| 01  | 白浜町   | 日置川橋梁（JR紀勢本線）        | 白浜町日置～安宅       | 昭和11年        | —   |
| 01  | 白浜町   | 富田川橋梁（JR紀勢本線）        | 白浜町富田          | 昭和10年        | —   |
| 01  | 白浜町   | 安宅坂トンネル              | 白浜町～すさみ町       | 昭和11年        | —   |
| 01  | すさみ町  | 安宅坂トンネル（JR紀勢本線）      | すさみ町～白浜町       | 昭和11年        | —   |
| 01  | 新宮市   | JR西日本 新宮駅            | 新宮市徐福1丁目       | 昭和27年        | —   |
| 01  | 新宮市   | 旧鉄道省 新宮駅             | 新宮市徐福1丁目       | 昭和13年        | —   |
| 01  | 新宮市   | JR西日本 新宮駅地下通路        | 新宮市徐福1丁目       | 昭和13年        | —   |
| 01  | 新宮市   | JR西日本 新宮駅旧一番ホーム跡     | 新宮市徐福2丁目       | 昭和13年        | —   |
| 01  | 新宮市   | JR西日本 新宮駅構内機関区跡      | 新宮市徐福2丁目       | 昭和13年        | —   |
| 01  | 新宮市   | JR西日本 新宮駅構内各施設跡      | 新宮市徐福2丁目       | 昭和13年以降      | —   |
| 01  | 新宮市   | JR西日本 三輪崎駅跡          | 新宮市三輪崎1丁目      | 昭和11年        | —   |
| 01  | 新宮市   | 新宮鐵道 新宮駅跡            | 新宮市蓬莱          | 大正2年         | —   |
| 01  | 新宮市   | 新宮鐵道路線跡              | 新宮市蓬莱          | 大正2年         | —   |
| 01  | 新宮市   | 新宮鐵道路線跡              | 新宮市大浜墓地        | 大正2年         | —   |
| 01  | 新宮市   | 新宮鐵道、国鉄熊野地駅舎、構内跡     | 新宮市熊野地1丁目      | 大正2年         | —   |
| 01  | 新宮市   | 国鉄熊野地貨物線跡            | 新宮市熊野地1丁目      | 昭和13年        | —   |
| 01  | 新宮市   | 国鉄熊野地駅から王子製紙工場へ引込線跡  | 新宮市あけぼの        | 昭和           | —   |
| 01  | 新宮市   | C1196 蒸気機関車          | 新宮市あけぼの        | 昭和11年        | —   |
| 01  | 新宮市   | 紀伊佐野（当時「佐野村」）駅舎、旧ホーム | 新宮市佐野3丁目       | 大正12年？       | —   |
| 01  | 新宮市   | 紀伊佐野駅～巴川製紙新宮工場引込線跡   | 新宮市佐野3丁目       | 昭和           | —   |
| 01  | 新宮市   | 紀伊佐野駅鉦石積出用ホーム跡       | 新宮市佐野3丁目       | 戦中？          | —   |
| 01  | 新宮市   | 新宮観光ケーブルカー路線跡        | 新宮市新宮（新宮城跡）    | 昭和29～56年     | —   |
| 01  | 新宮市   | JR西日本丹鶴隧道            | 新宮市新宮（登坂）      | 昭和15年        | —   |
| 01  | 新宮市   | 新宮鐵道 稻荷山隧道           | 新宮市三輪崎東高森      | 大正2年         | —   |
| 01  | 新宮市   | 新宮鐵道 御手洗隧道           | 新宮市三輪崎東高森      | 大正2年         | —   |
| 01  | 新宮市   | 新宮鐵道 袖摺隧道            | 新宮市佐野          | 大正2年         | —   |
| 01  | 新宮市   | 新宮鐵道 袖摺橋梁跡           | 新宮市佐野          | 大正3年         | —   |
| 01  | 新宮市   | 新宮鐵道 逆川橋梁橋台          | 新宮市新宮（広角）      | 大正2年         | —   |
| 01  | 新宮市   | JR東海 熊野川鉄橋           | 新宮市～紀宝町        | 昭和15年        | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | 紀伊浦神駅                | 那智勝浦町浦神        | 昭和11年        | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | 下里駅                  | 那智勝浦町下里        | 昭和10年        | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | 宇久井駅                 | 那智勝浦町宇久井       | 昭和11年        | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | 那智駅                  | 那智勝浦町浜ノ宮       | 昭和10年        | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | C58型一353蒸気機関車        | 那智勝浦町築地        | 昭和           | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | 旧新宮鐵道 那智川橋脚跡         | 那智勝浦町          | 大正元年         | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | 旧新宮鐵道 隧道             | 那智勝浦町宇久井他      | 大正元年         | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | 旧新宮鐵道 隧道（大狗子トンネル）    | 那智勝浦町大狗子       | 大正元年         | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | 旧新宮鐵道 隧道（小宮子トンネル）    | 那智勝浦町小宮子       | 大正元年         | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | 山口熊野頌徳碑              | 那智勝浦町浜ノ宮（那智駅前） | 昭和15年        | —   |
| 01  | 串本町   | 鐵道（紀勢本線）             | 串本町            | 昭和11年        | —   |
| 01  | 串本町   | 紀伊有田駅                | 串本町有田          | 昭和15年        | —   |
| 01  | 串本町   | 田並駅                  | 串本町田並          | 昭和15年        | —   |
| 01  | 串本町   | 和深駅                  | 串本町和深          | 昭和15年        | —   |
| 01  | 串本町   | 紀伊田原駅                | 串本町田原          | 昭和11年        | —   |

## 02 道路

|    |      |         |                        |       |   |
|----|------|---------|------------------------|-------|---|
| 02 | 和歌山市 | 道路新設記念碑 | 和歌山市秋葉町（南港山東線沿い）       | 昭和14年 | — |
| 02 | 和歌山市 | 道路記念碑   | 和歌山市日野（光福寺に至るまでの道沿い）   | 昭和3年  | — |
| 02 | 和歌山市 | 道路改修記念碑 | 和歌山市栗栖（高倉寺）            | 昭和5年  | — |
| 02 | 和歌山市 | 政助坂記念碑  | 和歌山市山口西                | 昭和35年 | — |
| 02 | 和歌山市 | 政助坂石柱   | 和歌山市山口西                | 不明    | — |
| 02 | 和歌山市 | 道標      | 和歌山市和歌浦中2-1-40         | 大正10年 | — |
| 02 | 和歌山市 | 加太道標    | 和歌山市加太（和歌山市北消防署加太出張所前） | 嘉永2年  | — |

| 小分類 | 市町村  | 名称                  | 所在地                             | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|---------------------|---------------------------------|--------------|-----|
| 02  | 和歌山市 | 加太道標                | 和歌山市加太1340                      | 嘉永2年         | —   |
| 02  | 和歌山市 | 道標                  | 和歌山市中筋日延（墓地内）                   | 昭和8年         | —   |
| 02  | 和歌山市 | 山口王子石碑              | 和歌山市湯屋谷（山口王子跡）                  | 不明           | —   |
| 02  | 和歌山市 | 中山王子石碑              | 和歌山市滝畑（中山王子跡）                   | 不明           | —   |
| 02  | 和歌山市 | 〇〇〇〇〇〇之碑            | 和歌山市田野（海岸通り沿い）                  | 明治           | —   |
| 02  | 海南市  | 黒江町道路元標             | 海南市黒江                           | 大正           | —   |
| 02  | 海南市  | 国道42号バイパス           | 海南市船尾・日方・築地・名高・鳥居・藤白            | 昭和45年        | —   |
| 02  | 海南市  | 冷水地先埋立              | 海南市冷水                           | 昭和           | —   |
| 02  | 海南市  | 船津地先埋立              | 海南市鳥居                           | 昭和           | —   |
| 02  | 海南市  | 山内由兵衛翁之碑            | 海南市且来                           | 大正9年         | —   |
| 02  | 海南市  | 山路王子神社道路改修記念碑       | 海南市下津町市坪                        | 昭和8年         | —   |
| 02  | 海南市  | 加茂川小学校通学路「愛之道」の石碑   | 海南市下津町小松原                       | 昭和2年         | —   |
| 02  | 紀美野町 | 海南高野線（現国道370号）      | 紀美野町毛原中他                        | 大正9年         | —   |
| 02  | 紀美野町 | 道路改修偉勲者 故黒田恵一郎翁 彰徳碑 | 紀美野町毛原中（caféやまものの木近く、国道370号線沿い） | 大正12年        | —   |
| 02  | 紀美野町 | 故 黒田恵一郎翁 頌徳碑        | 紀美野町中（国道370号線沿い藤の森バス停）          | 大正14年        | —   |
| 02  | 紀美野町 | 故黒田恵一郎君 頌徳記念碑       | 紀美野町大角（平岡商店南側国道沿い）              | 大正11年        | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道路改修記念碑             | 紀の川市荒見                          | 昭和38年        | —   |
| 02  | 紀の川市 | 川原粉河線大改修竣成記念碑       | 紀の川市上丹生谷                        | 昭和22年        | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道路改修記念碑             | 紀の川市杉原                          | 昭和2年         | —   |
| 02  | 紀の川市 | 荒見本線竣工記念碑           | 紀の川市荒見                          | 昭和38年        | —   |
| 02  | 紀の川市 | 舞田道完成記念碑            | 紀の川市中ノオ                         | 昭和9年         | —   |
| 02  | 紀の川市 | 改修記念碑               | 紀の川市粉河                          | 昭和5年         | —   |
| 02  | 紀の川市 | 角氏顕徳碑               | 紀の川市東大井                         | 昭和40年        | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道標                  | 紀の川市東野                          | 幕末           | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道標                  | 紀の川市粉河                          | 幕末           | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道標                  | 紀の川市粉河                          | 明治9年         | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道標（灯籠）              | 紀の川市深田                          | 幕末           | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道標                  | 紀の川市杉原                          | 明治41年        | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道標                  | 紀の川市粉河                          | 明治9年         | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道標                  | 紀の川市桃山町段                        | 幕末           | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道標                  | 紀の川市桃山町市場                       | 昭和           | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道標                  | 紀の川市中三谷                         | 大正6年         | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道標                  | 紀の川市中三谷                         | 大正8年         | —   |
| 02  | 紀の川市 | 道標                  | 紀の川市東三谷                         | 大正7年         | —   |
| 02  | 紀の川市 | 径路改修記念碑             | 紀の川市西川原                         | 昭和14年        | —   |
| 02  | 岩出市  | 大阪街道（県道）            | 岩出市                             | 明治28年        | —   |
| 02  | 岩出市  | 大和街道（県道）            | 岩出市                             | 明治28年        | —   |
| 02  | 岩出市  | 淡路街道（県道）            | 岩出市                             | 明治28年        | —   |
| 02  | 岩出市  | 根来街道（県道）            | 岩出市                             | 明治28年        | —   |
| 02  | 岩出市  | 川辺通り池田往来（県道）        | 岩出市                             | 明治28年        | —   |
| 02  | 岩出市  | 根来往来（県道）            | 岩出市                             | 明治28年        | —   |
| 02  | 岩出市  | 河南大和往来（県道）          | 岩出市                             | 明治28年        | —   |
| 02  | 岩出市  | 東野上岩出線              | 岩出市                             | 不明           | —   |
| 02  | 岩出市  | 岩出宮線                | 岩出市                             | 不明           | —   |
| 02  | 岩出市  | 岩出長谷毛原線他            | 岩出市                             | 不明           | —   |
| 02  | 岩出市  | 国道24号線              | 岩出市                             | 昭和           | —   |
| 02  | 岩出市  | 荊本の道標               | 岩出市荊本                           | 江戸           | —   |
| 02  | 岩出市  | 南大池の道標              | 岩出市南大池                          | 江戸           | —   |
| 02  | 岩出市  | 山の道標                | 岩出市山                            | 江戸           | —   |
| 02  | 岩出市  | 東坂本の道標              | 岩出市東坂本                          | 江戸           | —   |
| 02  | 岩出市  | 高塚の道標               | 岩出市高塚                           | 江戸           | —   |
| 02  | 岩出市  | 宮五差路道標              | 岩出市宮                            | 明治16年        | —   |
| 02  | 橋本市  | 道標                  | 橋本市高野口町名倉                       | 明治           | —   |
| 02  | 橋本市  | 郵便局への道しるべ           | 橋本市本町通（火伏医院前）                   | 明治           | —   |
| 02  | 橋本市  | 旧橋本町道路元標            | 橋本市橋本一丁目（紀陽銀行橋本支店前）             | 大正           | 市指定 |
| 02  | 九度山町 | 慈尊院・九度山の渡し          | 九度山町慈尊院他                        | 江戸～昭和        | —   |
| 02  | 九度山町 | 横尾道・不動坂道（近世・近代の参詣道） | 九度山町九度山・椎出他                     | 江戸～昭和        | —   |
| 02  | 九度山町 | 横尾道・不動坂道の道標群        | 九度山町椎出他                         | 大正13年        | —   |
| 02  | 九度山町 | 県道高野口高野山（横尾道）       | 九度山町九度山・椎出                      | 明治38年        | —   |

| 小分類 | 市町村   | 名称                      | 所在地                      | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-------|-------------------------|--------------------------|--------------|-----|
| 02  | 九度山町  | 椎出乗り合いバス車庫              | 九度山町椎出                   | 大正頃          | —   |
| 02  | 高野町   | 専用連絡道路（南海りんかんバス）        | 高野町大字高野山                 | 昭和5年         | —   |
| 02  | 高野町   | 玉川林道（現国道371号）・玉川林道改修記念碑 | 橋本市向副～高野町高野山             | 昭和6年         | —   |
| 02  | 高野町   | 高野参詣道 京大坂道不動坂           | 高野町大字高野山                 | 幕末           | —   |
| 02  | 高野町   | 京大坂道の道標                 | 高野町大字高野山                 | 大正           | —   |
| 02  | 高野町   | 町石道の再建町石                | 高野町大字高野山                 | 大正           | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 大和街道                    | かつらぎ町中飯降・妙寺・笠田東          | 明治           | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 西高野街道                   | かつらぎ町御所・志賀・新城・下天野        | 明治           | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 高野参詣道町石道                | かつらぎ町山崎・教良寺・上天野・下天野・神田   | 大正           | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 妙寺停車場線                  | かつらぎ町妙寺                  | 大正           | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 上天野三谷線                  | かつらぎ町上天野・三谷              | 昭和           | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 下天野星山線                  | かつらぎ町下天野・星山              | 昭和           | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 道路改修記念碑                 | かつらぎ町大畑                  | 昭和3年         | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 道路改修碑                   | かつらぎ町短野                  | 昭和11年        | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 不明道標                    | かつらぎ町中飯降                 | 明治9年         | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 柏木平松垣内里道改修碑             | かつらぎ町柏木                  | 大正6年         | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 柏木道路改修記念碑               | かつらぎ町柏木                  | 大正6年         | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 広浦道路改修記念碑               | かつらぎ町佐野                  | 昭和8年         | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 道路改修記念碑                 | かつらぎ町笠田中                 | 昭和10年        | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 道路改修記念碑                 | かつらぎ町滝                   | 昭和3年         | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 丹生神社道路改修寄付碑             | かつらぎ町山崎                  | 明治40年        | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 道路改修記念碑                 | かつらぎ町山崎                  | 明治34年        | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 道標（高野参詣道町石道163町石近く）     | かつらぎ町山崎                  | 明治3年         | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 道標（高野参詣道町石道156町石近く）     | かつらぎ町山崎                  | 明治か          | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 道路改修記念碑                 | かつらぎ町教良寺                 | 大正4年         | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 三谷坂道標                   | かつらぎ町三谷                  | 昭和18年        | —   |
| 02  | かつらぎ町 | 開道記念碑                   | かつらぎ町東洪田                 | 明治25年        | —   |
| 02  | 有田市   | 新熊野街道（現国道42号線）          | 有田市                      | 明治19年        | —   |
| 02  | 有田市   | 田中文七の彰徳碑                | 有田市宮崎町矢櫃（矢櫃公民館横）         | 明治40年        | —   |
| 02  | 有田市   | 田中平三郎の頌徳碑               | 有田市宮崎町矢櫃（南龍神社内）          | 昭和11年        | —   |
| 02  | 有田市   | 安諦橋南詰 地藏尊               | 有田市古江見（安諦橋南詰）            | 江戸           | —   |
| 02  | 湯浅町   | 道路元標（湯浅道町）              | 湯浅町湯浅                    | 不明           | —   |
| 02  | 広川町   | 岩淵道路記念碑                 | 広川町下津木                   | 昭和           | —   |
| 02  | 有田川町  | 井口の道標                   | 有田川町井口                   | 大正11年        | —   |
| 02  | 有田川町  | 頌徳碑                     | 有田川町中野                   | 昭和14年        | —   |
| 02  | 有田川町  | 参宮道改修寄付碑                | 有田川町中野                   | 昭和11年        | —   |
| 02  | 有田川町  | 林道改修記念碑                 | 有田川町中井原                  | 昭和3年         | —   |
| 02  | 有田川町  | 吉田の道標                   | 有田川町小川                   | 明治16年        | —   |
| 02  | 有田川町  | 道路開通記念碑                 | 有田川町上六川                  | 昭和45年        | —   |
| 02  | 有田川町  | 下井嘉雄翁頌徳碑                | 有田川町上六川                  | 昭和45年        | —   |
| 02  | 有田川町  | 青田の道標                   | 有田川町青田                   | 昭和4年         | —   |
| 02  | 有田川町  | 道標記念碑                   | 有田川町大西                   | 昭和29年        | —   |
| 02  | 有田川町  | 苔口の道標                   | 有田川町宇井苔                  | 大正13年        | —   |
| 02  | 有田川町  | 道路改修記念碑                 | 有田川町宇井苔                  | 昭和44年        | —   |
| 02  | 有田川町  | 道標                      | 有田川町三瀬川                  | 昭和32年        | —   |
| 02  | 有田川町  | 龍神街道の道標                 | 有田川町遠井                   | 明治35年        | —   |
| 02  | 有田川町  | 道標                      | 有田川町押手                   | 明治元年         | —   |
| 02  | 御坊市   | 巡礼村送りの碑                 | 御坊市藤田町吉田                 | 慶応？          | —   |
| 02  | 御坊市   | 道路改修記念碑                 | 御坊市北熊野（県道御坊姉子線・熊野神社参道分岐） | 明治？          | —   |
| 02  | 御坊市   | 津井切の道標                  | 御坊市藤田町吉田（津井切一の橋南詰）       | 大正6年         | —   |
| 02  | 御坊市   | 旧藤田村の道路元標               | 御坊市藤田町藤井（専念寺前十字路）        | 不明           | —   |
| 02  | 御坊市   | 北塩屋の漁場標示石               | 御坊市塩屋町北塩屋                | 明治42年        | —   |
| 02  | 御坊市   | 塩屋の漁場標示石                | 御坊市塩屋町北塩屋（天田）            | 明治42年        | —   |



| 小分類 | 市町村  | 名称              | 所在地                  | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|-----------------|----------------------|--------------|-----|
| 02  | 美浜町  | 兄妹有功碑           | 美浜町三尾（バス停付近庚申堂脇）     | 明治44年        | —   |
| 02  | 日高町  | 水滝不動の道標・道路改修記念碑 | 日高町（旧鹿ヶ瀬隧道手前旧道沿い）    | 昭和2年         | —   |
| 02  | 日高町  | 小杭の道路竣工記念碑      | 日高町小杭（柏～小杭間）         | 昭和46年        | —   |
| 02  | 日高町  | 池田の三界萬霊碑・道標     | 日高町池田（国道沿い）          | 明治17年        | —   |
| 02  | 日高町  | 池田奥の道標          | 日高町池田（農道沿い）          | 明治39年        | —   |
| 02  | 日高町  | 池田の道標           | 日高町池田（旧県道沿い）         | 大正14年        | —   |
| 02  | 日高川町 | 下和佐の道標          | 日高川町下和佐（県道沿い）        | 明治15年        | —   |
| 02  | 日高川町 | 市川中央線 道路改修記念碑   | 日高川町市川               | 昭和36年        | —   |
| 02  | 日高川町 | 八軒道の道路竣工記念碑     | 日高川町高津尾八軒道           | 昭和3年         | —   |
| 02  | 日高川町 | 原日浦の道路記念碑       | 日高川町原日浦（観音堂隣接地）      | 昭和42年        | —   |
| 02  | 日高川町 | 加門大安翁顕彰碑        | 日高川町 旧美山村桂木峠頂上       | 昭和53年        | —   |
| 02  | 印南町  | 南部川往来里道改修記念碑    | 印南町上洞（県道南部上洞線沿い）     | 明治40年        | —   |
| 02  | 印南町  | 印南原の道標          | 印南町印南原               | 明治4年         | —   |
| 02  | 印南町  | 経平峠の道標          | 印南町西神の川（経平峠）         | 明治5年         | —   |
| 02  | 印南町  | 西神の川の道標         | 印南町西神の川              | 明治6年         | —   |
| 02  | 印南町  | 印南町の道標          | 印南町印南原（稲原中学校付近）      | 明治17年        | —   |
| 02  | みなべ町 | みかへり坂の碑         | みなべ町晩稲               | 大正14年        | —   |
| 02  | みなべ町 | 南部町道路元標         | みなべ町南道・新町            | 大正？          | —   |
| 02  | 田辺市  | 植田理太郎君道路開鑿記念碑   | 田辺市串                 | 明治           | —   |
| 02  | 田辺市  | 碑（道路開通記念）       | 田辺市中屋敷町              | 昭和           | —   |
| 02  | 田辺市  | 鉛山農道開通記念碑       | 田辺市鮎川                | 昭和33年        | —   |
| 02  | 田辺市  | 虎ヶ峯林道開通記念碑      | 田辺市龍神村上柳瀬（林道沿い）      | 昭和2年         | —   |
| 02  | 田辺市  | 山地新道記           | 田辺市上秋津               | 不明           | —   |
| 02  | 田辺市  | 谷川道路開通記念        | 田辺市秋津川               | 不明           | —   |
| 02  | 田辺市  | 白浜道路碑           | 田辺市新庄町内之浦            | 昭和           | —   |
| 02  | 田辺市  | 松本鉄一郎・岡本清次郎頌徳碑  | 田辺市龍神村下福井（県道沿い）      | 昭和36年        | —   |
| 02  | 田辺市  | 林道高野龍神線完工記念碑    | 田辺市龍神村（護摩壇山付近）       | 昭和41年        | —   |
| 02  | 田辺市  | 黒ノ峠の道標          | 田辺市鮎川                | 不明           | —   |
| 02  | 白浜町  | 旧日置大橋           | 白浜町日置                | 昭和13年        | —   |
| 02  | 白浜町  | 西前線改修記念碑        | 白浜町堅田                | 昭和6年         | —   |
| 02  | 白浜町  | 河野一郎先生頌徳之碑      | 白浜町富田（国道沿い）          | 昭和41年        | —   |
| 02  | 上富田町 | 新開道路之記          | 上富田町市ノ瀬（根皆田）         | 明治21年        | —   |
| 02  | 上富田町 | 梅田みちびき地蔵        | 上富田町梅田               | 昭和32年        | —   |
| 02  | 新宮市  | 国道42号線          | 新宮市大橋通～佐野            | 昭和           | —   |
| 02  | 新宮市  | 国道168号線         | 新宮市五新～東敷屋            | 昭和           | —   |
| 02  | 新宮市  | 丹鶴町・駅前本通道路（県道）  | 新宮市伊佐田・丹鶴            | 大正11年        | —   |
| 02  | 新宮市  | 産業道路（県道231号線）   | 新宮市五新～緑ヶ丘～清水元～大浜～熊野地 | 昭和           | —   |
| 02  | 新宮市  | 県道（新宮～三輪崎間）     | 新宮市新宮（広角）～三輪崎        | 明治17年        | —   |
| 02  | 新宮市  | 道路元標（国道42号線）    | 新宮市馬町                | 大正10年頃       | —   |
| 02  | 新宮市  | 三輪崎の道標          | 新宮市三輪崎               | 明治17年        | —   |
| 02  | 新宮市  | 橋本の道標           | 新宮市春日                | 明治11年        | —   |
| 02  | 串本町  | 有田村道路元標         | 串本町有田                | 大正           | —   |

### 03 橋梁

|    |      |             |                     |       |     |
|----|------|-------------|---------------------|-------|-----|
| 03 | 和歌山市 | 北島橋（現県道15号） | 和歌山市北島              | 昭和11年 | —   |
| 03 | 和歌山市 | 京橋          | 和歌山市十一番丁・十二番丁・本町1丁目 | 昭和4年  | —   |
| 03 | 和歌山市 | 中橋          | 和歌山市十二番丁・福町         | 昭和28年 | —   |
| 03 | 和歌山市 | 寄合橋         | 和歌山市寄合町・湊本町         | 昭和16年 | —   |
| 03 | 和歌山市 | 大陸橋         | 和歌山市和歌浦中            | 昭和8年  | —   |
| 03 | 和歌山市 | 花王橋         | 和歌山市湊・西ノ坪           | 不明    | —   |
| 03 | 和歌山市 | 不老橋         | 和歌山市和歌浦中            | 嘉永4年  | 国名勝 |
| 03 | 和歌山市 | 和歌浦橋        | 和歌山市和歌浦中2-1-40      | 昭和11年 | —   |
| 03 | 和歌山市 | こはし         | 和歌山市岡山丁（岡公園）        | 明治18年 | —   |
| 03 | 和歌山市 | 嘉永橋         | 和歌山市大川              | 嘉永7年  | —   |
| 03 | 海南市  | 紺屋橋         | 海南市且来               | 昭和    | —   |
| 03 | 海南市  | かねいち橋       | 海南市日方               | 昭和8年  | —   |
| 03 | 海南市  | 大橋          | 海南市日方               | 昭和12年 | —   |
| 03 | 海南市  | 海南橋         | 海南市大野中              | 昭和11年 | —   |

| 小分類 | 市町村   | 名称                     | 所在地                  | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-------|------------------------|----------------------|--------------|-----|
| 03  | 海南市   | 新町橋                    | 海南市日方                | 昭和35年        | —   |
| 03  | 海南市   | 神田橋                    | 海南市日方                | 昭和10年        | —   |
| 03  | 海南市   | 日方74号線1号橋              | 海南市日方                | 昭和11年        | —   |
| 03  | 海南市   | 御訪跨線人道橋                | 海南市冷水                | 昭和42年        | —   |
| 03  | 海南市   | 海南橋                    | 海南市黒江                | 昭和39年        | —   |
| 03  | 海南市   | 六ヶ橋                    | 海南市且来                | 昭和29年        | —   |
| 03  | 海南市   | 矢口橋                    | 海南市且来                | 昭和4年         | —   |
| 03  | 海南市   | 宮橋                     | 海南市重根                | 昭和27年        | —   |
| 03  | 海南市   | 平尾橋                    | 海南市重根                | 大正13年        | —   |
| 03  | 海南市   | 昭和橋                    | 海南市九品寺               | 昭和29年        | —   |
| 03  | 海南市   | 山橋                     | 海南市野上新               | 昭和29年        | —   |
| 03  | 海南市   | 白岩橋                    | 海南市野上新               | 昭和29年        | —   |
| 03  | 海南市   | 北野上橋                   | 海南市原野                | 昭和29年        | —   |
| 03  | 海南市   | 加伊多橋                   | 海南市七山                | 昭和29年        | —   |
| 03  | 海南市   | 琴の浦橋                   | 海南市船尾                | 昭和40年        | —   |
| 03  | 海南市   | 田津原橋                   | 海南市重根                | 昭和40年        | —   |
| 03  | 海南市   | 小松原橋                   | 海南市下津町小松原            | 昭和34年        | —   |
| 03  | 海南市   | 小南橋                    | 海南市下津町小南             | 昭和5年         | —   |
| 03  | 海南市   | 中川橋                    | 海南市下津町橋本             | 昭和29年        | —   |
| 03  | 海南市   | 橋本上橋                   | 海南市下津町橋本             | 昭和31年        | —   |
| 03  | 海南市   | 市坪中橋                   | 海南市下津町市坪             | 昭和23年        | —   |
| 03  | 海南市   | 小原川橋                   | 海南市下津町下津             | 昭和5年         | —   |
| 03  | 海南市   | 東出橋                    | 海南市下津町曾根田            | 昭和33年        | —   |
| 03  | 海南市   | 青年橋                    | 海南市下津町上              | 昭和37年        | —   |
| 03  | 海南市   | 大石橋                    | 海南市下津町鯉川             | 昭和28年        | —   |
| 03  | 海南市   | どのわき橋                  | 海南市下津町市坪             | 昭和37年        | —   |
| 03  | 海南市   | 新みなと橋                  | 海南市船尾・日方             | 昭和43年        | —   |
| 03  | 海南市   | 海南橋                    | 海南市築地・名高             | 昭和43年        | —   |
| 03  | 海南市   | 矢口橋の由来の銅板              | 海南市且来                | 昭和4年         | —   |
| 03  | 紀美野町  | 神野橋                    | 紀美野町樋下               | 昭和12年        | —   |
| 03  | 紀美野町  | 貴志川の使われていないピンヤ<br>(橋脚) | 紀美野町下佐々              | 昭和           | —   |
| 03  | 紀美野町  | 山本亀松顕彰碑                | 紀美野町国木原              | 昭和11年        | —   |
| 03  | 紀の川市  | 竜門橋                    | 紀の川市荒見               | 昭和30年        | —   |
| 03  | 紀の川市  | 妹背橋                    | 紀の川市穴伏～かつらぎ町         | 昭和9年         | —   |
| 03  | 紀の川市  | 小島橋                    | 紀の川市名手市場             | 大正13年        | —   |
| 03  | 紀の川市  | 井阪橋                    | 紀の川市桃山町段             | 昭和44年        | —   |
| 03  | 紀の川市  | 高島橋                    | 紀の川市貴志川町<br>丸栖、桃山町調月 | 昭和39年        | —   |
| 03  | 紀の川市  | 小海川橋                   | 紀の川市西三谷              | 昭和11年        | —   |
| 03  | 紀の川市  | 佐川橋                    | 紀の川市南勢田              | 昭和10年        | —   |
| 03  | 紀の川市  | 海神大橋                   | 紀の川市北大井              | 不明           | —   |
| 03  | 岩出市   | 岩出橋                    | 岩出市宮～船戸              | 昭和30年        | —   |
| 03  | 橋本市   | 報徳橋                    | 橋本市御幸辻               | 昭和12年        | —   |
| 03  | 橋本市   | 見返橋                    | 橋本市高野口町名倉            | 昭和10年        | —   |
| 03  | 九度山町  | 旧九度山橋                  | 九度山町九度山              | 大正11年        | —   |
| 03  | 九度山町  | 千石橋                    | 九度山町河根               | 昭和9年         | —   |
| 03  | 九度山町  | 九度山駅東方アーチ跨線橋           | 九度山町九度山              | 不明           | —   |
| 03  | 九度山町  | 九度山駅西方隣接跨線橋            | 九度山町九度山              | 不明           | —   |
| 03  | かつらぎ町 | 北川橋                    | かつらぎ町萩原              | 昭和7年         | —   |
| 03  | かつらぎ町 | 三谷橋                    | かつらぎ町妙寺・三谷           | 明治45年        | —   |
| 03  | かつらぎ町 | 大門口橋                   | かつらぎ町笠田東・東洪田         | 大正元年         | —   |
| 03  | かつらぎ町 | 大門口大橋                  | かつらぎ町笠田東・東洪田         | 昭和47年        | —   |
| 03  | かつらぎ町 | かつらぎ橋                  | かつらぎ町大谷・兄井           | 昭和35年        | —   |
| 03  | 有田市   | 安謐橋（初代）                | 有田市箕島                | 明治18年        | —   |
| 03  | 有田市   | 安謐橋（2代目）               | 有田市箕島                | 明治21年        | —   |
| 03  | 有田市   | 安謐橋（3代目）               | 有田市箕島                | 不明           | —   |
| 03  | 有田市   | 安謐橋（4代目）               | 有田市箕島                | 昭和11年        | —   |
| 03  | 有田市   | 安謐橋址碑                  | 有田市箕島                | 昭和15年        | —   |
| 03  | 有田市   | 田中翁の碑                  | 有田市箕島                | 明治43年        | —   |
| 03  | 有田市   | むかで橋                   | 有田市宮原新町～糸我中番         | 大正13年        | —   |
| 03  | 有田市   | むかで橋                   | 有田市山田原               | ～明治          | —   |
| 03  | 有田市   | 教育橋（保田大橋の前身）           | 有田市山田原～辻堂            | 明治39年        | —   |
| 03  | 有田市   | 保田大橋（7・18流失）           | 有田市山田原八王子の畔～辻堂       | 昭和7年         | —   |
| 03  | 有田市   | 宮原大橋（7・18流失）           | 有田市宮原～糸我             | 昭和7年         | —   |
| 03  | 有田市   | 宮原大橋                   | 有田市宮原～糸我             | 昭和34年        | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称             | 所在地          | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|----------------|--------------|--------------|-----|
| 03  | 湯浅町  | 平野橋            | 湯浅町山田        | 昭和41年        | —   |
| 03  | 湯浅町  | 天狗橋            | 湯浅町山田        | 昭和37年        | —   |
| 03  | 湯浅町  | 田村橋            | 湯浅町田         | 昭和43年        | —   |
| 03  | 湯浅町  | 宮後橋            | 湯浅町湯浅        | 昭和45年        | —   |
| 03  | 有田川町 | 田殿橋            | 有田川町井口       | 大正15年        | —   |
| 03  | 有田川町 | 平野橋            | 有田川町川口       | 不明           | —   |
| 03  | 有田川町 | 伏洋橋            | 有田川町小川       | 昭和9年         | —   |
| 03  | 有田川町 | 川崎橋            | 有田川町市場～糸野    | 昭和12年        | —   |
| 03  | 有田川町 | 金屋橋            | 有田川町金屋       | 明治～          | —   |
| 03  | 有田川町 | 女夫石橋           | 有田川町歡喜寺      | 昭和初期         | —   |
| 03  | 有田川町 | 中戸橋            | 有田川町岩野川      | 昭和33年        | —   |
| 03  | 有田川町 | 丹生橋            | 有田川町丹生       | 昭和33年        | —   |
| 03  | 有田川町 | 大田口橋           | 有田川町粟生       | 昭和32年        | —   |
| 03  | 有田川町 | 二川橋            | 有田川町二川       | 大正～          | —   |
| 03  | 有田川町 | 清水橋            | 有田川町清水       | 明治～          | —   |
| 03  | 御坊市  | 天田橋（現国道42号線）   | 御坊市塩屋町、名屋    | 昭和30年        | —   |
| 03  | 御坊市  | 野口橋竣工記念碑       | 御坊市野口（野口橋下）  | 昭和39年        | —   |
| 03  | 御坊市  | 東新菌橋の橋標        | 御坊市菌（南新町）    | 不明           | —   |
| 03  | 御坊市  | 善妙寺橋の橋標        | 御坊市島         | 不明           | —   |
| 03  | 御坊市  | 西川浚渫記念碑        | 御坊市 西川       | 昭和3年         | —   |
| 03  | 日高町  | 高家王子橋銘         | 日高町萩原（王子橋）   | 昭和2年         | —   |
| 03  | 由良町  | 玉石橋            | 由良町畑         | 昭和10年        | —   |
| 03  | 日高川町 | 千曳橋            | 日高川町和佐       | 大正10年頃       | —   |
| 03  | みなべ町 | 下角橋            | みなべ町清川       | 昭和45年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 宇呂住橋           | みなべ町清川       | 昭和44年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 犬郷上橋           | みなべ町西本庄      | 昭和44年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 犬郷下橋           | みなべ町西本庄      | 昭和44年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 新庄橋            | みなべ町気佐藤      | 昭和39年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 尾田橋            | みなべ町晩稲       | 昭和31年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 世美谷橋           | みなべ町晩稲       | 昭和31年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 宮前橋            | みなべ町東本庄      | 昭和37年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 下高野橋           | みなべ町高野       | 昭和35年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 数永橋            | みなべ町高野       | 昭和39年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 別当橋            | みなべ町東神野川     | 昭和42年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 鎌倉橋            | みなべ町東神野川     | 昭和43年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 鶴の湯橋           | みなべ町熊瀬川      | 昭和34年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 幸先橋            | みなべ町清川       | 昭和36年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 久世谷橋           | みなべ町清川       | 昭和37年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 臼ノ谷橋           | みなべ町清川       | 昭和38年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 古田橋            | みなべ町西本庄      | 昭和38年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 丸山橋            | みなべ町西岩代      | 昭和29年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 尾葉奈橋           | みなべ町西岩代      | 昭和37年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 旧木下橋           | みなべ町東岩代      | 昭和元年         | —   |
| 03  | みなべ町 | 上辺橋            | みなべ町東本庄      | 昭和45年        | —   |
| 03  | みなべ町 | 高橋             | みなべ町滝        | 昭和           | —   |
| 03  | 田辺市  | 小野原橋           | 田辺市上三栖       | 昭和10年        | —   |
| 03  | 田辺市  | 金比羅橋           | 田辺市龍神村五味     | 昭和           | —   |
| 03  | 田辺市  | 福井橋            | 田辺市龍神村福井     | 昭和           | —   |
| 03  | 田辺市  | 皆瀬橋            | 田辺市龍神村皆瀬・道   | 昭和           | —   |
| 03  | 田辺市  | 梅津呂橋           | 田辺市龍神村上湯ノ又   | 昭和           | —   |
| 03  | 田辺市  | 下柳瀬橋           | 田辺市龍神村小柳瀬・応地 | 昭和           | —   |
| 03  | 田辺市  | 龍神橋            | 田辺市龍神村津ノ又・宮代 | 昭和           | —   |
| 03  | 田辺市  | 高砂橋            | 田辺市龍神村殿垣内    | 昭和           | —   |
| 03  | 田辺市  | 上山路橋           | 田辺市龍神村西・東    | 昭和           | —   |
| 03  | 田辺市  | 保之平橋           | 田辺市龍神村広瀬・上柳瀬 | 昭和           | —   |
| 03  | 田辺市  | 宮の瀬橋           | 田辺市龍神村福井・津越  | 昭和           | —   |
| 03  | 田辺市  | 湯本橋            | 田辺市龍神村湯ノ又    | 昭和           | —   |
| 03  | 田辺市  | 鮎川橋            | 田辺市鮎川        | 昭和11年        | —   |
| 03  | 田辺市  | 請川橋            | 田辺市本宮町請川     | 昭和7年         | —   |
| 03  | 白浜町  | 宇津木橋           | 白浜町宇津木       | 昭和37年        | —   |
| 03  | 白浜町  | 久木橋            | 白浜町久木        | 昭和30年        | —   |
| 03  | 白浜町  | 岡里橋            | 白浜町富田        | 昭和           | —   |
| 03  | 白浜町  | 小房橋            | 白浜町小房        | 昭和36年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 市道丹鶴橋          | 新宮市丹鶴        | 昭和15年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 熊野大橋(国道42号線)   | 新宮市～紀宝町      | 昭和10年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 三輪崎跨線橋(国道42号線) | 新宮市三輪崎       | 昭和41年        | —   |



| 小分類 | 市町村  | 名称              | 所在地          | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|-----------------|--------------|--------------|-----|
| 03  | 新宮市  | 旧相賀橋(国道168号線)   | 新宮市相賀        | 昭和           | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧田長橋(国道168号線)   | 熊野川町田長       | 昭和10年頃       | —   |
| 03  | 新宮市  | 三津ノ橋(国道168号線)   | 熊野川町神丸・能城    | 昭和34年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧志古橋(国道168号線)   | 熊野川町志古       | 昭和32年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 敷屋大橋            | 熊野川町敷屋       | 昭和35年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧宮井大橋(国道311号線)  | 熊野川町宮井       | 昭和33年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 高田川流域の吊橋群       | 新宮市高田        | 昭和           | —   |
| 03  | 新宮市  | 赤木川流域の吊橋群       | 熊野川町赤木ほか     | 昭和           | —   |
| 03  | 新宮市  | 赤木橋             | 熊野川町赤木       | 昭和41年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧仙龍橋            | 新宮市橋本1丁目     | 昭和           | —   |
| 03  | 新宮市  | 布引谷川橋(国道168号)   | 新宮市高田        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧白見谷橋(国道168号)   | 新宮市高田        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 枌の谷橋(国道168号)    | 新宮市高田        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧高田谷川橋(国道168号)  | 新宮市高田        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧相賀出張橋(旧県道)     | 新宮市相賀        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧大宮橋(旧県道)       | 新宮市高田        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧高田川橋(旧県道)      | 新宮市高田        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 大野橋             | 新宮市高田里       | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 世々良樹橋           | 新宮市高田西(近大入口) | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧登坂橋(J R 西日本高架) | 新宮市新宮        | 昭和15年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 浮島橋             | 新宮市浮島        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 貯木橋             | 新宮市あけぼの      | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 第一蛇沢橋           | 新宮市五新        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 高倉橋(国道168号)     | 新宮市磐盾        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 蛇沢橋             | 新宮市磐盾        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 磐盾橋(旧168号)      | 新宮市磐盾        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 三栄橋             | 新宮市緑ヶ丘       | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 第一王子橋           | 新宮市熊野地       | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 第二王子橋           | 新宮市熊野地       | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 田鶴原橋            | 新宮市田鶴原       | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 丸山橋             | 新宮市下田        | 昭和40年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 南丸山橋            | 新宮市下田        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 第一下田橋           | 新宮市下田        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 第二下田橋           | 新宮市緑ヶ丘       | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | あけぼの橋           | 新宮市あけぼの      | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧四滝谷川橋          | 新宮市熊野川町四滝    | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 玉置口橋            | 新宮市熊野川町玉置口   | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 瀬大橋             | 新宮市熊野川町嶋津    | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 富士根橋            | 新宮市熊野川町西敷屋   | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧桜谷橋(国道168号)    | 新宮市熊野川町宮井    | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧猪岩橋            | 新宮市熊野川町田長    | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 三津野橋            | 新宮市熊野川町日足    | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 谷口橋             | 新宮市熊野川町椋井    | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 赤木川橋            | 新宮市熊野川町赤木    | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 高倉橋             | 新宮市熊野川町上長井   | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 小口橋             | 新宮市熊野川町上長井   | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 渡月橋             | 新宮市熊野川町西     | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 西川橋             | 新宮市熊野川町西     | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 中ノ川橋            | 新宮市熊野川町鎌塚    | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 暮ヶ谷橋            | 新宮市熊野川町東     | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 引土橋             | 新宮市熊野川町滝本    | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 滝本二月橋           | 新宮市熊野川町滝本    | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 滝本橋             | 新宮市熊野川町滝本    | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 荒木川市梨橋          | 新宮市佐野        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 中央橋             | 新宮市佐野        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 山見橋             | 新宮市佐野        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 荒木橋             | 新宮市蜂伏        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 秋津野橋            | 新宮市佐野        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 楠橋              | 新宮市佐野        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 荒木橋             | 新宮市佐野        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 桂橋              | 新宮市佐野        | 不明           | —   |
| 03  | 新宮市  | 旧松籟橋            | 新宮市佐野        | 不明           | —   |
| 03  | 古座川町 | 参宮橋             | 古座川町添野川      | 昭和23年        | —   |
| 03  | 古座川町 | 小柳橋(0008)       | 古座川町一前       | 昭和6年         | —   |
| 03  | 古座川町 | 鳥の小森橋(0049)     | 古座川町成川       | 昭和           | —   |
| 03  | 古座川町 | 出合橋(0062)       | 古座川町檜山       | 昭和           | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称           | 所在地        | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|--------------|------------|--------------|-----|
| 03  | 古座川町 | 津路橋 (0081)   | 古座川町山手     | 昭和           | —   |
| 03  | 古座川町 | 大塔谷口橋 (0082) | 古座川町松根     | 昭和           | —   |
| 03  | 古座川町 | 泉郷橋 (0092)   | 古座川町添野川    | 昭和           | —   |
| 03  | 古座川町 | 松ノ木橋 (0095)  | 古座川町松根     | 昭和           | —   |
| 03  | 古座川町 | 桑滝橋 (5708)   | 古座川町小森川    | 昭和2年         | —   |
| 03  | 古座川町 | 成見川橋 (5709)  | 古座川町小森川    | 昭和29年        | —   |
| 03  | 古座川町 | 栗須橋 (5710)   | 古座川町小森川    | 昭和5年         | —   |
| 03  | 古座川町 | きじやま橋 (5713) | 古座川町小川     | 昭和3年         | —   |
| 03  | 古座川町 | 小松谷橋 (5716)  | 古座川町西赤木    | 昭和29年        | —   |
| 03  | 古座川町 | 三尾の口橋        | 古座川町三尾川    | 昭和25年        | —   |
| 03  | 古座川町 | 苔石橋 (5725)   | 古座川町下露     | 昭和22年        | —   |
| 03  | 古座川町 | 宮の平橋 (5741)  | 古座川町字筒井    | 昭和29年        | —   |
| 03  | 古座川町 | 添谷橋 (5764)   | 古座川町小川     | 昭和25年        | —   |
| 03  | 古座川町 | 下地橋 (5766)   | 古座川町三尾川    | 昭和28年        | —   |
| 03  | 古座川町 | 栗ノ木橋 (5767)  | 古座川町添野川    | 昭和23年        | —   |
| 03  | 北山村  | 奥瀬橋          | 東牟婁郡北山村竹原  | 昭和35年        | —   |
| 03  | 北山村  | 新大沼橋         | 東牟婁郡北山村大沼  | 昭和42年        | —   |
| 03  | 北山村  | 上瀬橋          | 東牟婁郡北山村下尾井 | 昭和47年        | —   |
| 03  | 北山村  | 小松橋          | 東牟婁郡北山村小松  | 昭和30年        | —   |
| 03  | 北山村  | 中洲橋          | 東牟婁郡北山村大沼  | 昭和44年        | —   |
| 03  | 串本町  | 矢ノ熊橋 2 号橋    | 串本町串本      | 昭和40年        | —   |
| 03  | 串本町  | 矢ノ熊橋 3 号橋    | 串本町串本      | 昭和43年        | —   |
| 03  | 串本町  | 宮川橋          | 串本町串本      | 昭和43年        | —   |
| 03  | 串本町  | 北地橋          | 串本町串本      | 昭和45年        | —   |
| 03  | 串本町  | 末吉橋          | 串本町串本      | 昭和43年        | —   |
| 03  | 串本町  | 中之橋          | 串本町串本      | 昭和38年        | —   |
| 03  | 串本町  | 汐入上橋         | 串本町鬪野川     | 昭和45年        | —   |
| 03  | 串本町  | 寺之元橋         | 串本町鬪野川     | 昭和37年        | —   |
| 03  | 串本町  | 滝の谷橋         | 串本町二色      | 昭和45年        | —   |
| 03  | 串本町  | 串ノ元橋         | 串本町高富      | 昭和38年        | —   |
| 03  | 串本町  | 寺前橋          | 串本町高富      | 昭和34年        | —   |
| 03  | 串本町  | 山の神橋         | 串本町高富      | 昭和10年        | —   |
| 03  | 串本町  | 蔵尻橋          | 串本町高富      | 昭和10年        | —   |
| 03  | 串本町  | 高富橋          | 串本町高富      | 昭和38年        | —   |
| 03  | 串本町  | 常水川橋         | 串本町田並      | 昭和37年        | —   |
| 03  | 串本町  | 火伏橋          | 串本町西向      | 昭和45年        | —   |
| 03  | 串本町  | 太鼓橋          | 串本町西向      | 昭和35年        | —   |
| 03  | 串本町  | 伊串橋          | 串本町伊串      | 昭和39年        | —   |
| 03  | 串本町  | 上ゲ地橋         | 串本町西向      | 昭和45年        | —   |
| 03  | 串本町  | 市谷橋          | 串本町古座      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 女鹿の谷橋        | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 山口第 1 号橋     | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 山口橋          | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 岩渕谷橋         | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 東谷第 3 号橋     | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 東谷第 2 号橋     | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 東谷第 1 号橋     | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 炭床橋          | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 足谷橋          | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 西谷第 3 号橋     | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 西谷第 2 号橋     | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 広田橋          | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 南の砦橋         | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 西谷第 1 号端     | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 通り橋          | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 横畑橋          | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 目津橋          | 串本町西向      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 重の谷 1 号橋     | 串本町伊串      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 品田橋          | 串本町伊串      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 伊串上地橋        | 串本町伊串      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 小谷橋          | 串本町伊串      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 宮前橋          | 串本町伊串      | 昭和13年        | —   |
| 03  | 串本町  | 大浦橋          | 串本町伊串      | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 浜地橋          | 串本町姫       | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | 榎谷橋          | 串本町姫       | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町  | よきとき橋        | 串本町姫       | 昭和41年        | —   |

| 小分類 | 市町村 | 名称       | 所在地    | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-----|----------|--------|--------------|-----|
| 03  | 串本町 | エチ橋      | 串本町姫   | 昭和41年        | —   |
| 03  | 串本町 | 石戸橋      | 串本町姫   | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 天満橋      | 串本町姫   | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 西ノ谷橋     | 串本町姫   | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 池の谷橋     | 串本町姫   | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 市谷第1号橋   | 串本町古田  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 檜谷第2号橋   | 串本町姫   | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 檜谷第3号橋   | 串本町姫   | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 二の露橋     | 串本町中湊  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 三の露橋     | 串本町中湊  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 寺の谷第3号橋  | 串本町中湊  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 寺の谷第2号橋  | 串本町中湊  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 寺の谷第1号橋  | 串本町中湊  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 和田橋      | 串本町中湊  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 江崎橋      | 串本町中湊  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 宮城谷橋     | 串本町中湊  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 右東谷橋     | 串本町中湊  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | きちごん谷橋   | 串本町中湊  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 宮城谷川橋    | 串本町中湊  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 原町橋      | 串本町西向  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 汐入橋      | 串本町鬪野川 | 昭和41年        | —   |
| 03  | 串本町 | 八幡橋      | 串本町鬪野川 | 昭和41年        | —   |
| 03  | 串本町 | 浦木橋      | 串本町二色  | 昭和35年        | —   |
| 03  | 串本町 | 貝岡橋      | 串本町有田  | 昭和21年        | —   |
| 03  | 串本町 | 大山橋      | 串本町有田  | 昭和42年        | —   |
| 03  | 串本町 | 薬師橋      | 串本町有田  | 昭和35年        | —   |
| 03  | 串本町 | 院蛇羅橋     | 串本町有田  | 昭和36年        | —   |
| 03  | 串本町 | 新宇井橋     | 串本町高富  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 土地木橋     | 串本町高富  | 昭和38年        | —   |
| 03  | 串本町 | 長宇井橋     | 串本町高富  | 昭和38年        | —   |
| 03  | 串本町 | 新田橋      | 串本町和深  | 昭和42年        | —   |
| 03  | 串本町 | 有田橋      | 串本町有田  | 昭和33年        | —   |
| 03  | 串本町 | 江郷橋      | 串本町有田  | 昭和38年        | —   |
| 03  | 串本町 | 田子田橋     | 串本町田並  | 昭和40年        | —   |
| 03  | 串本町 | 江田橋      | 串本町江田  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 背ノ谷橋     | 串本町田子  | 昭和36年        | —   |
| 03  | 串本町 | 田子大橋     | 串本町田子  | 昭和27年        | —   |
| 03  | 串本町 | 二川橋      | 串本町田子  | 昭和41年        | —   |
| 03  | 串本町 | 安指大橋     | 串本町和深  | 昭和26年        | —   |
| 03  | 串本町 | 冠者口橋     | 串本町和深  | 昭和40年        | —   |
| 03  | 串本町 | 追谷口橋     | 串本町和深  | 昭和45年        | —   |
| 03  | 串本町 | 追谷橋      | 串本町和深  | 昭和31年        | —   |
| 03  | 串本町 | 真浦橋      | 串本町和深  | 昭和40年        | —   |
| 03  | 串本町 | 下地橋      | 串本町和深  | 昭和44年        | —   |
| 03  | 串本町 | 熊谷橋      | 串本町和深  | 昭和45年        | —   |
| 03  | 串本町 | 宮平橋      | 串本町里川  | 昭和41年        | —   |
| 03  | 串本町 | 古川橋      | 串本町里川  | 昭和45年        | —   |
| 03  | 串本町 | 比曽原橋     | 串本町里川  | 昭和38年        | —   |
| 03  | 串本町 | 比曽原上橋    | 串本町里川  | 昭和40年        | —   |
| 03  | 串本町 | 猿川橋      | 串本町里川  | 昭和40年        | —   |
| 03  | 串本町 | 新田並橋     | 串本町田並  | 昭和31年        | —   |
| 03  | 串本町 | 田子郷橋     | 串本町田子  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 北曽口第2号橋  | 串本町津荷  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 亀の甲橋     | 串本町津荷  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 江川橋      | 串本町津荷  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 津荷西谷第1号橋 | 串本町津荷  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 松葉橋      | 串本町津荷  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 津荷南橋     | 串本町津荷  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 立場谷第2号橋  | 串本町上田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 立場谷第1号橋  | 串本町上田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 長谷橋      | 串本町上田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | するすぎ橋    | 串本町上田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 和田地橋     | 串本町上田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 大畑第2号橋   | 串本町佐部  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 市洞橋      | 串本町佐部  | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 大畑橋      | 串本町佐部  | 昭和           | —   |



| 小分類 | 市町村 | 名称     | 所在地   | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-----|--------|-------|--------------|-----|
| 03  | 串本町 | 大川端橋   | 串本町佐部 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 役見谷橋   | 串本町佐部 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 明神橋    | 串本町佐部 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 湯の谷橋   | 串本町佐部 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 荒船第3号橋 | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 高浜第2号橋 | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 高浜第3号橋 | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 高浜第5号橋 | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 荒船第2号橋 | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 荒立橋    | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 山谷橋    | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 玉蔵院橋   | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 田原上地橋  | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 東向橋    | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 荒船第1号橋 | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 荒船大浦橋  | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | ヘクサビ橋  | 串本町田原 | 昭和           | —   |
| 03  | 串本町 | 沖出橋    | 串本町田原 | 昭和29年        | —   |
| 03  | 串本町 | 古座大橋   | 串本町中湊 | 昭和25年        | —   |

#### 04 隧道

|    |      |                  |                |           |     |
|----|------|------------------|----------------|-----------|-----|
| 04 | 和歌山市 | 毛見トンネル（旧和歌山水力電気） | 和歌山市毛見         | 明治44年     | —   |
| 04 | 和歌山市 | 毛見隧道（旧国道42号）     | 和歌山市毛見         | 大正14年     | —   |
| 04 | 和歌山市 | 新和歌浦第一隧道         | 和歌山市新和歌の浦      | 明治44年     | —   |
| 04 | 和歌山市 | 新和歌浦第二隧道         | 和歌山市新和歌の浦      | 明治44年以降   | —   |
| 04 | 海南市  | 鰯川隧道（旧県道）        | 海南市下津町         | 大正8年      | —   |
| 04 | 海南市  | 城山洞トンネル（県道）      | 海南市日方          | 昭和27年     | —   |
| 04 | 海南市  | 冷水第三トンネル（国道42号線） | 海南市冷水          | 昭和20～30年代 | —   |
| 04 | 海南市  | 冷水第二トンネル（国道42号線） | 海南市冷水          | 昭和20～30年代 | —   |
| 04 | 海南市  | 冷水第一トンネル（国道42号線） | 海南市冷水          | 昭和20～30年代 | —   |
| 04 | 海南市  | 観音崎トンネル（国道42号線）  | 海南市下津町塩津       | 昭和20～30年代 | —   |
| 04 | 海南市  | 塩津第二トンネル（国道42号線） | 海南市下津町塩津       | 昭和20～30年代 | —   |
| 04 | 海南市  | 塩津第一トンネル（国道42号線） | 海南市下津町塩津・下・梅田  | 昭和20～30年代 | —   |
| 04 | 海南市  | 鰯川トンネル（国道42号線）   | 下津町鰯川          | 昭和20～30年代 | —   |
| 04 | 海南市  | 日方トンネル（JR紀勢本線）   | 海南市日方・岡田       | 大正13年     | —   |
| 04 | 海南市  | 白神トンネル（JR紀勢本線）   | 海南市藤白・冷水       | 大正13年     | —   |
| 04 | 海南市  | 焼尾トンネル（JR紀勢本線）   | 海南市冷水          | 大正13年     | —   |
| 04 | 海南市  | 下り松トンネル（JR紀勢本線）  | 海南市冷水          | 大正13年     | —   |
| 04 | 海南市  | 六本松トンネル（JR紀勢本線）  | 海南市冷水          | 大正13年     | —   |
| 04 | 海南市  | 三昧トンネル（JR紀勢本線）   | 海南市冷水          | 大正13年     | —   |
| 04 | 海南市  | 観音崎トンネル（JR紀勢本線）  | 海南市下津町塩津       | 大正13年     | —   |
| 04 | 海南市  | 塩津トンネル（JR紀勢本線）   | 海南市下津町塩津       | 大正13年     | —   |
| 04 | 海南市  | 中崎トンネル（JR紀勢本線）   | 海南市下津町塩津       | 大正13年     | —   |
| 04 | 海南市  | 天神トンネル（JR紀勢本線）   | 海南市下津町下津       | 大正13年     | —   |
| 04 | 紀の川市 | トンネル工事完成記念碑      | 紀の川市東川原        | 明治35年     | —   |
| 04 | 紀の川市 | 旧池田隧道（トンネル）      | 紀の川市重行～神通      | 明治19年     | 市史跡 |
| 04 | 紀の川市 | 山田万三郎君頌徳碑        | 紀の川市豊田（福琳寺）    | 明治33年     | —   |
| 04 | 岩出市  | 風吹隧道             | 岩出市押川          | 昭和        | —   |
| 04 | 橋本市  | 細川・柱本隧道          | 橋本市細川          | 明治16年か    | —   |
| 04 | 有田市  | 端祥洞（山地隧道）        | 有田市山地          | 明治34年     | —   |
| 04 | 有田市  | 端祥洞碑             | 有田市山地          | 明治34年     | —   |
| 04 | 有田市  | 逢井隧道             | 有田市宮崎町         | 昭和8年      | —   |
| 04 | 湯浅町  | 田坂隧道             | 湯浅町田           | 昭和7年      | —   |
| 04 | 広川町  | 白木トンネル           | 広川町山本          | 昭和10年     | —   |
| 04 | 広川町  | 旧瀧原洞             | 広川町下津木         | 昭和2年      | —   |
| 04 | 広川町  | 谷口又吉記念碑          | 広川町下津木（旧滝原洞入口） | 昭和3年      | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称             | 所在地            | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|----------------|----------------|----------|-----|
| 04  | 有田川町 | 川口隧道           | 有田川町川口         | 明治       | —   |
| 04  | 御坊市  | 鹿ヶ瀬隧道記念碑       | 御坊市野口（安楽寺）     | 大正14年    | —   |
| 04  | 日高町  | 由良洞隧道          | 日高町池田928～由良町阿戸 | 明治22年    | —   |
| 04  | 由良町  | 由良洞隧道          | 由良町阿戸～日高町池田    | 明治22年    | —   |
| 04  | 日高川町 | 株井トンネル         | 日高川町高津尾        | 昭和       | —   |
| 04  | みなべ町 | 小野坂隧道          | みなべ町晩稲～田辺市上芳養  | 昭和11年    | —   |
| 04  | みなべ町 | 切目辻隧道          | みなべ町清川         | 昭和29年    | —   |
| 04  | みなべ町 | 法手見隧道          | みなべ町清川         | 昭和45年    | —   |
| 04  | みなべ町 | 楠本恒助の旌功碑       | みなべ町西本庄        | 大正4年     | —   |
| 04  | 田辺市  | 水呑隧道           | 田辺市鮎川          | 昭和8年     | —   |
| 04  | 田辺市  | 深谷隧道           | 田辺市鮎川・深谷       | 昭和       | —   |
| 04  | 田辺市  | 高尾隧道           | 田辺市中辺路町野中・広見川  | 昭和19年    | —   |
| 04  | 田辺市  | 逢坂隧道           | 田辺市中辺路町福定・近露   | 昭和20年    | —   |
| 04  | 白浜町  | 旧卒塔婆隧道         | 白浜町玉伝～上富田町生馬   | 昭和5年     | —   |
| 04  | 白浜町  | 湯崎隧道           | 白浜町湯崎          | 昭和10年    | —   |
| 04  | 上富田町 | 岡坂隧道           | 上富田町岡          | 大正4年     | —   |
| 04  | 上富田町 | 旧卒塔婆隧道         | 上富田町生馬～白浜町玉伝   | 昭和5年     | —   |
| 04  | 新宮市  | 旧高田隧道(県道230号線) | 新宮市高田          | 昭和15年    | —   |
| 04  | 新宮市  | 旧越路隧道(国道168号線) | 新宮市南檜杖         | 大正14年    | —   |
| 04  | 新宮市  | 旧志古隧道(国道168号線) | 熊野川町志古         | 昭和       | —   |
| 04  | 新宮市  | 下河遂道（旧）        | 新宮市高田          | 不明       | —   |
| 04  | 新宮市  | 小口遂道           | 新宮市熊野川町上長井     | 不明       | —   |
| 04  | 古座川町 | 檜山隧道           | 古座川町檜山         | 昭和25年    | —   |
| 04  | 北山村  | 小森隧道           | 東牟婁郡北山村下尾井     | 昭和43年    | —   |
| 04  | 串本町  | 出雲隧道（県道41号線）   | 串本町出雲          | 昭和43年    | —   |
| 04  | 串本町  | 高濱隧道（国道42号線）   | 串本町高富          | 昭和42年    | —   |
| 04  | 串本町  | 旧高濱隧道（旧国道）     | 串本町高富          | 昭和       | —   |
| 04  | 串本町  | 逢坂山隧道（国道42号線）  | 串本町有田          | 昭和42年    | —   |
| 04  | 串本町  | 田並隧道（国道42号線）   | 串本町田並          | 昭和41年    | —   |
| 04  | 串本町  | 富山隧道（国道42号線）   | 串本町田子          | 昭和41年    | —   |
| 04  | 串本町  | 和深隧道（国道42号線）   | 串本町和深          | 昭和42年    | —   |
| 04  | 串本町  | 里川隧道（県道39号線）   | 串本町里川          | 大正3年     | —   |

#### 05 港湾

|    |     |                 |                      |         |   |
|----|-----|-----------------|----------------------|---------|---|
| 05 | 有田市 | 両荻藻埋立（工業用地造成事業） | 有田市                  | 昭和40年   | — |
| 05 | 湯浅町 | 憩いの松の碑          | 湯浅町湯浅                | 昭和41年   | — |
| 05 | 美浜町 | 湯川鶴太郎氏頌徳碑       | 美浜町浜ノ瀬（旧道沿い）         | 昭和13年   | — |
| 05 | 美浜町 | 寺井久信夫妻の碑        | 美浜町三尾（日の御崎）          | 昭和37年   | — |
| 05 | 由良町 | 由良港埋立記念碑        | 由良町横浜（海岸通り）          | 明治33年   | — |
| 05 | 由良町 | 由良港埋立記念碑        | 由良町横浜（海岸沿い）          | 昭和5年    | — |
| 05 | 田辺市 | 開湊碑             | 田辺市新庄町橋谷地区（山長商店敷地南詰） | 大正20年   | — |
| 05 | 田辺市 | 南平蔵翁頌徳碑         | 田辺市新庄町橋谷地区（橋谷天満宮鳥居脇） | 昭和16年   | — |
| 05 | 田辺市 | 榎本彌吉翁碑          | 田辺市上屋敷町              | 明治      | — |
| 05 | 田辺市 | 長谷川重基功績碑        | 田辺市上屋敷町              | 明治      | — |
| 05 | 田辺市 | 井沼養衛門氏碑         | 田辺市末広町               | 昭和      | — |
| 05 | 白浜町 | 棒杭（ボーグイ）        | 白浜町沿岸部（白良浜等）         | 大正～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | プロペラ船発着場跡       | 新宮市下本町（水の手）          | 昭和30年代  | — |
| 05 | 新宮市 | プロペラ船発着場跡       | 新宮市御幸町（熊野川原）         | 大正～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | プロペラ船発着場跡       | 新宮市熊野川町志古            | 大正～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | 熊野交通四滝整備工場      | 新宮市熊野川町四滝            | 昭和45年以降 | — |
| 05 | 新宮市 | 成川の渡跡           | 新宮市～紀宝町              | 明治～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | 池田の渡跡           | 新宮市～紀宝町              | 明治～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | 乙基の渡跡           | 新宮市～紀宝町              | 明治～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | 牛鼻の渡（鮒田の渡）跡     | 新宮市～紀宝町              | 明治～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | 敷屋の渡跡           | 熊野川町敷屋               | 明治～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | 嶋津の渡跡           | 熊野川町嶋津～熊野市紀和町        | 明治～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | 宮井の渡跡           | 熊野川町宮井               | 明治～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | 楊枝の渡跡           | 熊野川町～紀和町             | 明治～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | 赤木川の渡跡          | 熊野川町赤木ほか             | 明治～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | 池田港(旧新宮港)跡      | 新宮市池田                | 明治～昭和   | — |
| 05 | 新宮市 | 紀功碑             | 新宮市阿須賀               | 明治43年   | — |

| 小分類      | 市町村   | 名称                | 所在地                          | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|----------|-------|-------------------|------------------------------|----------|-----|
| 05       | 新宮市   | 三輪崎港              | 新宮市三輪崎                       | 明治～大正    | —   |
| 05       | 新宮市   | 熊野川河口導流堤          | 新宮市あけぼの                      | 明治42年    | —   |
| 05       | 新宮市   | 水難救済会熊野灘詰所、見張り場跡  | 新宮市王子町3丁目                    | 大正3年     | —   |
| 06 倉庫    |       |                   |                              |          |     |
| 06       | 有田市   | 日本通運会社の倉庫         | 有田市宮原町                       | 大正？      | —   |
| 07 灯台    |       |                   |                              |          |     |
| 07       | 和歌山市  | 雑賀崎灯台             | 和歌山市雑賀崎                      | 昭和35年    | —   |
| 07       | 和歌山市  | 友ヶ島灯台             | 和歌山市友ヶ島                      | 明治23年    | 国登録 |
| 07       | 和歌山市  | 友ヶ島灯台旧官舎          | 和歌山市友ヶ島                      | 明治20年代   | —   |
| 07       | 有田市   | 下津沖ノ島灯台           | 有田市初島町                       | 昭和26年    | —   |
| 07       | 有田市   | 紀伊宮崎ノ鼻灯台          | 有田市宮崎町                       | 昭和41年    | —   |
| 07       | 有田市   | 有田第二、第三灯浮標        | 有田市（地ノ島と初島海岸の間）              | 昭和39年    | —   |
| 07       | 有田市   | 有田第一、第四灯浮標        | 有田市（地ノ島と初島海岸の間）              | 昭和42年    | —   |
| 07       | 美浜町   | 旧紀伊日ノ御埼灯台跡        | 美浜町三尾                        | 明治28年    | —   |
| 07       | 美浜町   | 日之岬灯台敷地の碑         | 美浜町三尾（旧日ノ御埼灯台跡）              | 明治？      | —   |
| 07       | 美浜町   | 千島の句碑（稲人の句碑）      | 美浜町三尾（日ノ御埼灯台）                | 昭和32年    | —   |
| 07       | 美浜町   | 千島の句碑（高浜虚子の句碑）    | 美浜町三尾（日ノ御埼灯台）                | 昭和26年    | —   |
| 07       | 白浜町   | 市江崎灯台             | 白浜町市江                        | 大正10年    | —   |
| 07       | 那智勝浦町 | 乙島灯台              | 那智勝浦町乙島                      | 昭和27年    | —   |
| 07       | 串本町   | 檜野埼灯台             | 串本町檜野                        | 明治3年     | 国史跡 |
| 07       | 串本町   | 檜野埼灯台旧官舎          | 串本町檜野                        | 明治3年     | 国登録 |
| 07       | 串本町   | 潮岬灯台              | 串本町潮岬                        | 明治11年    | —   |
| 07       | 串本町   | 潮岬灯台官舎            | 串本町潮岬                        | 明治3年     | —   |
| 07       | 串本町   | 檜野港防波堤灯台          | 串本町檜野                        | 昭和25年    | —   |
| 07       | 串本町   | 鶴島灯台              | 串本町出雲                        | 昭和28年    | —   |
| 07       | 串本町   | 紀伊大島港南防波堤灯台       | 串本町大島                        | 昭和30年    | —   |
| 07       | 串本町   | 戸島崎灯台             | 串本町大島                        | 昭和30年    | —   |
| 07       | 串本町   | 白野漁港北防波堤灯台        | 串本町須江                        | 昭和30年    | —   |
| 07       | 串本町   | 串本港北防波堤灯台         | 串本町串本                        | 昭和32年    | —   |
| 07       | 串本町   | 袋港導灯（前灯、後灯）       | 串本町串本                        | 昭和35年    | —   |
| 07       | 串本町   | 串本新港南防波堤灯台        | 串本町串本                        | 昭和45年    | —   |
| 07       | 串本町   | 古座川河口灯台           | 串本町古座                        | 昭和7年     | —   |
| 09 河川・堤防 |       |                   |                              |          |     |
| 09       | 和歌山市  | 紀ノ川改修堤防           | 和歌山市～岩出市                     | 大正末      | —   |
| 09       | 和歌山市  | 湊水門               | 和歌山市湊                        | 昭和11年    | —   |
| 09       | 海南市   | 黒江町石積防波堤          | 海南市黒江                        | 大正7年     | —   |
| 09       | 紀の川市  | 紀の川堤防築堤記念碑        | 紀の川市桃山町段新田                   | 昭和33年    | —   |
| 09       | 岩出市   | 紀ノ川改修堤防           | 岩出市船戸～和歌山市                   | 昭和元～24年  | —   |
| 09       | 岩出市   | 紀ノ川築堤の碑           | 岩出市清水（岩出小学校堤防）               | 昭和31年    | —   |
| 09       | 岩出市   | 中嶋雅三居頌徳碑          | 岩出市高塚（正覚寺）                   | 昭和12年    | —   |
| 09       | かつらぎ町 | 堤防修築碑             | かつらぎ町東浜田                     | 明治16年    | —   |
| 09       | かつらぎ町 | 堤防改修記念碑           | かつらぎ町島                       | 昭和41年    | —   |
| 09       | 有田市   | 堤防、道路、橋の改修（高垣甚之助） | 有田市宮原町道                      | 大正7年     | —   |
| 09       | 有田市   | 高垣甚之助表徳碑          | 有田市宮原町大字道（宮原神社西）             | 昭和47年    | —   |
| 09       | 美浜町   | 西川改修記念碑           | 美浜町田井（上田井、橋本整形外科前の西川左岸桜並木の陰） | 昭和11年    | —   |
| 09       | 田辺市   | 水源略記              | 田辺市三栖                        | 幕末       | —   |
| 09       | 田辺市   | 長野村築テイ碑文          | 田辺市長野                        | 明治       | —   |
| 09       | 田辺市   | 赤木友之助翁頌徳碑         | 田辺市鮎川                        | 不明       | —   |
| 09       | 上富田町  | 人柱彦五郎之碑           | 上富田町朝来（彦五郎堤）                 | 昭和39年    | —   |
| 09       | 那智勝浦町 | 西中野川水源堰の碑         | 那智勝浦町平野                      | 明治       | —   |
| 09       | 北山村   | 七色堰堤（北山川）         | 東牟婁郡北山村七色                    | 昭和40年    | —   |
| 09       | 北山村   | 竹原堰堤（北山川）         | 東牟婁郡北山村竹原                    | 昭和       | —   |
| 09       | 串本町   | 古座川河口導流堤（通称かんがり）  | 串本町古座                        | 昭和7年     | —   |
| 10 飛行場   |       |                   |                              |          |     |
| 10       | 和歌山市  | 山田猪三郎顕彰碑          | 和歌山市新和歌浦（高津子山登山道）            | 昭和4年     | —   |



| 小分類 | 市町村   | 名称                  | 所在地             | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-------|---------------------|-----------------|--------------|-----|
| 10  | 白浜町   | 南紀白浜空港滑走路（旧空港）      | 白浜町             | 昭和43年        | —   |
| 11  | 郵便    |                     |                 |              |     |
| 11  | 和歌山市  | 和歌山小倉郵便局            | 和歌山市新庄          | 昭和15年        | —   |
| 11  | 紀の川市  | 旧名手郵便局              | 紀の川市名手市場        | 昭和3年         | —   |
| 11  | 紀の川市  | 旧池田郵便局              | 紀の川市南中          | 昭和14年        | —   |
| 11  | 橋本市   | 旧橋本郵便局 初代局舎         | 橋本市橋本           | 明治6年         | —   |
| 11  | 橋本市   | 旧橋本郵便局 2代目局舎        | 橋本市橋本           | 明治27年        | —   |
| 11  | 橋本市   | 旧橋本郵便局 3代目局舎        | 橋本市橋本           | 大正～昭和        | —   |
| 11  | 橋本市   | 旧橋本郵便局 4代目局舎        | 橋本市東家           | 昭和33年        | —   |
| 11  | 有田市   | 宮原郵便取扱所（宮原郵便局）      | 有田市宮原町新町        | 明治5年         | —   |
| 11  | 有田市   | 箕島郵便局               | 有田市箕島           | 明治8年         | —   |
| 11  | 有田市   | 山田原郵便局（保田郵便局）       | 有田市山田原          | 大正8年         | —   |
| 11  | 有田市   | 椒郵便局（初島郵便局）         | 有田市初島町          | 昭和17年        | —   |
| 11  | 有田市   | 辰ヶ浜郵便局              | 有田市宮崎町          | 昭和18年        | —   |
| 11  | 有田市   | 有田福島郵便局             | 有田市箕島           | 昭和38年        | —   |
| 11  | 有田市   | 逢井簡易郵便局             | 有田市宮崎町          | 昭和40年        | —   |
| 11  | 有田川町  | 旧田殿郵便局              | 有田川町井口          | 昭和16年        | —   |
| 11  | 御坊市   | 旧藤井郵便局              | 御坊市藤田町藤井        | 昭和3年         | —   |
| 11  | 御坊市   | 橋本家米穀集荷事務所（旧小松原郵便局） | 御坊市湯川町小松原       | 大正9年頃        | 国登録 |
| 11  | 御坊市   | 旧塩屋郵便局              | 御坊市南塩屋          | 大正期          | —   |
| 11  | 新宮市   | 新宮横町郵便局             | 新宮市大橋通3丁目4-18   | 不明           | —   |
| 11  | 新宮市   | 新宮初野地郵便局            | 新宮市千穂1丁目1-55    | 不明           | —   |
| 11  | 新宮市   | 熊野地郵便局              | 新宮市蓬萊2丁目4-19    | 不明           | —   |
| 11  | 新宮市   | 新宮王子郵便局             | 新宮市田鶴原2丁目8-6    | 不明           | —   |
| 11  | 新宮市   | 新宮郵便局(旧)            | 新宮市仲ノ町1丁目3-1    | 明治38年        | —   |
| 11  | 新宮市   | 新宮橋本郵便局             | 新宮市橋本1丁目3-32    | 不明           | —   |
| 11  | 新宮市   | 旧三輪崎郵便局跡            | 新宮市三輪崎2丁目17     | 明治14年        | —   |
| 11  | 新宮市   | 新宮佐野郵便局             | 新宮市佐野2丁目11-5    | 昭和25年        | —   |
| 11  | 新宮市   | 日足郵便局               | 新宮市熊野川町日足       | 明治7年         | —   |
| 11  | 新宮市   | 九重郵便局               | 新宮市熊野川町九重       | 明治43年        | —   |
| 11  | 新宮市   | 小口郵便局               | 新宮市熊野川町上長井      | 不明           | —   |
| 11  | 新宮市   | 志古郵便局跡              | 新宮市熊野川町志古       | 不明           | —   |
| 11  | 新宮市   | 日本通運新宮支店跡           | 新宮市徐福           | 不明           | —   |
| 11  | 新宮市   | 日本通運三輪崎駅営業所跡        | 新宮市三輪崎          | 不明           | —   |
| 11  | 新宮市   | 日本通運紀伊佐野駅営業所跡       | 新宮市佐野           | 不明           | —   |
| 11  | 新宮市   | 新宮郵便局跡地             | 新宮市新宮7684       | 昭和4年         | —   |
| 11  | 那智勝浦町 | 旧井関郵便局              | 那智勝浦町井関         | 大正元年         | —   |
| 11  | 古座川町  | 佐田簡易郵便局             | 古座川町佐田          | 大正7年         | —   |
| 12  | 電信    |                     |                 |              |     |
| 12  | 有田市   | 村内放送設備（屋外拡声器）       | 有田市             | 昭和29年        | —   |
| 12  | 串本町   | 木製電柱                | 串本町和深（東地）       | 昭和           | —   |
| 12  | 串本町   | 木製電柱                | 串本町和深（新田平見）     | 昭和           | —   |
| 12  | 串本町   | 木製電柱                | 串本町有田           | 昭和           | —   |
| 12  | 串本町   | 木製電柱                | 串本町高富           | 昭和           | —   |
| 12  | 串本町   | 木製電柱                | 串本町檜野           | 昭和           | —   |
| 12  | 串本町   | 木製電柱                | 串本町佐部           | 昭和           | —   |
| 12  | 串本町   | 木製電柱                | 串本町二色           | 昭和           | —   |
| 13  | 電話    |                     |                 |              |     |
| 13  | 岩出市   | 岩出電報電話局             | 岩出市清水           | 不明           | —   |
| 13  | 有田市   | 箕島電報電話局             | 有田市             | 昭和25年        | —   |
| 13  | 新宮市   | 西日本電信電話株式会社新宮別館     | 新宮市下本町2丁目6-3    | 昭和37年        | —   |
| 14  | その他   |                     |                 |              |     |
| 14  | 和歌山市  | 日本通運東和歌山支店          | 和歌山市中之島         | 昭和           | —   |
| 14  | 和歌山市  | 笹本勝之助之碑             | 和歌山市道場町（善能寺）    | 大正11年        | —   |
| 14  | 岩出市   | 船戸渡場燈籠              | 岩出市船戸           | 江戸           | —   |
| 14  | 岩出市   | 新田広芝の燈籠             | 岩出市新田広芝         | 江戸           | —   |
| 14  | 岩出市   | 観音寺参道にある石燈籠         | 岩出市東坂本          | 江戸           | —   |
| 14  | 九度山町  | 高野索道（跡）             | 九度山町椎出～高野山大門    | 明治42年        | —   |
| 14  | 高野町   | 大和索道（跡）             | 高野町大字富貴         | 明治45年        | —   |
| 14  | 高野町   | 高野索道（跡）             | 高野町大字高野山～九度山町椎出 | 明治45年        | —   |

| 小分類 | 市町村 | 名称        | 所在地           | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-----|-----------|---------------|--------------|-----|
| 14  | 高野町 | 紀和索道（跡）   | 高野町大字杖ヶ藪      | 大正9年         | —   |
| 14  | 高野町 | 十津川索道（跡）  | 高野町大字高野山～大字大滝 | 大正6年         | —   |
| 14  | 串本町 | 口熊野奥熊野境界社 | 串本町田原         | 昭和2年         | —   |
| 14  | 串本町 | 有田・田並境界石柱 | 串本町有田（田並）     | 明治～大正        | —   |
| 14  | 串本町 | SL用水移送管   | 串本町藺野川        | 不明           | —   |

## 【06 商業・金融業】

| 小分類 | 市町村 | 名称 | 所在地 | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-----|----|-----|--------------|-----|
|-----|-----|----|-----|--------------|-----|

### 03 商店・百貨店

|    |      |                   |                   |        |     |
|----|------|-------------------|-------------------|--------|-----|
| 03 | 和歌山市 | 駿河屋主人岡本善太郎父逝去記念花壇 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園表坂） | 不明     | —   |
| 03 | 橋本市  | みそや別館             | 橋本市橋本             | 明治17年  | 国登録 |
| 03 | 九度山町 | 陶製金太郎像（通称米金）      | 九度山町九度山           | 大正5年   | —   |
| 03 | 高野町  | 小堀商店（小堀南岳堂）       | 高野町大字高野山          | 昭和6年   | —   |
| 03 | 高野町  | 珠数屋四郎兵衛店舗         | 高野町大字高野山771       | 昭和8年   | 国登録 |
| 03 | 高野町  | 和泉伊商店             | 高野町大字高野山          | 昭和6年   | —   |
| 03 | 高野町  | こつま屋（勝間屋）         | 高野町大字高野山          | 昭和6年   | —   |
| 03 | 高野町  | 西利商店              | 高野町大字高野山          | 昭和6年   | —   |
| 03 | 高野町  | 虎屋薬局              | 高野町大字高野山          | 明治24年  | 町景観 |
| 03 | 湯浅町  | 久保日用品店            | 湯浅町湯浅             | 昭和10年頃 | —   |
| 03 | 湯浅町  | 万忠金物店             | 湯浅町湯浅             | 大正3年   | —   |
| 03 | 湯浅町  | 金谷伊兵衛商店           | 湯浅町湯浅             | 大正10年頃 | —   |
| 03 | 広川町  | 旧浦清兵衛商店店舗         | 広川町広              | 明治     | 国登録 |
| 03 | 御坊市  | 中松金物店の陳列台         | 御坊市御坊             | 大正～    | —   |
| 03 | 御坊市  | ウエノヤマの陳列台         | 御坊市御坊             | 昭和13年  | —   |
| 03 | 御坊市  | 有田屋の陳列台           | 御坊市御坊             | 大正     | —   |
| 03 | 御坊市  | 旧正宗屋酒店            | 御坊市島              | 昭和3年   | —   |
| 03 | 御坊市  | 津村パン店             | 御坊市御坊             | 昭和4年   | —   |
| 03 | 御坊市  | 沢見邸               | 御坊市藺              | 大正12年  | —   |
| 03 | 新宮市  | オークワ本店            | 新宮市丹鶴             | 昭和34年  | —   |
| 03 | 新宮市  | オークワ各支店           | 市内各所              | 昭和     | —   |
| 03 | 新宮市  | 仲ノ町商店街アーケード       | 新宮市仲ノ町1～3丁目       | 昭和38年  | —   |

### 05 会社

|    |      |                |                   |       |     |
|----|------|----------------|-------------------|-------|-----|
| 05 | 和歌山市 | 西本用助碑          | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内） | 明治35年 | —   |
| 05 | 和歌山市 | 旧西本組本社ビル（西本ビル） | 和歌山市小野町           | 昭和2年  | 国登録 |
| 05 | 和歌山市 | 和綿ビル           | 和歌山市畑屋敷           | 不明    | —   |
| 05 | 紀の川市 | 稲垣光二翁頌徳碑       | 紀の川市貴志川町尼寺        | 昭和42年 | —   |
| 05 | 広川町  | 浦家住宅           | 広川町広              | 江戸～   | 国登録 |

### 06 金融機関

|    |       |              |               |       |   |
|----|-------|--------------|---------------|-------|---|
| 06 | 和歌山市  | 紀陽銀行本店       | 和歌山市本町        | 昭和29年 | — |
| 06 | 和歌山市  | 旧和歌山無尽       | 和歌山市新通        | 大正14年 | — |
| 06 | 海南市   | 旧内海信用金庫名高支店  | 海南市名高         | 昭和29年 | — |
| 06 | 紀の川市  | 旧伊那合同銀行池田支店  | 紀の川市南中        | 大正13年 | — |
| 06 | 橋本市   | 南都銀行名倉支店     | 橋本市高野口町名倉     | 昭和13年 | — |
| 06 | 九度山町  | 旧南都銀行九度山支店   | 九度山町九度山       | 昭和中期  | — |
| 06 | かつらぎ町 | 旧伊都銀行本店      | かつらぎ町         | 明治    | — |
| 06 | 湯浅町   | 旧湯浅信用金庫      | 湯浅町湯浅         | 昭和12年 | — |
| 06 | 新宮市   | 和歌山相互銀行新宮支店跡 | 新宮市仲之町3丁目1-4  | 不明    | — |
| 06 | 新宮市   | 幸福相互銀行新宮支店跡  | 新宮市徐福1丁目8-3   | 不明    | — |
| 06 | 新宮市   | 紀陽銀行新宮駅前支店跡  | 新宮市徐福1丁目3-17  | 不明    | — |
| 06 | 新宮市   | 紀陽銀行新宮支店     | 新宮市大橋通2丁目3-1  | 不明    | — |
| 06 | 新宮市   | 百五銀行新宮支店     | 新宮市大橋通2丁目4-1  | 大正末   | — |
| 06 | 新宮市   | 第三相互銀行新宮支店跡  | 新宮市新町3丁目1-7   | 不明    | — |
| 06 | 新宮市   | 新宮信用金庫本店営業部  | 新宮市大橋通3丁目1-4  | 不明    | — |
| 06 | 新宮市   | 新宮信用金庫徐福支店   | 新宮市蓬萊2丁目1-5   | 不明    | — |
| 06 | 新宮市   | 新宮信用金庫緑ヶ丘支店  | 新宮市緑ヶ丘1丁目8-35 | 不明    | — |
| 06 | 新宮市   | 新宮信用金庫佐野支店   | 新宮市佐野1丁目2-21  | 不明    | — |
| 06 | 那智勝浦町 | 旧大同銀行        | 那智勝浦町勝浦       | 昭和3年  | — |

### 07 その他

|    |      |            |         |    |   |
|----|------|------------|---------|----|---|
| 07 | 和歌山市 | 旧焼肉の牛太アロチ店 | 和歌山市畑屋敷 | 不明 | — |
|----|------|------------|---------|----|---|

| 小分類 | 市町村 | 名称   | 所在地   | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-----|------|-------|--------------|-----|
| 07  | 串本町 | 大島遊郭 | 串本町大島 | 明治39年        | —   |

## 【07 農林水産業】

| 小分類 | 市町村   | 名称                   | 所在地                | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-------|----------------------|--------------------|--------------|-----|
| 01  | 農業    |                      |                    |              |     |
| 01  | 和歌山市  | 甘藷殖産記念碑（倉田績書）        | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）  | 明治40年        | —   |
| 01  | 和歌山市  | 若宮池改修工事竣成記念碑         | 和歌山市（若宮池）          | 昭和36年        | —   |
| 01  | 和歌山市  | 農業改良事業実施記念碑          | 和歌山市下和佐（下和佐自治会館付近） | 昭和42年        | —   |
| 01  | 和歌山市  | 六箇井 千手川暗渠            | 和歌山市直川・六十谷         | 昭和12年        | —   |
| 01  | 海南市   | 井沢弥惣兵衛翁之碑            | 海南市阪井              | 大正3年         | —   |
| 01  | 海南市   | 紀伊国屋文左衛門顕彰碑          | 海南市下津町方            | 昭和32年        | —   |
| 01  | 海南市   | 大池樋取替工事記念碑           | 海南市大野中             | 昭和8年         | —   |
| 01  | 海南市   | 農道完成記念碑              | 海南市下津町橋本           | 昭和40年        | —   |
| 01  | 紀美野町  | 貝尻用水（トンネル）           | 紀美野町三尾川～大角～樋下～神野市場 | 大正4年         | —   |
| 01  | 紀美野町  | 竣工記念碑（貝尻用水）          | 紀美野町神野市場           | 大正15年        | —   |
| 01  | 紀美野町  | 唐戸瀬井堰頌成碑             | 紀美野町下佐々            | 昭和36年        | —   |
| 01  | 紀美野町  | 西田正次翁頌徳碑             | 紀美野町動木（JA構内）       | 昭和23年        | —   |
| 01  | 紀の川市  | トンネル池と隧道水路           | 紀の川市桃山町調月          | 大正6年         | —   |
| 01  | 紀の川市  | 増田池竣工功績碑             | 紀の川市桃山町調月          | 大正12年        | —   |
| 01  | 紀の川市  | 小田井用水 木積川渡井          | 紀の川市西三谷            | 大正3年         | 国登録 |
| 01  | 紀の川市  | 小田井用水 龍之渡井           | 紀の川市西野山～かつらぎ町高田    | 大正8年         | 国登録 |
| 01  | 紀の川市  | 旧那賀町果実農業協同組合連合会（果実連） | 紀の川市名手市場           | 昭和27年        | —   |
| 01  | 紀の川市  | 中谷彦次郎翁頌徳碑            | 紀の川市北志野（北志野祇園社）    | 昭和12年        | —   |
| 01  | 紀の川市  | 桜池改修記念碑              | 紀の川市北志野            | 昭和42年        | —   |
| 01  | 紀の川市  | 桜池記念碑                | 紀の川市北志野            | 大正8年         | —   |
| 01  | 紀の川市  | 大畑才蔵翁彰功之碑            | 紀の川市粉河             | 大正14年        | —   |
| 01  | 紀の川市  | 児玉君遺徳碑               | 紀の川市粉河             | 明治33年        | —   |
| 01  | 紀の川市  | 蓬台雅一頌徳碑              | 紀の川市杉原             | 昭和31年        | —   |
| 01  | 紀の川市  | 戸口（致隆）君遺蹟之碑          | 紀の川市粉河             | 明治15年        | —   |
| 01  | 紀の川市  | 林猛夫翁頌徳碑              | 紀の川市東野             | 昭和12年        | —   |
| 01  | 紀の川市  | 藤田君頌徳碑               | 紀の川市西川原            | 大正15年        | —   |
| 01  | 岩出市   | 小田井用水                | 岩出市根来～橋本市小田        | 宝永4年         | —   |
| 01  | 岩出市   | 藤崎井用水                | 紀の川市藤崎～和歌山市山口      | 元禄13年        | —   |
| 01  | 岩出市   | 岩出頭首工                | 岩出市清水              | 昭和           | —   |
| 01  | 岩出市   | 紀の川用水                | 橋本市～和歌山市           | 昭和           | —   |
| 01  | 岩出市   | 六箇井用水                | 岩出市清水～和歌山市松江       | 江戸～          | —   |
| 01  | 岩出市   | 六箇井用水 岩出暗渠           | 岩出市清水              | 昭和12年        | —   |
| 01  | 岩出市   | 六箇井用水 根来暗渠           | 岩出市西野・畑毛           | 昭和12年        | —   |
| 01  | 岩出市   | 六箇井堰の碑               | 岩出市清水              | 昭和14年        | —   |
| 01  | 岩出市   | 林良太郎翁頌徳碑             | 岩出市根来（根来寺不動堂前）     | 昭和32年        | —   |
| 01  | 橋本市   | 小田頭首工（小田井堰）          | 橋本市高野口町小田          | 昭和31年        | —   |
| 01  | 橋本市   | 小田井用水 小田井給水口         | 橋本市高野口町小田          | 明治39年        | —   |
| 01  | 橋本市   | 小田井用水 宮谷水門           | 橋本市高野口町大野          | 明治41年        | —   |
| 01  | 橋本市   | 小田井用水 名倉暗渠           | 橋本市高野口町名倉          | 大正2年         | —   |
| 01  | 橋本市   | 小田井用水 大野暗渠           | 橋本市高野口町大野          | 大正5年         | —   |
| 01  | 橋本市   | 小田井用水 嵯峨谷水門          | 橋本市高野口町大野          | 大正8・9年       | —   |
| 01  | 橋本市   | 引ノ池改修                | 橋本市高野口町名倉          | 大正3年         | —   |
| 01  | 橋本市   | 新田池                  | 橋本市矢倉脇新田           | 明治期          | —   |
| 01  | 九度山町  | 安田島徹水洞               | 九度山町九度山・安田島        | 明治6年         | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 大谷村組合農業倉庫            | かつらぎ町大谷            | 大正～昭和        | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 小田井用水 中谷川水門          | かつらぎ町中飯降           | 明治45年        | 国登録 |
| 01  | かつらぎ町 | 小田井用水 小庭谷川渡井         | かつらぎ町笠田東           | 明治42年        | 国登録 |
| 01  | かつらぎ町 | 中飯降簡易水道まんぼ（トンネル）     | かつらぎ町中飯降           | 昭和7・8年       | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 畑谷池改修記念碑             | かつらぎ町妙寺            | 昭和16年        | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 大藪開墾記念碑              | かつらぎ町大藪            | 明治24年        | —   |
| 01  | 有田市   | 新田開祖鎮之碑              | 有田市初島（初島幼稚園前）      | 昭和11年        | —   |



| 小分類 | 市町村  | 名称                    | 所在地                    | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|-----------------------|------------------------|----------|-----|
| 01  | 有田市  | 箕島町北部耕地整理碑            | 箕島（箕島神社）               | 大正5年     | —   |
| 01  | 有田市  | 蜜柑方役所（会所）             | 有田市港町（北湊）              | 江戸～      | —   |
| 01  | 有田市  | 紀州有田柑橘同業組合            | 有田市箕島町大字北湊             | 明治38年？   | —   |
| 01  | 有田市  | 農会                    | 有田市                    | 明治32年～   | —   |
| 01  | 有田市  | 産業組合                  | 有田市                    | 明治33年～   | —   |
| 01  | 有田市  | 農業会                   | 有田市                    | 昭和19年    | —   |
| 01  | 有田市  | 柑橘協同組合                | 有田市                    | 昭和24年    | —   |
| 01  | 有田市  | 和歌山県果実農業組合連合会         | 有田市                    | 昭和26年    | —   |
| 01  | 有田市  | みかん畑の石積み              | 有田市                    | 江戸～      | —   |
| 01  | 有田市  | 段畑（みかん畑）              | 有田市                    | 江戸～      | —   |
| 01  | 有田市  | モノラック架設               | 有田市山田原                 | 昭和23年    | —   |
| 01  | 有田市  | 柑橘園共同灌漑施設完備           | 有田市千田東                 | 昭和32年    | —   |
| 01  | 有田市  | 県営柑橘園灌水施設             | 有田市宮原町                 | 昭和41年    | —   |
| 01  | 有田市  | 円筒分水                  | 有田市辻堂                  | 昭和34年    | —   |
| 01  | 有田市  | 円筒分水                  | 有田市古江見                 | 昭和34年    | —   |
| 01  | 有田市  | 木箱の製造所                | 有田市                    | 江戸末期     | —   |
| 01  | 有田市  | 伊藤孫右衛門の碑              | 有田市糸我中番（有田公園）          | 大正4年     | —   |
| 01  | 有田市  | 伊藤孫右衛門の碑の寄付者を刻んだ碑（二基） | 有田市糸我中番（有田公園）          | 大正4年     | —   |
| 01  | 有田市  | 石灯籠                   | 有田市千田                  | 元禄14年    | —   |
| 01  | 有田市  | 上田和隧道                 | 有田市千田                  | 天保13年    | —   |
| 01  | 有田市  | 上田和隧道碑（白井久蔵の碑）        | 有田市千田                  | 明治16年    | —   |
| 01  | 有田市  | 岩崎隧道                  | 有田市宮原町                 | 明治45年    | —   |
| 01  | 湯浅町  | みかん畑の石積み              | 湯浅町栖原・田                | 江戸～      | —   |
| 01  | 湯浅町  | 段畑（みかん畑）              | 湯浅町栖原・田                | 江戸～      | —   |
| 01  | 湯浅町  | 田・栖原の農漁村の景観           | 湯浅町栖原・田                | 江戸～      | —   |
| 01  | 湯浅町  | 旧二歩口役所跡               | 湯浅町湯浅                  | 明治～      | —   |
| 01  | 湯浅町  | 紀伊国屋文左衛門之碑            | 湯浅町別所                  | 昭和34年    | —   |
| 01  | 広川町  | 大正池                   | 広川町前田                  | 大正       | —   |
| 01  | 広川町  | みかんの段々畑               | 広川町南広地区                | 江戸～      | —   |
| 01  | 広川町  | 開墾記念碑                 | 広川町井関                  | 昭和10年頃   | —   |
| 01  | 広川町  | 菅谷池増築記念碑              | 広川町                    | 昭和10年    | —   |
| 01  | 有田川町 | 和歌山県農業試験場跡            | 有田川町大谷・井口              | 大正2年     | —   |
| 01  | 有田川町 | 蜜柑の段畑                 | 有田川町田口・大谷・井口・賢・船坂・丹生他  | 明治～昭和    | —   |
| 01  | 有田川町 | 能蔵下池                  | 有田川町西ヶ峯                | 不明       | —   |
| 01  | 有田川町 | 松垣内池                  | 有田川町小川                 | 明治20年    | —   |
| 01  | 有田川町 | 笠松左太夫頌徳碑              | 有田川町清水                 | 昭和2年     | 国景観 |
| 01  | 有田川町 | 沼外記右衛門頌徳碑             | 有田川町沼                  | 昭和41年    | —   |
| 01  | 御坊市  | 灌漑用水路跡（鈴木立庵築造）        | 御坊市熊野・岩内               | 明治～      | —   |
| 01  | 御坊市  | 東郷掛樋の碑                | 御坊市藤田町藤井（東郷）           | 昭和36年    | —   |
| 01  | 御坊市  | 甘藷の新品種を広めた中西次郎助の碑     | 御坊市名田町楠井（楠井会館前）        | 大正2年     | —   |
| 01  | 御坊市  | 新池の開発柏木浅右衛門の墓         | 御坊市湯川町富安（円福寺境内）        | 明治40年    | —   |
| 01  | 御坊市  | 新池の開発柏木浅右衛門の墓         | 御坊市湯川町富安（東谷新池の堤）       | 天保9年？    | —   |
| 01  | 御坊市  | 農業の近代化・畑地灌漑竣工記念の碑     | 御坊市塩屋町南塩屋（揚水場）         | 昭和41年    | —   |
| 01  | 御坊市  | 西風弥三郎翁彰徳碑             | 御坊市名田町野島               | 昭和42年    | —   |
| 01  | 美浜町  | 日高幹線水路（通称鉢巻水路）        | 美浜町                    | 昭和       | —   |
| 01  | 美浜町  | 千貫堰                   | 美浜町和田                  | 昭和       | —   |
| 01  | 美浜町  | 兼平真海師顕彰碑              | 美浜町吉原（吉原の畑地灌漑用揚水ポンプ東側） | 昭和56年    | —   |
| 01  | 美浜町  | 小山甚蔵翁追思碑              | 美浜町三尾（切通し脇）            | 明治38年    | —   |
| 01  | 日高町  | 玉泉居士（大池五郎右衛門）の碑       | 日高町志賀2584-2（長楽寺境内）     | 明治35年    | —   |
| 01  | 日高町  | 坪内与四郎頌徳碑              | 日高町小浦179（御霊神社境内）       | 昭和5年     | —   |
| 01  | 由良町  | 水谷池                   | 由良町門前                  | 明治26年    | —   |
| 01  | 由良町  | 寺田大池・里大池嵩置記念碑         | 由良町里（寺田大池）             | 大正5年     | —   |
| 01  | 由良町  | 白倉池碑                  | 由良町畑（国道沿い）             | 明治41年    | —   |
| 01  | 由良町  | 開墾記念碑                 | 由良町（衣奈峠付近）             | 昭和6年     | —   |
| 01  | 日高川町 | 三百瀬の耕地整理碑             | 日高川町三百瀬（蜜柑畑中）          | 昭和7年     | —   |
| 01  | 日高川町 | 早藤の耕地整理記念碑            | 日高川町早藤                 | 昭和8年     | —   |
| 01  | 日高川町 | 若野堰堤                  | 日高川町若野                 | 昭和23年    | —   |
| 01  | 日高川町 | 若野堰堤取水隧道              | 日高川町若野                 | 昭和23年    | —   |

| 小分類 | 市町村   | 名称                | 所在地              | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|-------|-------------------|------------------|----------|-----|
| 01  | 日高川町  | 若野井堰記念碑           | 日高川町若野           | 昭和32年    | —   |
| 01  | 日高川町  | 小池徳右衛門の碑          | 日高川町若野（若野堰付近）    | 明治35年    | —   |
| 01  | 日高川町  | 六郷堰復旧記念碑          | 日高川町小熊           | 明治       | —   |
| 01  | 日高川町  | 穴池改修記念碑           | 日高川町土生（穴池）       | 昭和35年    | —   |
| 01  | 日高川町  | 中津川新池記念碑          | 日高川町中津川（新池畔）     | 大正9年     | —   |
| 01  | 日高川町  | 小谷の水路橋            | 日高川町下田原          | 昭和       | —   |
| 01  | 日高川町  | 穴池                | 日高川町土生           | 明治       | —   |
| 01  | 日高川町  | 幸合池               | 日高川町上田原          | 昭和       | —   |
| 01  | 日高川町  | 坂本上池              | 日高川町船津           | 大正       | —   |
| 01  | 日高川町  | 岡本池               | 日高川町船津           | 昭和       | —   |
| 01  | 日高川町  | 新池                | 日高川町和佐           | 明治39年    | —   |
| 01  | 日高川町  | 露谷池               | 日高川町坂野川          | 明治       | —   |
| 01  | 日高川町  | 竿本ため池             | 日高川町熊野川          | 明治       | —   |
| 01  | 日高川町  | 楠谷池               | 日高川町佐井           | 明治       | —   |
| 01  | 日高川町  | 風呂の谷池             | 日高川町佐井           | 明治       | —   |
| 01  | 日高川町  | 瀬見善水翁の碑           | 日高川町江川（阿弥陀寺内）    | 大正2年     | —   |
| 01  | 日高川町  | 三百瀬新池の歌碑          | 日高川町三百瀬（大谷新池畔）   | 明治？      | —   |
| 01  | 日高川町  | 鈴木直太郎翁の頌公碑        | 日高川町和佐（鈴川谷池）     | 昭和17年    | —   |
| 01  | 印南町   | 羽六の切抜き（掘割）        | 印南町羽六            | 天保8年     | —   |
| 01  | 印南町   | 耕地整理竣成記念碑         | 印南町羽六            | 昭和       | —   |
| 01  | 印南町   | 片見谷池              | 印南町印南            | 不明       | —   |
| 01  | 印南町   | 尻掛河池              | 印南町印南原           | 明治28年    | —   |
| 01  | 印南町   | 尻掛河池増築記念碑         | 印南町印南原           | 明治28年    | —   |
| 01  | 印南町   | 耕地整理竣工記念碑         | 印南町切目（切目駅付近里道沿い） | 昭和3年     | —   |
| 01  | みなべ町  | 穂手見用水トンネル         | みなべ町島之瀬          | 明治17年    | —   |
| 01  | みなべ町  | 内中源蔵翁頌徳碑          | みなべ町晩稲           | 昭和28年    | —   |
| 01  | みなべ町  | 上の池               | みなべ町晩稲大谷池尻       | 明治       | —   |
| 01  | みなべ町  | 楠山谷池              | みなべ町高野           | 明治       | —   |
| 01  | みなべ町  | 八重谷池              | みなべ町六十川          | 大正       | —   |
| 01  | みなべ町  | 水越池               | みなべ町西本庄水越谷       | 大正       | —   |
| 01  | みなべ町  | 汐ヶ谷池              | みなべ町東岩代汐ヶ谷       | 明治       | —   |
| 01  | みなべ町  | 滝谷池               | みなべ町市井川滝谷        | 明治       | —   |
| 01  | みなべ町  | 後谷池               | みなべ町高野猿谷垣内       | 明治       | —   |
| 01  | みなべ町  | 大池                | みなべ町高野松山谷口       | 明治       | —   |
| 01  | みなべ町  | 竹田翁頌徳碑            | みなべ町芝            | 昭和6年     | —   |
| 01  | 田辺市   | 新池之記碑             | 田辺市新庄町内之浦        | 明治       | —   |
| 01  | 田辺市   | 川崎水路トンネル（円五郎トンネル） | 田辺市中辺路町近露        | 明治43年    | —   |
| 01  | 田辺市   | 三ツ石溝              | 田辺市龍神村栃谷～丹生平     | 明治4年     | —   |
| 01  | 田辺市   | 三ツ石溝記念碑           | 田辺市龍神村東          | 昭和31年    | —   |
| 01  | 田辺市   | 芝向水路              | 田辺市龍神村津木～鍛冶ヶ谷    | 大正14年    | —   |
| 01  | 田辺市   | 黒瀬水路              | 田辺市中辺路町近野        | 昭和9年     | —   |
| 01  | 白浜町   | 富田川 血深井堰          | 白浜町              | 明治27年    | —   |
| 01  | 白浜町   | 富田川 大井堰           | 白浜町              | 明治23年    | —   |
| 01  | 上富田町  | 岩崎の灌漑用水路（野田用水路）   | 上富田町岩崎           | 明治17年    | —   |
| 01  | 上富田町  | 大沼排水隧道（新川隧道）      | 上富田町朝来           | 大正4年     | —   |
| 01  | 上富田町  | 朝来村耕地整理碑          | 上富田町朝来峠          | 大正6年     | —   |
| 01  | 上富田町  | 洞溝銘               | 上富田町岩崎日産         | 明治       | —   |
| 01  | 上富田町  | 開鑿記念碑             | 上富田町市ノ瀬（汗川）      | 明治24年    | —   |
| 01  | 上富田町  | 猪野民蔵之碑            | 上富田町市ノ瀬（小山）      | 昭和11年    | —   |
| 01  | 上富田町  | 上溝水路              | 上富田町市ノ瀬 小山（清水谷）  | 天保4年     | —   |
| 01  | 上富田町  | 水源略記              | 上富田町市ノ瀬          | 文久元年     | —   |
| 01  | 上富田町  | 水天像               | 上富田町市ノ瀬          | 天保5年     | —   |
| 01  | 上富田町  | 清水溪記と水天像          | 上富田町市ノ瀬 小山（清水谷）  | 天保5年     | —   |
| 01  | 新宮市   | 市道丹鶴橋横の水路橋        | 新宮市丹鶴町           | 昭和15年    | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | 笹の子池              | 那智勝浦町湯川          | 明治       | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | 長井農業用水路           | 那智勝浦町長井          | 明治       | —   |
| 01  | 那智勝浦町 | 引地嘉左衛門顕彰碑         | 那智勝浦町市屋          | 大正14年    | —   |
| 01  | 串本町   | 植松弥助の墓            | 串本町串本            | 幕末～明治    | —   |
| 01  | 串本町   | 大船池               | 串本町田並            | 不明       | —   |
| 01  | 串本町   | 下佐池               | 串本町高富            | 不明       | —   |
| 01  | 串本町   | 白旗池               | 串本町二色            | 不明       | —   |

| 小分類   | 市町村  | 名称                 | 所在地               | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-------|------|--------------------|-------------------|--------------|-----|
| 01    | 串本町  | 弁天池                | 串本町鬪野川            | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | ガッコの池              | 串本町大島             | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | ゴンイチの池             | 串本町須江             | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | ヒガシの池              | 串本町須江             | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | 姫池                 | 串本町姫              | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | 池の谷池               | 串本町伊串             | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | 大浦池                | 串本町西向             | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | 東谷池                | 串本町神野川            | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | 岩渕小池               | 串本町西向             | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | 岩渕大池               | 串本町西向             | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | 岩渕谷池               | 串本町古田             | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | よこぼり池              | 串本町中湊             | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | ひょうたん池             | 串本町津荷             | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | 玉蔵院池               | 串本町田原             | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | 山中池                | 串本町田原             | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | 長谷池                | 串本町上田原            | 不明           | —   |
| 01    | 串本町  | 小池の口池              | 串本町佐部             | 不明           | —   |
| 02 牧畜 |      |                    |                   |              |     |
| 02    | 印南町  | 西岩吉翁頌功碑            | 印南町羽六（清流小学校校庭）    | 昭和38年        | —   |
| 02    | 新宮市  | 貝持畜産               | 新宮市熊野川町志古         | 昭和           | —   |
| 02    | 新宮市  | 養豚場跡               | 新宮市神倉4丁目（井の沢）     | 不明           | —   |
| 03 開拓 |      |                    |                   |              |     |
| 03    | 有田川町 | 小島耕地整理記念碑          | 有田川町小島            | 昭和18年        | —   |
| 03    | 有田川町 | 矢熊池の修築碑            | 有田川町奥             | 昭和24年        | —   |
| 03    | 田辺市  | 開墾成功之碑             | 田辺市上秋津            | 昭和           | —   |
| 03    | 田辺市  | 埋立記念碑              | 田辺市江川             | 大正           | —   |
| 03    | 田辺市  | 文里土地開拓碑            | 田辺市文里1丁目          | 大正           | —   |
| 03    | 田辺市  | 桐本庄之助ノ墓            | 田辺市新屋敷町           | 昭和           | —   |
| 03    | 上富田町 | 開墾記念碑              | 上富田町岡 奥草          | 明治22年        | —   |
| 03    | 上富田町 | 土地改良事業完工記念碑        | 上富田町朝来（里田国道42号沿い） | 昭和55年        | —   |
| 04 林業 |      |                    |                   |              |     |
| 04    | 和歌山市 | 土屋製材所              | 和歌山市小松原           | 不明           | —   |
| 04    | 和歌山市 | 湯川製材所              | 和歌山市新堀東           | 大正11年        | —   |
| 04    | 和歌山市 | 小谷製材所              | 和歌山市手平            | 不明           | —   |
| 04    | 海南市  | 中西進重郎頌徳碑           | 海南市下津町方           | 昭和9年         | —   |
| 04    | 紀の川市 | 東助太郎記念碑            | 紀の川市中鞆渕           | 大正5年         | —   |
| 04    | 紀の川市 | 雨山共有山植林頌徳碑         | 紀の川市桃山町神田（三船神社）   | 昭和17年        | —   |
| 04    | 九度山町 | 高野山森林鉄道敷地（九度山町区間）  | 九度山町九度山・椎出・古沢     | 明治42年～       | —   |
| 04    | 九度山町 | 旧高野営林署施設跡          | 九度山町入郷            | 明治30年代～      | —   |
| 04    | 九度山町 | 旧高野営林署事務棟          | 九度山町九度山           | 昭和29年？       | —   |
| 04    | 高野町  | 高野山森林鉄道（跡） 幹線      | 高野町、九度山町          | 明治37年        | —   |
| 04    | 高野町  | 高野山森林鉄道（跡） 8林班線    | 高野町、九度山町          | 昭和3年         | —   |
| 04    | 高野町  | 高野山森林鉄道（跡） 極楽橋線    | 高野町、九度山町          | 昭和5年         | —   |
| 04    | 高野町  | 高野山森林鉄道（跡） 花坂線     | 高野町、九度山町          | 昭和7年         | —   |
| 04    | 高野町  | 高野山森林鉄道（跡） 大門支線    | 高野町、九度山町          | 昭和4・5年       | —   |
| 04    | 高野町  | 花坂隧道（高野山森林鉄道花坂線）   | 高野町大字細川           | 昭和7年         | —   |
| 04    | 高野町  | 細川貯木場跡地（高野山森林鉄道関係） | 高野町大字細川689-2      | 昭和           | —   |
| 04    | 有田市  | 高平家倉庫              | 有田市               | 明治           | —   |
| 04    | 有田市  | 製材工場               | 有田市               | 明治           | —   |
| 04    | 有田市  | 製材工場               | 有田市               | 明治40年        | —   |
| 04    | 有田市  | 新川貯木場              | 有田市北港             | 不明           | —   |
| 04    | 有田市  | 県営貯木場              | 有田市宮崎町            | 昭和10年        | —   |
| 04    | 有田川町 | 結城山人頌徳碑            | 有田川町楠本            | 大正15年        | —   |
| 04    | 有田川町 | 山下竹次郎顕彰碑           | 有田川町杉野原           | 昭和25年        | —   |
| 04    | 有田川町 | 藤並村祖先の顕彰碑          | 有田川町天満（藤並公民館）     | 昭和38年        | —   |
| 04    | 御坊市  | 旧中川家住宅             | 御坊市御坊             | 昭和12年        | 国登録 |
| 04    | 美浜町  | 田井畑古川の楠山製材所の貯木場    | 美浜町田井             | 昭和           | —   |



| 小分類 | 市町村  | 名称                          | 所在地                               | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|-----------------------------|-----------------------------------|--------------|-----|
| 04  | 美浜町  | 昭和製材・常磐製材・木戸地製材・福村製材・共栄製材   | 美浜町田井                             | 昭和           | —   |
| 04  | 由良町  | 畑の植林碑                       | 由良町畑（JR沿い長谷寺麓）                    | 明治42年        | —   |
| 04  | 日高川町 | 筏流し記念碑                      | 日高川町 椿山ダム                         | 不明           | —   |
| 04  | 日高川町 | 筏流し記念碑                      | 日高川町佐井                            | 平成           | —   |
| 04  | 日高川町 | インクライン（筏流し関連）               | 日高川町各水力発電所                        | 大正           | —   |
| 04  | 日高川町 | 鳴滝の磨崖仏（筏流し関連）               | 日高川町鳴滝                            | 明治33年        | —   |
| 04  | 日高川町 | 老星の磨崖仏（筏流し関連）               | 日高川町老星                            | 大正7年         | —   |
| 04  | 日高川町 | 上岡岩吉顕彰碑                     | 日高川町寒川                            | 昭和38年        | —   |
| 04  | 日高川町 | 官行造林功労者頌徳碑                  | 日高川町高津尾八軒道                        | 昭和39年        | —   |
| 04  | 田辺市  | 前ノ川製板所跡                     | 田辺市木守                             | 明治～大正        | —   |
| 04  | 田辺市  | 安川製板所跡                      | 田辺市安川                             | 明治～大正        | —   |
| 04  | 田辺市  | 和田川製板所跡                     | 田辺市和田                             | 明治～？         | —   |
| 04  | 田辺市  | 植田理太郎君道路開鑿記念碑               | 田辺市串                              | 明治           | —   |
| 04  | 田辺市  | 侍従御差遣記念碑                    | 田辺市伏菟野                            | 昭和           | —   |
| 04  | 田辺市  | 法傳寺の無縁仏                     | 田辺市下川上                            | 明治～大正        | —   |
| 04  | 田辺市  | 真砂久一氏頌徳碑                    | 田辺市深谷                             | 昭和           | —   |
| 04  | 新宮市  | 十津川木材協同組合貯木場跡               | 新宮市橋本2丁目14-23                     | 不明           | —   |
| 04  | 新宮市  | 新宮第一貯木場（旧堀）跡                | 新宮市あけぼの                           | 明治24年        | —   |
| 04  | 新宮市  | 新宮第二貯木場（新堀）跡                | 新宮市あけぼの、王子町3丁目                    | 明治40年        | —   |
| 04  | 新宮市  | 新宮第二貯木場（新堀）開堀記念碑            | 新宮市あけぼの                           | 明治40年        | —   |
| 04  | 新宮市  | 貯木場（原木市場）跡                  | 新宮市南谷                             | 昭和34年        | —   |
| 04  | 新宮市  | 貯木場（原木市場）跡                  | 熊野川町能城                            | 昭和           | —   |
| 04  | 新宮市  | 貯木場（原木市場）跡                  | 新宮市下田1丁目                          | 昭和30年代       | —   |
| 04  | 新宮市  | 製材所                         | 市内各所                              | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 製材所跡                        | 市内各所                              | 明治28年～       | —   |
| 04  | 新宮市  | （株）本州製紙熊野事業所（王子製紙熊野工場跡）、取水管 | 新宮市蓬莱1丁目4                         | 明治45年        | —   |
| 04  | 新宮市  | 巴川製紙新宮工場跡、取水管               | 新宮市佐野3丁目11                        | 昭和20年        | —   |
| 04  | 新宮市  | 林道                          | 主に旧高田村、旧熊野川町内全域                   | 昭和30年代       | —   |
| 04  | 新宮市  | 熊野川（十津川、北山川、赤木川など）          |                                   | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | スラ（シュラ）跡                    | 各所                                | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | ヤエン（索道）跡                    | 各所                                | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 木馬道跡                        | 新宮市高田口、田長（鼻白滝下）ほか                 | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 鉄砲堰跡                        | 熊野川町畝畑、瀧本ほか                       | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 山元製材所                       | 熊野川町畝畑、北ノ川ほか                      | 大正           | —   |
| 04  | 新宮市  | ヒラバリ跡                       | 熊野川町小口                            | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 土場跡                         | 熊野川町西屋敷、日足、上長井ほか                  | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 紀州造林（株）熊野川土場跡               | 新宮市熊野川町能城山本                       | 不明           | —   |
| 04  | 新宮市  | アバ（網場）                      | 熊野川町和田、相須、九重、畝畑、高瀬口、浅里、南松杖、（鮎田）ほか | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 筏難所                         | 熊野川町田長（マキノシリ）、七日巻、釣鐘              | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 筏師宿跡                        | 熊野川町九重、宮井、新宮市高田口                  | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 筏師道跡                        | 熊野川町嶋津ほか                          | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 炭窯跡                         | 新宮市高田、熊野川町四瀧、椋井、瀧本ほか              | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 目立工場跡                       | 新宮市あけぼのほか                         | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 鍛冶屋跡                        | 新宮市相筋ほか                           | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 鉄工所跡                        | 市内各所                              | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 金比羅さん                       | 熊野川町上長井                           | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 不動さん                        | 熊野川町西敷屋、田長、和田川、畝畑ほか               | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 山の神                         | 新宮市相賀ほか                           | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 新宮市  | 高倉神社手水鉢                     | 熊野川町畝畑                            | 明治13年        | —   |
| 04  | 古座川町 | 木材留場（網場）跡                   | 古座川町瀧ノ拝                           | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 古座川町 | 木材留場（網場）跡                   | 古座川町椎平                            | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 古座川町 | 木材留場（網場）跡                   | 古座川町小川                            | 明治～昭和        | —   |

| 小分類   | 市町村  | 名称                   | 所在地                  | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-------|------|----------------------|----------------------|----------|-----|
| 04    | 古座川町 | 木材留場（網場）跡            | 古座川町宇津木              | 明治～昭和    | —   |
| 04    | 古座川町 | 佐本川筋岩石破砕跡            | 古座川町長追               | 明治～昭和    | —   |
| 04    | 古座川町 | 立合の木材トンネル            | 古座川町立合               | 明治～昭和    | —   |
| 04    | 古座川町 | 高川原貯木場（揚場）           | 古座川町高池               | 明治～昭和    | —   |
| 04    | 古座川町 | 高池製材所集積跡             | 古座川町高池               | 明治～昭和    | —   |
| 04    | 古座川町 | 筏師慰霊碑                | 古座川町高瀬               | 明治       | —   |
| 04    | 古座川町 | 佐藤新次朗頌徳碑             | 古座川町佐田               | 明治       | —   |
| 04    | 古座川町 | 小山直一顕彰碑              | 古座川町真砂               | 明治       | —   |
| 04    | 古座川町 | 真砂町場跡                | 古座川町真砂               | 江戸～昭和    | —   |
| 04    | 古座川町 | 猿川のトロッコ跡             | 古座川町美里               | 昭和       | —   |
| 04    | 古座川町 | 蔵土郷のトロッコ跡            | 古座川町蔵土               | 昭和       | —   |
| 04    | 古座川町 | 北海道大学和歌山研究林本館        | 古座川町平井               | 昭和2年     | 国登録 |
| 04    | 北山村  | 妙法連華経塔               | 東牟婁郡北山村七色            | 明治5年     | —   |
| 04    | 串本町  | 岩渕のあば                | 串本町西向                | 明治～      | —   |
| 05 漁業 |      |                      |                      |          |     |
| 05    | 和歌山市 | 幸前音吉頌徳碑              | 和歌山市加太（戎丁会館西側）       | 昭和7年     | —   |
| 05    | 和歌山市 | 宮崎善吉氏之像              | 和歌山市加太（戎丁会館西側）       | 昭和44年    | —   |
| 05    | 和歌山市 | 魚類供養塔                | 和歌山市大川（岬町？）          | 昭和40年    | —   |
| 05    | 和歌山市 | 塩釜神社灯籠               | 和歌山市和歌浦中（塩釜神社境内）     | 昭和16年    | —   |
| 05    | 和歌山市 | 和歌浦蛭子神社玉垣            | 和歌山市新和歌浦（和歌浦蛭子神社）    | 明治44年    | —   |
| 05    | 和歌山市 | 衣美須神社玉垣              | 和歌山市雑賀崎（衣美須神社）       | 不明       | —   |
| 05    | 和歌山市 | 衣美須神社鳥居              | 和歌山市雑賀崎（衣美須神社）       | 昭和45年    | —   |
| 05    | 和歌山市 | 孝栄丸錨                 | 和歌山市本脇（射箭頭八幡神社）      | 昭和37年    | —   |
| 05    | 海南市  | 西山清七碑                | 海南市下津町方              | 昭和29年    | —   |
| 05    | 有田市  | 八角網（第1号網）            | 有田市宮崎町逢井             | 明治41年    | —   |
| 05    | 有田市  | 逢井八角網組合創立            | 有田市宮崎町逢井             | 大正       | —   |
| 05    | 有田市  | 八角網（第2号網）            | 有田市宮崎町逢井             | 大正11年    | —   |
| 05    | 有田市  | 八角網（第3号網）            | 有田市宮崎町逢井             | 大正13年    | —   |
| 05    | 有田市  | 船揚場                  | 有田市高田                | 明治30年    | —   |
| 05    | 有田市  | 漁業組合                 | 有田市高田                | 明治32年～   | —   |
| 05    | 有田市  | 八角網（高田浦）             | 有田市高田                | 明治41年    | —   |
| 05    | 有田市  | 高田八角網組合              | 有田市高田                | 昭和30年    | —   |
| 05    | 有田市  | 羽部隆之助碑               | 有田市宮崎町逢井             | 大正13年    | —   |
| 05    | 有田市  | 中尾作右衛門之碑             | 有田市宮崎町逢井             | 昭和11年    | —   |
| 05    | 有田市  | 堀川審一郎頌徳碑             | 有田市千田（須佐神社前）         | 大正14年    | —   |
| 05    | 有田市  | 鮎供養塔                 | 有田市星尾（鮎茶屋前）          | 不明       | —   |
| 05    | 有田市  | 青海苔                  | 有田市箕島（有田川河口）         | 不明       | —   |
| 05    | 有田市  | 甘海苔養殖                | 有田市箕島（有田川河口）         | 昭和26年    | —   |
| 05    | 有田市  | 矢櫃浦先祖の碑              | 有田市宮崎町矢櫃（墓地中）        | 昭和38年    | —   |
| 05    | 湯浅町  | 湯浅中央漁業協同組合倉庫         | 湯浅町湯浅                | 不明       | —   |
| 05    | 広川町  | 旧戸田家住宅               | 広川町広                 | 江戸～      | 国登録 |
| 05    | 広川町  | 養源寺堀                 | 広川町広                 | 江戸～      | —   |
| 05    | 広川町  | 廣八幡宮手水鉢（漁民関係）        | 広川町上中野               | 江戸       | —   |
| 05    | 広川町  | 神輿（漁民関係）             | 広川町上中野               | 江戸       | 町美工 |
| 05    | 御坊市  | 漁場争いで敗れて自決した高野忠右衛門の碑 | 御坊市塩屋町北塩屋（円満寺境内）     | 明治43年    | —   |
| 05    | 御坊市  | 北塩屋濁り池の墓             | 御坊市塩屋町北塩屋濁り池山中       | 明治10年    | —   |
| 05    | 美浜町  | 三尾・田杭中央漁場境界石         | 美浜町三尾（旧日之岬灯台下）       | 明治27年    | —   |
| 05    | 美浜町  | 水産加工施設としてのイリ屋        | 美浜町吉原・浜ノ瀬            | 明治、昭和    | —   |
| 05    | 日高町  | 津村孫七の碑（「津村翁碑」）       | 日高町阿尾143-10（県道沿い）    | 大正15年    | —   |
| 05    | 日高町  | 大出弥右衛門の碑             | 日高町阿尾143-10（県道沿い）    | 昭和8年     | —   |
| 05    | 印南町  | 魚類一切之供養塔             | 印南町西ノ地（火葬場付近国道沿い）    | 昭和37年    | —   |
| 05    | 印南町  | 川上左一郎顕彰碑             | 印南町印南（印南町漁業協同組合事務所前） | 昭和46年    | —   |
| 05    | みなべ町 | 浜崎権四郎頌徳碑             | みなべ町植田               | 昭和44年    | —   |
| 05    | 田辺市  | 勝浦沖難船溺死者之碑           | 田辺市古尾                | 明治       | —   |
| 05    | 田辺市  | 勝浦沖難船溺死者の碑           | 田辺市古尾                | 明治       | —   |
| 05    | 白浜町  | （上組）汁納屋              | 白浜町中                 | 昭和       | —   |
| 05    | 白浜町  | （上組）網納屋              | 白浜町中                 | 昭和23年    | —   |
| 05    | 白浜町  | （上組）大網船納屋            | 白浜町中                 | 昭和23年    | —   |
| 05    | 白浜町  | （下組）共同炊飯所            | 白浜町中                 | 昭和       | —   |
| 05    | 白浜町  | 堅田重作氏之像              | 白浜町堅田                | 昭和41年    | —   |

| 小分類           | 市町村   | 名称              | 所在地                  | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|---------------|-------|-----------------|----------------------|----------|-----|
| 05            | 新宮市   | 三輪崎漁港           | 新宮市三輪崎1丁目            | 不明       | —   |
| 05            | 太地町   | 水産共同組合事務所       | 太地町太地3263-2          | 大正7年     | 国登録 |
| 05            | 太地町   | 近代捕鯨基地跡         | 太地町太地 向島             | 江戸～昭和    | —   |
| 05            | 太地町   | スロープ（捕鯨関係）      | 太地町太地 向島             | 昭和       | —   |
| 05            | 太地町   | スロープ（捕鯨関係）      | 太地町太地 太地港            | 昭和       | —   |
| 05            | 太地町   | 燈明埼山見支度部屋跡      | 太地町太地 燈明埼            | 江戸～明治    | 町史跡 |
| 05            | 太地町   | 燈明番土住居跡         | 太地町太地 燈明埼            | 江戸～明治    | —   |
| 05            | 串本町   | 弔鯨塔             | 串本町大島                | 昭和15年    | —   |
| 05            | 串本町   | 木曜島移民顕彰碑        | 串本町潮岬                | 明治～昭和    | —   |
| <b>06 養蚕業</b> |       |                 |                      |          |     |
| 06            | 紀の川市  | 羽端鹿助君頌徳碑        | 紀の川市竹房               | 昭和5年     | —   |
| 06            | 橋本市   | 養蚕記念碑           | 橋本市菖蒲谷               | 明治32年    | —   |
| 06            | 橋本市   | 養蚕記念碑           | 橋本市賢堂                | 不明       | —   |
| 06            | かつらぎ町 | 法福寺蚕霊供養塔        | かつらぎ町広口              | 明治35年    | —   |
| 06            | 有田川町  | 蚕霊碑             | 有田川町二川               | 明治23年    | —   |
| 06            | 有田川町  | 蚕霊碑             | 有田川町沼                | 昭和31年    | —   |
| 06            | 白浜町   | 久木風穴            | 白浜町久木                | 大正       | —   |
| <b>07 製塩業</b> |       |                 |                      |          |     |
| 07            | 海南市   | 河内浜塩田跡石碑        | 海南市船尾（黒江小学校内）        | 明治以降     | —   |
| 07            | 田辺市   | 田辺管内新庄村新築塩区之碑   | 田辺市新庄町（新庄公民館）        | 明治44年    | 市指定 |
| <b>08 その他</b> |       |                 |                      |          |     |
| 08            | 海南市   | 井戸浜の埋立          | 海南市船尾                | 幕末頃～     | —   |
| 08            | 海南市   | 船津の埋立           | 海南市鳥居                | 幕末頃～     | —   |
| 08            | 海南市   | 「二万坪」の埋立        | 海南市船尾                | 昭和10年    | —   |
| 08            | 海南市   | 紫浜の埋立           | 海南市藤白                | 昭和2年     | —   |
| 08            | 海南市   | 大須賀・中須賀の埋立      | 海南市名高                | 大正3年     | —   |
| 08            | 海南市   | 赤倉地先の埋立         | 海南市名高                | 大正3～5年   | —   |
| 08            | 海南市   | 温山荘の埋立          | 海南市船尾                | 大正5年     | —   |
| 08            | 海南市   | 築港の埋立           | 海南市船尾                | 大正7年     | —   |
| 08            | 海南市   | 築地の埋立           | 海南市名高                | 大正8年     | —   |
| 08            | 海南市   | 赤倉・里中地先(宮ノ浜)の埋立 | 海南市名高                | 大正12年    | —   |
| 08            | 海南市   | 築地の埋立           | 海南市内海                | 大正       | —   |
| 08            | 海南市   | 大須賀・中須賀の埋立      | 海南市内海                | 昭和5年     | —   |
| 08            | 海南市   | 茶屋浜の埋立          | 海南市日方                | 昭和13年    | —   |
| 08            | 海南市   | 北浦由五郎之碑         | 海南市船尾                | 昭和12年    | —   |
| 08            | 海南市   | 木村平右衛門頌徳碑       | 海南市鳥居（浄土寺境内）         | 昭和       | —   |
| 08            | 紀美野町  | 鶏魂之碑            | 紀美野町長谷宮（泉福寺）         | 昭和44年    | —   |
| 08            | 紀の川市  | 橋本清三郎頌徳碑        | 紀の川市打田               | 昭和8年     | —   |
| 08            | 紀の川市  | 東吉右エ門頌徳碑        | 紀の川市麻生津中             | 昭和       | —   |
| 08            | 御坊市   | 畜霊塔             | 御坊市塩屋町北塩屋(天田)～岩内の道沿い | 昭和25年    | —   |
| 08            | 白浜町   | 久木越えの炭焼窯        | 白浜町久木                | 明治期か     | —   |

## 【08 社会】

| 小分類            | 市町村  | 名称             | 所在地              | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|----------------|------|----------------|------------------|----------|-----|
| <b>01 水道施設</b> |      |                |                  |          |     |
| 01             | 和歌山市 | 有本水源池          | 和歌山市有本           | 大正14年    | —   |
| 01             | 和歌山市 | 真砂浄水場          | 和歌山市吹上           | 大正14年    | —   |
| 01             | 和歌山市 | 和歌山城本丸跡給水場     | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内） | 大正14年    | —   |
| 01             | 海南市  | 室山浄水場          | 海南市黒江            | 昭和34年    | —   |
| 01             | 海南市  | 上水道完成記念碑       | 海南市下津町大崎         | 昭和33年    | —   |
| 01             | 海南市  | 道路舗装・上下水道完成記念碑 | 海南市下津町梅田         | 昭和37年    | —   |
| 01             | 高野町  | 玉川下水処理場        | 高野町大字高野山         | 昭和11年    | —   |
| 01             | 高野町  | 高野山浄水場         | 高野町大字相ノ浦         | 昭和11年    | —   |
| 01             | 有田市  | 上水道ポンプ場        | 有田市新堂            | 昭和35年    | —   |
| 01             | 有田市  | 上水道配水池         | 有田市新堂            | 昭和       | —   |
| 01             | 有田市  | 宮原簡易水道         | 有田市宮原町           | 昭和30年    | —   |
| 01             | 有田市  | 糸我簡易水道         | 有田市糸我町           | 昭和30年    | —   |
| 01             | 有田市  | 下中島簡易水道        | 有田市下中島           | 昭和32年    | —   |
| 01             | 有田市  | 保田簡易水道         | 有田市              | 昭和32年    | —   |
| 01             | 有田市  | 須谷簡易水道         | 有田市宮原町須谷         | 昭和33年    | —   |
| 01             | 日高町  | 坂田久三郎顕彰碑       | 日高町小浦179（御霊神社境内） | 昭和41年    | —   |
| 01             | 新宮市  | 新宮浄水場          | 新宮市磐盾9-36        | 昭和8年     | —   |



| 小分類            | 市町村  | 名称               | 所在地                | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|----------------|------|------------------|--------------------|--------------|-----|
| 01             | 新宮市  | 石ヶ坪配水池           | 新宮市新宮              | 昭和38年        | —   |
| 01             | 新宮市  | 丹鶴配水池            | 新宮市新宮              | 昭和8年         | —   |
| 01             | 新宮市  | 南谷ポンプ室（水道）       | 新宮市新宮              | 昭和40年        | —   |
| 01             | 新宮市  | 広角配水池            | 新宮市広角              | 昭和40年        | —   |
| 01             | 新宮市  | 石ヶ坪団地            | 新宮市新宮              | 昭和38年        | —   |
| 01             | 新宮市  | 丸山団地             | 新宮市丹鶴              | 昭和8年         | —   |
| 01             | 串本町  | 真谷の井戸            | 串本町古座              | 不明           | —   |
| 01             | 串本町  | 堀切の滝             | 串本町津荷              | 明治？          | —   |
| <b>02 都市開発</b> |      |                  |                    |              |     |
| 02             | 新宮市  | 川原町跡             | 新宮川原               | 明治～昭和        | —   |
| 02             | 串本町  | 下浦海岸埋立           | 串本町串本              | 大正～昭和        | —   |
| <b>03 集合住宅</b> |      |                  |                    |              |     |
| 03             | 新宮市  | 全龍寺長屋            | 新宮市千穂1丁目6          | 昭和           | —   |
| 03             | 新宮市  | 速玉大社長屋           | 新宮市新宮1番地           | 昭和           | —   |
| 03             | 新宮市  | 本廣寺長屋            | 新宮市新宮              | 昭和           | —   |
| 03             | 新宮市  | 雇用促進住宅相筋宿舎       | 新宮市相筋2丁目13         | 昭和           | —   |
| 03             | 新宮市  | 井の沢団地            | 新宮市井の沢             | 昭和26年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 大浜団地             | 新宮市王子町             | 昭和28年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 王子団地             | 新宮市王子町             | 昭和34年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 下田団地             | 新宮市下田              | 昭和30年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 田鶴原団地            | 新宮市田鶴原             | 昭和28年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 砂羅団地             | 新宮市橋本              | 昭和27年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 萩野団地             | 新宮市橋本              | 昭和29年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 野田団地             | 新宮市野田              | 昭和30年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 広角団地             | 新宮市広角              | 昭和31年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 鴻田団地             | 新宮市鴻田              | 昭和36年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 三輪崎団地            | 新宮市三輪崎             | 昭和30年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 佐野団地             | 新宮市佐野              | 昭和28年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 相筋団地             | 新宮市相筋              | 昭和29年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 日足団地             | 新宮市熊野川町日足          | 昭和28年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 赤木団地             | 新宮市熊野川町赤木          | 昭和29年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 西敷屋団地            | 新宮市熊野川町西敷屋         | 昭和29年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 上長井特定住宅          | 新宮市熊野川町上長井         | 昭和29年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 西特定住宅            | 新宮市熊野川町西           | 昭和44年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 鎌塚特定住宅           | 新宮市熊野川町鎌塚          | 昭和39年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 滝本特定住宅           | 新宮市熊野川町滝本          | 昭和40年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 日足特定住宅           | 新宮市熊野川町日足          | 昭和45年        | —   |
| 03             | 新宮市  | 九重特定住宅           | 新宮市熊野川町九重          | 昭和32年        | —   |
| <b>04 公衆浴場</b> |      |                  |                    |              |     |
| 04             | 海南市  | 新町湯              | 海南市日方              | 昭和2年頃        | —   |
| 04             | 岩出市  | 境谷湯治場            | 岩出市境谷              | 不明           | —   |
| 04             | 有田市  | 小磯温泉（冷泉）         | 有田市宮崎町矢櫃           | 昭和3年         | —   |
| 04             | 湯浅町  | 旧布袋湯             | 湯浅町湯浅              | 不明           | —   |
| 04             | 由良町  | 戎湯公衆浴場           | 由良町網代              | 大正13年        | —   |
| 04             | 白浜町  | 源泉施設             | 白浜町湯崎ほか            | 昭和3年         | —   |
| 04             | 新宮市  | 銭湯跡              | 各所                 | 昭和           | —   |
| 04             | 新宮市  | 市営柳の湯（旧千鳥湯）      | 新宮市阿須賀2丁目5-10      | 昭和           | —   |
| <b>05 公園</b>   |      |                  |                    |              |     |
| 05             | 和歌山市 | 和歌山城公園           | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内）   | 明治34年        | 国史跡 |
| 05             | 和歌山市 | 濠跡石碑             | 和歌山市一番丁（和歌山城公園南堀跡） | 大正14年        | —   |
| 05             | 和歌山市 | 岡公園              | 和歌山市岡山丁            | 明治28年        | —   |
| 05             | 和歌山市 | 天妃山階段登り口灯籠       | 和歌山市岡山丁（岡公園）       | 明治29年        | —   |
| 05             | 和歌山市 | 天妃山中腹灯籠          | 和歌山市岡山丁（岡公園）       | 明治23年        | —   |
| 05             | 和歌山市 | 天妃山中腹灯籠          | 和歌山市岡山丁（岡公園）       | 不明           | —   |
| 05             | 和歌山市 | 御手洗石             | 和歌山市岡山丁（岡公園）       | 不明           | —   |
| 05             | 和歌山市 | 岡公園記             | 和歌山市岡山丁（岡公園）       | 明治29年        | —   |
| 05             | 和歌山市 | 和歌公園             | 和歌山市和歌浦            | 明治29年        | —   |
| 05             | 和歌山市 | 御手洗池公園           | 和歌山市和歌浦西           | 昭和46年        | —   |
| 05             | 和歌山市 | 御手洗池公園名盤         | 和歌山市和歌浦西           | 昭和           | —   |
| 05             | 和歌山市 | 秋葉山公園石柱          | 和歌山市和歌浦東（秋葉山麓）     | 不明           | —   |
| 05             | 和歌山市 | 紀伊風土記の丘ロータリー並木石碑 | 和歌山市岩橋（紀伊風土記の丘）    | 昭和46年        | —   |
| 05             | 和歌山市 | 紀伊風土記の丘石碑        | 和歌山市岩橋（紀伊風土記の丘）    | 昭和46年        | —   |

| 小分類              | 市町村   | 名称                 | 所在地                  | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|------------------|-------|--------------------|----------------------|--------------|-----|
| 05               | 和歌山市  | 「新吉野」石碑            | 和歌山市新和歌浦（高津子山山麓）     | 不明           | —   |
| 05               | 和歌山市  | サイレン鉄塔             | 和歌山市一番丁（和歌山城公園本丸給水場） | 大正15年        | —   |
| 05               | 和歌山市  | がんこ六三園（庭園）         | 和歌山市堀止西              | 昭和3年頃        | —   |
| 05               | 和歌山市  | 和歌山城天守閣            | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内）     | 昭和           | 国史跡 |
| 05               | 海南市   | 琴ノ浦温山荘庭園           | 海南市船尾                | 大正           | 国名勝 |
| 05               | 海南市   | 中野BC庭園             | 海南市藤白                | 昭和27年        | —   |
| 05               | 橋本市   | 高野口公園              | 橋本市高野口町名倉            | 昭和5年         | —   |
| 05               | 橋本市   | 久保与左衛門氏之碑          | 橋本市高野口町名倉（高野口公園内）    | 昭和35年        | —   |
| 05               | 橋本市   | 杉村林之助翁頌徳碑          | 橋本市御幸辻（杉村公園内）        | 昭和46年        | —   |
| 05               | 高野町   | 光臺院庭園              | 高野町大字高野山             | 昭和28年        | 国登録 |
| 05               | 高野町   | 西禅院庭園              | 高野町大字高野山             | 昭和27年        | 国登録 |
| 05               | 高野町   | 正智院庭園              | 高野町大字高野山             | 昭和28年        | 国登録 |
| 05               | 高野町   | 本覚院庭園              | 高野町大字高野山             | 昭和28年        | 国登録 |
| 05               | 高野町   | 桜池院庭園              | 高野町大字高野山             | 昭和27年        | 国登録 |
| 05               | 高野町   | 光臺院書院庭園            | 高野町大字高野山             | 昭和38年        | 国登録 |
| 05               | 高野町   | 西南院庭園              | 高野町大字高野山             | 昭和27年        | —   |
| 05               | 高野町   | 不動院庭園              | 高野町大字高野山             | 昭和30年        | —   |
| 05               | 有田市   | 有田公園               | 有田市糸我町中番             | 大正6年         | —   |
| 05               | 有田市   | 工事記念碑              | 有田市糸我町中番（有田公園内）      | 大正か          | —   |
| 05               | 有田市   | ウエノ公園              | 有田市宮崎町小豆島            | 昭和35年        | —   |
| 05               | 有田市   | 西有田県立自然公園          | 有田市矢櫃～広川流域           | 昭和31年        | —   |
| 05               | 有田市   | 八王子公園              | 有田市山田原               | 不明           | —   |
| 05               | 有田市   | 保田公園               | 有田市辻堂                | 不明           | —   |
| 05               | 美浜町   | 煙樹ヶ浜の碑             | 美浜町和田（煙樹ヶ浜）          | 昭和43年        | —   |
| 05               | 美浜町   | 大谷池（大賀蓮池）          | 美浜町三尾（旧日の岬ユースホテル下）   | 昭和38年        | —   |
| 05               | 美浜町   | 大賀蓮記念碑             | 美浜町三尾（旧日の岬ユースホテル下）   | 昭和41年        | —   |
| 05               | 日高川町  | 山野公園の標石            | 日高川町山野               | 大正？          | —   |
| 05               | 白浜町   | 児童公園門碑             | 白浜町（瀬戸御船山麓児童公園）      | 昭和25年        | —   |
| 05               | 新宮市   | 横町公園               | 新宮市横町1丁目1            | 昭和           | —   |
| 05               | 新宮市   | 徐福公園               | 新宮市徐福1丁目4            | 昭和           | —   |
| <b>06 保健医療施設</b> |       |                    |                      |              |     |
| 06               | 和歌山市  | 滋野医院               | 和歌山市真砂町              | 大正10年        | —   |
| 06               | 和歌山市  | 旧郭百甫医院（郭家住宅）       | 和歌山市今福               | 明治10年        | 国登録 |
| 06               | 紀美野町  | 谷口米之助翁頌徳碑          | 紀美野町小畑（厚生病院前）        | 不明           | —   |
| 06               | 紀の川市  | 佐野歯科医院             | 紀の川市打田               | 明治33年以前      | —   |
| 06               | 橋本市   | 戸川榮夫翁頌徳碑           | 橋本市山田（一言主神社）         | 昭和4年         | —   |
| 06               | 橋本市   | 火伏医院               | 橋本市橋本                | 大正期          | 国登録 |
| 06               | かつらぎ町 | 菊谷医院               | かつらぎ町大谷              | 大正12・14年     | —   |
| 06               | 有田市   | 仮設の隔離病舎            | 有田市箕島（赤岩）            | 明治37年        | —   |
| 06               | 有田市   | 隔離病舎               | 有田市初島町（椒村）           | 明治34年        | —   |
| 06               | 有田市   | 隔離病舎               | 有田市（保田村）             | 明治37年        | —   |
| 06               | 有田市   | 隔離病舎               | 有田市箕島（箕島村）           | 明治42年        | —   |
| 06               | 有田市   | 初島病院               | 有田市初島町               | 昭和17年        | —   |
| 06               | 有田市   | 国保箕島病院             | 有田市                  | 昭和25年        | —   |
| 06               | 湯浅町   | 大谷耳鼻咽喉科            | 湯浅町湯浅                | 不明           | —   |
| 06               | 御坊市   | 旧塩路医院              | 御坊市藤田町藤井             | 明治25年頃       | —   |
| 06               | 御坊市   | 御坊の偉人羽山家の跡地        | 御坊市塩屋町北塩屋            | 明治           | —   |
| 06               | 御坊市   | 御坊の偉人羽山家の墓、羽山兄弟の墓碑 | 御坊市塩屋町北塩屋（塩屋区共同墓地）   | 明治～大正        | —   |
| 06               | 御坊市   | 御坊の偉人鈴木立庵の家        | 御坊市岩内                | 江戸～          | —   |
| 06               | 美浜町   | 奈賀房松頌徳碑            | 美浜町田井（常福寺墓地）         | 明治           | —   |
| 06               | 美浜町   | 徐易三の墓              | 美浜町吉原（煙樹ヶ浜）          | 大正6年         | —   |
| 06               | 由良町   | 中村昇先生夫妻の墓誌         | 由良町大引（大引墓地）          | 昭和57年        | —   |
| 06               | 日高川町  | 岡本丹次先生之碑           | 日高川町（旧美山村芋野、県道沿い）    | 大正7年         | —   |
| 06               | 日高川町  | 旧西川医院（西川邸）         | 日高川町江川               | 大正2年         | —   |

| 小分類               | 市町村  | 名称              | 所在地               | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-------------------|------|-----------------|-------------------|--------------|-----|
| 06                | 印南町  | 津村環翁の碑          | 印南町西ノ地（切目王子神社前）   | 明治40年        | —   |
| 06                | 田辺市  | 木津医院            | 田辺市中屋敷町           | 昭和3年頃        | —   |
| 06                | 田辺市  | 目良純齋先生墓碑        | 田辺市稲成町            | 明治           | —   |
| 06                | 田辺市  | 目良碧齋墓碑          | 田辺市稲成町            | 明治           | —   |
| 06                | 田辺市  | 天然医方            | 田辺市磯間             | 明治           | —   |
| 06                | 田辺市  | 目良三柳氏の碑         | 田辺市稲成町            | 昭和           | —   |
| 06                | 田辺市  | 「種痘医 小山肆成」碑     | 田辺市新庄町（紀南病院玄関前）   | 平成17年        | —   |
| 06                | 白浜町  | 辻田雪江先生頌徳碑       | 白浜町 綱不知           | 平成13年        | —   |
| 06                | 新宮市  | 新宮病院            | 新宮市仲之町2丁目         | 明治41年        | —   |
| 06                | 新宮市  | 済生会病院跡          | 新宮市春日             | 不明           | —   |
| 06                | 新宮市  | 熊野病院跡           | 新宮市新宮（登坂）         | 明治27年        | —   |
| 06                | 新宮市  | 小口診療所           | 新宮市熊野川町上長井        | 昭和           | —   |
| 06                | 新宮市  | 高田診療所跡          | 新宮市高田             | 昭和           | —   |
| 06                | 新宮市  | 熊野川診療所跡         | 新宮市熊野川町日足         | 昭和           | —   |
| 06                | 新宮市  | 新宮市民病院跡         | 新宮市新宮             | 昭和22年        | —   |
| 06                | 新宮市  | 萩野病院跡           | 新宮市橋本1丁目10        | 昭和           | —   |
| 06                | 新宮市  | 国鉄診療所跡          | 新宮市徐福3丁目          | 昭和30年頃       | —   |
| 06                | 串本町  | 旧西医院            | 串本町西向             | 大正8年         | —   |
| <b>07 社会福祉施設</b>  |      |                 |                   |              |     |
| 07                | 有田市  | 老人ホーム長寿荘        | 有田市箕島             | 昭和32年        | —   |
| 07                | 由良町  | 網代青年会場          | 由良町網代             | 昭和元年         | —   |
| 07                | 由良町  | 阿戸葦原会青年会場       | 由良町阿戸             | 大正2年         | —   |
| 07                | 新宮市  | 新宮保健所跡          | 新宮市野田8            | 昭和           | —   |
| 07                | 新宮市  | 寿楽荘跡            | 新宮市三輪崎            | 昭和31年        | —   |
| 07                | 新宮市  | 授産所跡            | 新宮市蓬萊3丁目7-29      | 昭和           | —   |
| 07                | 新宮市  | 医師住宅            | 新宮市緑ヶ丘            | 昭和44年        | —   |
| 07                | 新宮市  | 紀南学園            | 新宮市井の沢            | 昭和           | —   |
| 07                | 新宮市  | 旧井の沢放課後児童クラブ    | 新宮市井の沢            | 昭和45年        | —   |
| <b>08 娯楽・観光施設</b> |      |                 |                   |              |     |
| 08                | 和歌山市 | 吾妻屋旧本館          | 和歌山市加太            | 昭和8年         | —   |
| 08                | 和歌山市 | 旧楽長ホテル（浜病院）     | 和歌山市吹上            | 昭和26年        | —   |
| 08                | 和歌山市 | 旧仙集館水族館         | 和歌山市新和歌浦          | 大正10年頃       | —   |
| 08                | 和歌山市 | 和歌浦蛭子神社灯籠       | 和歌山市新和歌浦（和歌浦蛭子神社） | 昭和34年        | —   |
| 08                | 紀の川市 | ふみや旅館           | 紀の川市貴志川町井ノ口       | 昭和8年         | —   |
| 08                | 橋本市  | 旧葛城館            | 橋本市名倉             | 明治38年        | 国登録 |
| 08                | 高野町  | 旅館 清水屋          | 高野町大字高野山          | 大正末～昭和初      | —   |
| 08                | 高野町  | 旧旅館花の屋          | 高野町大字細川450        | 明治           | —   |
| 08                | 有田市  | 永楽座（箕島劇場（株））    | 有田市箕島（福島町内）       | 明治35年頃       | —   |
| 08                | 有田市  | 橘座              | 有田市               | 明治35年頃       | —   |
| 08                | 有田市  | 演劇場（則岡興業部）      | 有田市宮崎町小豆島（ウエノ公園）  | 昭和10年頃       | —   |
| 08                | 有田市  | 箕島映画劇場          | 有田市               | 昭和25年        | —   |
| 08                | 湯浅町  | 久保里             | 湯浅町湯浅             | 明治・大正        | —   |
| 08                | 御坊市  | 白浜開発の父（小竹岩楠）の銅像 | 御坊市御坊             | 明治～大正        | —   |
| 08                | みなべ町 | 長岡翁頌徳碑（鹿島遊園地）   | みなべ町埴田            | 昭和3年         | —   |
| 08                | みなべ町 | 長岡翁記念会館跡（鹿島遊園地） | みなべ町埴田            | 昭和           | —   |
| 08                | みなべ町 | 波止場（鹿島遊園地）      | みなべ町埴田            | 昭和           | —   |
| 08                | みなべ町 | 長岡佐介旌功碑（千里遊園地）  | みなべ町山内（観音堂境内）     | 昭和3年         | —   |
| 08                | みなべ町 | 太子塔跡（千里遊園地）     | みなべ町山内            | 大正           | —   |
| 08                | みなべ町 | 千里観音堂（千里遊園地）    | みなべ町山内            | 昭和           | —   |
| 08                | みなべ町 | 千里の浜（千里遊園地）     | みなべ町山内            | 不明           | —   |
| 08                | 田辺市  | 三壺崎海水浴場碑        | 田辺市磯間             | 明治           | —   |
| 08                | 田辺市  | 赤別荘             | 田辺市下屋敷町           | 昭和8年頃        | —   |
| 08                | 田辺市  | 上御殿本館           | 田辺市龍神村龍神          | 明治18年        | 国登録 |
| 08                | 田辺市  | 亀屋旅館本館          | 田辺市本宮町川湯          | 昭和3年         | 国登録 |
| 08                | 田辺市  | 旅館あづまや          | 田辺市本宮町湯峯          | 昭和初期         | —   |
| 08                | 白浜町  | 旅館万亭            | 白浜町山上通            | 昭和31年        | —   |
| 08                | 白浜町  | 小竹岩楠翁碑          | 白浜町（御幸通常喜院下路傍）    | 昭和33年        | —   |
| 08                | 白浜町  | 小竹岩楠翁銅像         | 白浜町（常喜院境内）        | 昭和39年        | —   |



| 小分類 | 市町村 | 名称           | 所在地              | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-----|--------------|------------------|--------------|-----|
| 08  | 白浜町 | 辻利吉君頌徳碑      | 白浜町（椿温泉裏山大師堂の台地） | 昭和8年         | —   |
| 08  | 白浜町 | 辻照三翁頌徳碑      | 白浜町（椿温泉裏山大師堂の台地） | 昭和26年        | —   |
| 08  | 新宮市 | 映画館「新宮東宝劇場」跡 | 新宮市横町2丁目1        | 昭和24年        | —   |
| 08  | 新宮市 | 映画館「新宮東映劇場」跡 | 新宮市馬町2丁目4        | 昭和（戦後）       | —   |
| 08  | 新宮市 | 映画館「新宮松竹劇場」跡 | 新宮市馬町2丁目3        | 昭和（戦後）       | —   |
| 08  | 新宮市 | 映画館「葵劇場」跡    | 新宮市谷王子3-2        | 昭和初期         | —   |
| 08  | 新宮市 | 浮島映画劇場跡      | 新宮市浮島2丁目15付近     | 昭和10年代       | —   |
| 08  | 新宮市 | 日ノ出座劇場跡      | 新宮市馬町2丁目         | 明治33年        | —   |
| 08  | 新宮市 | 末広座劇場跡       | 新宮市馬町3丁目         | 明治           | —   |
| 08  | 新宮市 | 新玉座劇場跡       | 新宮市相筋1丁目6        | 明治30年        | —   |
| 08  | 新宮市 | 新宮熊野座映画館跡    | 新宮市三輪崎2丁目3-21    | 不明           | —   |
| 08  | 新宮市 | 丹鶴城遊園地跡      | 新宮市丹鶴            | 明治           | —   |
| 08  | 新宮市 | 新宮遊園地跡       | 新宮市丹鶴388-10      | 昭和30年頃       | —   |
| 08  | 新宮市 | 新宮ボウリングセンター跡 | 新宮市池田            | 昭和42年        | —   |
| 08  | 新宮市 | 新宮荘跡         | 新宮市丹鶴7684        | 不明           | —   |
| 08  | 新宮市 | 有萬（アルマン）跡    | 新宮市伊佐田町1丁目2、他    | 不明           | —   |
| 08  | 新宮市 | 丹鶴荘跡         | 新宮市下本町2丁目5       | 不明           | —   |
| 08  | 新宮市 | 茂ノ井旅館跡       | 新宮市別当屋敷町5        | 不明           | —   |
| 08  | 新宮市 | あぶ庄          | 新宮市元鍛冶町2丁目4-2    | 不明           | —   |
| 08  | 新宮市 | 二の丸旅館跡       | 新宮市新宮            | 不明           | —   |
| 08  | 新宮市 | 大前屋旅館        | 新宮市三輪崎           | 明治36年        | 国登録 |
| 08  | 新宮市 | 旅館跡（明治～戦前）   | 各所               | 不明           | —   |

#### 09 災害

|    |       |                            |                        |       |     |
|----|-------|----------------------------|------------------------|-------|-----|
| 09 | 和歌山市  | 八魂歌碑                       | 和歌山市和歌浦中（片男波公園内）       | 昭和16年 | —   |
| 09 | 和歌山市  | 西永昭一郎先生追悼之碑                | 和歌山市二里ヶ浜               | 昭和40年 | —   |
| 09 | 紀美野町  | 十三神社の水害の石碑（昭和28年大水害関係）     | 紀美野町野中（十三神社境内）         | 昭和    | —   |
| 09 | 紀美野町  | 玉泉寺 供養碑                    | 紀美野町三尾川（玉泉寺境内）         | 昭和23年 | —   |
| 09 | 紀の川市  | 貴志川大水害復興記念碑（昭和28年大水害関係）    | 紀の川市桃山町調月（大年神社）        | 昭和31年 | —   |
| 09 | 紀の川市  | 遭難女学生乃碑（大正4年豪雨）            | 紀の川市桃山町百合（竹房橋南詰）       | 昭和55年 | —   |
| 09 | 紀の川市  | 餓死人塚の碑                     | 紀の川市竹房                 | 幕末    | 市史跡 |
| 09 | 紀の川市  | 阪上楠治郎頌徳碑                   | 紀の川市中畑                 | 大正8年  | —   |
| 09 | 橋本市   | 船越喜右衛門之碑                   | 橋本市南馬場（成就寺）            | 不明    | —   |
| 09 | かつらぎ町 | 金剛の滝（昭和28年7・18水害関係）        | かつらぎ町花園新子              | 昭和28年 | —   |
| 09 | かつらぎ町 | 金剛地大日堂跡（昭和28年7・18水害関係）     | かつらぎ町花園新子              | 昭和28年 | —   |
| 09 | かつらぎ町 | 北寺観音堂壁面土石流跡（昭和28年7・18水害関係） | かつらぎ町花園北寺              | 昭和28年 | —   |
| 09 | かつらぎ町 | 仮称「紀州大水害石碑」（昭和28年7・18水害関係） | かつらぎ町花園北寺              | 昭和    | —   |
| 09 | かつらぎ町 | 七郷井完工記念碑                   | かつらぎ町中飯降               | 昭和32年 | —   |
| 09 | 有田市   | 有田郡水害記念碑（明治22年水害）          | 有田市糸我町中番（有田公園）         | 明治23年 | —   |
| 09 | 有田市   | 水害記念碑（明治22年水害）             | 有田市糸我町中番（国道42号線と有田川の間） | 明治25年 | —   |
| 09 | 有田市   | 堤防改築記念碑                    | 有田市星尾（鮎茶屋前）            | 明治    | —   |
| 09 | 有田市   | 宮原村供養塔（昭和28年7・18水害）        | 有田市宮原町新町（天神社北側の堤防の傍）   | 昭和29年 | —   |
| 09 | 有田市   | 須谷地区供養塔（昭和28年7・18水害）       | 有田市宮原町須谷（有田川堤防内側）      | 昭和56年 | —   |
| 09 | 有田市   | 7・18水難者供養塔                 | 有田市辻堂（稱名寺山門横）          | 不明    | —   |
| 09 | 有田市   | 昭和28年7・18水害最高水位標           | 有田市宮原町須谷（天神社近くの道路）     | 昭和    | —   |
| 09 | 有田市   | 昭和28年7・18水害最高水位標           | 有田市宮原町道（宮原神社鳥居前）       | 昭和29年 | —   |
| 09 | 有田市   | 昭和28年7・18水害最高水位標           | 有田市宮原町新町（宮原巡査駐在所前）     | 昭和29年 | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称                     | 所在地                 | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|------------------------|---------------------|--------------|-----|
| 09  | 有田市  | 昭和28年7・18水害最高水位標       | 有田市宮原町滝川原（浄念寺前）     | 昭和29年        | —   |
| 09  | 有田市  | 昭和28年7・18水害最高水位標       | 有田市宮原町東（字伏谷町道側）     | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | 昭和28年7・18水害最高水位標       | 有田市下中島（地蔵寺境内）       | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | 昭和28年7・18水害最高水位標       | 有田市山田原（八王子公園）       | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | 昭和28年7・18水害最高水位標       | 有田市星尾（秋葉山麓登口）       | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | 昭和28年7・18水害最高水位標       | 有田市千田東（地蔵寺境内）       | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | 昭和28年7・18水害最高水位標       | 有田市千田東（公民館分館敷地内）    | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | 昭和28年7・18水害最高水位標       | 有田市千田西（須佐神社石段登口玉垣内） | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | 昭和28年7・18水害最高水位標       | 有田市辻堂               | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | 昭和28年7・18水害保田復興記念碑     | 有田市辻堂（辻堂公園）         | 昭和47年        | —   |
| 09  | 有田市  | 昭和28年7・18水害顕彰碑         | 有田市高田（高田峠）          | 昭和48年        | —   |
| 09  | 有田市  | 昭和28年7・18水害供養塔（水害地蔵さん） | 有田市小豆島（市民病院前・西）     | 昭和35年        | —   |
| 09  | 有田市  | 引揚者住宅（64戸）             | 有田市港町               | 昭和22年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（4戸）             | 有田市古江見              | 昭和25年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（50戸）            | 有田市箕島               | 昭和28年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（130戸）           | 有田市保田               | 昭和28年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（150戸）           | 有田市宮原町              | 昭和28年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（6戸）             | 有田市糸我町              | 昭和28年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（20戸）            | 有田市箕島               | 昭和29年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（102戸）           | 有田市保田               | 昭和29年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（110戸）           | 有田市宮原               | 昭和29年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（20戸）            | 有田市古江見              | 昭和30年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（74戸）            | 有田市箕島               | 昭和36年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（31戸）            | 有田市保田               | 昭和36年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（4戸）             | 有田市宮原町              | 昭和36年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅（3戸）             | 有田市糸我町              | 昭和36年        | —   |
| 09  | 有田市  | 災害公営住宅                 | 有田市                 | 昭和37年        | —   |
| 09  | 有田市  | 愛の園幼稚園（災害地乳幼児の託児所）     | 有田市宮原町              | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | たちばな幼稚園（災害地乳幼児の託児所）    | 有田市宮原町              | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | 浄念寺本堂（昭和28年7・18水害関係）   | 有田市宮原町              | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | 浄念寺の柏横（昭和28年7・18水害関係）  | 有田市宮原町              | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | 義人・望月太左衛門顕彰碑           | 有田市箕島（市役所東隣）        | 昭和52年        | —   |
| 09  | 有田市  | 望月太左衛門の碑 望月社跡地         | 有田市宮崎町小豆島（中御堂）      | 昭和           | —   |
| 09  | 有田市  | 日根藤六之碑                 | 有田市宮原町（岩崎堤防の東端）     | 昭和29年        | —   |
| 09  | 有田市  | 児島新太夫碑（七代目）            | 有田市糸我（赤畑モータース南）     | 大正10年        | —   |
| 09  | 有田市  | 児島新太夫碑（八代目）            | 有田市糸我（糸我小学校校門右側）    | 昭和25年        | —   |
| 09  | 有田市  | 宮原井土地改良区災害復興碑          | 有田川町 日根碑の東側         | 昭和33年        | —   |
| 09  | 有田市  | 地方改善住宅（20戸）            | 有田市初島町              | 昭和37年        | —   |
| 09  | 有田市  | 浦役場                    | 有田市北湊               | 明治10年        | —   |
| 09  | 有田市  | 帝国水難救済和歌山支部箕島救難所       | 有田市宮崎町（辰ヶ浜青年会議所内）   | 大正11年        | —   |
| 09  | 有田市  | 碑                      | 有田市宮崎町              | 明治42年        | —   |
| 09  | 湯浅町  | 大地震津波心得の記碑             | 湯浅町湯浅               | 安政3年         | 県史跡 |
| 09  | 広川町  | 広村堤防                   | 広川町広                | 安政5年         | 国史跡 |
| 09  | 広川町  | 東濱口家住宅                 | 広川町広                | 江戸～          | 国重文 |
| 09  | 広川町  | 溺死者供養碑                 | 広川町広                | 江戸           | —   |
| 09  | 広川町  | 感恩碑                    | 広川町広                | 昭和8年         | —   |
| 09  | 広川町  | 岩崎家墓                   | 広川町山本               | 不明           | —   |
| 09  | 広川町  | 古田家墓                   | 広川町山本               | 不明           | —   |
| 09  | 広川町  | 防浪堤補修 防潮林補修記念碑         | 広川町広（広村堤防）          | 昭和11年        | —   |
| 09  | 有田川町 | 小島の供養塔（昭和28年水害関係）      | 有田川町小島              | 昭和48年        | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称                         | 所在地                  | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|----------------------------|----------------------|----------|-----|
| 09  | 有田川町 | 宅地造成竣工記念碑及び水位標識（昭和28年水害関係） | 有田川町長田               | 昭和31年    | —   |
| 09  | 有田川町 | 復興記念碑（昭和28年水害関係）           | 有田川町尾中               | 昭和35年    | —   |
| 09  | 有田川町 | 出橋（昭和28年水害関係）              | 有田川町出（有田川河川内）        | 昭和30年頃   | —   |
| 09  | 有田川町 | 徳田の供養塔（昭和28年水害関係）          | 有田川町徳田               | 昭和       | —   |
| 09  | 有田川町 | 金屋水害水位記録石標（昭和28年水害関係）      | 有田川町金屋               | 昭和       | —   |
| 09  | 有田川町 | 神戸の庚申と地藏（昭和28年水害関係）        | 有田川町吉原               | 昭和       | —   |
| 09  | 有田川町 | 岩森の川道地藏（昭和28年水害関係）         | 有田川町吉原               | 昭和       | —   |
| 09  | 有田川町 | 森ヶ滝と北出の堺地藏（昭和28年水害関係）      | 有田川町吉原               | 昭和       | —   |
| 09  | 有田川町 | 北出八幡社（昭和28年水害関係）           | 有田川町吉原               | 昭和       | —   |
| 09  | 有田川町 | 女夫石の網場（昭和28年水害関係）          | 有田川町吉原・歓喜寺（有田川河川内）   | 昭和       | —   |
| 09  | 有田川町 | 水害水位記録石標（昭和28年水害関係）        | 有田川町川口               | 昭和       | —   |
| 09  | 有田川町 | 水害救命の碑（昭和28年水害関係）          | 有田川町川口               | 昭和       | —   |
| 09  | 有田川町 | 茶屋堂地藏（昭和28年水害関係）           | 有田川町岩野河              | 安永7年     | —   |
| 09  | 有田川町 | 水害水位記録石標（昭和28年水害関係）        | 有田川町岩野河              | 昭和       | —   |
| 09  | 有田川町 | 産王神社境内の役行者像（昭和28年水害関係）     | 有田川町宇井苔              | 昭和32年    | —   |
| 09  | 有田川町 | 宇井の庚申塔（昭和28年水害関係）          | 有田川町宇井苔（観音寺境内）       | 昭和       | —   |
| 09  | 有田川町 | 大洪水浸水地点標識（昭和28年水害関係）       | 有田郡有田川町清水            | 昭和41年    | —   |
| 09  | 御坊市  | 村田美成の碑（明治22年大水害）           | 御坊市菌（浄国寺墓地）          | 明治27年    | —   |
| 09  | 御坊市  | 茶免の水害の碑（昭和28年大水害）          | 御坊市菌（地藏堂境内）          | 昭和29年    | —   |
| 09  | 御坊市  | 野口橋の碑（昭和28年大水害）            | 御坊市野口（野口橋下）          | 昭和33年    | —   |
| 09  | 御坊市  | 水位標（昭和28年大水害）              | 御坊市菌（市議会棟前）          | 昭和33年    | —   |
| 09  | 御坊市  | 7・18水害慰霊塔（昭和28年大水害）        | 御坊市野口（安楽寺境内）         | 昭和28年    | —   |
| 09  | 御坊市  | 7・18水害慰霊塔（昭和28年大水害）        | 御坊市菌（源行寺境内）          | 昭和       | —   |
| 09  | 御坊市  | 藤井の耕地復旧記念碑（昭和28年大水害）       | 御坊市藤田町吉田（県道・御坊美山線沿い） | 昭和37年    | —   |
| 09  | 御坊市  | 牝牛の墓（昭和28年大水害）             | 御坊市野口（安楽寺境内墓地）       | 昭和28年？   | —   |
| 09  | 御坊市  | 書物塚の碑（昭和28年大水害）            | 御坊市藤田町吉田（吉田八幡神社境内）   | 昭和28年？   | —   |
| 09  | 御坊市  | 九人塚（廻船漂没墓）                 | 御坊市塩屋町南塩屋（光専寺墓地）     | 江戸       | —   |
| 09  | 美浜町  | 津浪之紀事の碑（安政南海大地震関係）         | 美浜町浜ノ瀬（浜ノ瀬公民館前）      | 文久       | —   |
| 09  | 美浜町  | 御崎神社社頭の碑（明治22年災害記念碑）       | 美浜町三尾（御崎神社境内）        | 明治23年    | —   |
| 09  | 美浜町  | 耳塚の碑（明治22年大水害関係？）          | 美浜町三尾（旧日の岬ユースホテル付近）  | 明治？      | —   |
| 09  | 美浜町  | 七・一八水害（昭和28年大水害）           | 美浜町田井、浜ノ瀬、吉原         | 昭和       | —   |
| 09  | 美浜町  | クヌッセン機関長顕彰碑                | 美浜町三尾（日の御崎山頂）        | 昭和32年    | —   |
| 09  | 美浜町  | クヌッセン機関長の胸像                | 美浜町三尾                | 昭和37年    | —   |
| 09  | 美浜町  | 防潮林                        | 美浜町吉原                | 昭和       | —   |
| 09  | 美浜町  | 故松本栄次郎翁頌徳碑                 | 美浜町吉原（海浜）            | 昭和41年    | —   |
| 09  | 日高町  | クヌッセン機関長救命艇                | 日高町阿尾                | 昭和       | —   |
| 09  | 日高町  | 「クヌッセン機関長遺骸発見之地」石碑         | 日高町阿尾                | 昭和32年    | —   |
| 09  | 由良町  | 教専寺の水難碑                    | 由良町阿戸（教専寺境内）         | 嘉永4年     | —   |



| 小分類 | 市町村  | 名称                   | 所在地                    | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|----------------------|------------------------|--------------|-----|
| 09  | 由良町  | 南海大地震津波潮位            | 由良町網代（由良町中央公民館前）       | 昭和51年        | —   |
| 09  | 日高川町 | 明治22年水害記念碑           | 日高川町若野（葬場途中の路傍）        | 明治38年        | 町民俗 |
| 09  | 日高川町 | 明治22年水害水位の記録（道成寺石段）  | 日高川町鐘巻（道成寺石段）          | 昭和13年        | —   |
| 09  | 日高川町 | 明治風水難供養塔（道成寺）        | 日高川町鐘巻（道成寺境内）          | 昭和13年        | —   |
| 09  | 日高川町 | 水害標石（明治22年大水害）       | 日高川町高津尾（高津尾小学校南側）      | 明治22年        | —   |
| 09  | 日高川町 | 水害水位標石（昭和28年大水害）     | 日高川町高津尾（旧高津尾小学校北東隅）    | 昭和49年        | —   |
| 09  | 日高川町 | 水害復旧記念碑（昭和28年大水害）    | 日高川町松瀬（松瀬コミュニティセンター）   | 昭和34年        | —   |
| 09  | 日高川町 | 水害復旧記念碑（昭和28年大水害）    | 日高川町和佐（旧農協本所前）         | 昭和34年        | —   |
| 09  | 日高川町 | 水害復旧記念碑（昭和28年大水害）    | 日高川町江川（江川小プール横）        | 昭和34年        | —   |
| 09  | 日高川町 | 水害慰霊碑（昭和28年大水害）      | 日高川町弥谷                 | 昭和31年        | —   |
| 09  | 日高川町 | 供養地藏尊                | 日高川町皆瀬                 | 昭和38年        | —   |
| 09  | 日高川町 | 水害水位記念碑（昭和28年大水害）    | 日高川町皆瀬（下阿田木神社）         | 昭和36年        | —   |
| 09  | 日高川町 | 薬師堂記念碑（昭和28年大水害関係）   | 日高川町三十木                | 昭和39年        | —   |
| 09  | 日高川町 | 大水害の水位標（昭和28年大水害）    | 日高川町高津尾（高津尾小学校バックネット裏） | 昭和           | —   |
| 09  | みなべ町 | 鹿島明神守護謝恩祭記念の碑        | みなべ町埴田（鹿島）             | 大正4年         | —   |
| 09  | みなべ町 | 東善八翁之碑               | みなべ町東本庄                | 昭和39年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 宝永津波の碑（津波到達線）        | 田辺市新庄町（大湊神社石段脇）        | 平成24年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 宝永の津波潮位プレート          | 田辺市新庄町（東光寺前陸橋下）        | 平成10年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 津浪之碑                 | 田辺市新庄町（東光寺山門前）         | 昭和48年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 安政津浪の碑（潮位線）          | 田辺市新庄町（橋谷天満宮の階段脇）      | 昭和47年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 安政津浪の碑（潮位線）          | 田辺市新庄町（北原河内神社参道）       | 昭和47年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 安政津浪の碑（潮位線）          | 田辺市新庄町（名喜里大湊神社の階段脇）    | 昭和47年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 安政津浪の碑（潮位線）          | 田辺市新庄町（跡之浦梵天社石段脇）      | 昭和47年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 安政津浪の碑（潮位線）          | 田辺市新庄町（内之浦山祇神社階段脇）     | 昭和47年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 安政南海津波潮位碑・昭和南海津波潮位碑  | 田辺市新庄町（内之浦ひがた親水公園）     | 平成11年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 南海大地震津浪潮位標（駅前）       | 田辺市新庄町（JR紀伊新庄駅前）       | 昭和23年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 南海大地震津浪潮位標（北原三叉路）    | 田辺市新庄町（北長町内会館前）        | 昭和23年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 南海大地震津浪潮位標（役場前）      | 田辺市新庄町（JA新庄支所橋詰）       | 昭和23年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 南海大地震津浪潮位標（跡之浦東部落）   | 田辺市新庄町（跡之浦小公園内）        | 昭和23年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 南海大地震津浪潮位標（内の浦部落会館前） | 田辺市新庄町（内之浦町内会館敷地内）     | 昭和23年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 南海道地震潮位プレート          | 田辺市新庄町（跡之浦町内会館前）       | 平成18年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 南海道大地震津浪潮位標          | 田辺市新庄町（内之浦山祇神社階段脇）     | 平成3年         | —   |
| 09  | 田辺市  | 南海大地震津波遭難者供養像        | 田辺市新庄町（東光寺墓地内）         | 昭和51年        | —   |
| 09  | 田辺市  | 南海道地震津浪潮位標識          | 田辺市芳養町                 | 昭和           | —   |
| 09  | 田辺市  | 一本松地藏の山（昭和南海地震関係）    | 田辺市新庄町                 | 不明           | —   |
| 09  | 田辺市  | 稲妻墓地（昭和南海地震関係）       | 田辺市新庄町                 | 昭和           | —   |
| 09  | 田辺市  | 防潮堤（昭和南海地震関係）        | 田辺市新庄町 橋谷～名喜里（文里港）     | 昭和25年        | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称                            | 所在地                   | 建設・設置時期等 | 指定等  |
|-----|------|-------------------------------|-----------------------|----------|------|
| 09  | 田辺市  | チリ地震津波の碑（潮位線）                 | 田辺市新庄町（橋谷会館敷地内）       | 令和2年     | —    |
| 09  | 田辺市  | チリ地震津波の碑（潮位線）                 | 田辺市新庄町（波止場大師堂出井地区集会所） | 令和2年     | —    |
| 09  | 田辺市  | チリ地震津波の碑（潮位線）                 | 田辺市新庄町（新庄公民館敷地内）      | 令和2年     | —    |
| 09  | 田辺市  | 左向谷迫戸の砂防堰堤（明治22年大水害関係）        | 田辺市上秋津                | 明治       | —    |
| 09  | 田辺市  | 会津川の堤防（明治22・26年大水害関係）         | 田辺市下万呂～上万呂            | 明治       | —    |
| 09  | 田辺市  | 熊野本宮大社旧社地大斎原（明治22年大水害）        | 田辺市本宮町本宮              | 不明       | 国史跡  |
| 09  | 田辺市  | 長野八幡神社（明治22年大水害関係）            | 田辺市長野                 | 不明       | —    |
| 09  | 田辺市  | 西尾岩吉先生頌徳碑（明治22年大水害関係）         | 田辺市中三栖                | 昭和       | —    |
| 09  | 田辺市  | 招魂碑（明治22年大水害関係）               | 田辺市秋津町                | 明治       | —    |
| 09  | 田辺市  | 水難記念碑（明治22年大水害関係）             | 田辺市長野                 | 昭和       | —    |
| 09  | 田辺市  | 水難者慰霊碑（明治22年大水害関係）            | 田辺市龍神村柳瀬              | 不明       | —    |
| 09  | 田辺市  | 洪水記念碑（明治22年大水害関係）             | 田辺市本宮町                | 不明       | —    |
| 09  | 田辺市  | 大洪水の記念碑（明治22年大水害関係）           | 田辺市本宮町請川              | 不明       | —    |
| 09  | 田辺市  | 明治22年大水害百周年記念碑                | 田辺市湊                  | 平成       | —    |
| 09  | 田辺市  | 明治22年大水害百周年記念碑                | 田辺市湊                  | 平成       | —    |
| 09  | 田辺市  | 明治大水害記念碑（明治22年大水害）            | 田辺市高雄一丁目              | 平成       | —    |
| 09  | 田辺市  | 記念碑（安政地震・明治22年大水害・明治36年大火事）   | 田辺市本宮町湯峯              | 不明       | —    |
| 09  | 田辺市  | 治水紀功之碑（明治26年大水害関係）            | 田辺市本町                 | 明治       | —    |
| 09  | 田辺市  | ジェーン台風殉難者之碑                   | 田辺市古尾                 | 昭和       | —    |
| 09  | 白浜町  | 岩城惣八墓石碑文（宝永・安政大地震・明治22年大水害関係） | 白浜町 綱不知               | 明治26年    | —    |
| 09  | 白浜町  | 大津浪犠牲者供養塔・チリ地震津波潮位線           | 白浜町 綱不知（地藏堂）          | 昭和36年    | —    |
| 09  | 白浜町  | 林翁寺 洪水到達水位碑（明治22年大水害）         | 白浜町内ノ川（林翁寺）           | 昭和       | —    |
| 09  | 白浜町  | 群霊記念碑（富田川洪水記）（明治22年水害）        | 白浜町内ノ川（林翁寺）           | 明治       | —    |
| 09  | 白浜町  | 野田民治氏治水功績碑（明治22年大水害）          | 白浜町内ノ川                | 明治32年    | —    |
| 09  | 白浜町  | 洪水溺死者各霊墓（明治22年大水害）            | 白浜町中                  | 明治23年    | —    |
| 09  | 白浜町  | 春日神社境内 洪水到達水位碑（昭和33年水害）       | 白浜町田野井                | 昭和33年    | —    |
| 09  | 白浜町  | 三須和神社 洪水到達水位碑（昭和33年水害）        | 白浜町安居                 | 昭和33年    | —    |
| 09  | 白浜町  | 大古地区 洪水到達水位碑（昭和33年水害）         | 白浜町大古                 | 昭和33年    | —    |
| 09  | 白浜町  | 工事完成記念誌                       | 白浜町 湯崎                | 昭和24年    | —    |
| 09  | 白浜町  | 一徳地藏尊縁起銅板                     | 白浜町中（旧南富田小学校校庭）       | 昭和13年    | —    |
| 09  | 白浜町  | 南海道地震による津波の潮位碑                | 白浜町 綱不知               | 平成8年     | —    |
| 09  | 上富田町 | 富田川災害記                        | 上富田町朝来（円鏡寺境内）         | 明治23年    | —    |
| 09  | 上富田町 | 溺死招魂碑と西牟婁郡復旧記                 | 上富田町朝来                | 明治24年    | —    |
| 09  | 上富田町 | 明治洪水溺死群霊墓                     | 上富田町岩田                | 明治23年    | —    |
| 09  | 上富田町 | 明治大水害溺死者慰霊碑                   | 上富田町生馬                | 明治       | —    |
| 09  | 上富田町 | 名号塔（南無阿弥陀仏）                   | 上富田町生馬                | 明治       | —    |
| 09  | 上富田町 | 富田川水害礫集積地（盛り土）                | 上富田町朝来                | 明治       | —    |
| 09  | 上富田町 | 中本伊兵衛供養塔                      | 上富田町朝来（円鏡寺）           | 明治24年    | —    |
| 09  | すさみ町 | 為後鑒                           | すさみ町周参見4996           | 安政4年     | 町建造物 |
| 09  | すさみ町 | 大日如来堂                         | すさみ町周参見               | 安政4年     | —    |

| 小分類     | 市町村   | 名称                 | 所在地              | 建設・設置時期等 | 指定等  |
|---------|-------|--------------------|------------------|----------|------|
| 09      | すさみ町  | 避難路                | すさみ町周参見          | 安政4年     | —    |
| 09      | すさみ町  | 谷三郎左衛門顕彰碑          | すさみ町周参見          | 昭和2年     | —    |
| 09      | すさみ町  | 堤防（国道42号沿）         | すさみ町周参見4581付近    | 享保3年     | —    |
| 09      | すさみ町  | 津波の碑               | すさみ町周参見4280      | 昭和       | 町建造物 |
| 09      | すさみ町  | 平運丸遭難碑 4基          | すさみ町周参見5350-4    | 明治4年     | 町建造物 |
| 09      | すさみ町  | 汽船和歌山丸溺死招魂碑        | すさみ町周参見5350-4    | 明治43年    | 町建造物 |
| 09      | 新宮市   | 高田水害記念碑            | 新宮市高田西奥          | 昭和31年    | —    |
| 09      | 新宮市   | 日足水害記念碑            | 新宮市熊野川町日足        | 明治？      | —    |
| 09      | 新宮市   | 昭和南海地震火災跡          | 各所               | 昭和21年    | —    |
| 09      | 新宮市   | カーナボンセーア号座礁地       | 御手洗海岸            | 明治16年    | —    |
| 09      | 那智勝浦町 | ノルマントン号遭難碑         | 那智勝浦町狼煙山（現ホテル浦島） | 昭和10年    | —    |
| 09      | 那智勝浦町 | 熊野洋漁船遭難記念碑         | 那智勝浦町勝浦          | 明治40年    | —    |
| 09      | 那智勝浦町 | 延命寺の大黒丸船員の碑        | 那智勝浦町宇久井         | 明治37年    | —    |
| 09      | 那智勝浦町 | 天満の天津浪記念之碑         | 那智勝浦町天満（天満神社）    | 昭和25年    | —    |
| 09      | 太地町   | 漂流人記念碑             | 太地町太地 平見の坂       | 明治～大正    | —    |
| 09      | 串本町   | エルトゥールル号遭難事件遭難者墓地  | 串本町樫野            | 明治～      | 国史跡  |
| 09      | 串本町   | エルトゥールル号遭難事件遭難者上陸地 | 串本町樫野            | 明治       | 国史跡  |
| 09      | 串本町   | エルトゥールル号遭難事件船甲羅    | 串本町樫野            | 明治       | 国史跡  |
| 09      | 串本町   | エルトゥールル号遭難事件関係太龍寺跡 | 串本町樫野            | 江戸～      | —    |
| 09      | 串本町   | エルトゥールル号遭難事件関係連正寺  | 串本町大島            | 江戸～      | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町鬪野川（橋杭）       | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町串本（大水崎）       | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町串本（矢の熊）       | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町串本（堀笠島）       | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町串本（南）         | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町串本（袋）         | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町串本（袋）         | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町二色            | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町二色            | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町高富            | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町有田            | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町田並            | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町江田            | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町田子            | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町和深（安指）        | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町大島            | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 昭和南海地震津波到達標柱       | 串本町大島            | 平成8年     | —    |
| 09      | 串本町   | 吉村宮一組合長記念碑         | 串本町串本            | 昭和       | —    |
| 09      | 串本町   | 良栄丸遭難之碑            | 串本町串本            | 昭和       | —    |
| 09      | 串本町   | 第三正福丸遭難の碑          | 串本町和深            | 昭和       | —    |
| 09      | 串本町   | 英人の建てた遭難記念碑        | 串本町潮岬            | 大正       | —    |
| 09      | 串本町   | ノルマントン号沈没          | 串本町大島沖           | 明治       | —    |
| 09      | 串本町   | 防風石垣               | 串本               | ～昭和      | —    |
| 10 社会運動 |       |                    |                  |          |      |
| 10      | 田辺市   | 栗栖七郎翁彰徳碑           | 田辺市天神崎           | 昭和       | —    |
| 10      | 那智勝浦町 | 人民解放運動戦士之碑         | 那智勝浦町南平野（阿弥陀寺境内） | 昭和40年    | —    |
| 11 個人住宅 |       |                    |                  |          |      |
| 11      | 和歌山市  | 島村邸                | 和歌山市堀止           | 大正15年    | 国登録  |
| 11      | 和歌山市  | 由良山荘               | 和歌山市和歌浦東         | 明治43年    | —    |
| 11      | 和歌山市  | 旧中原嘉吉邸             | 和歌山市和歌浦東         | 昭和3年     | —    |
| 11      | 高野町   | 研谷家住宅              | 高野町大字高野山         | 大正～昭和    | —    |
| 11      | 高野町   | 金川家住宅              | 高野町大字高野山         | 不明       | —    |
| 11      | 高野町   | 和合庵                | 高野町大字高野山字一心院谷34  | 大正15年    | 国登録  |
| 11      | 御坊市   | 平井邸                | 御坊市塩屋町南塩屋        | 不明       | —    |
| 11      | 御坊市   | 民家の赤レンガ塀           | 御坊市藺             | 明治～      | —    |
| 11      | 由良町   | 森下邸                | 由良町門前            | 昭和8年     | —    |



| 小分類 | 市町村       | 名称               | 所在地                    | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|-----------|------------------|------------------------|----------|-----|
| 11  | 串本町       | 神田家なまこ壁          | 串本町串本                  | 江戸～      | —   |
| 12  | その他       |                  |                        |          |     |
| 12  | 和歌山市      | 井戸杵              | 和歌山市加太（軽食ゑびすや付近）       | 嘉永5年     | —   |
| 12  | 紀美野町      | 山田父子表功碑          | 紀美野町動木                 | 大正2年     | —   |
| 12  | 紀の川市      | 辻仁甚兵エ巡査墓         | 紀の川市窪（医王寺）             | 明治44年～   | —   |
| 12  | 有田市       | 箕島火葬場            | 有田市箕島                  | 大正7年     | —   |
| 12  | 有田市       | 墓地整理の記念碑         | 有田市                    | 大正7年     | —   |
| 12  | 新宮市       | 三本杉（相筋）遊郭        | 新宮市相筋1丁目4～6付近          | 明治39年    | —   |
| 12  | 新宮市       | 浮島遊郭             | 新宮市浮島5～7付近             | 大正2年     | —   |
| 12  | 新宮市       | 高田会館             | 新宮市高田                  | 昭和30年    | —   |
| 12  | 新宮市       | 小口中央会館           | 新宮市熊野川町上長井             | 昭和32年    | —   |
| 12  | 新宮市       | 志古集会所            | 新宮市熊野川町志古              | 昭和45年    | —   |
| 12  | 新宮市       | 旧西敷屋集会所          | 新宮市熊野川町西敷屋             | 昭和44年    | —   |
| 12  | 新宮市       | 東集会所             | 新宮市熊野川町東               | 昭和38年    | —   |
| 12  | 新宮市       | 九重集会所            | 新宮市熊野川町九重              | 昭和41年    | —   |
| 12  | 新宮市       | 嶋津集会所            | 新宮市熊野川町嶋津              | 昭和45年    | —   |
| 12  | 串本町       | 小型火葬炉跡           | 串本町和深                  | 不明       | —   |
| 12  | 串本町       | 潮岬測候所跡           | 串本町潮岬                  | 大正元年     | —   |
| 12  | 串本町       | 検潮所              | 串本町串本                  | 明治       | —   |
| 13  | その他（偉人関係） |                  |                        |          |     |
| 13  | 和歌山市      | 松下幸之助君生誕の地       | 和歌山市禰宜                 | 昭和39年    | —   |
| 13  | 和歌山市      | 松下公園（松下幸之助生誕地）   | 和歌山市禰宜                 | 昭和48年    | —   |
| 13  | 和歌山市      | 紀伊風土記の丘 松下記念資料館  | 和歌山市岩瀬                 | 昭和45年    | 国登録 |
| 13  | 和歌山市      | 松下会館             | 和歌山市西高松                | 昭和36年    | —   |
| 13  | 和歌山市      | 松下体育館            | 和歌山市西浜                 | 昭和45年    | —   |
| 13  | 和歌山市      | 「和歌山市立松下体育館」石碑   | 和歌山市西浜                 | 昭和45年    | —   |
| 13  | 和歌山市      | 紅松庵              | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内）       | 昭和49年    | —   |
| 13  | 和歌山市      | 陸奥宗光先生乃像         | 和歌山市岡山丁（岡公園）           | 昭和46年    | —   |
| 13  | 和歌山市      | 陸奥宗光生誕の地         | 和歌山市吹上                 | 天保       | —   |
| 13  | 和歌山市      | 南方熊楠生誕の地         | 和歌山市橋丁                 | 慶応       | —   |
| 13  | 和歌山市      | 南方熊楠菩提寺 延命院      | 和歌山市鷹匠町（延命院）           | 不明       | —   |
| 13  | 和歌山市      | 垂井清右衛門氏像         | 和歌山市西汀丁36（和歌山商工会議所内）   | 昭和6年     | —   |
| 13  | 和歌山市      | 松下夫妻寿像           | 和歌山市一番丁（わかやま歴史館内）      | 昭和39年    | —   |
| 13  | 和歌山市      | 岡崎晩香翁之像          | 和歌山市南材木丁3丁目            | 昭和3年     | —   |
| 13  | 和歌山市      | 丹生都比賣命レリーフ       | 和歌山市小松原通1丁目1（和歌山県庁本館内） | 昭和14年    | —   |
| 13  | 和歌山市      | 高倉下命レリーフ         | 和歌山市小松原通1丁目1（和歌山県庁本館内） | 昭和14年    | —   |
| 13  | 和歌山市      | 和田静海先生像          | 和歌山市江南（安原小学校）          | 昭和27年    | —   |
| 13  | 紀の川市      | 陸奥宗光伯爵頌徳碑        | 紀の川市藤崎                 | 大正15年    | —   |
| 13  | 紀の川市      | 森田節斎墓            | 紀の川市荒見                 | 明治元年     | 県史跡 |
| 13  | 紀の川市      | 森田節斎先生顕彰碑        | 紀の川市荒見（九頭神社）           | 大正14年    | —   |
| 13  | 紀の川市      | 森田節斎先生墓道標        | 紀の川市東荒見                | 不明       | —   |
| 13  | 紀の川市      | 森田節斎無絃女史頌徳碑      | 紀の川市桃山町市場（神明社）         | 昭和12年    | —   |
| 13  | 紀の川市      | 愚中庵（普通寺）（森田節斎関係） | 紀の川市荒見                 | 江戸～      | —   |
| 13  | 紀の川市      | 北家（森田節斎関係）       | 紀の川市荒見                 | 鎌倉～      | —   |
| 13  | 紀の川市      | 九頭神社（森田節斎関係）     | 紀の川市荒見                 | 江戸～      | —   |
| 13  | 紀の川市      | 華岡家発祥之碑          | 紀の川市西野山                | 昭和14年    | —   |
| 13  | 九度山町      | 陸奥屋敷跡（陸奥宗光関係）    | 九度山町入郷                 | 嘉永6年～    | —   |
| 13  | 九度山町      | 旧庄屋玉置家（陸奥宗光関係）   | 九度山町入郷                 | 幕末       | —   |
| 13  | 九度山町      | 旧四所庄官家岡家（陸奥宗光関係） | 九度山町入郷                 | 幕末       | 国登録 |
| 13  | 九度山町      | 旧政所中橋家（陸奥宗光関係）   | 九度山町慈尊院                | 幕末       | —   |
| 13  | かつらぎ町     | 東山安兵衛氏記念碑        | かつらぎ町大畑                | 近代       | —   |
| 13  | かつらぎ町     | 浪分善助墓（字西出前）      | かつらぎ町佐野                | 明治9年     | —   |
| 13  | かつらぎ町     | 浪分善助墓（欠田）        | かつらぎ町佐野                | 明治13年    | —   |
| 13  | かつらぎ町     | 金沢先生頌徳碑          | かつらぎ町笠田東               | 明治28年    | —   |
| 13  | かつらぎ町     | 神願寺文覚上人碑         | かつらぎ町萩原                | 明治29年    | —   |
| 13  | かつらぎ町     | 浅野壱岐守殿松山亀次郎君記念碑  | かつらぎ町移                 | 明治36年    | —   |

| 小分類 | 市町村        | 名称                  | 所在地               | 建設・設置<br>時期等 | 指定等    |
|-----|------------|---------------------|-------------------|--------------|--------|
| 13  | かつらぎ町      | 高田共同墓地顕彰碑           | かつらぎ町高田           | 大正元年         | —      |
| 13  | かつらぎ町      | 阿弥陀堂森翁碑             | かつらぎ町東谷           | 明治23年        | —      |
| 13  | かつらぎ町      | 小西君頌徳記              | かつらぎ町平            | 昭和14年        | —      |
| 13  | かつらぎ町      | 成善寺・西方寺菅野君遺功碑       | かつらぎ町山崎           | 明治36年        | —      |
| 13  | かつらぎ町      | 望月右内頌徳碑             | かつらぎ町兄井           | 大正6年         | —      |
| 13  | かつらぎ町      | 奥村利平翁頌徳碑            | かつらぎ町寺尾           | 昭和4年         | —      |
| 13  | かつらぎ町      | 金河先生記念碑             | かつらぎ町平沼田          | 明治28年        | —      |
| 13  | かつらぎ町      | 福井先生碑               | かつらぎ町宮本           | 明治32年        | —      |
| 13  | かつらぎ町      | 宮井先生頌徳碑             | かつらぎ町東洪田          | 大正10年        | —      |
| 13  | かつらぎ町      | 宮野治右エ門頌徳碑           | かつらぎ町東洪田          | 近代か          | —      |
| 13  | かつらぎ町      | 平野氏頌徳碑              | かつらぎ町東洪田          | 大正14年        | —      |
| 13  | かつらぎ町      | 前田奥之丞頌徳碑            | かつらぎ町上天野          | 大正3年         | —      |
| 13  | 湯浅町        | 菊池海荘屋敷跡             | 湯浅町栖原             | 江戸～          | —      |
| 13  | 湯浅町        | 菊池海荘碑               | 湯浅町栖原             | 昭和5年         | —      |
| 13  | 湯浅町        | 施無畏寺墓地（菊池海荘関係）      | 湯浅町栖原             | 不明           | —      |
| 13  | 湯浅町        | 古碧楼跡（旧旅館広久）（菊池海荘関係） | 湯浅町湯浅             | 江戸～          | —      |
| 13  | 広川町        | 濱口梧陵記念館             | 広川町広              | 大正           | —      |
| 13  | 広川町        | 濱口梧陵銅像              | 広川町広              | 昭和42年        | —      |
| 13  | 広川町        | 耐久社（濱口梧陵関係）         | 広川町広              | 明治3年         | 県史跡    |
| 13  | 広川町        | 濱口梧陵碑               | 広川町広（広八幡宮）        | 明治26年        | —      |
| 13  | 田辺市        | 旧南方熊楠家住宅            | 田辺市中屋敷町           | 明治中期～        | 国登録    |
| 13  | 田辺市        | 南方熊楠の墓              | 田辺市稲成町            | 昭和           | —      |
| 13  | 田辺市        | 南方熊楠翁顕彰碑            | 田辺市扇ヶ浜            | 昭和           | —      |
| 13  | 田辺市        | 昭和天皇行幸記念歌碑（南方熊楠関係）  | 田辺市新庄町（神島）        | 昭和5年         | —      |
| 13  | 田辺市        | 神島（南方曼陀羅の風景地）       | 田辺市新庄町            | 不明           | 国天然・名勝 |
| 13  | 田辺市        | 闘雞神社（南方曼陀羅の風景地）     | 田辺市東陽             | 不明           | 国史跡・名勝 |
| 13  | 田辺市        | 須佐神社（南方曼陀羅の風景地）     | 田辺市下万呂            | 不明           | 国名勝    |
| 13  | 田辺市        | 伊作田稻荷神社（南方曼陀羅の風景地）  | 田辺市稲成町            | 不明           | 国名勝    |
| 13  | 田辺市        | 継桜王子（南方曼陀羅の風景地）     | 田辺市中辺路町野中         | 不明           | 国史跡・名勝 |
| 13  | 田辺市        | 高原熊野神社（南方曼陀羅の風景地）   | 田辺市中辺路町高原         | 不明           | 国史跡・名勝 |
| 13  | 田辺市        | 奇絶峡（南方曼陀羅の風景地）      | 田辺市上秋津            | 不明           | 国名勝    |
| 13  | 田辺市        | 龍神山（南方曼陀羅の風景地）      | 田辺市上秋津            | 不明           | 国名勝    |
| 13  | 田辺市        | 天神崎（南方曼陀羅の風景地）      | 田辺市天神崎            | 不明           | 国名勝    |
| 13  | 田辺市        | 糸田猿神社跡（南方熊楠関係）      | 田辺市稲成町            | 不明           | —      |
| 13  | 田辺市        | 横手八幡神社（南方熊楠関係）      | 田辺市高雄三丁目          | 不明           | —      |
| 13  | 田辺市        | 磯間浦安神社（南方熊楠関係）      | 田辺市磯間             | 不明           | —      |
| 13  | 田辺市        | 神楽神社（南方熊楠関係）        | 田辺市神子浜            | 不明           | —      |
| 13  | 田辺市        | 日吉神社（南方熊楠関係）        | 田辺市神子浜            | 不明           | —      |
| 13  | 田辺市        | ひき岩群（南方熊楠関係）        | 田辺市稲成町            | 不明           | 県天然    |
| 13  | 白浜町        | 南方熊楠記念館本館（南方熊楠関係）   | 白浜町字崎の北           | 昭和40年        | 国登録    |
| 13  | 白浜町        | 昭和天皇陛下御歌の碑（南方熊楠関係）  | 白浜町 番所山（南方熊楠記念館前） | 昭和39年        | —      |
| 13  | 新宮市        | 旧西村伊作邸（西村記念館）       | 新宮市丹鶴             | 大正3年         | 国重文    |
| 13  | 新宮市        | 旧チャップマン邸（西村伊作関係）    | 新宮市丹鶴             | 大正15年        | 国登録    |
| 13  | 新宮市        | 旧佐藤春夫邸（佐藤春夫記念館）     | 新宮市新宮             | 昭和2年         | —      |
| 13  | 新宮市        | 佐藤春夫筆塚              | 新宮市下本町            | 昭和41年        | —      |
| 13  | 新宮市        | 「望郷五月歌」詩碑（佐藤治夫関係）   | 新宮市新宮             | 昭和34年        | —      |
| 13  | 新宮市        | 太平洋食堂跡              | 新宮市船町             | 明治37年        | —      |
| 13  | 那智勝浦町      | 懸泉堂（佐藤春夫関係）         | 那智勝浦町下里           | 大正13年        | —      |
| 14  | その他(歴史的物件) |                     |                   |              |        |

| 小分類 | 市町村  | 名称                      | 所在地              | 建設・設置<br>時期等 | 指定等  |
|-----|------|-------------------------|------------------|--------------|------|
| 14  | 紀の川市 | 児玉庄右衛門・仲児宅（粉河騒動関係）      | 紀の川市粉河           | 明治5年         | —    |
| 14  | 紀の川市 | 曾和震十郎宅（粉河騒動関係）          | 紀の川市深田           | 明治5年         | —    |
| 14  | 紀の川市 | 千田軍之助宅（粉河騒動関係）          | 紀の川市南志野          | 明治5年         | 市建造物 |
| 14  | 紀の川市 | 長田観音（粉河騒動関係）            | 紀の川市長田           | 明治5年         | —    |
| 14  | 紀の川市 | 粉河寺 鐘堂（粉河騒動関係）          | 紀の川市粉河           | 明治5年         | —    |
| 14  | 紀の川市 | 西田中神社（粉河騒動関係）           | 紀の川市中井阪          | 明治5年         | —    |
| 14  | 紀の川市 | 十禅律院（粉河騒動関係）            | 紀の川市粉河           | 明治5年         | 県建造物 |
| 14  | 紀の川市 | 千田軍之助墓（粉河騒動関係）          | 紀の川市南志野（志野墓地）    | 不明           | —    |
| 14  | 美浜町  | 工野儀兵衛頌徳碑（移民関係）          | 美浜町三尾（アメリカ村バス停横） | 昭和6年         | —    |
| 14  | 美浜町  | カナダ移住百年の碑（移民関係）         | 美浜町三尾（アメリカ村バス停横） | 昭和63年        | —    |
| 14  | 美浜町  | カナダ資料館（元アメリカ村資料館）       | 美浜町三尾            | 昭和           | —    |
| 14  | 美浜町  | 旧野田家住宅（元中津家住宅）（三尾アメリカ村） | 美浜町三尾            | 昭和9年頃        | 国登録  |
| 14  | 美浜町  | 遊心庵（旧田中家住宅）（三尾アメリカ村）    | 美浜町三尾            | 昭和8年頃        | 国登録  |
| 14  | 美浜町  | 浜口家住宅（三尾アメリカ村）          | 美浜町三尾            | 昭和           | —    |
| 14  | 美浜町  | 小山家住宅（三尾アメリカ村）          | 美浜町三尾            | 昭和           | —    |
| 14  | 美浜町  | 碓家住宅（三尾アメリカ村）           | 美浜町三尾            | 昭和           | —    |
| 14  | 美浜町  | 龍王神社拝殿・寄進札（三尾アメリカ村関連）   | 美浜町三尾            | 昭和           | —    |
| 14  | 由良町  | 会津藩士の墓                  | 由良町門前（余興寺）       | 慶応4年         | —    |
| 14  | 日高川町 | 沖野岩三郎顕彰碑（大逆事件関係）        | 日高川町寒川           | 昭和38年        | —    |
| 14  | 田辺市  | 天誅倉（天誅組関係）              | 田辺市龍神村小又川        | 幕末           | 県史跡  |
| 14  | 田辺市  | 祐川寺（大逆事件関係）             | 田辺市本宮町請川         | 江戸～          | —    |
| 14  | 田辺市  | 泉蔵庵跡（大逆事件関係）            | 田辺市本宮町耳打         | 江戸～          | —    |
| 14  | 田辺市  | 川湯温泉（大逆事件関係）            | 田辺市本宮町川湯         | 不明           | —    |
| 14  | 田辺市  | 熊野川（大逆事件関係）             | 田辺市本宮町           | 不明           | 国史跡  |
| 14  | 田辺市  | 湯峯温泉（大逆事件関係）            | 田辺市本宮町湯峯         | 不明           | —    |
| 14  | 田辺市  | 七越峰（大逆事件関係）             | 田辺市本宮町本宮・高山      | 不明           | 国史跡  |
| 14  | 新宮市  | 南谷墓地（大逆事件関係）            | 新宮市南谷            | 大正           | —    |

## 【09 政治】

| 小分類 | 市町村  | 名称        | 所在地                    | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|-----------|------------------------|--------------|-----|
| 01  | 行政   |           |                        |              |     |
| 01  | 和歌山市 | 和歌山県庁 本館  | 和歌山市小松原通               | 昭和13年        | 国登録 |
| 01  | 和歌山市 | 旧加太警察署    | 和歌山市加太                 | 大正11年頃       | 国登録 |
| 01  | 和歌山市 | 市村合併記念碑   | 和歌山市関戸（矢宮神社境内）         | 昭和           | —   |
| 01  | 和歌山市 | 市村合併記念碑   | 和歌山市宇須（宇須井原神社）         | 昭和           | —   |
| 01  | 和歌山市 | 和歌山市民憲章碑  | 和歌山市美園町（JR和歌山駅前）       | 昭和46年        | —   |
| 01  | 和歌山市 | 和歌山市民憲章碑  | 和歌山市西浜（松下体育館前）         | 昭和46年        | —   |
| 01  | 和歌山市 | 和歌山市民憲章碑  | 和歌山市秋葉町（秋葉山山頂）         | 昭和47年        | —   |
| 01  | 和歌山市 | 和歌山市民憲章碑  | 和歌山市土入（和歌山市民体育館前）      | 昭和54年        | —   |
| 01  | 和歌山市 | 和歌山市民憲章碑  | 和歌山市伝法橋南ノ丁（和歌山市民会館前）   | 昭和54年        | —   |
| 01  | 和歌山市 | 和歌山市民憲章碑  | 和歌山市七番丁（和歌山市役所前）       | 昭和56年        | —   |
| 01  | 和歌山市 | 和歌山市民憲章碑  | 和歌山市（河南総合体育館前）         | 昭和61年        | —   |
| 01  | 紀美野町 | 小川村記念碑    | 紀美野町福井（小川八幡神社境内）       | 昭和49年        | —   |
| 01  | 紀美野町 | 新設記念碑     | 紀美野町赤木（メロディーロード手前消防団前） | 昭和8年         | —   |
| 01  | 紀美野町 | 曲里亀樟翁頌徳碑  | 紀美野町長谷                 | 昭和34年        | —   |
| 01  | 紀の川市 | 中西正規先生頌徳碑 | 紀の川市貴志川町前田（地藏寺）        | 昭和49年        | —   |
| 01  | 岩出市  | 二分口役所跡    | 岩出市船戸                  | 江戸           | —   |



| 小分類     | 市町村   | 名称               | 所在地                  | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|---------|-------|------------------|----------------------|----------|-----|
| 01      | 岩出市   | 旧和歌山県会議事堂（一乗閣）   | 岩出市根来                | 明治31年    | 国重文 |
| 01      | 岩出市   | 岩出町庁舎            | 岩出市西野                | 昭和       | —   |
| 01      | 岩出市   | 小野真次先生頌徳碑        | 岩出市根来（根来寺大門南）        | 昭和44年    | —   |
| 01      | 橋本市   | 岡文一郎頌徳碑          | 橋本市古佐田（丸山公園）         | 大正4年     | —   |
| 01      | 高野町   | 橋本警察署高野幹部交番      | 高野町大字高野山638          | 大正10年    | 国登録 |
| 01      | 湯浅町   | 有田郡役所跡           | 湯浅町湯浅                | 明治       | —   |
| 01      | 美浜町   | 境界石              | 美浜町吉原・和田・田井（大沢酒造所裏）  | 幕末、明治？   | —   |
| 01      | 美浜町   | 境界石              | 美浜町吉原・和田（御坊自動車学校南西隅） | 幕末、明治？   | —   |
| 01      | 美浜町   | 境界石              | 美浜町吉原・和田（松洋中学校国旗掲揚台） | 幕末、明治？   | —   |
| 01      | 美浜町   | 境界石              | 美浜町田井（田端邸）           | 幕末、明治？   | —   |
| 01      | 由良町   | 警察官殉職の碑          | 由良町網代（里隧道近く国道42号沿い）  | 昭和44年    | —   |
| 01      | 田辺市   | 旧田辺市警察署          | 田辺市上屋敷               | 昭和24年    | —   |
| 01      | 新宮市   | 和歌山県東牟婁郡役所跡      | 新宮市谷王子町              | 明治45年    | —   |
| 01      | 新宮市   | 新宮町役場跡           | 新宮市丹鶴（お堀の北）          | 大正12年    | —   |
| 01      | 新宮市   | 新宮市役所跡           | 新宮市丹鶴（八幡山）           | 大正5年     | —   |
| 01      | 新宮市   | 三輪崎支所            | 新宮市三輪崎               | 昭和41年    | —   |
| 01      | 新宮市   | 旧法務局熊野川出張所       | 新宮市熊野川町              | 昭和36年    | —   |
| 01      | 新宮市   | 和歌山県東牟婁事務所跡      | 新宮市新宮（オークワ）          | 不明       | —   |
| 01      | 新宮市   | 敷屋地区コミュニティ消防センター | 新宮市西敷屋               | 不明       | —   |
| 01      | 新宮市   | 新宮警察署跡           | 新宮市下本町6-3            | 大正8年     | —   |
| 01      | 新宮市   | 新宮消防署跡           | 新宮市下本町6-3            | 不明       | —   |
| 01      | 新宮市   | 新宮市公会堂跡          | 新宮市丹鶴（八幡山）           | 大正5年     | —   |
| 01      | 那智勝浦町 | 大野辰平翁遺徳碑         | 那智勝浦町下和田（大泰寺境内）      | 明治42年    | —   |
| 01      | 串本町   | 橋爪家屋敷跡           | 串本町古田                | ～明治      | —   |
| 01      | 串本町   | 浦氏屋敷跡            | 串本町江田                | ～明治      | —   |
| 02 立法   |       |                  |                      |          |     |
| 02      | 和歌山市  | 憲法発布三十周年記念樹石碑    | 和歌山市一番丁（和歌山城公園岡口門前）  | 大正8年     | —   |
| 03 司法   |       |                  |                      |          |     |
| 03      | 新宮市   | 和歌山拘置所新宮拘置支所跡    | 新宮市春日1-36            | 不明       | —   |
| 03      | 新宮市   | 新宮裁判所            | 新宮市千穂3丁目             | 不明       | —   |
| 04 政治活動 |       |                  |                      |          |     |
| 04      | 和歌山市  | 紀泉入会林野整理解消記念碑    | 和歌山市西庄               | 昭和5年     | —   |
| 04      | 和歌山市  | 今出川安吉之碑          | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 明治33年    | —   |
| 04      | 和歌山市  | 藤巖安藤君遺愛碑         | 和歌山市岩橋（紀伊風土記の丘）      | 明治17年    | —   |
| 04      | 和歌山市  | 徳川吉宗公誕生地         | 和歌山市吹上               | 昭和14年    | —   |
| 04      | 和歌山市  | 勝海舟寓居地石碑         | 和歌山市橋丁               | 昭和15年    | —   |
| 04      | 和歌山市  | 小出泉の墓            | 和歌山市男野芝丁（吹上寺）        | 不明       | —   |
| 04      | 和歌山市  | 従五位津田正臣之墓        | 和歌山市秋葉町（円珠院墓地）       | 明治       | —   |
| 04      | 和歌山市  | 正六位勲五等長屋氏碑（倉田績書） | 和歌山市岡山丁（岡公園）         | 明治32年    | —   |
| 04      | 和歌山市  | 島本豊楠石碑           | 和歌山市狐島（覚円寺）          | 大正7年     | —   |
| 04      | 和歌山市  | 小野真次レリーフ         | 和歌山市加太（淡嶋神社前）        | 昭和42年    | —   |
| 04      | 和歌山市  | 田中善蔵先生尽忠之碑       | 和歌山市一番丁（和歌山城公園追廻門前）  | 昭和44年    | —   |
| 04      | 和歌山市  | 北畠道龍の墓           | 和歌山市和歌浦中（法福寺）        | 明治       | —   |
| 04      | 海南市   | 日足信亮翁頌徳碑         | 海南市船尾（国道42号線沿い）      | 昭和22年    | —   |
| 04      | 海南市   | 榑原信之助碑           | 海南市重根（称名寺境内）         | 明治31年    | —   |
| 04      | 紀美野町  | 向林久太郎翁頌徳碑        | 紀美野町田（熊野神社参道）        | 昭和45年    | —   |
| 04      | 紀の川市  | 前田謙佑墓碑           | 紀の川市貴志川町前田           | 明治25年    | —   |
| 04      | 紀の川市  | 池田豊三郎頌徳碑         | 紀の川市重行（東勝寺）          | 昭和28年    | —   |
| 04      | 紀の川市  | 山口喜久一郎先生頌徳碑      | 紀の川市貴志川町神戸（諸井橋西詰）    | 昭和43年    | —   |
| 04      | 紀の川市  | 内田馬之丞恩徳碑         | 紀の川市打田（法恩寺）          | 明治43年    | —   |
| 04      | 九度山町  | 松山常次郎旧宅          | 九度山町九度山              | 幕末～明治前期  | —   |
| 04      | 高野町   | 名迫家跡 正門（天誅組関係）   | 高野町大字東富貴             | 幕末       | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称                      | 所在地                   | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|-------------------------|-----------------------|--------------|-----|
| 04  | 有田市  | 国中翁徳旌表碑                 | 有田市初島町（国主神社北・里）       | 大正6年         | —   |
| 04  | 有田市  | 久保太郎松君公德碑               | 有田市初島町                | 昭和15年        | —   |
| 04  | 有田川町 | 野田四郎の碑                  | 有田川町下津野（有田川町役場吉備庁舎）   | 昭和11年        | —   |
| 04  | 有田川町 | 宮崎政之助頌徳碑                | 有田川町板尾                | 昭和35年        | —   |
| 04  | 御坊市  | 中岡三郎翁頌徳碑                | 御坊市湯川町富安（富安公民館脇）      | 昭和38年        | —   |
| 04  | 御坊市  | 哲人政治家田淵豊吉の生家            | 御坊市藺                  | 明治～昭和        | —   |
| 04  | 御坊市  | 田淵豊吉夫妻の墓                | 御坊市椿（浄国寺墓地）           | 昭和8年         | —   |
| 04  | 御坊市  | 西田篤仙翁頌徳碑                | 御坊市名田町上野（極楽寺墓地）       | 昭和37年        | —   |
| 04  | 御坊市  | 山田長之右衛門氏の墓塔             | 御坊市藺（常照寺墓地）           | 昭和41年        | —   |
| 04  | 御坊市  | 御坊市の解放の碑                | 御坊市藺（藺会館玄関横）          | 昭和44年        | —   |
| 04  | 美浜町  | 池上正順旌功碑                 | 美浜町田井（常福寺前）           | 明治35年        | —   |
| 04  | 日高町  | 鈴木隆憲の墓碑                 | 日高町小浦（円行寺墓地）          | 昭和37年        | —   |
| 04  | 由良町  | 由良守応生誕地・石碑              | 由良町門前（旧居跡の蜜柑畑）        | 幕末～明治        | —   |
| 04  | 由良町  | 由良守応の墓地                 | 由良町門前（興国寺境内）          | 明治           | —   |
| 04  | 由良町  | 由良守応翁顕彰碑                | 由良町門前（興国寺）            | 昭和44年        | —   |
| 04  | 日高川町 | 森 武楠 胸像                 | 日高川町江川（丹生中学校内）        | 昭和28年        | —   |
| 04  | 日高川町 | 西川熊助翁の墓                 | 日高川町山野（地福寺）           | 明治44年        | —   |
| 04  | 日高川町 | 西川漢氏頌徳碑                 | 日高川町川原河（旧美山村川上橋橋畔）    | 昭和44年        | —   |
| 04  | 印南町  | 中本康英翁頌徳碑                | 印南町榎川（真妻神社脇）          | 昭和8年         | —   |
| 04  | 印南町  | 明治百年記念碑                 | 印南町榎川（真妻神社前）          | 昭和43年        | —   |
| 04  | 印南町  | 夏目康太郎翁頌徳碑               | 印南町印南原（稲原防災センター）      | 昭和26年        | —   |
| 04  | 田辺市  | 安藤侯廟碑                   | 田辺市東陽                 | 明治           | —   |
| 04  | 田辺市  | 元宮内大臣伯爵田中光顕潜伏之趾（光顕伯の歌碑） | 田辺市龍神村丹生川（県道脇）        | 昭和11年        | —   |
| 04  | 田辺市  | 脇村友三翁頌碑                 | 田辺市湊                  | 明治           | —   |
| 04  | 田辺市  | 遺為碑                     | 田辺市秋津町                | 明治           | —   |
| 04  | 田辺市  | 林国松翁頌徳碑                 | 田辺市新屋敷町               | 昭和           | —   |
| 04  | 田辺市  | 鈴木宗右エ門翁頌徳碑              | 田辺市秋津町                | 昭和           | —   |
| 04  | 白浜町  | 杉本翁頌徳碑                  | 白浜町堅田（聖徳寺境内）          | 大正8年         | —   |
| 04  | 白浜町  | 楠本捨吉翁頌徳碑                | 白浜町内ノ川（北富田小学校北東側道路沿い） | 昭和43年        | —   |
| 04  | 串本町  | 木野仲輔石碑                  | 串本町大島                 | 明治           | —   |

## 05 外交

|    |     |                    |           |       |   |
|----|-----|--------------------|-----------|-------|---|
| 05 | 御坊市 | 満州国皇帝溥儀の通訳者林出賢次郎の家 | 御坊市湯川町小松原 | 明治～昭和 | — |
|----|-----|--------------------|-----------|-------|---|

## 06 軍事

|    |      |                |                         |           |     |
|----|------|----------------|-------------------------|-----------|-----|
| 06 | 和歌山市 | 雑賀崎台場跡         | 和歌山市                    | 嘉永7年      | 県史跡 |
| 06 | 和歌山市 | 由良要塞跡          | 和歌山市友ヶ島、深山、加太           | 明治～昭和     | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧加太砲台          | 和歌山市加太                  | 明治37年     | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧田倉崎堡塁         | 和歌山市加太                  | 明治37年     | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧深山第1砲台・第2砲台   | 和歌山市深山                  | 明治30年・26年 | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧男良谷砲台         | 和歌山市深山                  | 明治37年     | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧友ヶ島第1～5砲台     | 和歌山市友ヶ島                 | 明治23～37年  | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧虎島堡塁          | 和歌山市友ヶ島                 | 明治30年     | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧佐瀬川堡塁         | 和歌山市大川～大阪府岬町            | 明治37年     | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧西ノ庄堡塁         | 和歌山市西庄                  | 明治37年     | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧大川堡塁          | 和歌山市大川                  | 明治30年     | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧高森山交通路（高森山堡塁） | 和歌山市大川                  | 明治37年     | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧城ヶ崎電気燈        | 和歌山市加太                  | 明治32年     | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧軍将校宿舍         | 和歌山市友ヶ島                 | 不明        | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧陸軍友ヶ島発電所      | 和歌山市友ヶ島                 | 不明        | —   |
| 06 | 和歌山市 | 旧陸軍深山病院跡       | 和歌山市深山                  | 不明        | —   |
| 06 | 和歌山市 | 歩兵第六一聯隊酒保円卓・椅子 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内護国神社境内）  | 不明        | —   |
| 06 | 和歌山市 | 陸軍省石柱          | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内西外堀及び東堀） | 明治        | —   |
| 06 | 和歌山市 | 防空壕（秋葉山）       | 和歌山市和歌浦東                | 昭和        | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称                       | 所在地                    | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|--------------------------|------------------------|----------|-----|
| 06  | 和歌山市 | 防空壕跡（和歌山城虎伏山）            | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内）       | 昭和       | —   |
| 06  | 和歌山市 | あゝ予科練石碑                  | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内護国神社境内） | 昭和44年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 満蒙開拓青少年義勇軍顕彰碑            | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内護国神社境内） | 昭和38年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 「空」陸軍少年飛行兵石碑             | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内護国神社境内） | 昭和43年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 明治三十有七八年戦役記念碑            | 和歌山市和歌浦中1-5            | 明治39年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 忠魂碑                      | 和歌山市和歌浦中1-5            | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 四役戦亡記念碑                  | 和歌山市岡山丁（岡公園）           | 明治12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 四役戦亡記念碑側記                | 和歌山市岡山丁（岡公園）           | 明治16年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 征清記念標                    | 和歌山市岡山丁（岡公園）           | 明治28年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 征清記念標碑                   | 和歌山市岡山丁（岡公園）           | 明治31年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌山県忠霊塔                  | 和歌山市西高松（平和祈念資料館）       | 昭和16年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | ビルマ慰霊碑                   | 和歌山市西高松（平和祈念資料館）       | 昭和16年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 合奏碑                      | 和歌山市西高松（平和祈念資料館）       | 昭和16年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 万性寺内陸軍軍人墓地               | 和歌山市堀止西                | 昭和       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 満洲支那両事変忠魂安置之霊跡石碑         | 和歌山市堀止西（万性寺）           | 昭和15年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 深山重砲兵聯隊墓地                | 和歌山市深山                 | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 深山重砲兵連隊跡石碑               | 和歌山市深山                 | 昭和40年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 陸軍歩兵上等兵島本武○墓             | 和歌山市狐島（覚円寺）            | 昭和15年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 春日神社 忠魂碑                 | 和歌山市松江中（春日神社）          | 昭和13年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 陸軍歩兵少佐伊庭三郎墓              | 和歌山市鳴神（玄妙寺）            | 大正9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 陸軍輜重兵二等卒岡本善之助墓           | 和歌山市鳴神（玄妙寺）            | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 忠馬上重号之碑                  | 和歌山市和歌浦中（宗善寺）          | 昭和17年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 海軍水兵中谷伊之助記念碑             | 和歌山市田野（潮騒の小径入り口付近）     | 明治37年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 極楽寺 忠魂碑                  | 和歌山市雑賀崎（極楽寺）           | 昭和21年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故陸軍兵長木野滋次之碑              | 和歌山市雑賀崎（潮騒の小径脇）        | 昭和       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故海軍志願二等水兵木野龍之輔碑          | 和歌山市雑賀崎（潮騒の小径脇）        | 明治か      | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故海軍水兵木戸勘次郎記念碑            | 和歌山市雑賀崎（潮騒の小径脇）        | 明治37年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故海軍水兵寺井甚蔵碑               | 和歌山市雑賀崎（潮騒の小径脇）        | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故陸軍補充兵岩本善之助之碑            | 和歌山市雑賀崎（潮騒の小径脇）        | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故陸軍歩兵伍長勲八等功七級東出菊松之碑      | 和歌山市雑賀崎（潮騒の小径脇）        | 昭和       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 釋 善勇霊石碑                  | 和歌山市雑賀崎（潮騒の小径脇）        | 明治28年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 満願寺 忠魂碑                  | 和歌山市寺内（満願寺）            | 大正7年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故陸軍歩兵中佐従五位勲四等功三級宮脇巖之墓碑   | 和歌山市吉礼（浄徳寺）            | 昭和       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 浄徳寺 征露役忠死者之碑             | 和歌山市吉礼（浄徳寺）            | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 都麻津姫神社 殉国忠魂之碑            | 和歌山市吉礼（都麻津姫神社）         | 昭和28年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 海軍二等機関兵曹長勲八等山本八十助碑（倉田績書） | 和歌山市吉礼（吉礼地区墓地）         | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 川永小学校 忠魂碑                | 和歌山市楠本（川永小学校）          | 大正15年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 湊神社 殉国之碑                 | 和歌山市湊（湊神社）             | 昭和42年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 若宮八幡神社 忠魂碑               | 和歌山市紀三井寺（若宮八幡神社）       | 大正6年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 淡嶋神社 針塚                  | 和歌山市加太（淡嶋神社）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 万福寺 釋 義顕の石碑              | 和歌山市松江（万福寺）            | 昭和14年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 中橋地藏尊                    | 和歌山市福町                 | 昭和45年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 妙慶寺 忠魂碑                  | 和歌山市道場町（妙慶寺）           | 昭和13年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 陸軍歩兵軍曹北島石松之碑（倉田績書）       | 和歌山市北島（浄源寺）            | 明治37年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 戦災殉難者供養塔石柱               | 和歌山市西汀丁（汀公園）           | 昭和28年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 戦災殉難者供養塔                 | 和歌山市西汀丁（汀公園）           | 昭和28年    | —   |



| 小分類 | 市町村  | 名称                         | 所在地                    | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|----------------------------|------------------------|--------------|-----|
| 06  | 和歌山市 | 陸軍歩兵上等兵中原奈良之助碑<br>(倉田績書)   | 和歌山市西庄 (医徳寺)           | 明治40年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故陸軍歩兵准尉勲七等功六級西脇雄一郎碑        | 和歌山市西庄 (正円寺)           | 昭和13年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故陸軍上等兵勲八等功七級出口長市之碑         | 和歌山市西庄 (正円寺)           | 昭和17年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 磯脇八幡神社 忠魂碑                 | 和歌山市磯の浦 (磯脇八幡神社)       | 昭和14年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大年神社 忠魂碑                   | 和歌山市梅原 (大年神社)          | 昭和3年         | —   |
| 06  | 和歌山市 | 小畑繁之助碑 (倉田績書)              | 和歌山市福島 (光源寺)           | 明治           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 総持寺 忠魂碑                    | 和歌山市梶取 (総持寺)           | 大正6年         | —   |
| 06  | 和歌山市 | 福井重幸君頌徳碑                   | 和歌山市吹上 (大恩寺)           | 昭和14年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 日露戦役記念石碑                   | 和歌山市 (葛城霊場三之宿行所)       | 明治39年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 日露戦役凱旋記念灯籠                 | 和歌山市 (葛城霊場三之宿行所)       | 明治39年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故陸軍歩兵上等兵勲八等功七級畑秀和之碑        | 和歌山市榎原 (安養寺)           | 昭和           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高積神社 忠魂碑                   | 和歌山市禰宜 (高積神社北側)        | 大正8年         | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故陸軍歩兵曹長勲七等功七級栗栖音次郎之碑       | 和歌山市栗栖 (浄土寺)           | 明治           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故陸軍伍長勲八等功七級栗栖幸雄之碑          | 和歌山市栗栖 (浄土寺)           | 昭和           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故陸軍兵長勲八等功七級小谷倭夫之碑          | 和歌山市栗栖 (浄土寺)           | 昭和19年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 勲八等功七級陸軍歩兵上等兵大元菊太郎墓 (倉田績書) | 和歌山市岩橋 (法照寺)           | 明治           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正願寺墓地 忠霊之碑                 | 和歌山市鳴神 (正願寺墓地)         | 平成13年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 三光寺 日支事変戦病歿死者英霊供養塔         | 和歌山市吹上 (三光寺)           | 昭和15年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 卅七聯隊第一中隊〇〇寅樟碑              | 和歌山市吹上 (窓誉寺)           | 明治           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 報恩寺 南無妙法蓮華経萬霊塔             | 和歌山市吹上 (報恩寺)           | 昭和16年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 本光寺 英霊供養碑                  | 和歌山市吹上 (本光寺)           | 昭和4年         | —   |
| 06  | 和歌山市 | 了法寺 忠魂碑                    | 和歌山市坂田 (了法寺)           | 不明           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 中言神社 雄魂石碑                  | 和歌山市吉原 (中言神社)          | 昭和43年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 安原小学校 軍人忠魂碑                | 和歌山市江南 (安原小学校)         | 明治45年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 仏法寺 忠魂碑                    | 和歌山市伊太祁曽 (伊太祁曽神社付近仏法寺) | 明治45年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 東山東児童遊園 忠魂碑                | 和歌山市山東 (東山東児童遊園)       | 明治           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 伊久比売神社 忠魂碑                 | 和歌山市市小路 (伊久比売神社)       | 大正12年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故陸軍歩兵上等兵勲八等功七級小林時夫之碑       | 和歌山市鷹匠町 (延命院)          | 昭和12年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 陸軍歩兵伍長勲七等功七級虎谷利三郎之碑        | 和歌山市鷹匠町 (延命院)          | 明治           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高田曹長之碑                     | 和歌山市直川 (さんさんセンター紀の川東側) | 昭和10年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 神前 本土決戦陣地                  | 和歌山市神前 (法紹寺付近)         | 昭和           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 秋葉山 本土決戦陣地                 | 和歌山市秋葉町 (秋葉山秋葉交番付近)    | 昭和           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 天神山・高津子山本土決戦陣地             | 和歌山市 (天神山、高津子山)        | 昭和           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 冬野 本土決戦陣地                  | 和歌山市冬野 (若葉団地西側奥)       | 昭和           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 梅原 本土決戦陣地                  | 和歌山市梅原 (大年神社裏)         | 昭和           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大日山 本土決戦陣地                 | 和歌山市井辺 (大日山)           | 昭和           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 栗栖 本土決戦陣地                  | 和歌山市栗栖 (和歌山東警察署東側の山)   | 昭和           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 住吉神社 日露戦役記念碑               | 和歌山市西浜 (住吉神社)          | 明治39年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 西脇小学校 殉国忠霊之碑               | 和歌山市西庄 (西脇小学校)         | 昭和29年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 歩兵第六一聯隊跡                   | 和歌山市砂山南                | 明治42年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 歩兵大尉正七位勲四等松村春智之墓           | 和歌山市男野芝丁 (吹上寺)         | 不明           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 松平實之進招魂碑                   | 和歌山市新堀東 (久昌寺)          | 明治           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 故陸軍会計弍等副監督従六位遠藤衛君碑         | 和歌山市岡山丁 (岡公園)          | 明治           | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称                      | 所在地                        | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|-------------------------|----------------------------|--------------|-----|
| 06  | 和歌山市 | 紀州東照宮 奉納砲弾              | 和歌山市和歌浦西（本殿前）              | 明治           | —   |
| 06  | 和歌山市 | 米軍機雷・内火艇の錨・掃海艇の錨鎖       | 和歌山市西高松（平和祈念資料館）           | 昭和16年        | —   |
| 06  | 和歌山市 | 友ヶ島 砲弾                  | 和歌山市 友ヶ島                   | 不明           | —   |
| 06  | 海南市  | 温山荘公園内 忠魂碑／平和の塔         | 海南市船尾（温山荘公園内）              | 昭和35年        | —   |
| 06  | 海南市  | 招魂山 日露戦役記念碑             | 海南市船尾（招魂山中腹）               | 明治           | —   |
| 06  | 海南市  | 春日山 戦役記念碑               | 海南市大野中（春日山）                | 大正元年         | —   |
| 06  | 海南市  | 春日山 故先生生徒之霊             | 海南市大野中（春日山）                | 昭和3年～        | —   |
| 06  | 海南市  | 柿本神社 忠魂記念碑              | 海南市日方（柿本神社境内）              | 明治以降         | —   |
| 06  | 海南市  | 海南市日方 海南の空襲・慰霊碑         | 海南市日方                      | 平成14年        | —   |
| 06  | 海南市  | 福勝寺 日清戦役記念碑             | 海南市下津町橋本（福勝寺）              | 明治39年        | —   |
| 06  | 海南市  | 福勝寺 日露戦没記念碑             | 海南市下津町橋本（福勝寺）              | 明治39年        | —   |
| 06  | 海南市  | 須佐神社祇園社 忠魂碑             | 海南市下津町引尾（祇園社境内）            | 明治39年        | —   |
| 06  | 海南市  | 須佐神社祇園社 仁義村出征軍人招魂塔      | 海南市下津町引尾（祇園社境内）            | 昭和15年        | —   |
| 06  | 海南市  | 大崎観音堂 忠魂碑               | 海南市下津町大崎                   | 明治45年        | —   |
| 06  | 海南市  | 栗島神社 忠魂碑                | 海南市下津町方（栗島神社境内）            | 明治以降         | —   |
| 06  | 海南市  | 塩津忠魂碑                   | 海南市下津町塩津（塩津港塩津コミュニティセンター裏） | 大正15年        | —   |
| 06  | 海南市  | 加茂神社 忠魂碑                | 海南市下津町下（加茂神社境内）            | 明治以降         | —   |
| 06  | 海南市  | 長保寺 戦災死者慰霊地蔵尊           | 海南市下津町上（長保寺境内）             | 昭和33年        | —   |
| 06  | 海南市  | 加茂川小学校 忠魂碑              | 海南市下津町小松原                  | 不明           | —   |
| 06  | 紀美野町 | 野上八幡神社 忠魂碑              | 紀美野町小畑（野上八幡神社境内）           | 明治           | —   |
| 06  | 紀美野町 | 小川八幡神社 忠魂碑              | 紀美野町福井（小川八幡神社境内）           | 明治39年        | —   |
| 06  | 紀美野町 | 十三神社 頌魂神社               | 紀美野町野中（十三神社隣接）             | 昭和29年        | —   |
| 06  | 紀美野町 | 国吉熊野神社 忠魂碑              | 紀美野町田（熊野神社境内）              | 昭和45年        | —   |
| 06  | 紀美野町 | 丹生狩場神社 忠魂碑              | 紀美野町長谷宮                    | 大正6年？        | —   |
| 06  | 紀美野町 | 泉福寺 忠魂碑                 | 紀美野町長谷宮（泉福寺）               | 昭和9年         | —   |
| 06  | 紀美野町 | 泉福寺 日清日露大戦無名戦士忠魂碑       | 紀美野町長谷宮（泉福寺）               | 昭和38年        | —   |
| 06  | 紀美野町 | 泉福寺 護国之英霊追悼歌碑           | 紀美野町長谷宮（泉福寺）               | 昭和35年        | —   |
| 06  | 紀美野町 | 泉福寺 嗚呼世界大戦無名戦死者忠魂碑      | 紀美野町長谷宮（泉福寺）               | 昭和37年        | —   |
| 06  | 紀美野町 | 泉福寺 戦没陸海軍将官追善供養慰霊碑・護国神社 | 紀美野町長谷宮（泉福寺）               | 昭和40年        | —   |
| 06  | 紀美野町 | 泉福寺 マッカーサー元帥顕彰之碑        | 紀美野町長谷宮（泉福寺）               | 昭和42年        | —   |
| 06  | 紀美野町 | 樫河池北端 忠霊碑               | 紀美野町小畑                     | 昭和33年        | —   |
| 06  | 紀美野町 | 医王寺 慰霊碑                 | 紀美野町吉野（医王寺境内）              | 不明           | —   |
| 06  | 紀美野町 | 志賀野丹生神社 忠魂碑             | 紀美野町西野（志賀野丹生神社境内）          | 不明           | —   |
| 06  | 紀美野町 | 西方寺 忠魂碑                 | 紀美野町柴目（西方寺境内）              | 昭和23年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 塩谷伊勢守戦死跡碑               | 紀の川市桃山町最上                  | 昭和6年         | —   |
| 06  | 紀の川市 | 甘露寺 日露戦役忠魂碑             | 紀の川市貴志川町長原（甘露寺境内）          | 不明           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 甘露寺 殉国之碑                | 紀の川市貴志川町長原（甘露寺境内）          | 昭和51年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 甘露寺 征清忠魂碑               | 紀の川市貴志川町長原（甘露寺境内）          | 明治か          | —   |
| 06  | 紀の川市 | 大国主神社 忠魂碑               | 紀の川市（大国主神社境内）              | 不明           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 岩田美輝大尉之碑                | 紀の川市中三谷（春日神社前山）            | 明治40年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 殉国之碑                    | 紀の川市野上                     | 昭和23年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 忠魂碑                     | 紀の川市藤崎                     | 大正           | —   |
| 06  | 橋本市  | 一言主神社 日清日露戦役記念碑         | 橋本市山田（一言主神社）               | 明治39年        | —   |
| 06  | 橋本市  | 日露戦争碑                   | 橋本市橋谷                      | 不明           | —   |
| 06  | 橋本市  | 利生護国寺 戦役英霊供養塔           | 橋本市隅田町下兵庫（利生護国寺）           | 昭和33年？       | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称                           | 所在地                   | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|------------------------------|-----------------------|----------|-----|
| 06  | 橋本市  | 橋本駅米軍艦載機銃撃犠牲者追悼碑             | 橋本市古佐田（丸山公園）          | 平成24年    | —   |
| 06  | 橋本市  | 橋本駅米軍艦載機銃撃 駅舎板壁弾痕（移築）        | 橋本市古佐田（丸山公園）          | 昭和20年    | —   |
| 06  | 橋本市  | 陸軍中将航空本部長寺本熊市之碑              | 橋本市隅田町                | 不明       | —   |
| 06  | 橋本市  | 樽谷政之助記念碑                     | 橋本市向副（滝見山観音寺）         | 不明       | —   |
| 06  | 橋本市  | 河瀬墓地 戦没英霊供養塔                 | 橋本市河瀬（河瀬交差点北西側）       | 昭和27年    | —   |
| 06  | 橋本市  | 隅田八幡神社の忠勇遺範碑                 | 橋本市隅田町（隅田八幡神社境内）      | 大正2年     | —   |
| 06  | 橋本市  | 山田地区の忠魂碑                     | 橋本市出塔（薬師寺境内）          | 昭和30年    | —   |
| 06  | 橋本市  | 紀見の英霊供養塔                     | 橋本市紀見（不動寺境内）          | 昭和40年    | —   |
| 06  | 橋本市  | 岸上墓地の戦没者慰霊碑                  | 橋本市岸上（岸上墓地内）          | 平成19年    | —   |
| 06  | 橋本市  | 学文路村の忠魂碑                     | 橋本市学文路（学文路天満神社境内）     | 大正2年     | —   |
| 06  | 橋本市  | 高野口公園の忠魂碑                    | 橋本市高野口町名倉 庚申山（高野口公園内） | 明治46年    | —   |
| 06  | 橋本市  | 肉弾三勇士之碑                      | 橋本市高野口町名倉 庚申山（高野口公園内） | 昭和7年     | —   |
| 06  | 橋本市  | 清涼寺の忠魂碑                      | 橋本市高野口町小田（清涼寺境内）      | 明治？      | —   |
| 06  | 橋本市  | 陸軍歩兵上等兵児島〇〇之碑                | 橋本市古佐田（丸山公園）          | 明治30年    | —   |
| 06  | 橋本市  | 従軍記念碑                        | 橋本市古佐田（丸山公園北側旧護国神社境内） | 明治39年    | —   |
| 06  | 九度山町 | 九度山町忠魂碑                      | 九度山町九度山               | 大正15年    | —   |
| 06  | 九度山町 | 入郷区墓地 忠霊之碑                   | 九度山町入郷                | 昭和29年    | —   |
| 06  | 高野町  | 女人道（轆轤峠火見台跡下監視施設跡）           | 高野町大字高野山              | 昭和       | —   |
| 06  | 高野町  | 女人道（轆轤峠先火見台跡）                | 高野町大字高野山              | 昭和11年頃   | —   |
| 06  | 高野町  | 同期の桜供養塔                      | 高野町大字高野山553           | 昭和42年    | —   |
| 06  | 高野町  | 空挺落下傘部隊将兵の墓                  | 高野町大字高野山548           | 昭和       | —   |
| 06  | 高野町  | 日満支事変戦没者供養塔                  | 高野町大字高野山548           | 昭和       | —   |
| 06  | 高野町  | 航空殉難者之碑                      | 高野町大字高野山548           | 昭和       | —   |
| 06  | 高野町  | 高野町満州開拓団犠牲者慰霊碑               | 高野町大字高野山548           | 昭和29年    | —   |
| 06  | 高野町  | 海軍整備練生慰霊碑                    | 高野町大字高野山553           | 昭和57年    | —   |
| 06  | 高野町  | 高野山海軍航空隊供養塔                  | 高野町大字高野山553           | 昭和       | —   |
| 06  | 高野町  | 北ボルネオ戦没者慰霊碑                  | 高野町大字高野山548           | 昭和53年    | —   |
| 06  | 高野町  | 七尾市戦没者慰霊碑（十三重塔）              | 高野町大字高野山548           | 昭和       | —   |
| 06  | 高野町  | 陸軍歩兵大佐高城義孝墓（乃木大将之書）          | 高野町大字高野山548           | 明治       | —   |
| 06  | 高野町  | 伊号第34潜水艦戦士慰霊碑                | 高野町大字高野山553           | 昭和       | —   |
| 06  | 高野町  | 陸士第56期慰霊碑                    | 高野町大字高野山553           | 昭和54年    | —   |
| 06  | 高野町  | 明治27・28年日新之役・明治33年北清事変戦死者忠魂碑 | 高野町大字高野山548           | 明治       | —   |
| 06  | 高野町  | 沖繩戦戦没者高野山供養塔                 | 高野町大字高野山              | 昭和39年    | —   |
| 06  | 高野町  | 「ああ 同期の桜」碑                   | 高野町大字高野山              | 不明       | —   |
| 06  | 高野町  | 和歌山県特別攻撃隊供養塔                 | 高野町大字高野山              | 不明       | —   |
| 06  | 高野町  | 高野山海軍航空隊 平和祈願供養塔             | 高野町大字高野山              | 昭和62年    | —   |
| 06  | 高野町  | 和歌山県海外引揚物故者供養塔               | 高野町大字高野山              | 昭和45年    | —   |
| 06  | 高野町  | 和歌山県伊都郡戦没者追悼慰霊碑              | 高野町大字高野山              | 不明       | —   |
| 06  | 高野町  | 英霊殿 大東亜戦争一般無縁者之墓・無縁戦士之墓      | 高野町大字高野山              | 不明       | —   |
| 06  | 高野町  | 成福院摩尼宝塔                      | 高野町大字高野山              | 不明       | —   |
| 06  | 高野町  | ビルマ戦没者納骨塔                    | 高野町大字高野山              | 昭和55年    | —   |
| 06  | 高野町  | 戦艦陸奥殉職者供養塔                   | 高野町大字高野山              | 昭和48年    | —   |
| 06  | 高野町  | 独立工兵第十五連隊戦没者慰霊碑              | 高野町大字高野山              | 不明       | —   |
| 06  | 高野町  | 山砲兵第十五連隊慰霊碑                  | 高野町大字高野山              | 不明       | —   |
| 06  | 高野町  | 飛行第八連隊第十九飛行場大隊供養塔            | 高野町大字高野山              | 不明       | —   |
| 06  | 高野町  | 近衛歩兵第四連隊戦没者慰霊塔               | 高野町大字高野山              | 不明       | —   |
| 06  | 高野町  | 海防艦「大東」戦没者慰霊碑                | 高野町大字高野山              | 昭和52年    | —   |



| 小分類 | 市町村   | 名称                                | 所在地                    | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|-------|-----------------------------------|------------------------|----------|-----|
| 06  | 高野町   | 第十五号海防艦鎮魂碑                        | 高野町大字高野山               | 平成5年     | —   |
| 06  | 高野町   | 海軍通信学校第四十一期慰霊碑                    | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | 海軍通信学校第五十二期慰霊碑                    | 高野町大字高野山               | 昭和50年    | —   |
| 06  | 高野町   | 昭和殉難者法務死慰霊碑                       | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | 大阪府八尾市戦没者英霊塔                      | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | 大阪市東成区中本校下戦殉英霊供養碑                 | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | 兵庫県三木市戦没者英霊供養塔                    | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | 兵庫県尼崎市戦没英霊供養塔                     | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | 三重県飯高郡出身英霊供養塔                     | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | 前橋陸軍予備士官学校慰霊碑                     | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | 東部ニューギニア派遣第四十四兵站地区隊猛第四八一七部隊戦没者慰霊塔 | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | アンボン島海軍特別陸戦隊戦士之碑                  | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | 黒龍江省富錦第七七五部隊慰霊碑                   | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | 三光汽船慰霊碑                           | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | 国際運輸株式会社 慰霊碑                      | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | 高野町   | 高野山海軍航空隊適性部隊跡（本寺院）                | 高野町大字高野山               | 不明       | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 平和の礎・かつらぎ町戦没者忠魂塔                  | かつらぎ町丁ノ町（かつらぎ公園）       | 昭和55年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡山忠魂碑                            | かつらぎ町妙寺                | 明治40年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡山忠魂碑前石灯籠                        | かつらぎ町妙寺                | 昭和25年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡山忠魂碑建設記念略歴碑                     | かつらぎ町妙寺                | 昭和22年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大谷神社忠魂碑                           | かつらぎ町大谷                | 明治43年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 元興寺英霊供養碑                          | かつらぎ町大谷                | 昭和26年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社忠魂碑                          | かつらぎ町萩原                | 明治39年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡神社慰霊碑                           | かつらぎ町高田                | 昭和10年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡神社国旗掲揚台                         | かつらぎ町高田                | 昭和13年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 高田共同墓地忠魂碑                         | かつらぎ町高田                | 昭和25年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 極楽寺戦没者慰霊碑                         | かつらぎ町滝                 | 明治39年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大宮神社忠魂碑                           | かつらぎ町広口                | 明治31年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 栄光宮                               | かつらぎ町平沼田               | 昭和か      | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 地福寺満州開拓殉職母子之碑                     | かつらぎ町平沼田               | 昭和22年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 忠魂碑                               | かつらぎ町東浜田               | 明治39年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡神社忠魂碑                           | かつらぎ町下天野               | 大正11年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 報国神社花立                            | かつらぎ町志賀                | 大正8年     | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 正覚寺記念碑                            | かつらぎ町新城                | 明治38年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 久木丹生神社軍人招魂碑                       | かつらぎ町花園久木（久木丹生神社）      | 明治39年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 下花園神社忠魂碑                          | かつらぎ町花園梁瀬（下花園神社）       | 大正14年    | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 北寺観音堂軍人招魂碑                        | かつらぎ町花園下北寺（北寺観音堂）      | 明治34年    | —   |
| 06  | 有田市   | 宮崎ノ鼻                              | 有田市宮崎町                 | 江戸～明治    | —   |
| 06  | 有田市   | 遠見番所（御番所）                         | 有田市宮崎町（宮崎の鼻）船越から約300m西 | 江戸～明治    | —   |
| 06  | 有田市   | 番所跡近くの墓碑（8基）                      | 有田市宮崎町（宮崎ノ鼻）           | 江戸～明治    | —   |
| 06  | 有田市   | 狼煙場                               | 有田市宮崎町（女ノ浦）            | 江戸～明治    | —   |
| 06  | 有田市   | 箕島陣所                              | 有田市箕島                  | 江戸～明治    | —   |
| 06  | 有田市   | 北湊浦詰                              | 有田市港町                  | 江戸～明治    | —   |
| 06  | 有田市   | 龍（辰）ヶ浜詰                           | 有田市宮崎町                 | 江戸～明治    | —   |
| 06  | 有田市   | 高田浦詰                              | 有田市千田                  | 江戸～明治    | —   |
| 06  | 有田市   | 戦災者の碑（昭和20年東燃空襲）                  | 有田市初島町                 | 昭和44年    | —   |
| 06  | 有田市   | あゝ特幹顕彰の碑（東燃関係）                    | 有田市初島町                 | 平成3年     | —   |
| 06  | 有田市   | 奉公碑（日清日露戦争）                       | 有田市宮原町滝川原（水神社跡地）       | 明治44年    | —   |
| 06  | 有田市   | 霊安殿（西南戦争以降の英霊）                    | 有田市宮原町滝川原（水神社跡地）       | 昭和       | —   |
| 06  | 有田市   | 善国寺 萬国英霊供養塔                       | 有田市宮原町（善国寺）            | 不明       | —   |
| 06  | 有田市   | 岩室山 忠霊塔（大東亜戦争記念塔）                 | 有田市                    | 昭和18年    | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称                    | 所在地                   | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|-----------------------|-----------------------|--------------|-----|
| 06  | 有田市  | 本光寺 殉国碑？（お堂）          | 有田市新堂（本光寺）            | 不明           | —   |
| 06  | 有田市  | 須佐神社 殉国碑              | 有田市保田（須佐神社）           | 不明           | —   |
| 06  | 有田市  | 有田公園 忠魂碑              | 有田市糸我（有田公園）           | 大正9年         | —   |
| 06  | 有田市  | 殉国碑                   | 有田市野                  | 不明           | —   |
| 06  | 有田市  | 忠魂碑                   | 有田市山地                 | 不明           | —   |
| 06  | 有田市  | 殉国碑                   | 有田市男浦                 | 不明           | —   |
| 06  | 有田市  | 安養寺 殉国碑               | 有田市古江見（安養寺）           | 不明           | —   |
| 06  | 有田市  | 蓮華寺 英霊塔               | 有田市宮崎（蓮華寺前辰ヶ浜霊園内）     | 昭和59年        | —   |
| 06  | 有田市  | 中御堂 殉国碑               | 有田市小豆島（中御堂、小豆島墓地内）    | 昭和27年        | —   |
| 06  | 有田市  | 箕島港東共同墓地 殉国碑          | 有田市港町（箕島港東共同墓地内）      | 昭和27年        | —   |
| 06  | 有田市  | 矢櫃 殉国英霊塔              | 有田市矢櫃（矢櫃公民館西側）        | 昭和28年        | —   |
| 06  | 有田市  | 港町共同墓地 殉国碑            | 有田市港町（港町共同墓地内）        | 昭和28年？       | —   |
| 06  | 有田市  | 初島支所 殉国之碑             | 有田市初島町（初島支所敷地内）       | 昭和           | —   |
| 06  | 有田市  | ウエノ公園 顕彰碑・無縁塔・供養塔     | 有田市宮崎町（ウエノ公園）         | 昭和25年        | —   |
| 06  | 有田市  | 須佐神社 砲弾               | 有田市保田（須佐神社）           | 不明           | —   |
| 06  | 湯浅町  | 満願寺 招魂碑               | 湯浅町湯浅（満願寺）            | 明治29年        | —   |
| 06  | 湯浅町  | 顯國神社 忠魂碑              | 湯浅町湯浅（顯國神社）           | 大正5年         | —   |
| 06  | 湯浅町  | 施無畏寺 忠魂碑              | 湯浅町栖原（施無畏寺）           | 大正4年         | —   |
| 06  | 広川町  | 津木村忠魂碑                | 広川町上津木（老賀八幡神社）        | 大正2年         | —   |
| 06  | 広川町  | 南広村忠魂碑                | 広川町上中野（法蔵寺）           | 大正4年         | —   |
| 06  | 広川町  | 広村忠魂碑                 | 広川町広（広村堤防）            | 明治39年        | —   |
| 06  | 広川町  | 教専寺忠魂碑                | 広川町広（教専寺）             | 昭和27年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 藤並神社 藤並村忠魂碑           | 有田川町天満（藤並神社境内）        | 昭和27年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 田殿丹生神社 田殿村忠魂碑         | 有田川町出（田殿丹生神社境内）       | 明治45年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 御霊村忠魂碑                | 有田川町庄                 | 大正7年         | —   |
| 06  | 有田川町 | 瀬井地藏寺の忠魂碑             | 有田川町瀬井（地藏寺境内）         | 明治37年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 鳥屋城村忠魂碑               | 有田川町中井原（金屋中学校裏鳥屋城山公園） | 大正9年         | —   |
| 06  | 有田川町 | 堀畑栄吉氏慰霊碑              | 有田川町小川                | 明治39年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 若宮八幡社 生石地区忠魂碑         | 有田川町下六川（若宮八幡社境内）      | 大正6年         | —   |
| 06  | 有田川町 | 五名生石神社 五西月城村忠魂碑       | 有田川町本堂（五名生石神社境内）      | 大正2年         | —   |
| 06  | 有田川町 | 観音寺 大東亜戦争戦没者慰霊塔       | 有田川町字井苔（観音寺境内）        | 昭和38年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 三大神社 安諦村忠魂碑           | 有田川町板尾（三大神社境内）        | 大正15年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 八幡神社 八幡村忠魂碑           | 有田川町清水（八幡神社境内）        | 昭和8年         | —   |
| 06  | 有田川町 | 城山神社 城山村忠魂碑           | 有田川町二川（城山神社境内）        | 昭和14年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 五郷神社 戦没者慰霊碑           | 有田川町中原（五郷神社境内）        | 昭和39年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 吉祥寺 慰霊碑               | 有田川町粟生（吉祥寺境内）         | 昭和24年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 城山神社 殉国碑              | 有田川町二川                | 昭和29年        | —   |
| 06  | 有田川町 | ますらおの碑                | 有田川町日物川（丹生大明神境内西隣）    | 昭和34年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 忠魂碑                   | 有田川町境川（西福寺境内）         | 昭和31年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 楠本村忠魂碑                | 有田川町楠本（生石神社社殿下道沿い）    | 大正8年         | —   |
| 06  | 有田川町 | 戊辰戦争戦死者供養碑            | 有田川町大蔵（東福寺境内）         | 明治23年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 宮原村奉公碑                | 有田川町滝川原               | 明治44年        | —   |
| 06  | 有田川町 | 石垣村忠魂碑                | 有田川町吉原（国道42号沿い）       | 昭和7年         | —   |
| 06  | 有田川町 | 西光寺 殉国英霊之碑            | 有田川町沼田（西光寺境内）         | 昭和52年        | —   |
| 06  | 御坊市  | 軍需工場旧日の出紡績のレンガ堀に残る戦争跡 | 御坊市藁、名屋               | 昭和           | —   |
| 06  | 御坊市  | 民家（中松金物店）地下に残る防空壕     | 御坊市御坊                 | 昭和           | —   |
| 06  | 御坊市  | 源行寺                   | 御坊市藁                  | 昭和           | —   |
| 06  | 御坊市  | 砲台附属施設（トーチカ）          | 御坊市野口                 | 昭和           | —   |
| 06  | 御坊市  | 山本五十六元帥家族の疎開先         | 御坊市塩屋町                | 昭和           | —   |
| 06  | 御坊市  | 安養寺の戦没者之碑             | 御坊市湯川町財部（安養寺）         | 昭和32年        | —   |
| 06  | 御坊市  | 軍馬の墓・陸軍輜重兵中尉東隆一墓      | 御坊市熊野（西福寺）            | 昭和15年        | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称                      | 所在地                 | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|-------------------------|---------------------|--------------|-----|
| 06  | 御坊市  | 大溪寺 忠魂碑                 | 御坊市富安               | 昭和43年        | —   |
| 06  | 御坊市  | 塩屋小学校 忠魂碑               | 御坊市塩屋町南塩屋           | 大正9年         | —   |
| 06  | 御坊市  | 極楽寺 忠魂碑                 | 御坊市名田町上野            | 昭和3年         | —   |
| 06  | 御坊市  | 九品寺 忠魂碑                 | 御坊市湯川町小松原           | 昭和7年         | —   |
| 06  | 御坊市  | 小竹八幡神社 慰霊碑              | 御坊市藺（小竹八幡神社）        | 平成6年         | —   |
| 06  | 美浜町  | 海軍日ノ御埼防備衛所・特設見張所跡地      | 美浜町三尾               | 昭和17年        | —   |
| 06  | 美浜町  | 旧紀伊日ノ御埼灯台跡 機銃掃射弾痕       | 美浜町三尾               | 昭和           | —   |
| 06  | 美浜町  | トーチカ3基                  | 美浜町和田（入山）           | 昭和           | —   |
| 06  | 美浜町  | 地下壕（10カ所以上）             | 美浜町和田（入山）           | 昭和           | —   |
| 06  | 美浜町  | 地下壕（10カ所以上）             | 美浜町和田（本の脇）          | 昭和           | —   |
| 06  | 美浜町  | 「閑院・梨本・朝香・賀陽各宮殿下台臨之地」の碑 | 美浜町吉原（上人松付近海岸沿い）    | 昭和7年         | —   |
| 06  | 美浜町  | 被爆者慰霊塔                  | 美浜町濱ノ瀬（濱ノ瀬延寿会館前）    | 昭和46年        | —   |
| 06  | 美浜町  | 松見寺の忠魂碑                 | 美浜町松原（松見寺）          | 昭和12年        | —   |
| 06  | 美浜町  | 御崎神社の忠魂碑                | 美浜町和田（御崎神社東側の松林）    | 大正8年         | —   |
| 06  | 美浜町  | 安宅萬吉君墓誌銘                | 美浜町松原（松見寺）          | 明治32年        | —   |
| 06  | 日高町  | 秩父宮御台臨記念碑               | 日高町萩原873-1（清水井橋畔）   | 昭和7年         | —   |
| 06  | 日高町  | 萩原地内忠魂碑                 | 日高町萩原               | 大正11年        | —   |
| 06  | 日高町  | 誓願寺 小中地内忠魂碑             | 日高町小中（誓願寺境内）        | 大正9年         | —   |
| 06  | 日高町  | 中志賀薬師山 中志賀地内忠魂碑         | 日高町志賀（中志賀薬師山頂上）     | 大正5年         | —   |
| 06  | 日高町  | 御霊神社 小浦地内忠魂碑            | 日高町小浦（御霊神社境内）       | 昭和35年        | —   |
| 06  | 日高町  | 比井地内忠魂碑                 | 日高町比井（比井若一王子神社南西の丘） | 昭和3年         | —   |
| 06  | 由良町  | 紀伊防備隊基地跡                | 由良町里                | 昭和14～20年     | —   |
| 06  | 由良町  | 白崎の回天基地跡                | 由良町大引               | 昭和           | —   |
| 06  | 由良町  | 阿戸の防空壕                  | 由良町阿戸               | 昭和           | —   |
| 06  | 由良町  | 海防艦戦死者供養塔               | 由良町糸谷（海岸沿い）         | 昭和32年        | —   |
| 06  | 由良町  | 戦死者命名塔                  | 由良町糸谷（海岸沿い）         | 昭和63年        | —   |
| 06  | 由良町  | 海防艦第三十号慰霊碑の由来碑          | 由良町糸谷（海岸沿い）         | 昭和32年        | —   |
| 06  | 由良町  | 紀伊防備隊鎮魂碑                | 由良町糸谷（海岸沿い）         | 昭和57年        | —   |
| 06  | 由良町  | 興国寺 平和の塔                | 由良町門前（興国寺）          | 昭和54年        | —   |
| 06  | 由良町  | 海軍紀伊防備隊の防波堤             | 由良町阿戸               | 昭和18年        | —   |
| 06  | 由良町  | 興国寺の忠魂碑                 | 由良町門前（興国寺）          | 明治           | —   |
| 06  | 由良町  | 法林寺の戦没死者碑               | 由良町衣奈（法林寺）          | 明治43年        | —   |
| 06  | 由良町  | 白崎村の忠魂碑                 | 由良町大引（あじさい園）        | 昭和27年        | —   |
| 06  | 由良町  | 余興寺の殉国碑                 | 由良町網代（余興寺）          | 昭和29年        | —   |
| 06  | 由良町  | 鷺林寺の忠霊碑                 | 由良町三尾川（鷺林寺）         | 昭和29年        | —   |
| 06  | 由良町  | 長谷寺の殉国碑                 | 由良町畑（長谷寺）           | 昭和29年        | —   |
| 06  | 由良町  | 専福寺の殉国之碑                | 由良町江の駒（専福寺）         | 昭和32年        | —   |
| 06  | 由良町  | 衣奈地区出身戦没者慰霊碑            | 由良町衣奈（法林寺）          | 昭和56年        | —   |
| 06  | 日高川町 | 道成寺 顕忠記念碑               | 日高川町鐘巻（道成寺境内）       | 明治33年        | —   |
| 06  | 日高川町 | 日露戦争従軍記念碑               | 日高川町佐井（集会所脇）        | 明治39年        | —   |
| 06  | 日高川町 | 松井大佐表忠碑                 | 日高川町和佐（光性寺）         | 昭和10年        | —   |
| 06  | 日高川町 | 軍医玉置泰順の碑                | 日高川町鐘巻（道成寺三重塔脇）     | 明治10年        | —   |
| 06  | 日高川町 | 谷口幸太郎氏の碑                | 日高川町江川（阿弥陀寺境内）      | 昭和18年        | —   |
| 06  | 日高川町 | 淘汰寺の忠魂碑                 | 日高川町高津尾（淘汰寺境内）      | 大正8年         | —   |
| 06  | 日高川町 | 偏照寺の忠霊碑                 | 日高川町愛川（偏照寺境内）       | 明治39年        | —   |
| 06  | 日高川町 | 安楽寺の忠霊碑                 | 日高川町寒川（安楽寺境内）       | 大正10年        | —   |
| 06  | 日高川町 | 皆瀬の殉国碑                  | 日高川町皆瀬（上湯川皆瀬線沿い）    | 昭和33年？       | —   |
| 06  | 日高川町 | 松林寺の忠霊碑                 | 日高川町初湯川（松林寺境内）      | 昭和42年        | —   |
| 06  | 日高川町 | 桂木の殉国碑                  | 日高川町愛川（新桂木トンネル東側）   | 昭和44年        | —   |
| 06  | 日高川町 | 平和の礎（英霊之碑）              | 日高川町高津尾（日高川交流センター前） | 平成26年        | —   |
| 06  | 印南町  | 光明寺の石梵鐘                 | 印南町島田（光明寺）          | 昭和16年        | —   |
| 06  | 印南町  | 西神ノ川の忠魂碑                | 印南町西神ノ川（神濃薬師堂）      | 大正10年        | —   |
| 06  | 印南町  | 稲原の忠魂碑                  | 印南町稲原（稲原防災センター）     | 大正12年        | —   |



| 小分類 | 市町村  | 名称               | 所在地               | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|------------------|-------------------|--------------|-----|
| 06  | 印南町  | 印定寺の忠魂碑          | 印南町印南（印定寺）        | 昭和7年         | —   |
| 06  | 印南町  | 光明寺の忠魂碑          | 印南町島田（光明寺）        | 昭和9年         | —   |
| 06  | 印南町  | 永福寺の忠魂塔          | 印南町古井（永福寺墓地）      | 昭和？          | —   |
| 06  | みなべ町 | 須賀神社の忠魂碑         | みなべ町西本庄（須賀神社境内）   | 大正2年         | —   |
| 06  | みなべ町 | 高城の忠魂碑           | みなべ町高野            | 昭和27年        | —   |
| 06  | みなべ町 | 清川天宝神社の忠魂碑       | みなべ町清川（清川天宝神社境内）  | 昭和           | —   |
| 06  | みなべ町 | 名之内大東亜戦没者墓       | みなべ町清川            | 昭和28年        | —   |
| 06  | みなべ町 | 名之内忠魂碑           | みなべ町清川            | 昭和28年        | —   |
| 06  | みなべ町 | 来迎寺 「礎 散華の魂」 碑   | みなべ町東本庄（来迎寺境内）    | 平成8年         | —   |
| 06  | 田辺市  | 海軍正八位中川亀吉碑       | 田辺市稲成町            | 明治           | —   |
| 06  | 田辺市  | 忠魂碑              | 田辺市秋津町            | 明治           | —   |
| 06  | 田辺市  | 士官候補生志波八十八君碑     | 田辺市秋津町            | 明治           | —   |
| 06  | 田辺市  | 秋津川稲成神社 日露役記念碑   | 田辺市秋津川（秋津川稲成神社）   | 明治           | —   |
| 06  | 田辺市  | 忠魂碑              | 田辺市東陽             | 明治           | —   |
| 06  | 田辺市  | 闘雞神社 興亜聖戦忠魂碑     | 田辺市東陽（闘雞神社境内）     | 昭和           | —   |
| 06  | 田辺市  | 闘雞神社 忠魂碑         | 田辺市東陽（闘雞神社境内）     | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 大谷倉七記念碑          | 田辺市中万呂            | 明治           | —   |
| 06  | 田辺市  | 出征記念碑            | 田辺市中辺路町大内川        | 明治           | —   |
| 06  | 田辺市  | 阪本捨四郎碑           | 田辺市中辺路町栗栖川        | 明治           | —   |
| 06  | 田辺市  | 坂本新助兵曹碑          | 田辺市上秋津            | 大正           | —   |
| 06  | 田辺市  | 上山路村忠魂碑          | 田辺市龍神村東           | 大正           | —   |
| 06  | 田辺市  | 中山路村忠魂碑          | 田辺市龍神村柳瀬          | 大正           | —   |
| 06  | 田辺市  | 龍神村忠魂碑           | 田辺市龍神村龍神          | 大正           | —   |
| 06  | 田辺市  | 下山路村忠魂碑          | 田辺市龍神村            | 大正           | —   |
| 06  | 田辺市  | 戦傷者之碑            | 田辺市稲成町            | 昭和           | —   |
| 06  | 田辺市  | 戸田晴夫君墓碑          | 田辺市古尾             | 昭和           | —   |
| 06  | 田辺市  | 秀峯義勇居士墓碑         | 田辺市秋津町            | 昭和           | —   |
| 06  | 田辺市  | 早稲田三等機関兵曹碑       | 田辺市上秋津            | 昭和           | —   |
| 06  | 田辺市  | 岡田海軍一等水兵碑        | 田辺市上秋津            | 昭和           | —   |
| 06  | 田辺市  | 忠臣乃木大将碑          | 田辺市下三栖            | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 軍人軍属招魂碑          | 田辺市下三栖            | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 上芳養小学校 忠魂碑       | 田辺市上芳養（上芳養小学校校庭）  | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 稲成神社 忠魂碑         | 田辺市稲成（稲成神社境内）     | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 八幡神社 忠魂碑         | 田辺市中芳養（八幡神社境内）    | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 珠簾神社 忠魂碑         | 田辺市三栖（珠簾神社境内）     | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 大神社 忠魂碑          | 田辺市芳養（大神社境内）      | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 川上神社 忠魂碑         | 田辺市上秋津（川上神社境内）    | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 秋津川稲成神社 忠魂碑      | 田辺市秋津川（秋津川稲成神社境内） | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 東光寺 戦没者之霊碑       | 田辺市新庄町（東光寺境内）     | 昭和45年        | —   |
| 06  | 田辺市  | 長野八幡神社 忠魂碑       | 田辺市長野（長野八幡神社境内）   | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 春日神社 忠魂碑         | 田辺市下川下（春日神社鳥居横）   | 大正元年         | —   |
| 06  | 田辺市  | 須佐神社 頌徳社         | 田辺市万呂（須佐神社境内）     | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 豊秋津神社 頌徳社？       | 田辺市秋津（豊秋津神社境内）    | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 千光寺 英霊堂          | 田辺市上秋津（千光寺境内）     | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 万福寺 英霊堂（お砂箱）     | 田辺市秋津川（万福寺境内）     | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 震洋の基地跡（鳥の巣平和公園）  | 田辺市新庄町            | 昭和24年        | —   |
| 06  | 田辺市  | 平和の塔             | 田辺市龍神村            | 昭和           | —   |
| 06  | 田辺市  | B29墜落地・慰霊碑       | 田辺市龍神村殿原          | 昭和           | —   |
| 06  | 田辺市  | 慰霊碑              | 田辺市龍神村龍神          | 昭和           | —   |
| 06  | 田辺市  | 田辺文里港 海外引揚者上陸記念碑 | 田辺市文里2丁目          | 昭和21年        | —   |
| 06  | 田辺市  | 大浜台場             | 田辺市上屋敷2丁目         | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 梅田宅吉の碑           | 田辺市上秋津            | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 故那須庄吉エ門忠魂碑       | 田辺市長野             | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 花木徳松碑            | 田辺市新庄町            | 不明           | —   |
| 06  | 田辺市  | 殉国乙女の碑           | 田辺市新庄町（東光寺境内）     | 昭和45年        | —   |
| 06  | 白浜町  | 臨海海軍部隊跡地         | 白浜町臨海             | 昭和20年        | —   |
| 06  | 白浜町  | 市江崎特設見張場         | 白浜町市江             | 昭和19年        | —   |

| 小分類    | 市町村   | 名称                   | 所在地              | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|--------|-------|----------------------|------------------|----------|-----|
| 06     | 白浜町   | 草堂寺 忠魂碑              | 白浜町富田            | 明治39年    | —   |
| 06     | 白浜町   | 林翁寺 忠魂碑              | 白浜町内ノ川           | 明治40年    | —   |
| 06     | 白浜町   | 熊野三所神社 忠魂碑           | 白浜町白浜            | 昭和7年     | —   |
| 06     | 白浜町   | 西富田小学校 忠魂碑           | 白浜町西富田           | 昭和11年    | —   |
| 06     | 白浜町   | 元小学校校庭 慰霊碑           | 白浜町中             | 昭和19年    | —   |
| 06     | 白浜町   | 満願寺 忠魂之碑             | 白浜町東富田（満願寺境内）    | 昭和31年    | —   |
| 06     | 白浜町   | 九軒駒古墓碑               | 白浜町 瀬戸（本覚寺）      | 明治？      | —   |
| 06     | 白浜町   | 故海軍一等水兵勲八等功七級芝田五十吉之墓 | 白浜町 瀬戸（本覚寺）      | 明治40年    | —   |
| 06     | 白浜町   | 故陸軍歩兵軍曹榎本嶋市之碑        | 白浜町栄（観福寺）        | 明治39年    | —   |
| 06     | 白浜町   | 大原松四郎君墓              | 白浜町（南富田中の墓地）     | 大正9年     | —   |
| 06     | 白浜町   | 故海軍二等機関兵中岩茂平之碑       | 白浜町富田（草堂寺境内）     | 明治37年    | —   |
| 06     | 白浜町   | 普門寺 慰霊之碑             | 白浜町椿（普門寺境内）      | 昭和60年    | —   |
| 06     | 白浜町   | 三須和神社の忠魂碑            | 白浜町安居            | 明治？      | —   |
| 06     | 白浜町   | 日出神社の忠魂碑             | 白浜町日置（日出神社境内）    | 明治44年    | —   |
| 06     | 上富田町  | 岩崎不動山の狼煙跡            | 上富田町岩崎（不動山）      | 幕末       | —   |
| 06     | 上富田町  | 三宝寺裏山 狼煙跡            | 上富田町岩田           | 幕末       | —   |
| 06     | 上富田町  | 櫛原神社の忠魂碑             | 上富田町朝来（櫛原神社）     | 大正6年     | —   |
| 06     | 上富田町  | 櫛原神社の御霊碑             | 上富田町朝来（櫛原神社）     | 昭和41年    | —   |
| 06     | 上富田町  | 妙道寺の戦没者之碑            | 上富田町朝来（妙道寺）      | 昭和29年    | —   |
| 06     | 上富田町  | 不動産入口の戦没者之碑          | 上富田町朝来（不動産入口）    | 昭和48年    | —   |
| 06     | すさみ町  | 江須崎特設見張所跡地           | すさみ町江住           | 昭和19年    | —   |
| 06     | 新宮市   | 旧新宮高等女学校空爆跡          | 新宮市伊佐田町2丁目1      | 昭和20年    | —   |
| 06     | 新宮市   | 熊野大橋橋脚空爆跡            | 新宮市              | 昭和20年    | —   |
| 06     | 新宮市   | 防空壕                  | 新宮市丹鶴（登坂）、相筋     | 昭和       | —   |
| 06     | 新宮市   | 丙寅戦死者の碑              | 新宮市新宮（南谷墓地）      | 明治11年    | —   |
| 06     | 新宮市   | 熊野速玉大社 忠魂碑           | 新宮市新宮（熊野速玉大社境内）  | 明治41年    | —   |
| 06     | 新宮市   | 戦災震災慰霊塔              | 新宮市新宮（南谷墓地）      | 昭和51年    | —   |
| 06     | 新宮市   | 戦災震災復興顕彰碑            | 新宮市下本町（旧新宮市民会館前） | 昭和53年    | —   |
| 06     | 新宮市   | 日露戦役三十年記念碑           | 新宮市王子町（王子神社境内）   | 不明       | —   |
| 06     | 那智勝浦町 | 雲揚艦殉難者墓碑             | 那智勝浦町宇久井太唐地      | 明治9年     | —   |
| 06     | 那智勝浦町 | 妙宝山の忠魂碑              | 那智勝浦町色川          | 明治42年    | —   |
| 06     | 那智勝浦町 | 教育基金碑                | 那智勝浦町天満（円心寺）     | 明治39年    | —   |
| 06     | 那智勝浦町 | 大泰寺 忠魂碑              | 那智勝浦町下和田（大泰寺境内）  | 大正10年？   | —   |
| 06     | 太地町   | 東明寺の防空壕              | 太地町太地（東明寺境内）     | 昭和       | —   |
| 06     | 古座川町  | 高池小学校 忠魂碑            | 古座川町高池（高池小学校裏）   | 昭和       | —   |
| 06     | 古座川町  | 忠魂碑                  | 古座川町高池高池         | 昭和       | —   |
| 06     | 古座川町  | 旧小川小学校 忠魂碑           | 古座川町椎平（旧小川小学校裏）  | 昭和       | —   |
| 06     | 北山村   | 忠霊塔                  | 東牟婁郡北山村大沼        | 昭和17年    | —   |
| 06     | 串本町   | B29墜落場所              | 串本町潮岬            | 昭和20年    | —   |
| 06     | 串本町   | 海軍特設見張所跡             | 串本町潮岬            | 昭和       | —   |
| 06     | 串本町   | 海軍望楼跡                | 串本町潮岬            | 昭和       | —   |
| 06     | 串本町   | 串本造船所防空壕             | 串本町串本            | 昭和       | —   |
| 06     | 串本町   | イサデ飛行場燃料倉庫           | 串本町潮岬            | 昭和4年     | —   |
| 06     | 串本町   | 空襲被害場所（串本）           | 串本町串本            | 昭和20年    | —   |
| 06     | 串本町   | 空襲被害場所（潮岬）           | 串本町潮岬            | 昭和20年    | —   |
| 06     | 串本町   | 空襲被害場所（和深）           | 串本町和深            | 昭和20年    | —   |
| 06     | 串本町   | 空襲被害場所（出雲）           | 串本町出雲            | 昭和20年    | —   |
| 06     | 串本町   | 潮騒の森防空壕              | 串本町潮岬            | 昭和19年    | —   |
| 06     | 串本町   | 海軍機銃第2陣地跡            | 串本町串本            | 昭和       | —   |
| 06     | 串本町   | 海軍軍需部横穴壕             | 串本町大島            | 昭和       | —   |
| 06     | 串本町   | 空襲被害場所（上田原）          | 串本町上田原           | 昭和20年    | —   |
| 06     | 串本町   | 海軍無線送信所              | 串本町串本            | 昭和       | —   |
| 06     | 串本町   | 空襲被害場所（姫川）           | 串本町姫川            | 昭和20年？   | —   |
| 06     | 串本町   | 津荷防空壕跡               | 串本町津荷            | 昭和       | —   |
| 06     | 串本町   | 海軍基地門柱跡              | 串本町串本            | 昭和       | —   |
| 06     | 串本町   | 海軍機銃第1陣地台座跡          | 串本町串本            | 昭和       | —   |
| 06     | 串本町   | 八幡神社 忠魂碑             | 串本町和深（八幡神社境内）    | 昭和28年    | —   |
| 07 その他 |       |                      |                  |          |     |
| 07     | 海南市   | 双青閣（紀伊藩主徳川頼倫別邸）      | 海南市阪井            | 大正9年     | 国登録 |
| 07     | 紀の川市  | 本多楠三郎之碑              | 紀の川市北大井          | 明治       | —   |

| 小分類 | 市町村       | 名称                    | 所在地                       | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-----------|-----------------------|---------------------------|--------------|-----|
| 07  | 紀の川市      | 湯浅義夫翁頌徳碑              | 紀の川市東国分（地蔵寺）              | 昭和14年        | —   |
| 07  | 高野町       | 高野町消防組沿革誌石碑           | 高野町大字高野山（高野山森林公園内）        | 昭和14年        | —   |
| 07  | 高野町       | 神谷の仇討ち<br>（墓所・黒石）     | 高野町大字西郷（神谷）               | 明治4年         | —   |
| 07  | 有田川町      | 青田の記念碑                | 有田川町青田                    | 昭和15年        | —   |
| 07  | 有田川町      | 小西栄次郎殉職碑              | 有田川町二川                    | 大正12年        | —   |
| 07  | 有田川町      | 小西栄次郎殉職碑              | 有田川町楠本                    | 大正14年        | —   |
| 08  | その他（皇室関係） |                       |                           |              |     |
| 08  | 和歌山市      | 神武天皇聖蹟男水門顕彰碑          | 和歌山市小野町（水門吹上神社内）          | 昭和15年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 神武天皇聖蹟名草邑顕彰碑          | 和歌山市広原                    | 昭和15年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 応神天皇頓宮古蹟              | 和歌山市木ノ本（木本八幡宮公園内）         | 明治32年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 徳勒津宮旧趾之碑              | 和歌山市新在家（線路付近）             | 明治20年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 鳥羽法皇八百年御遠忌石柱          | 和歌山市寺内（満願寺）               | 昭和19年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 後鳥羽院陵御石櫛古跡            | 和歌山市六十谷（大同寺霊園）            | 不明           | —   |
| 08  | 和歌山市      | 鶴駕飛降○                 | 和歌山市和歌浦中（妹背山）             | 明治38年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 久邇宮殿下御手植楓石碑           | 和歌山市園部（鳴滝不動尊）             | 明治43年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 閑院宮殿下御手植之松石碑          | 和歌山市加太（加太小学校内）            | 大正2年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 御大礼記念奉頌碑              | 和歌山市岡山丁（岡公園）              | 大正4年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 摂政宮殿下御野立所石碑           | 和歌山市加太（和歌山市立青少年国際交流センター奥） | 大正11年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 皇太子殿下御結婚奉祝絵馬奉納記念碑     | 和歌山市片岡町（刺田比古神社）           | 大正13年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 皇太子殿下御手播樟             | 和歌山市谷（山口神社）               | 大正13年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 御大典記念之石               | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）         | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 御大典記念日○問屋組合碑          | 和歌山市津秦（津秦天満宮）             | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 春日神社石柱（御大典記念）         | 和歌山市松江中（春日神社）             | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 春日神社灯籠（御大典記念）         | 和歌山市加太（春日神社）              | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 大年神社標柱（御大典記念）         | 和歌山市梅原（大年神社）              | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 宇治神社標柱（御大典記念）         | 和歌山市新魚町（宇治神社）             | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 志摩神社狛犬（御大典記念）         | 和歌山市中之島（志摩神社境内）           | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 宝作万来石柱（御大典記念）         | 和歌山市片岡町（刺田比古神社）           | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 刺田比古神社標柱（御大典記念）       | 和歌山市片岡町（刺田比古神社）           | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 山口神社社名石碑（御大典記念）       | 和歌山市谷（山口神社）               | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 高橋神社標柱（御大典記念）         | 和歌山市岩橋（高橋神社）              | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 御即位大典記念石碑             | 和歌山市砂山南（砂山小学校前）           | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 紀州東照宮 御大典奉祝記念灯籠       | 和歌山市和歌浦西（駐車場入口付近）         | 昭和？          | —   |
| 08  | 和歌山市      | 東伏見宮大妃殿下御登臨記念石碑       | 和歌山市新和歌浦（高津子山山頂）          | 昭和3年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 皇太子殿下御降誕記念石柱          | 和歌山市一番丁（和歌山城公園追廻門前）       | 昭和9年         | —   |
| 08  | 和歌山市      | 皇太子殿下御成婚記念石柱          | 和歌山市一番丁（和歌山城公園西外堀付近石垣上）   | 昭和34年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 皇太子殿下行啓記念碑            | 和歌山市栗栖（西和佐幼稚園・小学校内）       | 昭和13年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 紀元二千六百年記念石柱           | 和歌山市（桐蔭高校）                | 不明           | —   |
| 08  | 和歌山市      | 皇紀二千六百年記念灯籠献納石柱       | 和歌山市宇田森（大屋都姫神社）           | 昭和15年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 紀元二千六百年記念鳥居奉納記念碑      | 和歌山市片岡町（刺田比古神社）           | 昭和15年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 皇紀二千六百年記念石柱           | 和歌山市片岡町（刺田比古神社）           | 昭和15年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 高積神社標柱（紀元2600年記念）     | 和歌山市禰宜（高積神社）              | 昭和15年        | —   |
| 08  | 和歌山市      | 和歌山県護国神社石柱（紀元2600年記念） | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内砂ノ丸門跡）     | 昭和15年        | —   |



| 小分類 | 市町村   | 名称                   | 所在地                 | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-------|----------------------|---------------------|--------------|-----|
| 08  | 和歌山市  | 浄土寺国旗掲揚石柱（紀元2600年記念） | 和歌山市栗栖（浄土寺）         | 昭和17年        | —   |
| 08  | 和歌山市  | 昭和天皇・皇后植樹の松          | 和歌山市栗栖（西和佐幼稚園・小学校内） | 昭和46年        | —   |
| 08  | 海南市   | 有間皇子歌碑               | 海南市藤白（藤白神社境内）       | 昭和27年        | —   |
| 08  | 海南市   | 「有間皇子之墓」石碑           | 海南市藤白               | 明治42年        | —   |
| 08  | 海南市   | 一条天皇勅願所石碑            | 海南市下津町下津            | 大正14年        | —   |
| 08  | かつらぎ町 | 大將軍宮紀元二千六百年記念碑       | かつらぎ町東谷             | 昭和15年        | —   |
| 08  | 有田市   | 神武天皇即位紀元2600年記念塔     | 有田市宮原町（岩室城）         | 昭和15年        | —   |
| 08  | 有田川町  | 大塔宮旧跡碑               | 有田川町二川              | 明治37年        | —   |
| 08  | 有田川町  | 紀元二千六百年記念碑           | 有田川町小川              | 昭和15年        | —   |
| 08  | 御坊市   | 御所の芝碑                | 御坊市塩屋町北塩屋（塩屋王子神社）   | 昭和15年        | —   |
| 08  | 御坊市   | 天皇皇后御来県記念碑（昭和天皇関係）   | 御坊市藤田町藤井（道成寺駅前）     | 昭和37年        | —   |
| 08  | 御坊市   | 小竹八幡社の親子狛犬（昭和天皇関係）   | 御坊市藺（小竹八幡社）         | 昭和8年         | —   |
| 08  | 由良町   | 史蹟平石の標石（応神天皇関係）      | 由良町（宇佐八幡神社前）        | 昭和37年        | —   |
| 08  | みなべ町  | 有間皇子結松記念碑            | みなべ町西岩代（国道42号沿い）    | 昭和11年        | —   |
| 08  | みなべ町  | 有間皇子の歌碑              | みなべ町西岩代（国道42号沿い）    | 昭和39年        | —   |
| 08  | みなべ町  | 千里王子社花山院法皇の歌碑        | みなべ町山内（千里王子社）       | 昭和28年        | —   |
| 08  | 田辺市   | 大塔宮劔神社碑              | 田辺市鮎川               | 昭和           | —   |
| 08  | 田辺市   | 北白川宮登臨碑              | 田辺市天神崎              | 大正           | —   |
| 08  | 田辺市   | 御大典記念碑               | 田辺市（湊）              | 昭和           | —   |
| 08  | 白浜町   | 斉明天皇遺跡碑              | 白浜町 熊野三所神社境内        | 昭和37年        | —   |
| 08  | 白浜町   | 行幸記念碑（昭和天皇）          | 白浜町 綱不知（ユガ神社境内）     | 昭和5年         | —   |
| 08  | 白浜町   | 臨幸記念碑（昭和天皇）          | 白浜町（京都大学臨海実験所構内）    | 昭和5年         | —   |
| 08  | 串本町   | 行幸記念碑                | 串本町出雲               | 昭和           | —   |
| 08  | 串本町   | 行幸記念碑                | 串本町潮岬               | 昭和           | —   |
| 08  | 串本町   | 行幸記念碑                | 串本町樫野               | 昭和           | —   |
| 08  | 串本町   | 昭和天皇御製碑              | 串本町潮岬               | 昭和           | —   |
| 08  | 串本町   | 宮殿下台臨記念碑             | 串本町潮岬               | 不明           | —   |
| 08  | 串本町   | 弁天前大敷天覧記念碑           | 串本町樫野               | 昭和           | —   |
| 08  | 串本町   | 御野立所跡                | 串本町樫野               | 昭和           | —   |

## 【10 文化】

| 小分類 | 市町村  | 名称                      | 所在地                  | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|-------------------------|----------------------|--------------|-----|
| 01  | 学校   |                         |                      |              |     |
| 01  | 和歌山市 | 旧制和歌山中学校図書館             | 和歌山市吹上               | 昭和4年         | 国登録 |
| 01  | 和歌山市 | 旧制和歌山中学校運動場スタンド         | 和歌山市吹上               | 昭和4年         | 国登録 |
| 01  | 和歌山市 | 旧和歌山師範学校正門              | 和歌山市吹上               | 明治45年頃       | —   |
| 01  | 和歌山市 | 和歌山中学校明治二十九年卒業生記念樹石碑    | 和歌山市一番丁（和歌山城公園西の丸広場） | 明治29年        | —   |
| 01  | 和歌山市 | 伊藤義成先生碑                 | 和歌山市吉礼（吉礼墓地内）        | 昭和4年         | —   |
| 01  | 和歌山市 | 二宮尊徳先生幼時之像              | 和歌山市里（山口小学校内）        | 大正～昭和        | —   |
| 01  | 和歌山市 | 名草小学校二宮金次郎像             | 和歌山市紀三井寺（名草小学校）      | 昭和12年        | —   |
| 01  | 和歌山市 | 二宮尊徳先生幼時之像              | 和歌山市伝法橋南ノ丁（水天宮付近）    | 昭和14年        | —   |
| 01  | 和歌山市 | 二宮金次郎像                  | 和歌山市砂山南（砂山小学校）       | 不明           | —   |
| 01  | 和歌山市 | 二宮金次郎像                  | 和歌山市（四箇郷小学校）         | 不明           | —   |
| 01  | 和歌山市 | 二宮尊徳先生幼時之像              | 和歌山市栗栖（西和佐小学校及び幼稚園内） | 昭和14年        | —   |
| 01  | 和歌山市 | 川本新之助君寄附記念標             | 和歌山市山東中（小倉小学校）       | 昭和2年         | —   |
| 01  | 和歌山市 | 加太小学校創立百周年記念碑           | 和歌山市加太（加太小学校）        | 昭和51年        | —   |
| 01  | 和歌山市 | 加太小学校創立百周年記念寄贈放送施設一式記念碑 | 和歌山市加太（加太小学校）        | 昭和51年        | —   |

| 小分類 | 市町村   | 名称                   | 所在地                      | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|-------|----------------------|--------------------------|----------|-----|
| 01  | 和歌山市  | 和歌山高等商業学校創立記念碑       | 和歌山市西高松（放送大学和歌山学習センター付近） | 不明       | —   |
| 01  | 和歌山市  | 岡本一郎先生銅像             | 和歌山市西高松（放送大学和歌山学習センター付近） | 昭和8年     | —   |
| 01  | 和歌山市  | 寮監野村越三銅像             | 和歌山市西高松（放送大学和歌山学習センター付近） | 大正15年    | —   |
| 01  | 和歌山市  | 和歌山高等商業学校跡地          | 和歌山市西高松（県立図書館）           | 不明       | —   |
| 01  | 和歌山市  | 和歌山中学校旧正門跡地          | 和歌山市（桐蔭高校）               | 不明       | —   |
| 01  | 和歌山市  | 「強いからだと明るいこころ」石碑     | 和歌山市栗栖（西和佐小学校）           | 昭和48年    | —   |
| 01  | 和歌山市  | 野村吉三郎和歌山中学校生徒メッセージ石碑 | 和歌山市吹上（和歌山県立桐蔭高校）        | 昭和8年     | —   |
| 01  | 海南市   | 旧浜中尋常高等小学校講堂         | 海南市下津町下津                 | 昭和12年    | —   |
| 01  | 海南市   | 久世正富歌碑               | 海南市船尾（琴ノ浦温山荘公園内）         | 昭和40年    | —   |
| 01  | 紀美野町  | 旧小川小学校跡地碑            | 紀美野町福井（小川八幡神社境内）         | 昭和50年    | —   |
| 01  | 紀美野町  | 東峰吉・西山市楠・東角之助頌徳碑     | 紀美野町西野（志賀野丹生神社境内）        | 昭和6年     | —   |
| 01  | 紀の川市  | 旧名手小学校               | 紀の川市名手市場                 | 昭和       | —   |
| 01  | 紀の川市  | 神戸小学校跡               | 紀の川市貴志川町神戸               | 明治       | —   |
| 01  | 紀の川市  | 前田小学校跡               | 紀の川市貴志川町前田               | 明治       | —   |
| 01  | 紀の川市  | 猛山学校跡及び寄宿寮跡          | 紀の川市粉河                   | 明治6年     | —   |
| 01  | 紀の川市  | 児玉家宅                 | 紀の川市粉河                   | 明治       | —   |
| 01  | 紀の川市  | 共修学舎跡                | 紀の川市北大井                  | 明治       | —   |
| 01  | 紀の川市  | 本多和一郎君之碑             | 紀の川市北大井                  | 明治33年    | —   |
| 01  | 紀の川市  | 奚疑塾跡                 | 紀の川市西井阪                  | 昭和       | —   |
| 01  | 紀の川市  | 靖軒中尾純翁碑              | 紀の川市西井阪                  | 昭和       | —   |
| 01  | 紀の川市  | 吉村源之助頌徳碑             | 紀の川市粉河（粉河中学校）            | 昭和11年    | —   |
| 01  | 紀の川市  | 並松亀吉君頌徳碑             | 紀の川市長田中                  | 大正11年    | —   |
| 01  | 紀の川市  | 島本進五郎翁頌徳碑            | 紀の川市名手市場（名手八幡神社）         | 昭和10年    | —   |
| 01  | 紀の川市  | 坂口富之助先生頌徳碑           | 紀の川市貴志川町国主（大国主神社参道）      | 明治29年    | —   |
| 01  | 紀の川市  | 鈴木猪之助先生頌徳碑           | 紀の川市貴志川町井ノ口（東貴志小学校）      | 昭和27年～   | —   |
| 01  | 紀の川市  | 大森覚之燕先生頌徳碑           | 紀の川市貴志川町前田               | 昭和9年     | —   |
| 01  | 紀の川市  | 小山照子先生殉職之碑           | 紀の川市貴志川町国主（大国主神社参道）      | 昭和23年    | —   |
| 01  | 紀の川市  | 田村安之右衛門先生頌徳碑         | 紀の川市貴志川町丸栖（小学校）          | 明治30年    | —   |
| 01  | 紀の川市  | 田村吉郎先生頌徳碑            | 紀の川市貴志川町丸栖（小学校）          | 昭和17年    | —   |
| 01  | 紀の川市  | 岡本英孝先生顕彰碑            | 紀の川市西大井（薬師寺）             | 明治17年～   | —   |
| 01  | 紀の川市  | 川口武貞先生頌徳碑            | 紀の川市打田（若宮神社跡地）           | 明治38年    | —   |
| 01  | 紀の川市  | 千田稔先生頌徳碑             | 紀の川市打田（田中小学校）            | 大正9年     | —   |
| 01  | 紀の川市  | 春日先生頌徳碑              | 紀の川市中三谷（春日神社）            | 大正6年～    | —   |
| 01  | 紀の川市  | 島本玄誠頌徳碑              | 紀の川市貴志川町長原（甘露寺）          | 昭和21年    | —   |
| 01  | 紀の川市  | 丹羽勝義頌徳碑              | 紀の川市貴志川町神田（正福寺）          | 明治以降     | —   |
| 01  | 岩出市   | 境谷分教場跡               | 岩出市境谷                    | 明治       | —   |
| 01  | 岩出市   | 旧県立紀北農業学校玄関ポーチ       | 岩出市高塚                    | 大正13年    | —   |
| 01  | 岩出市   | 岩出中学校の校門             | 岩出市西野                    | 昭和       | —   |
| 01  | 岩出市   | 岩出小学校                | 岩出市清水                    | 明治       | —   |
| 01  | 岩出市   | 山崎小学校                | 岩出市中黒                    | 明治       | —   |
| 01  | 岩出市   | 根来小学校                | 岩出市根来                    | 明治       | —   |
| 01  | 岩出市   | 上岩出小学校               | 岩出市南大池                   | 明治       | —   |
| 01  | 岩出市   | 吉村秀雄翁顕彰碑             | 岩出市西野（岩出中学校）             | 昭和31年    | —   |
| 01  | 岩出市   | 外山彦章先生頌徳碑            | 岩出市根来（根来小学校）             | 昭和9年     | —   |
| 01  | 橋本市   | 高野口尋常高等小学校（高野口小学校）   | 橋本市高野口町名倉                | 昭和12年    | 国重文 |
| 01  | 橋本市   | 上野中先生芦川市五郎先生の碑       | 橋本市学文路上                  | 明治32年    | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 妙寺尋常高等小学校畑野分校        | かつらぎ町短野                  | 明治45年    | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 笠田小学校の門柱             | かつらぎ町笠田東                 | 大正9年     | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 渋田尋常高等小学校            | かつらぎ町東渋田                 | 昭和11年    | —   |

| 小分類 | 市町村   | 名称                          | 所在地                | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-------|-----------------------------|--------------------|--------------|-----|
| 01  | かつらぎ町 | 旧大谷小学校校地拡張記念碑               | かつらぎ町大谷            | 大正8年         | —   |
| 01  | かつらぎ町 | 笠田小学校正門門柱                   | かつらぎ町笠田東           | 大正9年         | —   |
| 01  | 有田市   | 宮本官次先生之碑                    | 有田市宮原町道（宮原神社境内）    | 明治30年        | —   |
| 01  | 有田市   | 初島地区小学校                     | 有田市初島町             | 明治6年         | —   |
| 01  | 有田市   | 椒小学校                        | 有田市初島町             | 明治9年         | —   |
| 01  | 有田市   | 箕島小学校                       | 有田市箕島（浄応寺の庫裡）      | 明治6年         | —   |
| 01  | 有田市   | 箕島小学校新築                     | 有田市箕島              | 明治8年         | —   |
| 01  | 有田市   | 北湊外舎                        | 有田市港町北湊            | 明治6年         | —   |
| 01  | 有田市   | 辰ヶ浜外舎                       | 有田市宮崎町（辰ヶ浜）        | 明治6年         | —   |
| 01  | 有田市   | 辰ヶ浜小学校新築                    | 有田市宮崎町（辰ヶ浜）        | 明治6年         | —   |
| 01  | 有田市   | 矢櫃外舎                        | 有田市宮崎町（矢櫃）         | 明治6年         | —   |
| 01  | 有田市   | 小豆島外舎                       | 有田市宮崎町小豆島          | 明治6年         | —   |
| 01  | 有田市   | 山田原外舎                       | 有田市山田原             | 明治6年         | —   |
| 01  | 有田市   | 野村外舎                        | 有田市野               | 明治6年         | —   |
| 01  | 有田市   | 宮原小学校                       | 有田市宮原町             | 明治8年         | —   |
| 01  | 有田市   | 宮原小学校                       | 有田市宮原町             | 昭和30年        | —   |
| 01  | 有田市   | 滝川原小学校                      | 有田市宮原町滝川原          | 明治9年         | —   |
| 01  | 有田市   | 春日小学校                       | 有田市下中島（光明寺）        | 明治9年         | —   |
| 01  | 有田市   | 道小学校（宮原小学校から分離）             | 有田市宮原町道            | 明治16年        | —   |
| 01  | 有田市   | 峰立小学校                       | 有田市宮原町畑            | 明治16年        | —   |
| 01  | 有田市   | 糸我地区小学校                     | 有田市糸我町（西村延命寺）      | 明治6年         | —   |
| 01  | 有田市   | 糸我小学校新築                     | 有田市糸我町             | 明治16年        | —   |
| 01  | 有田市   | 宮原公民館                       | 有田市宮原町             | 昭和36年        | —   |
| 01  | 有田市   | 旧和歌山県立箕島商業学校武徳館             | 有田市箕島              | 昭和13年        | —   |
| 01  | 有田市   | 愛郷学園子供の家（戦死・戦災者の遺児、農繁期の託児所） | 有田市初島              | 昭和16年        | —   |
| 01  | 有田市   | 教育塔                         | 有田市箕島（箕島小学校内）      | 昭和27年        | —   |
| 01  | 湯浅町   | 旧湯浅尋常高等小学校講堂                | 湯浅町湯浅              | 昭和11年        | 国登録 |
| 01  | 湯浅町   | 敬業社跡                        | 湯浅町栖原              | 江戸～明治        | —   |
| 01  | 有田川町  | 平松太一頌徳碑                     | 有田川町下津野（有田中央高校）    | 昭和44年        | —   |
| 01  | 有田川町  | 神保法道頌徳碑                     | 有田川町中野             | 昭和3年         | —   |
| 01  | 有田川町  | 早月小学校校庭寄進記念碑                | 有田川町尾上             | 昭和15年        | —   |
| 01  | 有田川町  | 有本志女松頌徳碑                    | 有田川町上湯川            | 昭和3年         | —   |
| 01  | 有田川町  | 長岡大融記念碑                     | 有田川町沼              | 明治43年        | —   |
| 01  | 御坊市   | 日高高等女学校跡地の碑                 | 御坊市藺（御坊市民文化会館庭園）   | 昭和           | —   |
| 01  | 御坊市   | 御坊小学校の緯度標                   | 御坊市藺（御坊小学校校庭）      | 昭和44年        | —   |
| 01  | 御坊市   | 故森口彦右衛門先生の碑                 | 御坊市湯川町財部（安養寺）      | 昭和14年        | —   |
| 01  | 御坊市   | 芝口常楠先生の墓                    | 御坊市御坊（本願寺日高別院）     | 昭和41年        | —   |
| 01  | 御坊市   | 猿渡父子兄弟の碑                    | 御坊市藺（御坊小学校正門脇）     | 昭和50年        | —   |
| 01  | 美浜町   | 常磐義塾跡                       | 美浜町和田（常德寺裏）        | 明治41年        | —   |
| 01  | 美浜町   | 湯川浄暢恭頌碑                     | 美浜町和田（常德寺境内）       | 昭和           | —   |
| 01  | 美浜町   | 森彦太郎先生頌徳碑                   | 美浜町和田（常德寺境内）       | 昭和26年        | —   |
| 01  | 美浜町   | 常德寺                         | 美浜町和田              | 明治～          | —   |
| 01  | 美浜町   | 入山若王子社跡                     | 美浜町和田              | 明治           | —   |
| 01  | 日高町   | 本乗和尚の碑                      | 日高町志賀2556（誕生院境内）   | 明治28年        | —   |
| 01  | 由良町   | 大畑先生之碑                      | 由良町神谷（旧白崎中学校）      | 大正？          | —   |
| 01  | 由良町   | 実習田記念碑                      | 由良町大字里（由良小学校前田圃中）  | 昭和17年        | —   |
| 01  | 由良町   | 由良小学校の緯度標石                  | 由良町大字里（由良小学校）      | 昭和46年        | —   |
| 01  | 由良町   | 白崎中学校の緯度標石                  | 由良町神谷（旧白崎中学校）      | 昭和47年        | —   |
| 01  | 日高川町  | 植松憲先生之碑                     | 日高川町江川（丹生神社境内）     | 明治？          | —   |
| 01  | 日高川町  | 相台宗次郎翁頌徳碑                   | 日高川町高津尾（高津尾小学校校庭）  | 昭和37年        | —   |
| 01  | 日高川町  | 森勘蔵翁頌徳碑                     | 日高川町船津（船津小学校中庭）    | 昭和39年        | —   |
| 01  | 日高川町  | 川辺西小学校の緯度標石                 | 日高川町小熊（旧川辺西小学校講堂横） | 昭和           | —   |
| 01  | 日高川町  | 川辺西小学校の針・ペン供養塔              | 日高川町小熊（旧川辺西小学校構内）  | 昭和4年         | —   |
| 01  | 印南町   | 旧上洞尋常小学校                    | 印南町上洞              | 昭和34年        | —   |
| 01  | 印南町   | 旧榎川尋常小学校                    | 印南町榎川              | 昭和5年         | —   |



| 小分類     | 市町村  | 名称                | 所在地              | 建設・設置<br>時期等 | 指定等  |
|---------|------|-------------------|------------------|--------------|------|
| 01      | 印南町  | 村崎倭先生彰徳碑          | 印南町上洞（上洞小学校校庭）   | 昭和18年        | —    |
| 01      | 印南町  | 西川平吉先生の碑          | 印南町古井（永福寺墓地）     | 昭和40年        | —    |
| 01      | みなべ町 | 牧野環先生胸像と頌徳碑       | みなべ町芝            | 昭和12年        | —    |
| 01      | みなべ町 | 堅田種知翁の碑           | みなべ町芝（丸山頂上の墓地）   | 明治？          | —    |
| 01      | みなべ町 | 堅田真種翁の碑           | みなべ町芝（丸山頂上の墓地）   | 昭和？          | —    |
| 01      | みなべ町 | 関本上人生誕之地の碑        | みなべ町熊岡           | 昭和45年        | —    |
| 01      | 田辺市  | 旧田辺高等女学校・開校記念碑    | 田辺市（湊）           | 昭和12年        | —    |
| 01      | 田辺市  | 退軒湯川先生之碑          | 田辺市古尾            | 明治           | —    |
| 01      | 田辺市  | 海野先生の碑            | 田辺市芳養松原          | 大正           | —    |
| 01      | 田辺市  | 小川勝門先生の碑          | 田辺市芳養松原          | 大正           | —    |
| 01      | 田辺市  | 野村先生彰徳碑           | 田辺市上秋津           | 昭和           | —    |
| 01      | 白浜町  | 旧大瀬小学校校舎          | 白浜町大瀬            | 昭和11年        | —    |
| 01      | 白浜町  | 柏木市郎翁頌徳碑          | 白浜町（東富田小学校校庭）    | 昭和32年        | —    |
| 01      | 白浜町  | 柏木禎太郎君記念碑         | 白浜町（東富田小学校講堂前）   | 昭和15年        | —    |
| 01      | 白浜町  | 榎本先生頌徳碑           | 白浜町 十九淵（満願寺）     | 昭和10年        | —    |
| 01      | 白浜町  | 朝山英楠君頌徳碑          | 白浜町 南富田（金毘羅宮）    | 明治28年        | —    |
| 01      | 白浜町  | 浜本英子先生の碑          | 白浜町 南富田（金毘羅宮）    | 明治42年        | —    |
| 01      | 白浜町  | 浜本繁子先生の碑          | 白浜町 南富田（金毘羅宮）    | 明治42年        | —    |
| 01      | 白浜町  | 中井要先生の碑           | 白浜町 南富田（金毘羅宮）    | 昭和2年         | —    |
| 01      | 白浜町  | 尾原三蔵碑             | 白浜町 南富田（観福寺）     | 明治28年        | —    |
| 01      | 白浜町  | 榎本先生碑             | 白浜町 北富田内ノ川（林翁寺）  | 明治44年        | —    |
| 01      | すさみ町 | 城桂谷の碑             | すさみ町江住           | 明治15年        | 町建造物 |
| 01      | 新宮市  | 学校跡、幼稚園跡          | 各所               | 明治～昭和        | —    |
| 01      | 新宮市  | 旧丹鶴小学校校門          | 新宮市下本町2丁目2-1     | 大正10年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 旧小口小学校            | 新宮市熊野川町上長井       | 昭和27年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 旧小口小学校鎌塚分校        | 新宮市熊野川町鎌塚        | 昭和35年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 旧宮井中学校            | 新宮市熊野川町宮井        | 昭和23年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 旧九重小学校            | 新宮市熊野川町九重        | 昭和34年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 旧敷屋小学校            | 新宮市熊野川町西敷屋       | 昭和27年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 旧敷屋幼稚園            | 新宮市熊野川町西敷屋       | 昭和29年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 城南中学校             | 新宮市清水元           | 昭和45年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 近畿大学附属女子高等学校      | 新宮市新宮            | 昭和39年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 近畿大学新宮商経専門学校      | 新宮市新宮（登坂）        | 昭和28年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 旧制新宮中学校           | 新宮市神倉            | 明治36年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 町立新宮高等学校          | 新宮市伊佐田町          | 明治39年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 新宮実業学校            | 新宮市神倉            | 昭和6年         | —    |
| 01      | 新宮市  | 和歌山県立新宮商業高校       | 新宮市佐野            | 昭和38年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 洋裁学校、洋裁研究所        | 各所               | 不明           | —    |
| 01      | 新宮市  | 熊野高等速算学校・熊野商工実務学校 | 新宮市新宮7683（登坂）    | 昭和10年        | —    |
| 01      | 新宮市  | 新宮准看護学院           | 新宮市伊佐田町1丁目2-12   | 戦後           | —    |
| 02 研究施設 |      |                   |                  |              |      |
| 02      | 和歌山市 | 農学博士高橋克己頌徳碑       | 和歌山市岡山丁（岡公園）     | 昭和44年        | —    |
| 02      | 和歌山市 | 高橋克己生誕の地          | 和歌山市木ノ本          | 明治           | —    |
| 02      | 有田川町 | 朝倉金彦の頌徳碑          | 有田川町奥（県立農業試験場内）  | 昭和45年        | —    |
| 02      | 有田川町 | 小槇天文台             | 有田川町金屋           | 昭和           | —    |
| 02      | 田辺市  | 石田先生之碑            | 田辺市南新町           | 不明           | —    |
| 02      | 新宮市  | 近畿大学高田水産実験場       | 新宮市高田西           | 昭和49年        | —    |
| 03 文化施設 |      |                   |                  |              |      |
| 03      | 和歌山市 | 和歌山天文館            | 和歌山市鷹匠町          | 昭和34年        | —    |
| 03      | 和歌山市 | 地球モニュメント          | 和歌山市新和歌浦（高津子山山頂） | 昭和35年        | —    |
| 03      | 和歌山市 | 銅像「翔」             | 和歌山市西浜（松下体育館）    | 昭和           | —    |
| 03      | 和歌山市 | 立像「群像」            | 和歌山市山東中（小倉小学校）   | 昭和38年        | —    |
| 03      | 和歌山市 | 和歌山城公園動物園         | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内） | 大正           | —    |
| 03      | 和歌山市 | 和歌山城西之丸庭園土橋       | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内） | 昭和47年        | —    |
| 03      | 和歌山市 | 和歌山城西之丸庭園茅門       | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内） | 昭和47年        | —    |
| 03      | 和歌山市 | 和歌山城西之丸庭園築地堀      | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内） | 昭和47年        | —    |

| 小分類 | 市町村  | 名称            | 所在地              | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|---------------|------------------|--------------|-----|
| 03  | 和歌山市 | 和歌山城西之丸庭園腰掛   | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内） | 昭和48年        | —   |
| 03  | 和歌山市 | 和歌山城西之丸庭園鳶魚閣  | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内） | 昭和48年        | —   |
| 03  | 和歌山市 | 観海閣           | 和歌山市和歌浦中（妹背山）    | 昭和38年        | —   |
| 03  | 和歌山市 | 旧和歌山県立図書館門柱   | 和歌山市西高松（県立図書館）   | 昭和13年        | —   |
| 03  | 岩出市  | 岩出町体育館        | 岩出市西野            | 昭和           | —   |
| 03  | 岩出市  | 岩出町中央公民館      | 岩出市西野            | 昭和           | —   |
| 03  | 高野町  | 高野山大学図書館      | 高野町大字高野山385      | 昭和4年         | 国登録 |
| 03  | 高野町  | 高野山霊宝館        | 高野町大字高野山306      | 大正9年         | 国登録 |
| 03  | 有田市  | 妙貞禪尼之碣        | 有田市宮原町（宮原小学校庭）   | 明治9年         | —   |
| 03  | 印南町  | 出口三木蔵・出口米一頌徳碑 | 印南町白河（青年会場前）     | 昭和11年        | —   |
| 03  | 田辺市  | 建築記念碑         | 田辺市末広町           | 大正           | —   |
| 03  | 田辺市  | 高尾山経塚記念塔      | 田辺市上秋津           | 昭和           | —   |
| 03  | 新宮市  | 新宮市立図書館跡      | 新宮市横町1丁目1        | 昭和28年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 熊野神宝館         | 新宮市新宮            | 昭和33年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 新宮市民会館跡       | 新宮市新宮            | 昭和41年        | —   |
| 03  | 新宮市  | 三輪崎青年会館       | 新宮市三輪崎           | 昭和2年         | 国登録 |
| 03  | 新宮市  | 熊野川総合開発センター   | 新宮市熊野川町日足        | 昭和           | —   |
| 03  | 古座川町 | 芳流館 互明社       | 古座川町高池           | 昭和？          | —   |

#### 04 出版・報道

|    |      |                     |                 |             |   |
|----|------|---------------------|-----------------|-------------|---|
| 04 | 海南市  | 民放UHF海南中継局          | 海南市冷水・下津町橋本     | 昭和43年       | — |
| 04 | 有田市  | 有田川農協の有線放送          | 有田市             | 昭和32年       | — |
| 04 | 有田市  | 有田市農協有線放送保田交換所      | 有田市             | 昭和34年       | — |
| 04 | 有田市  | 有田市農協初島有線放送         | 有田市             | 昭和34年       | — |
| 04 | 有田川町 | 源氏物語辞典発願記念のナギの木及び石碑 | 有田川町市場、小川       | 昭和7年        | — |
| 04 | 有田川町 | 北山谿太氏の碑             | 有田川町市場          | 昭和          | — |
| 04 | 日高町  | 吉田格の碑               | 日高町小池950（西福寺墓地） | 昭和6年        | — |
| 04 | 日高町  | 吉田家記念碑              | 日高町小坂230        | 大正10年       | — |
| 04 | 新宮市  | NHK新宮放送局            | 新宮市王子町1丁目7-8    | 昭和17年       | — |
| 04 | 新宮市  | 和歌山放送新宮放送局          | 新宮市王子町2丁目1-13   | 昭和34年       | — |
| 04 | 新宮市  | 新紀テレビ放送局跡           | 新宮市大橋通1丁目       | 昭和39年？<br>～ | — |

#### 05 スポーツ施設

|    |      |                       |              |       |   |
|----|------|-----------------------|--------------|-------|---|
| 05 | 和歌山市 | 岡公園室内体育館（武徳館）         | 和歌山市岡山丁（岡公園） | 明治38年 | — |
| 05 | 高野町  | 高野山スキー場（軍事関係）         | 高野町大字高野山     | 昭和    | — |
| 05 | 田辺市  | 市営総合グラウンドのスタンド（現田辺商工） | 田辺市文里        | 昭和25年 | — |
| 05 | 田辺市  | 戎石初太郎碑                | 田辺市上の山2丁目    | 大正    | — |
| 05 | 田辺市  | 沖田川栄吉碑                | 田辺市上の山2丁目    | 大正    | — |
| 05 | 新宮市  | 新宮市民運動競技場             | 新宮市佐野        | 昭和    | — |
| 05 | 新宮市  | 高田若もの広場跡              | 新宮市高田西       | 昭和    | — |

#### 06 宗教施設

|    |      |            |                              |       |   |
|----|------|------------|------------------------------|-------|---|
| 06 | 和歌山市 | 和歌山県護国神社石柱 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内吹上口跡）         | 昭和15年 | — |
| 06 | 和歌山市 | 和歌山県護国神社鳥居 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内勘定門跡）         | 昭和17年 | — |
| 06 | 和歌山市 | 和歌山県護国神社定書 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内）             | 昭和33年 | — |
| 06 | 和歌山市 | 和歌山県護国神社灯籠 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内護国神社砂の丸南鳥居付近） | 昭和16年 | — |
| 06 | 和歌山市 | 和歌山県護国神社鳥居 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内砂の丸南）         | 昭和13年 | — |
| 06 | 和歌山市 | 和歌山県護国神社灯籠 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内砂の丸南鳥居付近）     | 昭和15年 | — |
| 06 | 和歌山市 | 和歌山県護国神社灯籠 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内護国神社参道途中）     | 昭和15年 | — |
| 06 | 和歌山市 | 和歌山県護国神社灯籠 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内護国神社参道途中）     | 昭和15年 | — |
| 06 | 和歌山市 | 和歌山県護国神社灯籠 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内護国神社参道途中）     | 昭和15年 | — |
| 06 | 和歌山市 | 和歌山県護国神社灯籠 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内護国神社境内）       | 昭和14年 | — |
| 06 | 和歌山市 | 和歌山県護国神社狛犬 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内護国神社境内）       | 昭和14年 | — |

| 小分類 | 市町村  | 名称                    | 所在地                    | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|-----------------------|------------------------|----------|-----|
| 06  | 和歌山市 | 植樹記念碑                 | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内護国神社境内） | 昭和44年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌山県護国神社玉垣            | 和歌山市一番丁（和歌山城公園内護国神社境内） | 昭和16年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦天満宮鳥居              | 和歌山市和歌浦西（境内入口）         | 大正13年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦天満宮灯籠              | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 明治3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦天満宮灯籠              | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 天満神社石柱                | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 昭和33年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 用水桶                   | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦天満宮境内社白鳥大明神鳥居      | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 昭和32年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦天満宮境内社白鳥大明神狛犬      | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 奉納石柱                  | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 手水鉢                   | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 昭和11年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 灯籠                    | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦天満宮境内社白藤龍王白高大神鎮座石柱 | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 昭和16年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦天満宮境内社白藤龍大神鳥居      | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 昭和18年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦天満宮境内社住吉神社灯籠       | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦天満宮境内社白藤龍大神狛犬      | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦天満宮境内社白藤龍大神灯籠      | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦天満宮境内社白藤龍大神石柱      | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦天満宮境内社灯籠           | 和歌山市和歌浦西（境内）           | 昭和43年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 縣社東照宮石柱               | 和歌山市和歌浦西（境内入口）         | 大正9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 紀州東照宮灯籠               | 和歌山市和歌浦西（参道西側）         | 元治2年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 紀州東照宮灯籠               | 和歌山市和歌浦西（参道西側）         | 元治2年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 紀州東照宮灯籠               | 和歌山市和歌浦西（参道西側）         | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 紀州東照宮境内弁財天社灯籠         | 和歌山市和歌浦西（参道階段下右）       | 昭和9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 紀州東照宮境内弁財天社手水鉢        | 和歌山市和歌浦西（参道階段下右）       | 昭和8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 紀州東照宮境内弁財天社灯籠         | 和歌山市和歌浦西（参道階段下右）       | 昭和8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 紀州東照宮灯籠               | 和歌山市和歌浦西（本殿前）          | 大正8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 紀州東照宮手水鉢（井戸？）         | 和歌山市和歌浦西（本殿前）          | 明治8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 建南龍神社記                | 和歌山市和歌浦西（紀州東照宮山麓）      | 明治9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 西正寺灯籠                 | 和歌山市和歌浦中（西正寺境内）        | 大正12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 弁財天堂奉納石柱              | 和歌山市和歌浦中（津屋公園内）        | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 弁財天堂鳥居                | 和歌山市和歌浦中（津屋公園内）        | 昭和16年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 妙見堂灯籠                 | 和歌山市和歌浦中（津屋公園内）        | 大正15年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 養珠寺石柱                 | 和歌山市和歌浦中（境内入口前）        | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 養珠寺境内頌徳碑              | 和歌山市和歌浦中（境内）           | 昭和11年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 玉津島神社前稻荷社灯籠           | 和歌山市和歌浦中               | 大正13年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 玉津島神社前稻荷社狐像           | 和歌山市和歌浦中               | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 玉津島神社狛犬               | 和歌山市和歌浦中               | 慶応4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 日本一社玉津島神社石柱           | 和歌山市和歌浦中               | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 玉津島神社灯籠               | 和歌山市和歌浦中               | 嘉永3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 奠供山登道石柱               | 和歌山市和歌浦中（玉津島神社境内）      | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 玉津社石碑                 | 和歌山市和歌浦中（塩釜神社付近）       | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 奉書写妙法蓮華經石碑            | 和歌山市和歌浦中（妹背山）          | 万延元年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 東照宮所有地石柱              | 和歌山市和歌浦南3丁目8-2         | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 矢宮神社石柱                | 和歌山市関戸（境内）             | 昭和4年     | —   |



| 小分類 | 市町村  | 名称                        | 所在地                  | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|---------------------------|----------------------|----------|-----|
| 06  | 和歌山市 | 矢宮神社鳥居                    | 和歌山市関戸（境内）           | 昭和35年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 矢宮神社奉納石柱                  | 和歌山市関戸（境内）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 矢宮神社百度石                   | 和歌山市関戸（境内）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 矢宮神社石柱「紀伊国雑賀庄総社」「紀伊国大社矢宮」 | 和歌山市関戸（境内）           | 昭和47年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 矢宮神社鳥居                    | 和歌山市関戸（境内）           | 昭和47年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 矢宮神社狛犬                    | 和歌山市関戸（境内）           | 昭和47年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 矢宮神社手水鉢                   | 和歌山市関戸（境内）           | 昭和47年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 矢宮神社狛犬                    | 和歌山市関戸（境内）           | 安政6年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 五百羅漢禪寺石柱                  | 和歌山市和歌浦東（道路沿い）       | 明治33年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 鶴立島石碑                     | 和歌山市和歌浦東（道路沿い）       | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 南無阿弥陀仏碑                   | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 大正15年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 奉納石柱                      | 和歌山市和歌浦東（秋葉大権現堂境内）   | 昭和       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 歌姫大神石碑                    | 和歌山市和歌浦東（秋葉大権現堂境内）   | 昭和31年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 岩富大神石碑                    | 和歌山市和歌浦東（秋葉大権現堂境内）   | 昭和45年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 本願寺所有地石柱                  | 和歌山市秋葉町（秋葉山登り口）      | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 顕如上人桌錫所                   | 和歌山市秋葉町（秋葉山山頂）       | 明治24年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 手水鉢                       | 和歌山市秋葉町（円珠院境内）       | 嘉永6年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 志磨神社灯籠                    | 和歌山市中之島（志磨神社境内）      | 昭和3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 志磨神社灯籠                    | 和歌山市中之島（志磨神社境内）      | 大正4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 村社力侍神社石柱                  | 和歌山市川辺（力侍神社）         | 昭和3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 力侍神社灯籠                    | 和歌山市川辺（力侍神社）         | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 力侍神社灯籠                    | 和歌山市川辺（力侍神社）         | 昭和9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 「大鳥居」奉納石柱                 | 和歌山市川辺（力侍神社）         | 大正14年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 狐島稻荷神社狛犬                  | 和歌山市狐島北川原（狐島稻荷神社）    | 昭和17年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 石柱                        | 和歌山市狐島北川原（狐島稻荷神社）    | 昭和7年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 狐島稻荷神社灯籠                  | 和歌山市狐島北川原（狐島稻荷神社）    | 昭和7年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 覚円寺灯籠                     | 和歌山市狐島（覚円寺）          | 大正5年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 極楽寺沿革石碑                   | 和歌山市松江中（極楽寺）         | 昭和40年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 本堂参道整備石柱                  | 和歌山市松江中（極楽寺）         | 昭和35年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 寂光院灯籠                     | 和歌山市松江中（寂光院）         | 昭和7年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 一字一石塔                     | 和歌山市松江中（寂光院北側）       | 嘉永6年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 春日神社灯籠                    | 和歌山市松江中（春日神社）        | 明治36年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 春日神社注連柱                   | 和歌山市松江中（春日神社）        | 昭和9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 本遇寺手水鉢                    | 和歌山市土入（本遇寺）          | 明治38年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 宇須井原神社灯籠                  | 和歌山市宇須（宇須井原神社）       | 昭和11年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 宇須井原神社百度石                 | 和歌山市宇須（宇須井原神社）       | 昭和8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 神明神社玉垣                    | 和歌山市堀止西（神明神社）        | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 神明神社石垣                    | 和歌山市堀止西（神明神社）        | 昭和7年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 神明神社灯籠                    | 和歌山市堀止西（神明神社）        | 大正14年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 万性寺手水鉢                    | 和歌山市堀止西（万性寺）         | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 幡随意上人終焉之地石碑               | 和歌山市堀止西（万性寺）         | 昭和2年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 阿弥陀寺本堂石柱                  | 和歌山市鳴神（阿弥陀寺）         | 昭和14年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 元大智寺観世音菩薩石柱               | 和歌山市津秦（津秦天満宮から北西交差点） | 明治38年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 南無阿弥陀仏石柱                  | 和歌山市鳴神（地藏庵）          | 明治44年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 中言神社跡記念碑                  | 和歌山市                 | 大正12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 〇〇満25年奉祝記念碑               | 和歌山市津秦（津秦天満宮）        | 大正14年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 津秦天満宮修繕記念碑？               | 和歌山市津秦（津秦天満宮）        | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 津秦天満宮千年祭記念碑               | 和歌山市津秦（津秦天満宮）        | 明治29年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 同信会員記念碑                   | 和歌山市津秦（津秦天満宮）        | 大正13年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 津秦天満宮石柱                   | 和歌山市津秦（津秦天満宮）        | 大正14年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 津秦天満宮鳥居                   | 和歌山市津秦（津秦天満宮、線路近く）   | 昭和4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 津秦天満宮鳥居                   | 和歌山市津秦（津秦天満宮）        | 昭和9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 鳴神社狛犬                     | 和歌山市鳴神（鳴神社）          | 昭和4年     | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称              | 所在地                   | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|-----------------|-----------------------|----------|-----|
| 06  | 和歌山市 | 鳴神社石柱           | 和歌山市鳴神（鳴神社）           | 昭和12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 鳴神社百度石          | 和歌山市鳴神（鳴神社）           | 明治9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 鳴神社玉垣           | 和歌山市鳴神（鳴神社）           | 大正4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 鳴神社玉垣           | 和歌山市鳴神（鳴神社）           | 昭和4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 法福寺奉納石柱         | 和歌山市和歌浦中（法福寺）         | 昭和       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 法福寺天水桶          | 和歌山市和歌浦中（法福寺）         | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦蛭子神社鳥居       | 和歌山市新和歌浦（和歌浦蛭子神社）     | 昭和3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌浦蛭子神社灯籠       | 和歌山市新和歌浦（和歌浦蛭子神社）     | 昭和12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 衣美須神社石柱         | 和歌山市田野（衣美須神社）         | 昭和34年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 衣美須神社手水鉢        | 和歌山市田野（衣美須神社）         | 昭和34年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 衣美須神社狛犬         | 和歌山市田野（衣美須神社）         | 昭和13年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 衣美須神社灯籠         | 和歌山市田野（衣美須神社）         | 大正2年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 衣美須神社奉獻石柱       | 和歌山市田野（衣美須神社）         | 昭和34年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 衣美須神社狛犬         | 和歌山市田野（衣美須神社）         | 昭和34年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 衣美須神社本殿修復工事記念石柱 | 和歌山市田野（衣美須神社）         | 昭和47年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 衣美須神社内龍石碑       | 和歌山市田野（衣美須神社）         | 昭和34年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 勸学晃暁院智量和上       | 和歌山市雑賀崎（極楽寺）          | 明治44年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 極楽寺井戸           | 和歌山市雑賀崎（極楽寺）          | 昭和3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 極楽寺手水鉢          | 和歌山市雑賀崎（極楽寺）          | 明治20年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 衣美須神社献灯         | 和歌山市雑賀崎（衣美須神社）        | 昭和36年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 教明寺石段施主の碑       | 和歌山市寺内（教明寺）           | 大正7年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 西熊野神社鳥居         | 和歌山市西（西熊野神社）          | 明治28年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 「不可入葦酒肉○」石碑     | 和歌山市寺内（満願寺）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 浄徳寺天水桶          | 和歌山市吉礼（浄徳寺）           | 昭和9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 先祖代々之碑          | 和歌山市吉礼（日限寺）           | 大正9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大峰登山石碑          | 和歌山市吉礼（日限寺）           | 昭和24年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 都麻津姫神社鳥居        | 和歌山市吉礼（都麻津姫神社）        | 昭和14年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 都麻津姫神社灯籠        | 和歌山市吉礼（都麻津姫神社）        | 昭和8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 都麻津姫神社百度石       | 和歌山市吉礼（都麻津姫神社）        | 明治～      | —   |
| 06  | 和歌山市 | 蓮如上人御旧跡石碑       | 和歌山市永穂（永正寺）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正福寺天水桶          | 和歌山市西田井（正福寺）          | 大正9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大屋都姫神社石柱        | 和歌山市宇田森（大屋都姫神社）       | 昭和12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大屋都姫神社灯籠        | 和歌山市宇田森（大屋都姫神社）       | 明治23年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大屋都姫神社灯籠        | 和歌山市宇田森（大屋都姫神社）       | 大正9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 永善寺本堂庫裏竣成記念碑    | 和歌山市湊（永善寺）            | 昭和46年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 利益院井桁           | 和歌山市湊（利益院）            | 明治39年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 利益院八大龍王・王宮龍王石碑  | 和歌山市湊（利益院）            | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 利益院百度石          | 和歌山市湊（利益院）            | 明治39年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 湊神社石柱           | 和歌山市湊（湊神社）            | 昭和12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 若宮八幡神社手水鉢       | 和歌山市紀三井寺（若宮八幡神社）      | 明治12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 報恩講寺南無阿弥陀仏石柱    | 和歌山市大川（報恩講寺）          | 大正7年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 圓光大師御遠○石柱       | 和歌山市大川（報恩講寺）          | 安政4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 報恩講寺奉納石柱        | 和歌山市大川（報恩講寺）          | 昭和       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 報恩講寺南無阿弥陀仏石柱    | 和歌山市大川（報恩講寺）          | 安政2年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 報恩講寺石台          | 和歌山市大川（報恩講寺）          | 昭和4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大川八幡神社奉納石柱      | 和歌山市大川（大川八幡神社）        | 大正       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大川八幡神社狛犬        | 和歌山市大川（大川八幡神社）        | 嘉永5年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 日吉神社手水鉢         | 和歌山市深山（日吉神社）          | 明治12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 日吉神社狛犬          | 和歌山市深山（日吉神社）          | 嘉永6年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 日吉神社灯籠          | 和歌山市深山（日吉神社）          | 明治31年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 日吉神社本殿前石柱       | 和歌山市深山（日吉神社）          | 大正4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 武内神社標柱          | 和歌山市松原（武内神社）          | 昭和42年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 武内宿禰誕生所石碑       | 和歌山市松原（武内神社）          | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 武内宿禰誕生の井戸       | 和歌山市松原（武内神社）          | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 金光教教徒信徒祖神霊塚     | 和歌山市今福（今福共同墓地）        | 大正8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 「南無阿弥陀仏」石碑      | 和歌山市加太1761付近（岬加太港線沿い） | 嘉永2年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 常行寺奉納石柱         | 和歌山市加太（常行寺）           | 昭和       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 常行寺手水鉢          | 和歌山市加太（常行寺）           | 明治35年    | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称            | 所在地                     | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|---------------|-------------------------|----------|-----|
| 06  | 和歌山市 | 春日神社標柱        | 和歌山市加太（春日神社）            | 昭和8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 春日神社鳥居        | 和歌山市加太（春日神社）            | 昭和9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 春日神社参道敷石奉献石碑  | 和歌山市加太（春日神社）            | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 春日神社注連柱       | 和歌山市加太（春日神社）            | 大正4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 春日神社狛犬        | 和歌山市加太（春日神社）            | 嘉永6年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 春日神社玉垣        | 和歌山市加太（春日神社）            | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 稱念寺天水桶        | 和歌山市加太（稱念寺）             | 明治41年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 阿弥陀寺奉納石柱      | 和歌山市加太（阿弥陀寺）            | 大正       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 阿弥陀寺手水鉢       | 和歌山市加太（阿弥陀寺）            | 文久3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 役行者堂石碑        | 和歌山市加太（役行者堂登り口）         | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 阿字ヶ峰 眺望絶勝之地石柱 | 和歌山市加太（役行者堂登道）          | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 役行者堂手水鉢       | 和歌山市加太（役行者堂登道）          | 慶応元年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 加太淡嶋神社標柱      | 和歌山市加太（淡嶋神社）            | 明治42年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 「国の鎮」石柱       | 和歌山市加太（淡嶋神社）            | 大正14年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 淡嶋神社灯籠        | 和歌山市加太（淡嶋神社）            | 大正6年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 淡嶋神社蛙銅像       | 和歌山市加太（淡嶋神社）            | 昭和25年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 紀文稻荷社石碑       | 和歌山市加太（淡嶋神社）            | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 淡嶋神社灯籠        | 和歌山市加太（淡嶋神社）            | 明治36年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 淡嶋神社灯籠        | 和歌山市加太（淡嶋神社）            | 明治38年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 淡嶋神社灯籠        | 和歌山市加太（淡嶋神社）            | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 淡嶋神社灯籠        | 和歌山市加太（淡嶋神社）            | 大正元年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 南無阿弥陀仏石碑      | 和歌山市西庄（紀泉入会林野整理解消記念碑付近） | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 不動明王像         | 和歌山市十三番丁                | 昭和34年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 若宮神社手水鉢       | 和歌山市古屋（若宮神社）            | 明治39年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 若宮神社灯籠        | 和歌山市古屋（若宮神社）            | 明治4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正立寺天水桶        | 和歌山市古屋（正立寺）             | 大正5年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 石材寄附石碑        | 和歌山市古屋（正立寺）             | 明治23年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 石類寄附石碑        | 和歌山市古屋（正立寺）             | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 万福寺天水桶        | 和歌山市古屋（松江西）             | 明治32年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 万福寺灯籠         | 和歌山市古屋（松江西）             | 明治32年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 朝棕神社標柱        | 和歌山市鷺ノ森明神丁（朝棕神社）        | 昭和32年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 朝棕神社鳥居        | 和歌山市鷺ノ森明神丁（朝棕神社）        | 昭和31年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 朝棕神社灯籠        | 和歌山市鷺ノ森明神丁（朝棕神社）        | 昭和4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 朝棕神社狛犬        | 和歌山市鷺ノ森明神丁（朝棕神社）        | 昭和36年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 朝棕神社百度石       | 和歌山市鷺ノ森明神丁（朝棕神社）        | 昭和34年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 称名寺奉納石柱       | 和歌山市鷺森（称名寺）             | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 鷺森別院庭園        | 和歌山市鷺森（鷺森別院）            | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正壽院手水鉢        | 和歌山市東鍛冶屋町（正壽院）          | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 安養寺標柱         | 和歌山市道場町（安養寺）            | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 安養寺鳥居         | 和歌山市道場町（安養寺）            | 明治13年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 安養寺狛犬         | 和歌山市道場町（安養寺）            | 明治20年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大日本神社仏閣巡拝記念碑  | 和歌山市道場町（安養寺）            | 大正15年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正清院殿御火葬之跡     | 和歌山市男野芝丁（吹上寺）           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 善能寺奉納石柱       | 和歌山市道場町（善能寺）            | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 水門吹上神社百度石     | 和歌山市小野町（水門吹上神社内）        | 昭和9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 水門吹上神社奉納石碑    | 和歌山市小野町（水門吹上神社内）        | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 水門吹上神社狛犬      | 和歌山市小野町（水門吹上神社内）        | 昭和10年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 浄源寺奉納石柱       | 和歌山市北島（浄源寺）             | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 浄源寺泉浄水        | 和歌山市北島（浄源寺）             | 昭和41年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 住吉神社百度石       | 和歌山市北島（住吉神社）            | 昭和39年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 住吉神社奉納石柱      | 和歌山市北島（住吉神社）            | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 住吉神社鳥居        | 和歌山市北島（住吉神社）            | 大正元年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 住吉神社狛犬        | 和歌山市北島（住吉神社）            | 昭和39年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 永禪寺本堂庫裏竣成記念碑  | 和歌山市湊（永禪寺）              | 昭和46年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 釋 濤後居士之碑      | 和歌山市湊（永禪寺）              | 大正3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 郷社伊達神社石碑      | 和歌山市園部（伊達神社）            | 不明       | —   |



| 小分類 | 市町村  | 名称                 | 所在地             | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|--------------------|-----------------|----------|-----|
| 06  | 和歌山市 | 伊達神社鳥居             | 和歌山市園部（伊達神社）    | 大正7年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 伊達神社鳥居             | 和歌山市園部（伊達神社）    | 大正7年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 射矢止神社標柱            | 和歌山市六十谷（射矢止神社）  | 大正4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 丹生神社標柱             | 和歌山市直川（丹生神社）    | 大正6年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 宗祖法然上人七百五十年大遠忌記念石碑 | 和歌山市六十谷（法然寺）    | 昭和36年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 法然寺尾崎庚申堂           | 和歌山市六十谷（法然寺）    | 昭和41年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正円寺標柱              | 和歌山市西庄（正円寺）     | 昭和45年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正円寺門前敷石奉納石柱        | 和歌山市西庄（正円寺）     | 昭和8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正円寺手水鉢             | 和歌山市西庄（正円寺）     | 大正10年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正円寺天水桶             | 和歌山市西庄（正円寺）     | 大正15年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 西念寺奉納石柱            | 和歌山市西庄（西念寺）     | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 西念寺天水桶             | 和歌山市西庄（西念寺）     | 昭和40年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 西念寺花入              | 和歌山市西庄（西念寺）     | 昭和18年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 西念寺用水              | 和歌山市西庄（西念寺）     | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 射箭頭八幡神社狛犬          | 和歌山市本脇（射箭頭八幡神社） | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 射箭頭八幡神社灯籠          | 和歌山市本脇（射箭頭八幡神社） | 昭和4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 射箭頭八幡神社標柱          | 和歌山市本脇（射箭頭八幡神社） | 昭和3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 八幡神社手水鉢奉納石柱        | 和歌山市本脇（射箭頭八幡神社） | 昭和44年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 磯脇八幡神社灯籠           | 和歌山市磯の浦（磯脇八幡神社） | 明治44年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 磯脇八幡神社狛犬           | 和歌山市磯の浦（磯脇八幡神社） | 昭和2年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 木本八幡宮灯籠            | 和歌山市西庄（木本八幡宮）   | 明治33年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 墓地整理記念標            | 和歌山市木ノ本西三か寺共同墓地 | 昭和12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大年神社狛犬             | 和歌山市梅原（大年神社）    | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大年神社灯籠             | 和歌山市梅原（大年神社）    | 明治？      | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大年神社灯籠             | 和歌山市梅原（大年神社）    | 明治35年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大年神社寄贈石柱           | 和歌山市梅原（大年神社）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大年神社手水鉢            | 和歌山市梅原（大年神社）    | 明治32年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大年神社標柱             | 和歌山市梅原（大年神社）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 明信房宗慶師碑            | 和歌山市木ノ本（墓地）     | 明治36年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 姫神社鳥居              | 和歌山市榎原（姫神社）     | 明治39年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 光笑院泰門碑             | 和歌山市榎原（西往寺）     | 明治41年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 妙見宮石造物             | 和歌山市藤田（妙見宮）     | 明治3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 力侍神社奉納石柱           | 和歌山市川辺（力侍神社）    | 大正14年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 力侍神社狛犬             | 和歌山市川辺（力侍神社）    | 明治44年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 力侍神社標柱             | 和歌山市川辺（力侍神社）    | 昭和13年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大峰登山五十度供養碑         | 和歌山市六十谷（本恵寺）    | 昭和10年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 八幡神社鳥居             | 和歌山市野崎（八幡神社）    | 昭和12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 八幡神社〇〇大神           | 和歌山市野崎（八幡神社）    | 昭和3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 八幡神社百度石            | 和歌山市野崎（八幡神社）    | 昭和48年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 光源寺標柱              | 和歌山市福島（光源寺）     | 昭和48年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 光源寺奉納石柱            | 和歌山市福島（光源寺）     | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 光源寺井戸枠             | 和歌山市福島（光源寺）     | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 南無阿弥陀仏石碑           | 和歌山市福島（光源寺）     | 明治33年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 九頭神社鳥居             | 和歌山市福島（九頭神社）    | 昭和31年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 九頭神社百度石            | 和歌山市福島（九頭神社）    | 昭和48年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 九頭神社手水鉢            | 和歌山市福島（九頭神社）    | 明治2年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 善導寺奉納石柱            | 和歌山市福島（善導寺）     | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 後奈良天皇・正親町天皇勅願所石柱   | 和歌山市梶取（総持寺）     | 大正元年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 総持寺歌碑              | 和歌山市梶取（総持寺）     | 昭和28年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 総持寺灯籠              | 和歌山市梶取（総持寺）     | 安政6年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 梶取住吉神社手水鉢          | 和歌山市梶取          | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 梶取住吉神社灯籠           | 和歌山市梶取          | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 〇〇寺移転記念碑           | 和歌山市梶取（深崇寺）     | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 常福寺奉納石柱            | 和歌山市梶取（常福寺）     | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 圓藏院標柱              | 和歌山市南相生（圓藏院）    | 昭和38年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 宇治神社禁殺生石碑          | 和歌山市新魚町（宇治神社）   | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 若宮八幡神社宮繕竣工記念碑      | 和歌山市有本          | 大正15年    | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称                 | 所在地            | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|--------------------|----------------|----------|-----|
| 06  | 和歌山市 | 若宮八幡宮標柱            | 和歌山市有本         | 昭和34年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 若宮八幡宮猿石造物          | 和歌山市有本         | 昭和       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 若宮八幡宮鳥居            | 和歌山市有本         | 昭和34年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 真光寺灯籠              | 和歌山市打越町（真光寺）   | 昭和10年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 真光寺灯籠              | 和歌山市打越町（真光寺）   | 昭和12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 南無阿弥陀仏石柱           | 和歌山市寺町（恵運寺）    | 大正6年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌山西国第十番恵運寺石柱      | 和歌山市寺町（恵運寺）    | 昭和3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌山西国如意輪観音三光寺石柱    | 和歌山市寺町（三光寺）    | 昭和3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 刺田比古神社灯籠           | 和歌山市片岡町        | 安政3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 刺田比古神社灯籠           | 和歌山市片岡町        | 昭和3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 刺田比古神社鳥居           | 和歌山市片岡町        | 昭和34年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 刺田比古神社鳥居           | 和歌山市片岡町        | 昭和9年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 刺田比古神社玉垣           | 和歌山市片岡町        | 昭和4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 国宝古堂保存金寄附各家記念石     | 和歌山市片岡町（松生院）   | 大正3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 松生院灯籠              | 和歌山市片岡町（松生院）   | 明治37年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 松生院狛犬              | 和歌山市片岡町（松生院）   | 大正4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 松生院石製遥拝塔           | 和歌山市片岡町（松生院）   | 大正2年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 松生院七言絶句石碑          | 和歌山市片岡町（松生院）   | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌山西国第五番禪林寺石柱      | 和歌山市鷹匠町（禪林寺）   | 昭和3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 浦上キリシタン合葬墓         | 和歌山市鷹匠町（禪林寺）   | 昭和2年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 花道岡田松雲院先生ノ墓 石柱     | 和歌山市吹上（窓誉寺）    | 昭和6年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌山西国第九番窓誉寺石柱      | 和歌山市吹上（窓誉寺）    | 昭和3年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大阪妙勇講之内道路寄附者石碑     | 和歌山市吹上（報恩寺）    | 大正8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 宗祖大靈五十遠忌記念碑        | 和歌山市吹上（本光寺）    | 昭和6年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 南無妙法蓮華経石柱          | 和歌山市吹上（本光寺）    | 昭和46年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 当山本堂山門改築記念碑        | 和歌山市鷹匠町（延命院）   | 昭和15年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 導者大野房之助碑           | 和歌山市鷹匠町（延命院）   | 昭和4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 南無妙法蓮華経石碑          | 和歌山市宇須（浄心寺）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 和歌山西国第七番大泉寺石柱      | 和歌山市吹上（大泉寺）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 地蔵寺手水鉢             | 和歌山市園部（地蔵寺）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 青石石碑               | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 彰徳碑                | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 昭和15年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 報恩記念 長谷栄蔵之碑        | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 大正15年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 鳴滝不動尊奉納石柱          | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 鳴滝不動尊奉納石柱          | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 鳴滝不動尊蹲             | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 安政5年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 鳴滝不動尊灯籠            | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 鳴滝不動尊石製台           | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 昭和27年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 白瀧大神石碑             | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 昭和36年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 薬力大神・薬一大明神・滝姫大明神石碑 | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正一位白金稻荷大明神石柱       | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 昭和11年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 御瀧階段修繕記念碑          | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 大正13年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 鳴滝不動尊石碑            | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 黒身大神石碑             | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高橋稻荷大明神・白良大神石碑     | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 豊敬稻荷大明神・豊姫稻荷大明神等石碑 | 和歌山市（鳴滝不動尊）    | 昭和7年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 弘法大師御生誕千二百年記念祭石碑   | 和歌山市直川（出世不動明王） | 昭和48年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 初代役員名石柱            | 和歌山市直川（出世不動明王） | 昭和33年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 八幡神社灯籠             | 和歌山市府中（八幡神社）   | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 感通寺奉納石柱            | 和歌山市弘西（感通寺）    | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 音○○○童子石碑           | 和歌山市（府中・今滝付近？） | 明治13年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 当院祖先累代之墓           | 和歌山市山口西（覚善寺）   | 昭和10年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 西方寺手水鉢             | 和歌山市山口西（西方寺）   | 大正5年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 村社八王子白山神社跡地石碑      | 和歌山市北別所        | 昭和42年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 祇園寺鳥居              | 和歌山市上黒谷（祇園寺）   | 明治13年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 祇園寺石碑              | 和歌山市上黒谷（祇園寺）   | 大正       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 祇園寺花入              | 和歌山市上黒谷（祇園寺）   | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 妙見堂灯籠              | 和歌山市上黒谷（妙見堂）   | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 山口神社灯籠             | 和歌山市谷（山口神社）    | 昭和8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 山口神社百度石            | 和歌山市谷（山口神社）    | 大正11年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 山口神社手水鉢            | 和歌山市谷（山口神社）    | 明治39年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 山口神社増築記念石碑         | 和歌山市谷（山口神社）    | 大正3年     | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称             | 所在地              | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|----------------|------------------|----------|-----|
| 06  | 和歌山市 | 山口神社狛犬         | 和歌山市谷（山口神社）      | 明治39年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 山口神社大鳥居再建石碑    | 和歌山市谷（山口神社）      | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 葛城霊場三之宿行所玉垣    | 和歌山市（葛城霊場三之宿行所）  | 昭和11年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 葛城霊場三之宿行所灯籠    | 和歌山市（葛城霊場三之宿行所）  | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 葛城霊場三之宿行所灯籠    | 和歌山市（葛城霊場三之宿行所）  | 明治34年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 圓蓮社戒誉上人〇〇石碑    | 和歌山市（葛城霊場三之宿行所）  | 大正8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 安養寺奉納石柱        | 和歌山市禰宜           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 歓喜寺奉納石柱        | 和歌山市禰宜           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高積神社社殿改築寄附芳名石碑 | 和歌山市禰宜           | 昭和40年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高積神社改修記念石碑     | 和歌山市禰宜           | 昭和40年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高積神社百度石        | 和歌山市禰宜           | 昭和       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高積神社鳥居奉納石柱     | 和歌山市禰宜           | 昭和49年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高積神社奉納石柱       | 和歌山市禰宜           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高積神社灯籠         | 和歌山市禰宜           | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高橋神社御宮繕記念石柱    | 和歌山市岩橋           | 昭和8年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高橋神社灯籠         | 和歌山市岩橋           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高橋神社灯籠         | 和歌山市岩橋           | 明治41年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 丹生神社灯籠         | 和歌山市栗栖           | 明治24年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 丹生神社百度石        | 和歌山市栗栖           | 明治24年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 丹生神社奉納石柱       | 和歌山市栗栖           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 浄土寺灯籠          | 和歌山市栗栖           | 明治13年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 浄土寺奉納石柱        | 和歌山市栗栖           | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 南無阿弥陀仏石碑       | 和歌山市栗栖（西栗栖会館付近）  | 明治24年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高倉寺灯籠          | 和歌山市栗栖（高倉寺）      | 昭和5年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 高倉寺奉納石柱        | 和歌山市栗栖（高倉寺）      | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 光供養塔           | 和歌山市栗栖（教蓮寺南）     | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 光供養塔関連灯籠       | 和歌山市栗栖（教蓮寺南）     | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 石碑             | 和歌山市栗栖（教蓮寺）      | 明治44年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 神秀山灯籠          | 和歌山市岩橋（金龍大神、神秀山） | 昭和38年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 神秀山鳥居          | 和歌山市岩橋（金龍大神、神秀山） | 昭和38年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 神秀山狛犬          | 和歌山市岩橋（金龍大神、神秀山） | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 神秀山祠           | 和歌山市岩橋（金龍大神、神秀山） | 昭和39年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 神秀山地蔵祠         | 和歌山市岩橋（金龍大神、神秀山） | 昭和38年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 神秀山灯籠          | 和歌山市岩橋（金龍大神、神秀山） | 昭和38年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 神秀山六地地蔵標柱      | 和歌山市岩橋（金龍大神、神秀山） | 昭和38年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 奉納石柱           | 和歌山市下和佐（元享寺付近神社） | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 石製灯籠           | 和歌山市下和佐（元享寺付近神社） | 明治38年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大日山標柱          | 和歌山市井辺（大日堂）      | 昭和4年     | —   |
| 06  | 和歌山市 | 大日堂記念台座        | 和歌山市井辺（大日堂）      | 明治       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 不動尊寄進石碑        | 和歌山市井辺（大日堂）      | 大正12年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 西国三十三度満就記念碑    | 和歌山市井辺（大日堂）      | 明治22年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正願寺墓地建設記念碑     | 和歌山市鳴神（正願寺墓地）    | 昭和48年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正願寺敷石施主石碑      | 和歌山市鳴神（正願寺）      | 不明       | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正願寺天水桶         | 和歌山市鳴神（正願寺）      | 明治43年    | —   |
| 06  | 和歌山市 | 正願寺奉納石柱        | 和歌山市鳴神（正願寺）      | 昭和14年    | —   |
| 06  | 海南市  | 藤白神社 鳥居        | 海南市藤白            | 明治       | 国史跡 |
| 06  | 海南市  | 「藤白皇大神社」石碑     | 海南市藤白            | 幕末       | 国史跡 |
| 06  | 海南市  | 「大鳥居遺跡」石碑      | 海南市鳥居            | 明治42年    | —   |
| 06  | 海南市  | 名号碑（御所の芝）      | 海南市下津町橋本         | 明治8年     | 国史跡 |
| 06  | 海南市  | 手水鉢（御所の芝）      | 海南市下津町橋本         | 明治9年     | 国史跡 |
| 06  | 海南市  | 山路王子神社石階段      | 海南市下津町市坪         | 大正7年     | 国史跡 |
| 06  | 海南市  | 山路王子神社石鳥居      | 海南市下津町市坪         | 明治38年    | 国史跡 |



| 小分類 | 市町村  | 名称                      | 所在地          | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|-------------------------|--------------|--------------|-----|
| 06  | 海南市  | 山路王子神社狛犬                | 海南市下津町市坪     | 昭和12年        | 国史跡 |
| 06  | 海南市  | 山路王子神社社標                | 海南市下津町市坪     | 昭和7年         | 国史跡 |
| 06  | 海南市  | 山路王子神社手水鉢               | 海南市下津町市坪     | 大正           | 国史跡 |
| 06  | 海南市  | 山路王子神社手水舎               | 海南市下津町市坪     | 大正           | 国史跡 |
| 06  | 海南市  | 春日神社鳥居                  | 海南市大野中       | 昭和10年        | —   |
| 06  | 海南市  | 伊勢部柿本神社社標               | 海南市日方        | 昭和3年         | —   |
| 06  | 海南市  | 伊勢部柿本神社狛犬               | 海南市日方        | 昭和9年         | —   |
| 06  | 海南市  | 伊勢部柿本神社狛犬               | 海南市日方        | 昭和15年        | —   |
| 06  | 海南市  | 伊勢部柿本神社百度石              | 海南市日方        | 昭和15年        | —   |
| 06  | 海南市  | 「橋本神社」社標                | 海南市下津町橋本     | 昭和30年        | 県史跡 |
| 06  | 海南市  | 立神社鳥居                   | 海南市下津町引尾     | 昭和5年         | —   |
| 06  | 海南市  | 三郷八幡神社 鳥居               | 海南市下津町黒田     | 昭和13年        | —   |
| 06  | 海南市  | 三郷八幡神社 社標               | 海南市下津町丁      | 昭和13年        | —   |
| 06  | 海南市  | 稲荷神社 社標                 | 海南市下津町大崎     | 大正11年        | —   |
| 06  | 海南市  | 「祓戸神社址」石碑               | 海南市鳥居（祓戸王子跡） | 明治           | —   |
| 06  | 海南市  | 糺神社址碑                   | 海南市名高（糺神社跡）  | 明治以降         | —   |
| 06  | 紀の川市 | 弘法大師碑                   | 紀の川市桃山町段新田   | 幕末           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 記念碑                     | 紀の川市名手市場     | 昭和9年         | —   |
| 06  | 紀の川市 | 粉河寺創建光明池記念碑             | 紀の川市粉河       | 大正14年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 踞木地之碑                   | 紀の川市粉河       | 明治35年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 賀茂神社鳥居                  | 紀の川市西川原      | 明治45年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 本堂（善来寺）改築記念碑            | 紀の川市嶋        | 昭和11年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 合璧記念碑                   | 紀の川市北志野      | 昭和26年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 合璧記念碑                   | 紀の川市南志野      | 大正15年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 記念碑                     | 紀の川市北志野      | 昭和26年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 乗蔵院建立之記                 | 紀の川市粉河       | 明治           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 阿弥陀如来坐像                 | 紀の川市粉河       | 幕末           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 大門中門釣灯籠献納記念碑            | 紀の川市粉河       | 昭和8年         | —   |
| 06  | 紀の川市 | 名手八幡神社記念碑               | 紀の川市名手市場     | 昭和13年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 粉河寺山主大行満願海筆<br>仏足跡釈迦喝文碑 | 紀の川市粉河       | 幕末           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 秋葉山神社                   | 紀の川市中鞆渚      | 大正10年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 今宮神宮                    | 紀の川市中鞆渚      | 大正10年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 山神社                     | 紀の川市中鞆渚      | 昭和25年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 社日神                     | 紀の川市北長田      | 明治4年         | —   |
| 06  | 紀の川市 | 社日神                     | 紀の川市長田中      | 明治18年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 帝釈寺                     | 紀の川市別所       | 昭和39年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 社日神                     | 紀の川市中山       | 明治18年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 土公神                     | 紀の川市猪垣       | 明治9年         | —   |
| 06  | 紀の川市 | 土公神守護                   | 紀の川市藤井       | 明治2年         | —   |
| 06  | 紀の川市 | 板碑                      | 紀の川市東毛       | 明治3年         | —   |
| 06  | 紀の川市 | 灯籠                      | 紀の川市粉河       | 大正11年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 狛犬                      | 紀の川市遠方       | 大正4年         | —   |
| 06  | 紀の川市 | 狛犬                      | 紀の川市西川原      | 明治           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 狛犬                      | 紀の川市上丹生谷     | 大正           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 奉誦光明真言一百萬遍塔             | 紀の川市名手上      | 明治21年        | —   |
| 06  | 紀の川市 | 十一面観音立像                 | 紀の川市粉河       | 幕末           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 読誦塔                     | 紀の川市北長田      | 明治           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 読誦塔                     | 紀の川市北長田      | 明治           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 読誦塔                     | 紀の川市北長田      | 昭和           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 読誦塔                     | 紀の川市麻生津中     | 幕末           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 読誦塔                     | 紀の川市名手西野     | 明治           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 一字一石塔                   | 紀の川市穴伏       | 幕末           | —   |
| 06  | 紀の川市 | 一字一石塔                   | 紀の川市北涌       | 明治           | —   |
| 06  | 岩出市  | 関伽井寺 勤操塚                | 岩出市清水        | 大正2年         | —   |
| 06  | 岩出市  | 清水の堤の大師堂                | 岩出市清水        | 江戸           | —   |
| 06  | 岩出市  | 荒田神社の石燈籠                | 岩出市森         | 江戸           | —   |
| 06  | 岩出市  | 山崎神社の石燈籠                | 岩出市赤垣内       | 江戸           | —   |
| 06  | 岩出市  | 栄福寺境内の石地藏               | 岩出市湯窪        | 江戸           | —   |
| 06  | 岩出市  | 境谷桜地藏                   | 岩出市境谷        | 江戸           | —   |
| 06  | 岩出市  | 根来寺不動堂前百度回石             | 岩出市根来        | 江戸           | —   |
| 06  | 岩出市  | 西方寺門前にある標石              | 岩出市今中        | 江戸           | —   |
| 06  | 岩出市  | 観音寺参道にある地藏菩薩            | 岩出市東坂本       | 江戸           | —   |
| 06  | 岩出市  | 観音院 標石                  | 岩出市宮         | 不明           | —   |
| 06  | 岩出市  | 地藏寺の石碑                  | 岩出市境谷        | 江戸           | —   |
| 06  | 岩出市  | 五智房堂                    | 岩出市尼ヶ辻       | 不明           | —   |

| 小分類 | 市町村   | 名称                 | 所在地         | 建設・設置<br>時期等 | 指定等  |
|-----|-------|--------------------|-------------|--------------|------|
| 06  | 岩出市   | 荒田神社の狛犬台座          | 岩出市森        | 江戸           | —    |
| 06  | 岩出市   | 大日寺石造宝塔            | 岩出市水栖       | 江戸～          | 市建造物 |
| 06  | 岩出市   | 大宮神社               | 岩出市宮        | 江戸           | —    |
| 06  | 岩出市   | 船津八幡神社             | 岩出市岡田       | 江戸           | —    |
| 06  | 岩出市   | 山崎神社               | 岩出市赤垣内      | 江戸           | —    |
| 06  | 岩出市   | 坂本神社               | 岩出市根来       | 江戸           | —    |
| 06  | 岩出市   | 日吉神社               | 岩出市境谷       | 江戸           | —    |
| 06  | 岩出市   | 日吉神社               | 岩出市押川       | 江戸           | —    |
| 06  | 岩出市   | 船戸弁財天社             | 岩出市船戸       | 不明           | —    |
| 06  | 岩出市   | 風吹山弁財天院            | 岩出市根来       | 不明           | —    |
| 06  | 岩出市   | 根来寺他               | 岩出市         | 江戸           | —    |
| 06  | 岩出市   | イエスの御霊教会           | 岩出市高塚（のち清水） | 昭和           | —    |
| 06  | 岩出市   | 紀ノ崎分教会（天理教）        | 岩出市境谷       | 明治28年頃       | —    |
| 06  | 岩出市   | 金光教山崎教会            | 岩出市中島       | 明治33年        | —    |
| 06  | 橋本市   | 日本聖公会橋本基督教会旧礼拝堂    | 橋本市古佐田      | 明治初期         | 国登録  |
| 06  | 高野町   | 熊谷寺・持宝院            | 高野町大字高野山    | 大正           | —    |
| 06  | 高野町   | 金剛峯寺 新書院           | 高野町大字高野山    | 昭和32年        | —    |
| 06  | 高野町   | 金剛峯寺 奥殿            | 高野町大字高野山    | 昭和8年         | —    |
| 06  | 高野町   | 金剛峯寺 別殿            | 高野町大字高野山    | 昭和9年         | —    |
| 06  | 高野町   | 金剛峯寺 真松庵           | 高野町大字高野山    | 昭和40年        | —    |
| 06  | 高野町   | 金剛峯寺 阿字観道場         | 高野町大字高野山    | 昭和40年        | —    |
| 06  | 高野町   | 壇上伽藍 金堂            | 高野町大字高野山    | 昭和7年         | —    |
| 06  | 高野町   | 壇上伽藍 根本大塔          | 高野町大字高野山    | 昭和12年        | —    |
| 06  | 高野町   | 壇上伽藍 西御堂・弥勒堂（現准胝堂） | 高野町大字高野山    | 明治16年        | —    |
| 06  | 高野町   | 壇上伽藍 六角経蔵（荒川経蔵）    | 高野町大字高野山    | 昭和9年         | —    |
| 06  | 高野町   | 壇上伽藍 鐘楼            | 高野町大字高野山    | 昭和33年        | —    |
| 06  | 高野町   | 壇上伽藍 浄水所           | 高野町大字高野山    | 昭和33年        | —    |
| 06  | 高野町   | 奥之院 頌徳殿            | 高野町大字高野山    | 大正4年         | —    |
| 06  | 高野町   | 奥之院 納骨堂            | 高野町大字高野山    | 大正15年        | —    |
| 06  | 高野町   | 奥之院 高野山震災霊牌堂       | 高野町大字高野山    | 昭和5年         | —    |
| 06  | 高野町   | 高野山大師教会            | 高野町大字高野山    | 大正4年         | —    |
| 06  | 高野町   | 蓮華定院庫裡             | 高野町高野山      | 幕末           | —    |
| 06  | 高野町   | 蓮華定院本堂             | 高野町大字高野山    | 幕末           | —    |
| 06  | 高野町   | 蓮華定院山門             | 高野町大字高野山    | 幕末           | —    |
| 06  | 高野町   | 西塔（金剛峯寺）           | 高野町大字高野山    | 幕末           | —    |
| 06  | 高野町   | 桜池院庫裡              | 高野町大字高野山    | 不明           | —    |
| 06  | 高野町   | 安養院庫裡              | 高野町大字高野山    | 不明           | —    |
| 06  | 高野町   | 普賢院 本堂・桜門          | 高野町大字高野山    | 明治           | —    |
| 06  | 高野町   | 西門院 本堂             | 高野町大字高野山    | 幕末           | —    |
| 06  | 高野町   | 光臺院 本堂・多宝塔・経蔵      | 高野町大字高野山    | 昭和2年         | —    |
| 06  | 高野町   | 大圓院 表門             | 高野町大字高野山    | 大正           | —    |
| 06  | 高野町   | 旧丹生院庫裡（現宝善院）       | 高野町大字高野山    | 明治23年～       | —    |
| 06  | 高野町   | 清浄心院               | 高野町大字高野山    | 幕末           | —    |
| 06  | 高野町   | 赤松院庫裡              | 高野町大字高野山    | 明治初期         | —    |
| 06  | 高野町   | 普門院 本堂             | 高野町大字高野山    | 幕末           | —    |
| 06  | 高野町   | 普門院 庫裡             | 高野町大字高野山    | 明治           | —    |
| 06  | 高野町   | 苺萱堂の絵解き（苺萱堂）       | 高野町大字高野山    | 昭和元年         | —    |
| 06  | 高野町   | 清不動堂（外不動堂）         | 高野町大字高野山    | 大正9年         | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社鳥居             | かつらぎ町大畑     | 明治36年        | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 大威徳明王碑             | かつらぎ町大畑     | 明治9年         | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 医王神社鳥居             | かつらぎ町短野     | 昭和12年        | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 医王神社狛犬             | かつらぎ町短野     | 昭和12年        | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 医王神社花立             | かつらぎ町短野     | 慶應4年         | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 医王神社遥拝所鳥居          | かつらぎ町短野     | 昭和12年        | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 医王神社遥拝所石灯籠         | かつらぎ町短野     | 明治13年        | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 医王神社遥拝所手水鉢         | かつらぎ町短野     | 昭和12年        | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 医王神社花立             | かつらぎ町短野     | 明治26年        | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 城山神社社名標            | かつらぎ町中飯降    | 昭和2年         | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 城山神社石段3            | かつらぎ町中飯降    | 明治4年か        | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 城山神社狛犬             | かつらぎ町中飯降    | 慶應3年         | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 城山神社百度石            | かつらぎ町中飯降    | 慶應2年         | —    |
| 06  | かつらぎ町 | 城山神社石燈籠            | かつらぎ町中飯降    | 明治39年        | —    |

| 小分類 | 市町村   | 名称                | 所在地      | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-------|-------------------|----------|--------------|-----|
| 06  | かつらぎ町 | 城山神社石燈籠           | かつらぎ町中飯降 | 昭和2年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 城山神社句碑            | かつらぎ町中飯降 | 慶應2年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 城山神社山神碑           | かつらぎ町中飯降 | 昭和2年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 天満宮鳥居             | かつらぎ町中飯降 | 昭和12年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 天満宮手水鉢            | かつらぎ町中飯降 | 昭和12年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 天満宮百度石            | かつらぎ町中飯降 | 昭和12年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 天満宮寄付碑            | かつらぎ町中飯降 | 昭和14年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 天満宮橋              | かつらぎ町中飯降 | 昭和12年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 徳円寺手水鉢2           | かつらぎ町中飯降 | 慶應2年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 徳円寺上水道開通記念碑       | かつらぎ町中飯降 | 昭和8年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大師堂石灯籠            | かつらぎ町中飯降 | 明治33年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子社              | かつらぎ町中飯降 | 明治40年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 東光寺墓地鳥居           | かつらぎ町中飯降 | 明治40年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 推定高坊家墓13          | かつらぎ町中飯降 | 慶應3・4年       | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 推定高坊家墓14          | かつらぎ町中飯降 | 明治18・29年     | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 推定高坊家墓15          | かつらぎ町中飯降 | 大正7年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 推定田所家墓10          | かつらぎ町中飯降 | 明治22年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 推定田所家墓11          | かつらぎ町中飯降 | 明治20年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社鳥居（上り口）       | かつらぎ町西飯降 | 明治35年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社鳥居（拝殿前）       | かつらぎ町西飯降 | 大正11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社石灯籠（本殿前右）     | かつらぎ町西飯降 | 大正11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社石灯籠（本殿前左）     | かつらぎ町西飯降 | 明治35年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社狛犬            | かつらぎ町西飯降 | 大正11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 椿ノ森八幡社花立          | かつらぎ町西飯降 | 大正11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八太神社石灯籠（拝殿前）      | かつらぎ町妙寺  | 昭和11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八太神社石灯籠（もと八幡神社）   | かつらぎ町妙寺  | 明治34年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八太神社狛犬            | かつらぎ町妙寺  | 大正5年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 笛吹神社鳥居            | かつらぎ町妙寺  | 大正14年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 太神宮跡              | かつらぎ町妙寺  | 大正5年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 遍照寺石灯籠            | かつらぎ町妙寺  | 大正6年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 遍照寺大威徳明王碑         | かつらぎ町妙寺  | 明治26年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 遍照寺供養塔            | かつらぎ町妙寺  | 明治39年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社鳥居（社務所前）     | かつらぎ町丁ノ町 | 大正14年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社鳥居（本殿前）      | かつらぎ町丁ノ町 | 明治39年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社手水鉢（拝殿横）     | かつらぎ町丁ノ町 | 明治27年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社狛犬（拝殿前）      | かつらぎ町丁ノ町 | 大正14年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社狛犬           | かつらぎ町丁ノ町 | 大正14年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社石段           | かつらぎ町丁ノ町 | 大正14年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 和田寺石灯籠            | かつらぎ町丁ノ町 | 明治2年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 和田寺手水鉢            | かつらぎ町丁ノ町 | 明治21年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 和田寺大威徳明王碑         | かつらぎ町丁ノ町 | 明治36年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 江戸観音堂喚鐘           | かつらぎ町丁ノ町 | 明治23年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社（市原）鳥居       | かつらぎ町丁ノ町 | 大正9年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社（市原）石灯籠（石段下） | かつらぎ町丁ノ町 | 大正9年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社（市原）石灯籠（本殿前） | かつらぎ町丁ノ町 | 大正9年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社（市原）手水鉢      | かつらぎ町丁ノ町 | 大正9年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社（市原）石段（拝殿下）  | かつらぎ町丁ノ町 | 大正9年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社（市原）石段（拝殿上）  | かつらぎ町丁ノ町 | 大正9年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社（市原）狛犬       | かつらぎ町丁ノ町 | 大正9年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社（市原）玉垣寄付碑    | かつらぎ町丁ノ町 | 大正9年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 医王寺跡鳥居            | かつらぎ町丁ノ町 | 大正9年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 医王寺跡石灯籠           | かつらぎ町丁ノ町 | 大正9年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 弁財天社花立            | かつらぎ町丁ノ町 | 昭和2年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 太神社石灯籠            | かつらぎ町新田  | 明治26年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 太神社鳥居             | かつらぎ町新田  | 大正10年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 太神社百度石            | かつらぎ町新田  | 大正2年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 太神社手水鉢            | かつらぎ町新田  | 大正10年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 太神社石灯籠            | かつらぎ町新田  | 明治24年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 太神社狛犬             | かつらぎ町新田  | 大正10年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 太神社御造営寄付者碑        | かつらぎ町新田  | 大正10年        | —   |



| 小分類 | 市町村   | 名称                    | 所在地      | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-------|-----------------------|----------|--------------|-----|
| 06  | かつらぎ町 | 太神社正遷宮出氏子寄付芳名碑        | かつらぎ町新田  | 大正10年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 柏木神社手水鉢               | かつらぎ町柏木  | 明治11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 柏木神社石灯籠               | かつらぎ町柏木  | 明治11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 地藏堂法華経塔               | かつらぎ町柏木  | 明治36年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 慶勝寺石段                 | かつらぎ町大藪  | 明治20年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大谷神社社名標               | かつらぎ町大谷  | 昭和3年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大谷神社百度石               | かつらぎ町大谷  | 明治23年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大谷神社百度石               | かつらぎ町大谷  | 明治20年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大谷神社鳥居                | かつらぎ町大谷  | 明治40年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大谷神社鳥居                | かつらぎ町大谷  | 明治40年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大谷神社石灯籠               | かつらぎ町大谷  | 明治28年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大谷神社手水鉢               | かつらぎ町大谷  | 明治40年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大谷神社石段                | かつらぎ町大谷  | 明治40年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大谷神社石段                | かつらぎ町大谷  | 明治40年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大谷地内小祠花立              | かつらぎ町大谷  | 昭和6年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 明光寺石灯籠                | かつらぎ町佐野  | 明治39・40<br>年 | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大師堂石段                 | かつらぎ町佐野  | 明治41年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 稲荷神社花立                | かつらぎ町佐野  | 大正10年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 祇園神社社名標               | かつらぎ町笠田東 | 大正11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 祇園神社鳥居                | かつらぎ町笠田東 | 昭和12年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 夜叉田の森鳥居               | かつらぎ町笠田東 | 昭和4年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 夜叉田の森手水鉢              | かつらぎ町笠田東 | 大正8年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 白鬚大明神石灯籠              | かつらぎ町笠田東 | 昭和4年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 円照寺樋の水受け              | かつらぎ町笠田東 | 大正10年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 円照寺樋の石灯籠              | かつらぎ町笠田東 | 大正10年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 祇園寺手水鉢                | かつらぎ町笠田東 | 昭和12年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 地藏花立                  | かつらぎ町笠田東 | 大正11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 笠田東第二自治区共同墓地六字<br>名号碑 | かつらぎ町笠田東 | 明治15年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 稲荷社手水鉢                | かつらぎ町笠田中 | 昭和2年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 無量寺花立                 | かつらぎ町笠田中 | 昭和4年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 弥勒堂法花経塚               | かつらぎ町笠田中 | 明治20年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 弥勒堂供養塔                | かつらぎ町笠田中 | 昭和9年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社社名標              | かつらぎ町萩原  | 昭和13年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社鳥居               | かつらぎ町萩原  | 昭和3年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石灯籠2             | かつらぎ町萩原  | 昭和8年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石灯籠6             | かつらぎ町萩原  | 明治39年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石灯籠7             | かつらぎ町萩原  | 明治39年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石灯籠8             | かつらぎ町萩原  | 明治14年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石灯籠12            | かつらぎ町萩原  | 明治26年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石灯籠17            | かつらぎ町萩原  | 明治26年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石灯籠14            | かつらぎ町萩原  | 明治21年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石灯籠21            | かつらぎ町萩原  | 明治29年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石灯籠26            | かつらぎ町萩原  | 大正10年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石灯籠30            | かつらぎ町萩原  | 大正10年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石灯籠27            | かつらぎ町萩原  | 昭和15年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石灯籠28            | かつらぎ町萩原  | 昭和15年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石段1              | かつらぎ町萩原  | 明治39年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石段2              | かつらぎ町萩原  | 大正5年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社石段3              | かつらぎ町萩原  | 大正11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社百度石              | かつらぎ町萩原  | 昭和15年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 宝来山神社狛犬               | かつらぎ町萩原  | 昭和15年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 遥拝所鳥居                 | かつらぎ町萩原  | 明治39年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 神願寺石燈籠                | かつらぎ町萩原  | 慶應元年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 神願寺花立                 | かつらぎ町萩原  | 明治39年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 稲本保之輔君記念碑             | かつらぎ町萩原  | 明治22年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 観音寺花立                 | かつらぎ町窪   | 明治26年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 観音寺石灯籠                | かつらぎ町窪   | 明治25年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 観音寺手水鉢                | かつらぎ町窪   | 明治25年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 薬師堂花立                 | かつらぎ町窪   | 明治26年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 地藏小祠                  | かつらぎ町窪   | 慶應3年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 供養堂神変大菩薩台座            | かつらぎ町窪   | 明治16年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 供養堂石灯籠                | かつらぎ町窪   | 大正14年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大將軍社花立                | かつらぎ町移   | 昭和2年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大將軍社篤志碑               | かつらぎ町移   | 昭和12年        | —   |

| 小分類 | 市町村   | 名称             | 所在地      | 建設・設置<br>時期等   | 指定等 |
|-----|-------|----------------|----------|----------------|-----|
| 06  | かつらぎ町 | 極楽寺石段          | かつらぎ町移   | 明治14年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡宮花立          | かつらぎ町背ノ山 | 明治17年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡宮御神体碑        | かつらぎ町背ノ山 | 大正6年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 鉢伏山小社花立        | かつらぎ町背ノ山 | 昭和9年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 背ノ山地内小社石灯籠     | かつらぎ町背ノ山 | 慶應3年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 背ノ山地内小社花立      | かつらぎ町背ノ山 | 昭和11年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡神社手水鉢        | かつらぎ町高田  | 昭和10年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 薬師堂石段          | かつらぎ町高田  | 昭和11年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 薬師堂手水鉢         | かつらぎ町高田  | 昭和11年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 一字一石塔          | かつらぎ町高田  | 昭和元年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 不動明王碑          | かつらぎ町高田  | 昭和15年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八坂神社手水鉢        | かつらぎ町東谷  | 明治28年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八坂神社石段         | かつらぎ町東谷  | 明治29年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八坂神社花立         | かつらぎ町東谷  | 明治30年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大將軍宮           | かつらぎ町東谷  | 昭和15年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大將軍宮灯籠         | かつらぎ町東谷  | 昭和15年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大將軍宮鳥居         | かつらぎ町東谷  | 昭和15年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 若宮八幡神社手水鉢      | かつらぎ町東谷  | 大正13年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 若宮八幡神社花立       | かつらぎ町東谷  | 大正11年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 若宮八幡神社灯籠       | かつらぎ町東谷  | 大正11・明<br>治22年 | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 羊の宮神社石段        | かつらぎ町東谷  | 大正11年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 羊の宮神社花立        | かつらぎ町東谷  | 明治22年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 阿弥陀堂花立         | かつらぎ町東谷  | 明治21年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 阿弥陀堂法華経塔       | かつらぎ町東谷  | 明治25年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 七（八）大竜王社手水鉢    | かつらぎ町東谷  | 明治5年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王寺喚鐘          | かつらぎ町東谷  | 明治23年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 堀越癩観音石灯籠       | かつらぎ町東谷  | 明治42年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社花立        | かつらぎ町平   | 明治12年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社石段        | かつらぎ町平   | 明治21年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社遥拝所碑      | かつらぎ町平   | 大正7年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王子神社石灯籠       | かつらぎ町平   | 明治21年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 福德寺記念碑         | かつらぎ町平   | 明治26年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 道路改修記念碑        | かつらぎ町平   | 昭和10年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 定福寺喚鐘          | かつらぎ町平   | 昭和13年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大威徳明王碑         | かつらぎ町平   | 明治16年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 一言主神社花立        | かつらぎ町平   | 明治39・38<br>年   | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 誠神社社名碑         | かつらぎ町平   | 昭和14年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 北辰妙見神社社名標      | かつらぎ町滝   | 昭和13年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 北辰妙見神社鳥居       | かつらぎ町滝   | 明治42年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 北辰妙見神社石灯籠      | かつらぎ町滝   | 昭和4年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 北辰妙見神社石段(下のもの) | かつらぎ町滝   | 大正15年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 北辰妙見神社石段(上のもの) | かつらぎ町滝   | 大正15年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大威徳明王碑(字熊谷)    | かつらぎ町滝   | 明治16年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大威徳明王碑(字熊谷)手水鉢 | かつらぎ町滝   | 明治16年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大威徳明王碑(字下福田)   | かつらぎ町滝   | 明治14年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大威徳明王碑(字熊谷)花立  | かつらぎ町滝   | 明治16年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大威徳明王碑(字熊谷)寄進碑 | かつらぎ町滝   | 明治14年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大威徳明王碑(字熊谷)手水鉢 | かつらぎ町滝   | 明治41年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大宮神社鳥居         | かつらぎ町広口  | 昭和9年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大宮神社石段         | かつらぎ町広口  | 大正15年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大宮神社花立         | かつらぎ町広口  | 明治21年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大宮神社石灯籠        | かつらぎ町広口  | 明治22年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大宮神社花立         | かつらぎ町広口  | 明治16年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大宮神社狛犬         | かつらぎ町広口  | 明治4年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 眠尾大威徳明王碑       | かつらぎ町広口  | 明治11年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社一の鳥居       | かつらぎ町山崎  | 大正元年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社石灯籠1・2     | かつらぎ町山崎  | 明治27年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社花立         | かつらぎ町山崎  | 大正元年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社狛犬         | かつらぎ町山崎  | 大正元年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社鳥居         | かつらぎ町山崎  | 大正元年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 成善寺・西方寺鰐口      | かつらぎ町山崎  | 明治31年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 成善寺・西方寺石灯籠     | かつらぎ町山崎  | 大正2年           | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 薬師堂鰐口          | かつらぎ町山崎  | 明治11年          | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 雨引山善女竜王手水鉢     | かつらぎ町山崎  | 明治11年          | —   |

| 小分類 | 市町村   | 名称              | 所在地      | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-------|-----------------|----------|--------------|-----|
| 06  | かつらぎ町 | 八幡神社鳥居          | かつらぎ町教良寺 | 大正6年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡神社寄付記念碑       | かつらぎ町教良寺 | 大正6年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生酒殿神社社名標       | かつらぎ町三谷  | 昭和11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生酒殿神社社名標       | かつらぎ町三谷  | 昭和3年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生酒殿神社献木記念碑     | かつらぎ町三谷  | 昭和13年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生酒殿神社鳥居        | かつらぎ町三谷  | 明治25年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生酒殿神社鳥居        | かつらぎ町三谷  | 明治33年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生酒殿神社狛犬        | かつらぎ町三谷  | 昭和10年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生酒殿神社石灯籠6・12   | かつらぎ町三谷  | 明治3年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生酒殿神社百度石       | かつらぎ町三谷  | 明治35年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大師堂石灯籠          | かつらぎ町三谷  | 明治26年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 鎌八幡宮跡石段         | かつらぎ町兄井  | 大正14年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 弁財天社鳥居          | かつらぎ町寺尾  | 昭和9年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 南蔵寺跡鎮守高野明神鳥居    | かつらぎ町寺尾  | 昭和7年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 高野神社社名標         | かつらぎ町平沼田 | 昭和16年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 高野神社鳥居          | かつらぎ町平沼田 | 昭和16年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 高野神社石灯籠         | かつらぎ町平沼田 | 明治24年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 高野神社手水鉢         | かつらぎ町平沼田 | 大正10年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社鳥居          | かつらぎ町宮本  | 昭和12年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社手水鉢         | かつらぎ町宮本  | 大正4年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社狛犬          | かつらぎ町宮本  | 大正4年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 弁財天社花立          | かつらぎ町宮本  | 大正5年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 弁財天社顕彰碑         | かつらぎ町宮本  | 昭和30年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 蟻通神社狛犬          | かつらぎ町東洪田 | 明治37年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 蟻通神社石灯籠         | かつらぎ町東洪田 | 昭和11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 蟻通神社石灯籠         | かつらぎ町東洪田 | 昭和11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 蟻通神社石灯籠         | かつらぎ町東洪田 | 明治36年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 釣鐘堂             | かつらぎ町東洪田 | 昭和11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 現福寺一字一石塔        | かつらぎ町東洪田 | 明治18年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 金刀比羅宮花立         | かつらぎ町東洪田 | 明治10年代       | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 枳形大師花立          | かつらぎ町東洪田 | 昭和13年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 千願不動明王台座        | かつらぎ町東洪田 | 昭和12年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 鞍出淵小社（左側）       | かつらぎ町東洪田 | 大正11年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 厳島神社鳥居          | かつらぎ町島   | 明治24年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 厳島神社手水鉢         | かつらぎ町島   | 明治45年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 厳島神社花立          | かつらぎ町島   | 明治24年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 厳島神社花立          | かつらぎ町島   | 明治29年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王寺神社花立         | かつらぎ町星川  | 昭和3年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八王寺神社狛犬         | かつらぎ町星川  | 大正5年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 天満宮（薬師寺上）鳥居     | かつらぎ町御所  | 昭和15年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 天満宮（個人宅上）鳥居     | かつらぎ町御所  | 昭和15年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 薬師寺祠堂記念碑        | かつらぎ町御所  | 明治44年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 三社明神社石灯籠        | かつらぎ町日高  | 昭和2年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 三社明神社石灯籠        | かつらぎ町日高  | 昭和17年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 三社明神社花立         | かつらぎ町日高  | 明治38年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生都比売神社手水鉢      | かつらぎ町上天野 | 明治19年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生都比売神社百度石      | かつらぎ町上天野 | 大正4年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生都比売神社コンクリート橋  | かつらぎ町上天野 | 大正4年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生都比売神社敷石30間寄進碑 | かつらぎ町上天野 | 大正4年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生都比売神社敷石40間寄進碑 | かつらぎ町上天野 | 大正7年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生都比売神社社名標      | かつらぎ町上天野 | 昭和8年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生都比売神社修理札      | かつらぎ町上天野 | 明治21年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生都比売神社修理札      | かつらぎ町上天野 | 明治35年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 一沢神社跡石碑         | かつらぎ町上天野 | 明治45年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 中沢神社跡石碑         | かつらぎ町上天野 | 明治40年代か      | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡神社社名標         | かつらぎ町下天野 | 昭和3年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡神社鳥居          | かつらぎ町下天野 | 昭和10年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 八幡神社寄進碑         | かつらぎ町下天野 | 昭和4年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 延命寺大威徳明王碑       | かつらぎ町下天野 | 明治23年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 延命寺手水鉢          | かつらぎ町下天野 | 明治27年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 善女竜王碑           | かつらぎ町神田  | 明治44年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 丹生神社鳥居          | かつらぎ町志賀  | 大正8年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 下司大明神花立         | かつらぎ町志賀  | 昭和8年         | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 下司大明神手水鉢        | かつらぎ町志賀  | 明治38年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 大日寺墓石           | かつらぎ町志賀  | 慶應2年         | —   |



| 小分類 | 市町村   | 名称                  | 所在地               | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-------|---------------------|-------------------|--------------|-----|
| 06  | かつらぎ町 | 地藏堂手水鉢              | かつらぎ町志賀           | 明治36年        | —   |
| 06  | かつらぎ町 | 下司塚供養碑              | かつらぎ町志賀           | 昭和4年         | —   |
| 06  | 有田市   | 豊龍山無縁寺由来の碑          | 有田市宮崎町小豆島         | 昭和38年        | —   |
| 06  | 有田市   | 靖国三十三カ所御霊山          | 有田市宮原町東（円満寺）      | 昭和16年        | —   |
| 06  | 有田市   | 天甫の接待所              | 有田市港町             | 江戸           | —   |
| 06  | 有田市   | 天甫の接待所（現在の建物）       | 有田市港町             | 明治37年        | —   |
| 06  | 有田市   | 大師堂（八畳の間新築）         | 有田市港町             | 明治43年        | —   |
| 06  | 有田市   | 大師堂碑                | 有田市港町（大師堂境内）      | 明治37年        | —   |
| 06  | 有田市   | 接待開始100年記念碑         | 有田市港町（大師堂境内）      | 大正7年         | —   |
| 06  | 有田市   | 宮崎真水翁頌徳碑            | 有田市港町（大師堂境内）      | 昭和35年        | —   |
| 06  | 有田市   | 接待浄業開始150年記念の碑      | 有田市港町（大師堂境内）      | 昭和42年        | —   |
| 06  | 広川町   | 日本聖公会広基督教会          | 広川町広              | 大正           | —   |
| 06  | 広川町   | 乙田天神社旧社地            | 広川町山本             | 不明           | —   |
| 06  | 有田川町  | 金刀毘羅・生石神社跡          | 有田川町楠本            | 明治22年        | —   |
| 06  | 御坊市   | 天理教湯川分教会 神殿         | 御坊市湯川町小松原         | 昭和14年        | —   |
| 06  | 御坊市   | 天理教湯川分教会 教職舎        | 御坊市湯川町小松原         | 昭和6年         | —   |
| 06  | 御坊市   | 日本キリスト教団御坊教会        | 御坊市菌              | 昭和30年        | —   |
| 06  | 御坊市   | 旧海士王子社跡の碑           | 御坊市藤田町吉田          | 明治41年        | —   |
| 06  | 御坊市   | 焼芝王子神社旧跡碑           | 御坊市岩内             | 明治41年        | —   |
| 06  | 御坊市   | 愛徳山王子跡地の碑           | 御坊市藤田町吉田（愛徳山王子跡）  | 明治41年        | —   |
| 06  | 御坊市   | 八幡宮遷拝所碑             | 御坊市名田町野島          | 昭和10年        | —   |
| 06  | 御坊市   | 植樹記念の碑（蓮如上人450回忌記念） | 御坊市菌（常照寺）         | 昭和27年        | —   |
| 06  | 御坊市   | 小竹八幡社の時計台           | 御坊市菌（小竹八幡社）       | 明治45年        | —   |
| 06  | 美浜町   | 御崎神社                | 美浜町和田             | 幕末           | —   |
| 06  | 美浜町   | 王子神社改築記念碑           | 美浜町吉原（松原王子神社）     | 昭和11年        | —   |
| 06  | 美浜町   | 八王子社跡の碑             | 美浜町和田（御崎神社北東）     | 明治？          | —   |
| 06  | 美浜町   | 御崎神社跡地の碑            | 美浜町三尾（御崎神社旧社地）    | 明治           | —   |
| 06  | 美浜町   | 雷神社跡                | 美浜町和田             | 幕末           | —   |
| 06  | 美浜町   | 済広寺                 | 美浜町和田             | 不明           | —   |
| 06  | 美浜町   | 松原王子神社              | 美浜町吉原             | 江戸           | 県天然 |
| 06  | 美浜町   | 春日神社                | 美浜町田井             | 不明           | —   |
| 06  | 美浜町   | 恵比寿神社               | 美浜町浜ノ瀬            | 不明           | —   |
| 06  | 日高町   | 徳本上人生誕地の碑           | 日高町志賀（誕生院前）       | 昭和3年         | 県史跡 |
| 06  | 日高町   | 法道和尚の碑              | 日高町池田大師寺（普門院）     | 明治37年        | —   |
| 06  | 由良町   | 興国寺福興記念碑            | 由良町門前 興国寺法堂前      | 昭和8年         | —   |
| 06  | 日高川町  | 木坊子宗貫の碑             | 日高川町下和佐（光源寺墓地）    | 昭和18年        | —   |
| 06  | 日高川町  | 身体障害者地藏             | 日高川町鐘巻（道成寺奥の院参道）  | 昭和46年        | —   |
| 06  | 日高川町  | 野槌大明神の碑             | 日高川町高津尾           | 昭和35年        | —   |
| 06  | 日高川町  | 寒川神社重修記念碑           | 日高川町寒川（寒川神社）      | 明治13年？       | —   |
| 06  | 日高川町  | 寒川神社の百度石            | 日高川町寒川（寒川神社）      | 明治16年        | —   |
| 06  | 日高川町  | 寒川直景・寒川大海之碑         | 日高川町初湯川（上阿田木神社）   | 昭和42年        | —   |
| 06  | 日高川町  | 宗海権僧正之碑             | 日高川町初湯川（上阿田木神社）   | 昭和41年        | —   |
| 06  | 日高川町  | 上阿田木神社の碑            | 日高川町初湯川（上阿田木神社）   | 昭和25年        | —   |
| 06  | 日高川町  | 西川清翁頌徳碑             | 日高川町皆瀬（下阿田木神社）    | 昭和2年         | —   |
| 06  | 日高川町  | 滝頭峠の子安地藏            | 日高川町（旧美山村滝頭峠）     | 昭和7年         | —   |
| 06  | 印南町   | 島田の真言二百万遍碑          | 印南町島田（切目駅付近旧県道沿い） | 明治24年        | —   |
| 06  | 印南町   | 宇杉八幡神社の合祀記念碑        | 印南町古屋（宇杉八幡神社）     | 明治41年        | —   |
| 06  | 印南町   | 叶王子神社旧跡の碑           | 印南町印南（叶王子跡）       | 大正2年         | 町史跡 |
| 06  | 印南町   | 東宮神社遺跡の碑            | 印南町本郷（旧東宮神社跡地）    | 昭和15年頃       | —   |
| 06  | 印南町   | 信覚上人の碑              | 印南町丹生（来迎寺境内）      | 昭和38年        | —   |
| 06  | みなべ町  | 西田元教翁出生之地の碑         | みなべ町徳蔵            | 昭和28年        | —   |
| 06  | 田辺市   | 錦水神社碑               | 田辺市東陽             | 明治           | —   |
| 06  | 田辺市   | 岩屋山大悲閣の碑            | 田辺市稲成町            | 昭和           | —   |
| 06  | 田辺市   | 伊藤貫一牧師之碑            | 田辺市末広町            | 昭和           | —   |
| 06  | 田辺市   | 牧師山内量平氏の記念碑         | 田辺市末広町            | 不明           | —   |
| 06  | 白浜町   | 法名釈智海碑              | 白浜町 十九淵（満願寺）      | 大正2年         | —   |
| 06  | 白浜町   | 当寺開基満願院釈正圓法師之碑      | 白浜町 十九淵（満願寺）      | 明治23年        | —   |
| 06  | 白浜町   | 誠忠院釈正隆法師之碑          | 白浜町 十九淵（満願寺）      | 明治40年        | —   |
| 06  | 白浜町   | 朝来帰新三十三ヶ所開設記念碑      | 白浜町（椿温泉バス停付近）     | 昭和10年        | —   |

| 小分類    | 市町村   | 名称                  | 所在地               | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|--------|-------|---------------------|-------------------|--------------|-----|
| 06     | 白浜町   | 須原雪女頌徳碑             | 白浜町（西富田鴨居地藏堂）     | 明治44年        | —   |
| 06     | 新宮市   | 熊野速玉大社社殿            | 新宮市新宮             | 昭和27・28年     | —   |
| 06     | 新宮市   | 阿須賀神社社殿             | 新宮市阿須賀            | 昭和27年        | —   |
| 06     | 新宮市   | 神倉神社社殿              | 新宮市神倉             | 大正7年         | —   |
| 06     | 新宮市   | 神倉神社社務所、鳥居、神橋       | 新宮市神倉1丁目12-8      | 昭和5年         | —   |
| 06     | 新宮市   | 三輪崎八幡神社             | 新宮市三輪崎            | 明治44年        | —   |
| 06     | 新宮市   | 東仙寺                 | 新宮市新宮             | 明治30年        | —   |
| 06     | 新宮市   | 日本基督教会新宮教会          | 新宮市仲ノ町3丁目1        | 明治17年        | —   |
| 06     | 新宮市   | 新宮カトリック教会           | 新宮市神倉             | 昭和30年        | —   |
| 06     | 新宮市   | 旧天理教南海大教会           | 新宮市新宮             | 明治24年        | —   |
| 06     | 新宮市   | 天理教南海大教会            | 新宮市池田1丁目1         | 昭和           | —   |
| 06     | 新宮市   | 金光教新宮教会             | 新宮市伊佐田町1丁目2-2     | 明治           | —   |
| 06     | 新宮市   | 金光教熊野教会             | 新宮市相筋1丁目10        | 不明           | —   |
| 06     | 新宮市   | 金光教南紀教会             | 新宮市田鶴原町1丁目4-20    | 不明           | —   |
| 06     | 新宮市   | 阿弥陀院                | 新宮市熊野地2丁目12-12    | 不明           | —   |
| 06     | 新宮市   | 日蓮正宗真福寺             | 新宮市丸山4-7          | 昭和43年        | —   |
| 06     | 新宮市   | 清水寺（清水大師）           | 新宮市清水元2丁目1-38     | 不明           | —   |
| 06     | 新宮市   | 出雲大社新宮教会            | 新宮市神倉             | 昭和4年         | —   |
| 06     | 那智勝浦町 | 日本基督教団 紀南教会（西村伊作関係） | 那智勝浦町下里           | 大正14年        | 国登録 |
| 07 その他 |       |                     |                   |              |     |
| 07     | 和歌山市  | 史蹟鳴神貝塚石柱            | 和歌山市              | 昭和6年         | —   |
| 07     | 和歌山市  | 史蹟和歌山城石柱            | 和歌山市一番丁           | 昭和6年         | —   |
| 07     | 和歌山市  | 和歌山城沿革石碑            | 和歌山市一番丁           | 昭和33年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 伏虎像                 | 和歌山市一番丁           | 昭和34年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 望海楼遺址碑              | 和歌山市和歌浦中（奠供山山上）   | 文化10年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 「鷹ノ巣」石柱             | 和歌山市雑賀崎（雑賀崎灯台）    | 昭和14年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 妙見山内和歌山県石柱          | 和歌山市和歌浦中（津屋公園内）   | 不明           | —   |
| 07     | 和歌山市  | 古屋共同墓地内石柱           | 和歌山市（古屋共同墓地）      | 大正11年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 灰跡石碑                | 和歌山市湊（山川寺）        | 不明           | —   |
| 07     | 和歌山市  | 石碑                  | 和歌山市吹上（窓誉寺）       | 明治44年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 電柱？                 | 和歌山市（木本八幡宮付近公園）   | 昭和37年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 仁井田好古二行書磨崖碑         | 和歌山市岡山丁（岡公園）      | 不明           | —   |
| 07     | 和歌山市  | 川合小梅筆塚              | 和歌山市吉田（法輪寺）       | 不明           | —   |
| 07     | 和歌山市  | 畔田先生之碑              | 和歌山市吹上（大泉寺）       | 昭和4年         | —   |
| 07     | 和歌山市  | 畔田翠山先生墓石柱           | 和歌山市吹上（大泉寺）       | 昭和4年         | —   |
| 07     | 和歌山市  | 伊藤周峰先生之碑            | 和歌山市岡山丁（岡公園）      | 明治38年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 磨崖碑「昇仙」             | 和歌山市岡山丁（岡公園）      | 大正3年         | —   |
| 07     | 和歌山市  | 登龍齋岡田松雲謹詠石碑         | 和歌山市和歌浦中（塩釜神社付近）  | 大正4年         | —   |
| 07     | 和歌山市  | 岸新作記念之碑             | 和歌山市和歌浦中（塩釜神社付近）  | 不明           | —   |
| 07     | 和歌山市  | 柳下先生之碑              | 和歌山市和歌浦中（塩釜神社付近）  | 不明           | —   |
| 07     | 和歌山市  | 松本喜八郎碑              | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内） | 明治42年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 小野定吉之碑              | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内） | 大正           | —   |
| 07     | 和歌山市  | 鈴木翁紀恩碑              | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内） | 明治31年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 故鳥居君源三郎之碑           | 和歌山市岡山丁（岡公園）      | 明治25年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 石井徳次郎石碑             | 和歌山市紀三井寺（紀三井寺）    | 明治20年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 橋本自助君之碑             | 和歌山市雑賀崎（衣美須神社）    | 明治45年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 鳥羽君之碑               | 和歌山市尾崎丁（西要寺）      | 大正3年         | —   |
| 07     | 和歌山市  | 調平炭記念碑              | 和歌山市栗栖（高倉寺）       | 大正7年         | —   |
| 07     | 和歌山市  | 佃又吉之碑               | 和歌山市相坂（応供寺）       | 明治37年        | —   |
| 07     | 和歌山市  | 湯川君頌徳碑              | 和歌山市山東中（小倉小学校）    | 不明           | —   |
| 07     | 和歌山市  | 尾上仁蔵君之碑             | 和歌山市雑賀崎（潮騒の小径脇）   | 大正5年         | —   |
| 07     | 和歌山市  | 田中弥四郎の碑             | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内） | 不明           | —   |
| 07     | 和歌山市  | 一級陰陽師湯川辰之進碑         | 和歌山市男野芝丁（吹上寺）     | 明治40年        | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称               | 所在地                  | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|------------------|----------------------|----------|-----|
| 07  | 和歌山市 | 華道法印高木光樂先生顕彰碑    | 和歌山市和歌浦中（津屋公園内）      | 昭和29年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 烈女島野之碑           | 和歌山市和歌浦中（塩釜神社付近）     | 明治25年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 谷井君表功碑           | 和歌山市関戸（矢宮神社前）        | 大正8年     | —   |
| 07  | 和歌山市 | 五月山之碑            | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 大正6年     | —   |
| 07  | 和歌山市 | 観自在院殿前黄門三品大真尊儀石柱 | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 昭和3年     | —   |
| 07  | 和歌山市 | 南捨松君紀念碑          | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 大正3年     | —   |
| 07  | 和歌山市 | 省堂牧村武卿碑銘         | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 明治27年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 南無阿弥陀仏 洲崎重蔵碑     | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 昭和3年～    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 山名新九郎碑           | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 不明       | —   |
| 07  | 和歌山市 | 谷井蘆岳之碑           | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 明治42年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 松尾織之助先生之碑        | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 明治40年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 西村均之碑            | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 明治24年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 翠雲先生碑銘           | 和歌山市和歌浦東（秋葉山麓中央通り沿い） | 大正8年     | —   |
| 07  | 和歌山市 | 津田藤鷹君之碑          | 和歌山市秋葉町（円珠院境内）       | 大正6年     | —   |
| 07  | 和歌山市 | 春水筆塚             | 和歌山市秋葉町（円珠院境内）       | 不明       | —   |
| 07  | 和歌山市 | 端莊居士之碑           | 和歌山市秋葉町（円珠院境内）       | 明治21年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 林山水野君碑           | 和歌山市秋葉町（円珠院境内）       | 明治18年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 尾高城之介君之碑         | 和歌山市紀三井寺             | 不明       | —   |
| 07  | 和歌山市 | 史山之碑             | 和歌山市紀三井寺             | 明治22年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 藤本九左衛門碑          | 和歌山市狐島（覚円寺）          | 不明       | —   |
| 07  | 和歌山市 | ○佛厚○泰然碑          | 和歌山市狐島（覚円寺）          | 明治35年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 太田家累代之碑          | 和歌山市松江中（極楽寺）         | 昭和39年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 故今城義史之墓          | 和歌山市手平（正善寺）          | 昭和15年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 貴志純一石碑           | 和歌山市土入（西教寺）          | 明治35年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 松井善助石碑           | 和歌山市堀止西              | 昭和17年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 西脇何某石碑           | 和歌山市田野（妙楽寺墓地）        | 大正       | —   |
| 07  | 和歌山市 | 故今井慎吾君功勞記念石碑     | 和歌山市雑賀崎（衣美須神社）       | 大正9年     | —   |
| 07  | 和歌山市 | 勲六等山東良造之碑        | 和歌山市寺内（教明寺）          | 明治42年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 釋 涛後居士之碑         | 和歌山市湊（永善寺）           | 大正～      | —   |
| 07  | 和歌山市 | 南無阿弥陀仏石碑         | 和歌山市湊（山川寺）           | 不明       | —   |
| 07  | 和歌山市 | 故岩崎房乃之碑          | 和歌山市紀三井寺             | 大正6年     | —   |
| 07  | 和歌山市 | 櫻谷根跡地石碑          | 和歌山市大川（報恩講寺）         | 明治36年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 北島藤半碑            | 和歌山市道場町（妙慶寺）         | 明治25年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 園部雄次郎頌徳碑         | 和歌山市園部（伊達神社）         | 昭和4年     | —   |
| 07  | 和歌山市 | 園部馨村長頌徳碑         | 和歌山市園部（伊達神社）         | 昭和33年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 藤原源四郎頌徳碑         | 和歌山市六十谷（射矢止神社）       | 昭和38年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 木村正夫氏頌徳碑         | 和歌山市西庄（木本八幡宮）        | 不明       | —   |
| 07  | 和歌山市 | 新田先生之碑           | 和歌山市六十谷（本恵寺）         | 不明       | —   |
| 07  | 和歌山市 | 宇治田幸次郎記念碑        | 和歌山市野崎（八幡神社）         | 明治35年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 野澤吉造之碑           | 和歌山市片岡町（松生院）         | 大正8年     | —   |
| 07  | 和歌山市 | 齋藤利光之墓           | 和歌山市新堀東（久昌寺）         | 明治       | —   |
| 07  | 和歌山市 | 乾義雄頌徳碑           | 和歌山市和佐中（極楽寺）         | 昭和6年     | —   |
| 07  | 和歌山市 | 本田伊三郎君頌徳碑        | 和歌山市岩橋（花山団地付近）       | 大正15年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 従六位判事栗本延太郎碑      | 和歌山市栗栖（教蓮寺南）         | 明治38年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 一心講元通称戸楠中谷大次郎碑   | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 大正11年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 市川三次郎之碑          | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 昭和11年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 正大先達政龍院川嶋政之助之碑   | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺境内）    | 明治43年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 西脇何某石碑           | 和歌山市田野（妙楽寺墓地）        | 大正～      | —   |
| 07  | 和歌山市 | 遊谷先生壽碑           | 和歌山市（鳴滝不動尊）          | 大正3年     | —   |
| 07  | 和歌山市 | 恭頌土屋大人碑          | 和歌山市直川               | 昭和14年    | —   |
| 07  | 和歌山市 | 今井政助記念碑          | 和歌山市山口西（覚善寺）         | 不明       | —   |



| 小分類 | 市町村  | 名称                  | 所在地                      | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|---------------------|--------------------------|--------------|-----|
| 07  | 和歌山市 | 井上千代子之碑             | 和歌山市井辺（大日堂）              | 昭和6年         | —   |
| 07  | 和歌山市 | まりと殿様石碑             | 和歌山市一番丁（和歌山城公園<br>天守前広場） | 昭和38年        | —   |
| 07  | 和歌山市 | 玉津島神社境内外歌碑          | 和歌山市和歌浦中                 | 不明           | —   |
| 07  | 和歌山市 | 玉津島神社境内山部赤人歌碑       | 和歌山市和歌浦中（玉津島神社<br>境内）    | 不明           | —   |
| 07  | 和歌山市 | 山部赤人歌碑              | 和歌山市和歌浦中（塩釜神社付<br>近）     | 不明           | —   |
| 07  | 和歌山市 | 玉津島神社境内外歌碑          | 和歌山市和歌浦中                 | 昭和42年        | —   |
| 07  | 和歌山市 | 淡嶋神社歌碑              | 和歌山市加太（淡嶋神社）             | 不明           | —   |
| 07  | 和歌山市 | 朝棕神社歌碑              | 和歌山市鷺ノ森明神丁               | 不明           | —   |
| 07  | 和歌山市 | 松生院歌碑               | 和歌山市片岡町（松生院）             | 大正5年         | —   |
| 07  | 和歌山市 | 松生院歌碑               | 和歌山市片岡町（松生院）             | 大正4年         | —   |
| 07  | 和歌山市 | 鳴滝不動尊歌碑             | 和歌山市（鳴滝不動尊）              | 安政4年         | —   |
| 07  | 和歌山市 | 鳴滝不動尊歌碑             | 和歌山市（鳴滝不動尊）              | 不明           | —   |
| 07  | 和歌山市 | 山口王子跡歌碑             | 和歌山市湯屋谷                  | 不明           | —   |
| 07  | 和歌山市 | 歌碑                  | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺<br>境内）    | 明治10年        | —   |
| 07  | 和歌山市 | 歌碑                  | 和歌山市和歌浦中（塩釜神社付<br>近）     | 不明           | —   |
| 07  | 和歌山市 | 日比野道男歌碑             | 和歌山市雑賀崎（雑賀崎灯台）           | 昭和36年        | —   |
| 07  | 和歌山市 | 追春庵逸水歌碑             | 和歌山市和歌浦中（三段橋付<br>近）      | 昭和9年         | —   |
| 07  | 和歌山市 | 反歌二首歌碑              | 和歌山市和歌浦中（玉津島神社<br>境内）    | 不明           | —   |
| 07  | 和歌山市 | 芭蕉翁碑                | 和歌山市和歌浦東（五百羅漢寺<br>境内）    | 不明           | —   |
| 07  | 海南市  | 木村大護翁胸像             | 海南市鳥居（内海小学校内）            | 昭和23年        | —   |
| 07  | 海南市  | 山ノ井崑崙墓標             | 海南市下津町梅田                 | 昭和16年        | —   |
| 07  | 海南市  | 竹本七五三之碑             | 海南市下津町橋本                 | 大正12年        | —   |
| 07  | 海南市  | 小野田種次郎歌碑            | 海南市小野田（小賀部神社境<br>内）      | 昭和39年        | —   |
| 07  | 海南市  | 木下美代子歌碑             | 海南市藤白（藤白神社境内）            | 昭和43年        | —   |
| 07  | 海南市  | 山口誓子句碑              | 海南市下津町上                  | 昭和45年        | —   |
| 07  | 海南市  | 「偉哉田道績」石碑           | 海南市下津町橋本                 | 昭和27年        | —   |
| 07  | 海南市  | 田道間守遺功之碑            | 海南市下津町橋本                 | 明治42年        | —   |
| 07  | 海南市  | 「六本樹の丘」石碑           | 海南市下津町橋本                 | 大正5年         | —   |
| 07  | 海南市  | 「六本樹橋創植之地」石碑        | 海南市下津町橋本                 | 昭和27年        | —   |
| 07  | 海南市  | 「筆捨松」石碑             | 海南市冷水                    | 明治42年        | —   |
| 07  | 海南市  | 大野城址石碑              | 海南市大野中                   | 昭和3年         | —   |
| 07  | 海南市  | 「大神宮遺跡」石碑           | 海南市日方                    | 明治42年        | —   |
| 07  | 紀美野町 | 故井村利助之碑             | 紀美野町小畑（観音寺境内）            | 不明           | —   |
| 07  | 紀の川市 | 河野タツ刀自之像            | 紀の川市粉河（粉河寺）              | 昭和11年        | —   |
| 07  | 紀の川市 | 松山棟庵の墓碑             | 紀の川市桃山町神田                | 大正           | —   |
| 07  | 紀の川市 | 古岳幽真墓               | 紀の川市藤崎                   | 明治           | —   |
| 07  | 紀の川市 | 藤崎弁天                | 紀の川市藤崎                   | 江戸～          | 県名勝 |
| 07  | 紀の川市 | 林南溪先生墓碣銘            | 紀の川市切畑                   | 不明           | —   |
| 07  | 紀の川市 | 林家（南溪）              | 紀の川市切畑                   | 江戸～          | —   |
| 07  | 紀の川市 | 豊竹邑太夫の碑             | 紀の川市貴志川町丸栖（公民<br>館）      | 明治42年        | —   |
| 07  | 紀の川市 | 曾和縫之助頌徳碑            | 紀の川市別所（長田観音寺）            | 明治37年        | —   |
| 07  | 紀の川市 | 急須塚                 | 紀の川市粉河                   | 昭和3年         | —   |
| 07  | 紀の川市 | 松尾芭蕉句碑              | 紀の川市粉河（粉河寺丈六堂）           | 昭和14年        | —   |
| 07  | 紀の川市 | 三宅一鳴句碑              | 紀の川市粉河（粉河寺産土神<br>社）      | 昭和38年        | —   |
| 07  | 紀の川市 | 故恩賀廣吉君頌徳碑           | 紀の川市中ノ才                  | 大正7年         | —   |
| 07  | 紀の川市 | 児玉政太郎翁頌徳碑           | 紀の川市猪垣                   | 大正15年        | —   |
| 07  | 紀の川市 | 迫間房太郎頌徳碑            | 紀の川市中三谷（春日神社）            | 明治36年        | —   |
| 07  | 岩出市  | 中嶋氏の碑               | 岩出市高塚                    | 昭和12年        | —   |
| 07  | 岩出市  | 築堤の碑                | 岩出市清水                    | 昭和33年        | —   |
| 07  | 岩出市  | 玉塚                  | 岩出市宮                     | 不明           | —   |
| 07  | 岩出市  | 田村將軍塚               | 岩出市山                     | 不明           | —   |
| 07  | 岩出市  | 重盛塚                 | 岩出市今中                    | 不明           | —   |
| 07  | 岩出市  | 甚五郎井戸               | 岩出市東坂本                   | 江戸           | —   |
| 07  | 橋本市  | 冒険飛行士 故原田龍治氏記念<br>碑 | 橋本市古佐田（丸山公園）             | 昭和2年         | —   |

| 小分類 | 市町村   | 名称                             | 所在地                      | 建設・設置時期等  | 指定等 |
|-----|-------|--------------------------------|--------------------------|-----------|-----|
| 07  | 橋本市   | 和田安一郎先生頌徳之碑                    | 橋本市古佐田（丸山公園）             | 大正9年      | —   |
| 07  | 橋本市   | 石井源次郎翁碑                        | 橋本市古佐田（丸山公園）             | 昭和？       | —   |
| 07  | かつらぎ町 | 木村楽之句碑                         | かつらぎ町高田                  | 昭和15年     | —   |
| 07  | 有田市   | 長屋王霊蹟の碑                        | 有田市初島町（東燃工場内）            | 大正3年      | —   |
| 07  | 有田市   | 徳本上人像（徳本上人連行遺跡）                | 有田市須谷字城山1007番地（岩室山城南の岩壁） | 昭和34年     | —   |
| 07  | 有田市   | 島田氏旧趾誌の碑                       | 有田市下中島（光明寺）              | 万延元年      | —   |
| 07  | 有田市   | 豊沢円平の碑                         | 有田市港町（摩尼院・赤岩観音）          | 明治41年     | —   |
| 07  | 有田市   | 立川英諒の碑                         | 有田市新堂（妙法寺・新堂石井谷）         | 明治10年     | —   |
| 07  | 有田市   | 竹本伊達吉師碑                        | 有田市古江見（安養寺）              | 昭和23年     | —   |
| 07  | 有田市   | 季月翁の碑                          | 有田市箕島（箕島猿田彦神社境内）         | 明治44年     | —   |
| 07  | 有田市   | 若野芦洲（乾之助）の碑                    | 有田市宮崎町小豆島（浄妙寺）           | 明治35年     | —   |
| 07  | 有田市   | 落合先生之碑                         | 有田市野（立神社内）               | 明治45年     | —   |
| 07  | 有田市   | 罔像女神                           | 有田市古江見（富山齒科前）            | 不明        | —   |
| 07  | 有田市   | 四恩塔（四恩の鐘）                      | 有田市宮原町東（円満寺）             | 不明        | —   |
| 07  | 有田市   | 熊野古道万葉の歌碑                      | 有田市糸我（得生寺）               | 昭和47年     | —   |
| 07  | 有田市   | 林善六の歌碑                         | 有田市糸我中番（有田公園）            | 大正10年     | —   |
| 07  | 有田市   | 明治天皇歌碑                         | 有田市宮原町東（円満寺）             | 昭和15年     | —   |
| 07  | 有田市   | 芭蕉の句碑                          | 有田市箕島（箕島猿田彦神社下）          | 江戸        | —   |
| 07  | 有田市   | 山口誓子の句碑                        | 有田市初島町（初島公民館）            | 昭和37年     | —   |
| 07  | 有田市   | 山口誓子の句碑                        | 有田市初島町（善福寺境内）            | 昭和44年     | —   |
| 07  | 有田市   | 山口誓子の句碑                        | 有田市港町（天甫間屋橋西側）           | 昭和50か55年？ | —   |
| 07  | 有田市   | 橋爪我村の句碑                        | 有田市港町（摩尼院・赤岩観音）          | 明治30年     | —   |
| 07  | 有田市   | 「沖のくらのに白帆がみゆる<br>あれは紀の国みかん船」の碑 | 有田市糸我中番（有田公園）            | 不明        | —   |
| 07  | 有田市   | 川口素雪の句碑                        | 有田市宮原町滝川原（浄満寺境内）         | 明治元年      | —   |
| 07  | 有田市   | 井泉水の句碑                         | 有田市宮原町東（円満寺）             | 昭和32年     | —   |
| 07  | 有田市   | 藤原橘里の句碑                        | 有田市古江見（安養寺）              | 大正4年      | —   |
| 07  | 広川町   | 四代目濱口儀兵衛墓                      | 広川町上中野                   | 江戸        | —   |
| 07  | 有田川町  | 岩室城趾の碑                         | 有田川町田口                   | 昭和15年     | —   |
| 07  | 有田川町  | 竹本水鳥太夫の碑                       | 有田川町中井原                  | 昭和2年      | —   |
| 07  | 有田川町  | 七肘合戦旧跡碑                        | 有田川町清水                   | 昭和        | —   |
| 07  | 有田川町  | 平野家旧跡碑                         | 有田川町杉野原                  | 大正11年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 旧山本邸                           | 御坊市藺                     | 昭和        | —   |
| 07  | 御坊市   | 紀国太夫の碑                         | 御坊市藺（地藏堂境内）              | 明治12年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 豊沢広七之碑                         | 御坊市藺（地藏堂境内）              | 明治30年頃    | —   |
| 07  | 御坊市   | 二宮尊徳の頌徳碑                       | 御坊市塩屋町（大師堂境内）            | 昭和30年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 孝子久蔵頌徳碑                        | 御坊市湯川町富安（下富安、大溪寺）        | 昭和42年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 祓井戸遺跡の碑                        | 御坊市名田町野島                 | 昭和16・17年頃 | —   |
| 07  | 御坊市   | 熊野神社の植樹記念碑                     | 御坊市熊野（熊野神社）              | 大正15年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 桜植樹記念碑                         | 御坊市 出島堤                  | 昭和41年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 藺塚                             | 御坊市藺（天性寺）                | 昭和37年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 画家 中村南陽の墓                      | 御坊市塩屋町北塩屋（天田 極楽寺）        | 明治25年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 野島の万葉歌碑                        | 御坊市名田町野島（国道42号沿い）        | 昭和39年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 塩屋王子神社の歌碑                      | 御坊市塩屋町北塩屋（塩屋王子神社）        | 昭和15年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 釈超空（折口信夫）の歌碑                   | 御坊市藺（御坊市立体育館前）           | 昭和46年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 藺兄弟の歌碑                         | 御坊市藺（浄国寺墓地）              | 昭和3年      | —   |
| 07  | 御坊市   | 川瀬広蔭の墓（歌碑）                     | 御坊市 本願寺日高別院              | 明治14年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 祓井戸の歌碑                         | 御坊市名田町野島（祓井戸 観音堂）        | 明治23年     | —   |
| 07  | 御坊市   | 瀬戸周花の句碑                        | 御坊市藤田町藤井                 | 明治11年     | —   |
| 07  | 美浜町   | 工匠 江崎庄吉翁の碑                     | 美浜町入山（三宝寺への参道）           | 昭和42年     | —   |
| 07  | 美浜町   | 豊竹紀玉之碑                         | 美浜町田井（常福寺墓地）             | 大正5年      | —   |
| 07  | 美浜町   | 徳本上人遺跡の碑と上人窟                   | 美浜町三尾                    | 幕末        | —   |

| 小分類 | 市町村  | 名称            | 所在地                | 建設・設置時期等 | 指定等 |
|-----|------|---------------|--------------------|----------|-----|
| 07  | 美浜町  | 上人松の碑と上人松の名号碑 | 美浜町吉原              | 昭和12年    | —   |
| 07  | 美浜町  | 今池の徳本上人名号碑    | 美浜町和田              | 明治11年    | —   |
| 07  | 美浜町  | 上ノ池の徳本上人名号碑   | 美浜町和田              | 幕末       | —   |
| 07  | 美浜町  | 徳本上人名号碑       | 美浜町田井              | 不明       | —   |
| 07  | 美浜町  | 三尾の万葉歌碑       | 美浜町三尾（海岸沿い）        | 昭和45年    | —   |
| 07  | 美浜町  | 田端憲之助の歌碑      | 美浜町吉原（吉原松見寺境内）     | 昭和41年    | —   |
| 07  | 美浜町  | 中島秀夫の歌碑       | 美浜町三尾（旧日の岬パーク）     | 昭和33年    | —   |
| 07  | 美浜町  | 三尾法善寺の句碑      | 美浜町三尾（法善寺境内）       | 昭和       | —   |
| 07  | 日高町  | 比井経塚遺跡の碑      | 日高町比井（比井若一王子神社社叢）  | 昭和38年    | —   |
| 07  | 日高町  | 向山銅鐸出土地の碑     | 日高町荊木（向山）          | 昭和？      | —   |
| 07  | 日高町  | 西河慶次郎の碑       | 日高町小浦（円行寺墓地）       | 昭和32年    | —   |
| 07  | 由良町  | 石垣好助氏頌徳碑      | 由良町大引（大引小学校校庭）     | 昭和34年    | —   |
| 07  | 由良町  | 野沢吉造翁の碑       | 由良町門前（興国寺参道沿い）     | 昭和47年    | —   |
| 07  | 由良町  | 茶筌・華塚         | 由良町門前（興国寺禅堂前）      | 昭和41年    | —   |
| 07  | 日高川町 | 芳澤あやめ生地 of 碑  | 日高川町高津尾            | 昭和24年    | —   |
| 07  | 日高川町 | 芳澤あやめ顕彰碑      | 日高川町高津尾（若者広場）      | 昭和50年    | —   |
| 07  | 日高川町 | 故馬場金太郎翁之碑     | 日高川町和佐（中の瀬葬場）      | 大正？      | —   |
| 07  | 日高川町 | 小森翁の墓碑        | 日高川町鐘巻（道成寺本堂裏）     | 明治20年    | —   |
| 07  | 日高川町 | 玉置喜四郎翁碑       | 日高川町下和佐（光源寺境内）     | 昭和14年    | —   |
| 07  | 日高川町 | 玉置一淑翁の碑       | 日高川町和佐（生蓮寺境内）      | 大正13年    | —   |
| 07  | 日高川町 | 鶴沢藤正の碑        | 日高川町（越方峠頂上）        | 大正4年     | —   |
| 07  | 日高川町 | 鶴沢又之助の碑       | 日高川町三十（溪谷寺参道）      | 大正15年    | —   |
| 07  | 日高川町 | 塩路厳徳翁の碑       | 日高川町土生（塩路家墓地内）     | 昭和5年？    | —   |
| 07  | 日高川町 | 草枕（森常吉）の歌碑    | 日高川町大滝川（滝神社参道）     | 昭和       | —   |
| 07  | 日高川町 | 草枕（森常吉）の歌碑    | 日高川町山野（地福寺墓地）      | 昭和       | —   |
| 07  | 日高川町 | 蘭義成翁の歌碑       | 日高川町鐘巻（道成寺本堂裏）     | 昭和       | —   |
| 07  | 日高川町 | 伊藤千広の歌碑       | 日高川町和佐（千曳山麓の小祠脇）   | 明治？      | —   |
| 07  | 日高川町 | 瀬見善水の歌碑       | 日高川町江川（阿弥陀寺境内）     | 明治？      | —   |
| 07  | 日高川町 | 馬場行篤の歌碑       | 日高川町和佐（中の瀬葬場）      | 明治13年    | —   |
| 07  | 日高川町 | 野島無量の句碑       | 日高川町中津川（宗福寺）       | 昭和37年    | —   |
| 07  | 印南町  | 与一・おさよの比翼塚    | 印南町印南（印定寺）         | 昭和30年    | —   |
| 07  | 印南町  | 竹本山雪太夫の碑      | 印南町西山口             | 明治32年頃   | —   |
| 07  | 印南町  | 印南音頭作者之墓      | 印南町印南（東光寺参道）       | 昭和47年    | —   |
| 07  | 印南町  | 井上豊太郎墓碑       | 印南町丹生（来迎寺境内）       | 昭和61年    | —   |
| 07  | みなべ町 | 大木翁頌徳碑        | みなべ町芝              | 昭和6年     | —   |
| 07  | みなべ町 | 滝口警部頌徳碑       | みなべ町清川             | 昭和37年    | —   |
| 07  | みなべ町 | 庄司浄光法尼之碑      | みなべ町筋              | 昭和37年    | —   |
| 07  | みなべ町 | 里平髪切塚         | みなべ町気佐藤            | 明治37年    | —   |
| 07  | みなべ町 | 働く少年の像        | みなべ町芝              | 昭和38年    | —   |
| 07  | みなべ町 | 熊代繁里翁の碑       | みなべ町山内（親福寺裏山墓地）    | 明治9年     | —   |
| 07  | みなべ町 | 紀州路みなべの万葉歌碑   | みなべ町埴田             | 昭和       | —   |
| 07  | みなべ町 | 大江邦彦の歌碑       | みなべ町芝              | 昭和       | —   |
| 07  | みなべ町 | 榎美代子の歌碑       | みなべ町西岩代（光照寺墓地）     | 昭和42年    | —   |
| 07  | みなべ町 | 三鍋王子社の歌碑      | みなべ町北道（三鍋王子社）      | 昭和43年    | —   |
| 07  | みなべ町 | 三鍋王子社の句碑      | みなべ町北道（三鍋王子社）      | 明治25年    | —   |
| 07  | みなべ町 | 千里王子社の句碑      | みなべ町山内（千里王子社）      | 昭和40年    | —   |
| 07  | みなべ町 | 鹿島神社の句碑       | みなべ町埴田             | 昭和       | —   |
| 07  | みなべ町 | 西国三十三番霊場満願記念碑 | みなべ町晩稲             | 昭和42年    | —   |
| 07  | みなべ町 | 阿波惣塚の碑        | みなべ町滝              | 昭和33年    | —   |
| 07  | みなべ町 | 大乘妙典一字一石塔     | みなべ町清川             | 明治14年    | —   |
| 07  | 田辺市  | 弁慶松由来記        | 田辺市新屋敷町            | 不明       | —   |
| 07  | 田辺市  | 教育勅語30年記念碑    | 田辺市向山              | 大正       | —   |
| 07  | 田辺市  | 盤洞詩碑          | 田辺市上の山2丁目          | 昭和       | —   |
| 07  | 田辺市  | 恵精歌碑          | 田辺市三栖              | 昭和       | —   |
| 07  | 田辺市  | 虎ヶ峯の歌碑        | 田辺市龍神村（虎ヶ峯龍神村側道路脇） | 昭和20年    | —   |
| 07  | 田辺市  | 弁慶松句碑         | 田辺市福路町             | 昭和       | —   |
| 07  | 田辺市  | 三原恵精尼句碑       | 田辺市古尾              | 昭和       | —   |
| 07  | 田辺市  | 青々句碑          | 田辺市秋津川             | 昭和       | —   |
| 07  | 田辺市  | 嵐雪句碑          | 田辺市中辺路町近露・野中       | 昭和       | —   |
| 07  | 田辺市  | 虚子句碑          | 田辺市中辺路町近露・野中       | 昭和       | —   |
| 07  | 田辺市  | 座嘯句碑          | 田辺市古尾              | 不明       | —   |
| 07  | 田辺市  | 田所八梧句碑        | 田辺市上の山2丁目          | 不明       | —   |



| 小分類 | 市町村  | 名称          | 所在地                    | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|------|-------------|------------------------|--------------|-----|
| 07  | 田辺市  | 松尾塊亭句碑      | 田辺市上の山2丁目              | 不明           | —   |
| 07  | 田辺市  | 玉置香風句碑      | 田辺市上の山2丁目              | 不明           | —   |
| 07  | 田辺市  | 目良風鴉句碑      | 田辺市稲成町                 | 不明           | —   |
| 07  | 田辺市  | 小川白砂、飯塚春水句碑 | 田辺市稲成町                 | 不明           | —   |
| 07  | 田辺市  | 神子阿涼句碑      | 田辺市稲成町                 | 不明           | —   |
| 07  | 田辺市  | 野村第一風の句碑    | 田辺市稲成町（高山寺）            | 昭和11年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 川口伊吉翁生碑     | 白浜町 湯崎（薬師堂境内）          | 明治40年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 中村憲吉歌碑      | 白浜町（白良浜東南端）            | 昭和32年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 高浜虚子句碑      | 白浜町 綱不知（山手通りへの<br>登り口） | 昭和11年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 高浜虚子句碑      | 白浜町（崎の湯）               | 昭和26年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 四代豊竹湊太夫句碑   | 白浜町 湯崎（金徳寺境内）          | 昭和35年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 本田溪花坊句碑     | 白浜町（新地内山王明神）           | 昭和15年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 其桃翁句碑       | 白浜町（白浜荘裏庭）             | 昭和9年？        | —   |
| 07  | 白浜町  | 邦枝完二句碑      | 白浜町（三段壁）               | 昭和28年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 青々句碑        | 白浜町 瀬戸（本覚寺）            | 昭和36年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 誓子句碑        | 白浜町堅田                  | 昭和41年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 故正木善松翁碑     | 白浜町 綱不知                | 昭和12年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 口紅の遺書誌      | 白浜町（三段壁）               | 昭和25年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 菊田一夫文学碑     | 白浜町（平草原）               | 昭和31年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 宮城道雄詩碑      | 白浜町（平草原山頂）             | 昭和31年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 鍋井画伯讃碑      | 白浜町（三段壁）               | 昭和38年        | —   |
| 07  | 白浜町  | 真白良媛像銘      | 白浜町（湯崎海岸）              | 昭和38年        | —   |
| 07  | 上富田町 | 繁里歌碑        | 上富田町生馬出水               | 慶応2年         | —   |
| 07  | 新宮市  | 「鳩ぼっぽ」歌碑    | 新宮市徐福                  | 昭和37年        | —   |
| 07  | 新宮市  | 徐福顕彰碑       | 新宮市徐福                  | 昭和15年        | —   |
| 07  | 新宮市  | 神武天皇聖蹟顕彰碑   | 新宮市阿須賀、佐野              | 昭和16年        | —   |
| 07  | 串本町  | 高浜虚子の句碑     | 串本町潮岬                  | 昭和           | —   |
| 07  | 串本町  | 浜口今夜の句碑     | 串本町二色                  | 明治～昭和        | —   |
| 07  | 串本町  | 山口誓子の句碑     | 串本町潮岬                  | 明治～昭和        | —   |
| 07  | 串本町  | 阿波野青畝の句碑    | 串本町檜野                  | 明治～昭和        | —   |
| 07  | 串本町  | 下村海南の歌碑     | 串本町潮岬                  | 明治～昭和        | —   |

## 【11 その他】

| 小分類 | 市町村 | 名称        | 所在地       | 建設・設置<br>時期等 | 指定等 |
|-----|-----|-----------|-----------|--------------|-----|
| 01  | その他 |           |           |              |     |
| 01  | 田辺市 | 温恭藤浅子の墓碑  | 田辺市南新町    | 不明           | —   |
| 01  | 田辺市 | 妙教院殿碑     | 田辺市南新町    | 不明           | —   |
| 01  | 田辺市 | 藤川慶三之碑    | 田辺市新屋敷町   | 不明           | —   |
| 01  | 田辺市 | 淡水柏木常雄碑   | 田辺市東陽     | 大正           | —   |
| 01  | 田辺市 | 岩浪市五郎之碑   | 田辺市上の山2丁目 | 明治           | —   |
| 01  | 田辺市 | 若千鳥松吉之碑   | 田辺市上の山2丁目 | 大正           | —   |
| 01  | 田辺市 | 故染分唯七之碑   | 田辺市上の山2丁目 | 大正           | —   |
| 01  | 田辺市 | 撫養重太夫翁頌徳碑 | 田辺市鮎川     | 不明           | —   |
| 01  | 田辺市 | 森脇竹蔵翁頌徳碑  | 田辺市鮎川     | 不明           | —   |
| 01  | 田辺市 | 城戸染蔵翁頌徳碑  | 田辺市下川下    | 不明           | —   |
| 01  | 田辺市 | 新谷類蔵翁頌徳碑  | 田辺市下川上    | 不明           | —   |
| 01  | 田辺市 | 桜瀬さん先生頌徳碑 | 田辺市下川下    | 不明           | —   |
| 01  | 田辺市 | 両墓制記念碑    | 田辺市新庄町    | 昭和28年        | —   |
| 01  | 串本町 | 神田文左衛門氏の碑 | 串本町串本     | 明治           | —   |

## 歴史的事象一覧表(テーマに基づく文化遺産群の調査)

テーマに基づく文化遺産群の所在調査は、令和2年度に所在把握調査と併せて行った。下記の9つのテーマを設定し、それに沿った歴史的事象の選定とそれに関連する文化遺産群の抽出を行った。

歴史的事象は、文化遺産単体でなく文化遺産群として、各市町村が近代を語るうえで後世に残していくことが望ましいと思われる事象等を取り上げた。歴史的事象の合計件数は95件である。

### ・テーマ一覧

- 1 和歌山県における明治維新…………… 1 件
- 2 和歌山県における近代の軍事遺産…………… 8 件
- 3 和歌山県における近代交通の発展……………17件
- 4 和歌山県を支えた近代における産業……………26件
- 5 和歌山県における近代の災害と防災……………19件
- 6 和歌山県で起こった近代の重大事件…………… 4 件
- 7 近代における和歌山県民の生活…………… 1 件
- 8 和歌山県の近代の偉人……………13件
- 9 その他…………… 6 件

### 【1 和歌山県における明治維新】

| 市町村 | 歴史的事象      | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高野町 | 天誅組と富貴・高野山 | 尊王攘夷派である天誅組が大和国で挙兵した後、天誅組はいったん高野山に入った後に五條代官所を襲撃し、紀伊藩・津藩・彦根藩・郡山藩など、江戸幕府側の天誅組追討軍と交戦した。天ノ川辻(現奈良県五條市大塔町)に本陣を構えた天誅組は、その西方向にあたる富貴村の民家に布陣した紀伊藩に夜襲をかけて多くの屋敷を焼いたが、鷲家口(現奈良県東吉野村)で潰滅した。富貴の名迫家は代々富貴、筒香の村々の困窮を救ってきたが、文久の天誅組兵乱によって名迫家は火災に遭う。この家の普請のため、東富貴村・西富貴村・上筒香村・中筒香村・下筒香村で報恩講がつくられ、名迫家を助けた。 |

### 【2 和歌山県における近代の軍事遺産】

| 市町村  | 歴史的事象                       | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 和歌山市 | 軍都・和歌山                      | 現在の和歌山市内には、戦前に由良要塞、深山重砲兵聯隊・歩兵第六一聯隊の衛戍地など、近代日本における重要な軍事拠点がいくつも存在していた。由良要塞は、紀淡海峡の防衛のために明治22年(1889)から淡路島の由良、和歌山市の深山・加太・友ヶ島に建設された砲台群の総称であり、現在まで関連遺構が多く現存している。深山重砲兵聯隊は、明治30年(1897)に加太町に設置され(当初は大隊)、同聯隊の墓地が現存している。歩兵第六一聯隊は、明治42年に現和歌山市今福周辺を新衛戍地として移転してきた。移転にあたっては地元側が熱心に誘致運動を繰り広げており、現在も兵営跡地には門柱や歩兵哨が残る。こうした「軍都・和歌山」としての歴史をたどることができる軍事遺産が、和歌山市内各所に残されており、軍隊・戦争と和歌山の関係を物語る重要な文化遺産である。 |
| 高野町  | 戦争と高野山                      | 海軍航空隊高野山分遣隊は昭和19年(1944)8月に開隊式が行われ、高野山中学や多くの寺院が宿舎に当てられた。敗戦までの1年間、高野山上は軍隊一色に染め上げられていた。今も高野山各寺院には多くの戦死者供養塔があり、戦争中の所属部隊単位での菩提所が多い。また、高野山スキー場は食糧増産のために昭和14年頃(1939)から一般に冬季以外開放され、芋類、野菜などが栽培された。奥之院には、戦死者の供養塔が数多く建立されている。                                                                                                                                                             |
| 御坊市  | 日高地方の大空襲跡など御坊に残る第二次世界大戦関連遺跡 | 昭和19年(1944)末以降、大都市だけでなく、地方都市もB29などによる空襲を受けるようになる。昭和20年(1945)6月(6/7、6/22日高地方大空襲)には、御坊・日高地方に爆弾が投下され、大きな被害が出た。                                                                                                                                                                                                                                                                    |

| 市町村 | 歴史的事象                           | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 美浜町 | 太平洋戦争末期、日本陸軍は米軍の煙樹ヶ浜上陸を想定した軍事装備 | 上陸、進軍してくる米軍に対峙するため、日高平野周辺の山々の山腹に多くの地下壕、トーチカを築いた。その多くは落盤して見つけにくくなっているが、本の脇、入山には今も確認できるものが多数存在する。これらの「壕掘」は昭和19年～20年(1944～1945)前半に行われ、兵士は小学校・公民館などに駐屯したという。地下壕の大半は大きく崩れ、内部の調査は困難である。旧日御埼灯台跡地は周囲の煉瓦塀があり、数カ所機銃掃射の弾痕も残り、戦争の生々しさを今日に伝えている。海軍日御埼防備衛所・特設見張所跡地は日ノ御埼一帯である。主要装備は水中聴音機で対岸の徳島県伊島の間に敷設の海底ケーブル取り付けられている水中聴音機によって、紀伊水道に侵入する敵潜水艦の阻止を目的として開設された。                                                                                       |
| 日高町 | 日高町内の忠魂碑                        | 近代における戦争や事変に出征し戦死した、日高町出身の兵士のために製作された慰霊碑。日高町内に5カ所存在する。敗戦により忠魂碑は一時撤去の憂き目にあい、サンフランシスコ講和条約成立後その存続は認められたものの、現在ではほとんど忘れられた形となっている。戦争は否定されるべきであるが戦争のため若い命を散らした英霊を否定することは断じて許されない。                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 由良町 | 紀伊防備隊基地設立に伴う軍事遺跡                | 太平洋戦争前に、紀伊防備隊基地が町内に設立され、弾薬庫や防空壕、武器倉庫などが設置され、現在もそれらが数多く残っている。紀伊防備隊基地とは、昭和14年(1939)に大日本帝國海軍紀伊防備隊として正式に発足し、主な任務としては、紀伊水道の海面防備で、小松原海軍航空隊より水上偵察機16機が常時配備されていた。戦争遺跡が残る由良町の貴重な遺産といえる。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 白浜町 | 紀伊半島沿岸部の戦争関連遺産                  | 白浜・日置に残る戦争関連遺産。紀伊半島沿岸部に位置する本町においては、太平洋に面しているため、戦時中に対空・対艦レーダー基地や砲台が多く存在したと考えられているが、現在確認できるものはごく少数である。ただし、未発見・未確認のものも資料上では相当数あることが確認されているため、今後の詳細な調査により、再発見される可能性がある。また、一部の遺産は、中世～近世の見張り場・狼煙場とも重複しており、歴史的な遺跡の立地を考えるうえで重要な視点となる。また、戦争関連遺産として、旧日置大橋の欄干に残る機銃掃射の痕跡が挙げられる。旧日置大橋は、老朽化のため撤去されることとなっており、作業が進められているが、地元語り部団体の強い要望を受けて、欄干の一部を移設することが決まっており、現在白浜町日置川事務所において保管をし、今後適切な展示方法を検討することとなっている。戦争関連遺産は、紀伊半島沿岸部に多く所在することから、他市町との連携が模索される。 |
| 串本町 | 串本町に残る戦争遺跡                      | 本州最南端のこの地は、古くから海防の要衝とされてきた。第二次世界大戦当時、東海から中国地方の都市や軍事拠点を目指す大型航空機の第一経路目標とされた。同時に本土防衛のために、旧日本軍の軍事駐留施設も重点配置された。海軍や陸軍のレーダー基地、海軍の無線通信所なども建造され、こうした軍事施設を守るために各地に機銃陣地が造られている。戦争末期で空襲が日常化すると、すべての地域で防空壕が掘られ、基地周辺には大規模な地下壕が建設された。米軍が京阪神や中京地方を空襲するときには、潮岬がランドマークとされ、基地の街であるため、空襲や艦砲射撃の対象となり多数の被害を受けた。その名残として町内には現在も多数の戦争遺跡が残されている。串本町では、戦争の歴史の風化を防ぎ、戦争遺跡を平和の尊さを語り継ぐ史料とするため、これらの戦争遺跡に標柱を設置している。                                                  |



### 【3 和歌山県における近代交通の発展】

| 市町村  | 歴史的事象                                            | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 紀美野町 | 明治、大正時代<br>にかけ道路の整備<br>工事に尽くした<br>黒田恵一郎、<br>儀助親子 | 明治22年(1889)に旧6ヶ村が合併して長谷毛原村が誕生し、道路整備に力を注いだ。明治33年(1900)に村長に選ばれた黒田恵一郎は、当時としては思い切った構想で現在の海南高野線の道路を立案し明治34年(1901)に大工事に着手した。「奥から作り始めたら途中でやめるわけにはいかない。」という町長黒田の考えで、最初に村の一番奥に巾1間(1.8m)の立派な道路を完成させた。町長を辞してから黒田は自分の財力をつぎ込み、村内の工事が終わると下流の国吉や神野の村々に工事を続けるよう呼びかけつつ亡くなった。その後、長男の儀助氏が父親の生涯をかけた大事業を完成させるため、自社の収益から多額の資金を下流の村々へ寄付をし事業を受け継いだ。親子2代にわたる大事業は着工以来20年目の大正9年(1920)に完成した。この道は現在国道370号線となり紀美野町の幹線道路となっている。現在、黒田親子の偉業をたたえ、沿線3ヶ所に記念碑が建っている。              |
| 岩出市  | 紀和鉄道の開業                                          | 岩出市は、和歌山市の東に所在し、北は大阪府とも接していることから、古くから交通の要衝として栄えてきた土地柄である。明治時代の街道(県道)としては、大阪街道、大和街道、淡島街道、根来街道、川辺通り池田往来、根来往来、河南大和往来といった主要な道が通っていた。また、市の南部を流れる紀ノ川による水運も盛んな土地柄で、船戸地区は水陸両方の要衝として栄えてきた。その船戸地区に明治31年(1898)、近代交通の柱といえる鉄道の駅の開業(船戸駅)により、紀和鉄道の紀和駅(当時和歌山駅)～船戸駅間が開業することとなった。船戸駅から粉河駅間は、岩出鉄橋の架設に手間取ったため、2年余り遅れて明治33年(1900)に開業している。〔岩出駅：明治34年(1901)、大宮駅開業、翌年岩出駅と改称〕明治年間には汽車の回数も少なく1日4～5回だったが、大正になってから10回位に増加した。                                             |
| 橋本市  | 高野参詣と鉄道<br>遺産                                    | 橋本市は、高野山開基以来、高野参詣の宿場町として栄えてきた歴史がある。時代によって高野参詣の交通手段は変化をみせ、近代に入り鉄道が普及すると、鉄道を利用した参詣が主となる。明治31年(1898)、紀和鉄道(現JR和歌山線)の橋本～五條間が開通する。明治33年(1900)に五條～和歌山間全線が開通すると現高野口駅(旧名倉駅)が高野参詣の中継地として発展する。駅前には、人力車が列を作り、駅前には旅館も造られ、多くの参詣者で賑わった。大正4年(1915)に大阪高野鉄道株式会社(現南海電気鉄道株式会社)が汐見橋駅から橋本駅までの区間を開通する。大正14年(1925)に高野下駅まで開通すると、高野下駅が参詣者で賑わうようになる。昭和4年(1929)に極楽橋駅までが開通し、極楽橋駅から高野山駅間のケーブルカーは昭和5年(1930)に開通した。                                                           |
| 九度山町 | 不動坂道、槇尾<br>道の参詣道周辺<br>地域の盛衰と近<br>代交通の発展          | 槇尾道は空海が高野山を開いてからも槇尾寺へ修行のため通った道とされ、大師信仰の隆盛と共に整備された『高野七口』より古い歴史を持ち、このルートは高野山→神谷→椎出→梨の木峠→九度山→蔵王峠→槇尾寺へと続く。不動坂道はこのルートの内、神谷で分岐し→河根→学文路→橋本→紀見峠→大坂・京都へ向かうルートである。明治34年(1901)、紀和鉄道(現JR和歌山線)が開通し、名倉駅(現高野口駅)が運用されると紀ノ川の渡河→九度山→椎出→神谷へ出て不動坂と合流することとなり、橋本→学文路→河根→神谷間は全く廃れた。大正2年(1913)に高野口→高野山間は県道に昇格、大正4年(1915)に自動車通行用バイパスの工事が行われた。大正14年(1925)に高野鉄道(現南海高野線)が高野下駅まで開通すると、高野口近辺は寂れ椎出地区は大いに繁栄したが、昭和4年(1929)に極楽橋まで延伸されると椎出地区は全く衰退した。近代交通手段の進展により、参詣ルート・手段が激変した。 |
| 高野町  | 鉄道・ケーブル<br>カーの敷設                                 | 高野山への鉄道延長は大阪から始まり、明治31年(1898)1月、高野鉄道株式会社による大小路(現、大阪府堺市堺区)・狭山(現、大阪府大阪狭山市)間の営業開始を皮切りに、運営会社が変わるなど紆余曲折を経て、高野山電気鉄道株式会社によって、昭和4年(1929)2月に極楽橋まで到達した。高野山には、近世以来日本各地からの参詣客が訪れており、参詣登山の道筋において山駕籠・腰押しなどの業種があったが、ケーブル敷設にともない、これらの業種が無くなった。南海電気鉄道のケーブルカー路線は鉄道の終点極楽橋から高野山の玄関口である高野山を結ぶ。これによって、参詣者の高野山参詣の利便性が向上した。                                                                                                                                          |

| 市町村   | 歴史的事象          | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| かつらぎ町 | 紀和鉄道の敷設        | 明治25年(1892)6月に鉄道敷設法が公布され、県下でも鉄道敷設を巡る議論が本格化し、諮問機関である鉄道会議で紀泉ルートと大和ルートが議論され後者に決した。大和ルートについては明治18年(1885)に児玉仲児が大阪鉄道発起人たちにその建設を進言していたが実現に至っていなかった。その後奈良・和歌山両県の有志者に大阪在住の実業家の参画を経て具体化したようである。紀和鉄道は明治30年(1897)に起工式を挙げ、翌年(1899)に片岡直温が社長に就任して全線開通を目指すことに決し、同年12月に未成線の起工式を行って、翌33年(1900)に全路線を開通させた。敷設後、町域を含め交通・物流・生業等における変化は著しいものがあり、紀和鉄道の敷設は町史上の重大な画期であった。                                                   |
| かつらぎ町 | 主要道路の認定・建設・改修  | 明治期以降、県内陸路交通の要としての道路は、戦争や恐慌などの大きな歴史的事象を経ながら、建設と改修が繰り返された。道路の建設や補修・維持管理は、その重要度に応じて、国(府県)・市町村・住民が主として担うことになったが、町域を通過する道路で明治年間に県費支弁となった道路は、大和街道が唯一であった。大正8年(1919)4月には道路法が制定され、大和街道・西高野街道・高野参詣道町石道・妙寺停車場線が県道認定された。この中で、大和街道の改修は明治期以来叫ばれ続けていたが、昭和5年(1930)に国道認定を受けても恐慌のあおりで実現せず、全線改修は終戦を待たなければならなかった。町域の大和街道改修については、反対運動等紆余曲折を経ながらも、昭和15年(1940)、戦争期に一応の完遂をみた。その他の路線についても順次整備が進められ、農村部も所謂「車社会」へと変貌していった。 |
| かつらぎ町 | 匡救事業           | 昭和4年(1929)に始まった昭和恐慌により、和歌山県内の経済状況は悪化していた。町域の経済は以前から停滞気味で、恐慌による打撃が加わったことで町村財政は厳しさがいっそう増すこととなった。伊那合同銀行の破綻による納税不良、新規事業の一切の手控え、教員・吏員の賞与全廃など不況下における事象が次々に顕現した。こうした苦境の打開策として、失業者を救済する為の公共事業「匡救事業」を求める声が全国的に上がり、和歌山県会でも議論された。町域でも、上天野三谷線・下天野星山線など、とくに道路建設が当該事業として行われた。匡救事業については、できる限り「地元部落請負」方式が用いられた。地元総出での作業を行うことにより、特定業者を潤すのではなく、町域の住民の救済に役立ったのである。                                                   |
| かつらぎ町 | 紀の川架橋          | 和歌山県内において、明治期にはまだ盛んであった渡船は、後世橋梁にとって代わられることとなる。町域においても、明治期において三谷や佐野、笠田東など10か所で渡船場があったが、その終息の時期は未だよくわかっておらず、昭和元年(1926)時点でも県道渡船場は5か所を数え、紀の川筋でも隅田停車場阪本線の渡船があったとされる。紀の川架橋は、明治末に具体化したようで、町域では明治44年(1911)4月に三谷橋が橋柱の杭打に着手し翌5月には竣成式を行った。以降、次々に架橋が行われ、水陸両交通網に変革をもたらしたが、「三谷の渡し(大字三谷)」や「折居の渡し(大字佐野・笠田東)」等の渡船にはどのような影響があったのであろうか。その具体的経緯を明らかにするうえでも重要な事象である。                                                   |
| 有田市   | 町民の熱望により開通した鉄道 | 紀勢線敷設促進運動が明治から大正にかけて行われ、大正末期に着手された。和歌山市を起点として紀勢西線が箕島駅まで開通したのが大正13年(1924)2月20日、次いで紀伊宮原駅は翌大正14年(1925)12月11日に開通した。当初の案では下津より明神山をトンネルで抜け、下中島から宮原に通じるものであったので、箕島町民の熱気はものすごく、町民大会や上京して陳情を行ったりした。一方宮原も、箕島から保田・糸我に抜けるのではと、村をあげて猛運動をくりひろげた結果、下津から初島・箕島経由で宮原に着くことが決定した。初島駅は東燃和歌山工場の設立により重要となったので、昭和13年(1938)12月箕島駅の管理下で無人駅としてガソリンカーを1日に8回停車させ旅客のみ取り扱ってきたが、昭和17年(1942)1月より貨物車線の取り扱いを始め、8人の駅員が置かれ箕島駅から独立した。   |

| 市町村   | 歴史的事象                 | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 湯浅町   | 有田鉄道の開通による交通の発展       | 海港のある湯浅と、商業地である金屋を繋ぐことにより、湯浅港の発展と奥有田の開発が見込まれることから、大正2年(1913)有田鉄道株式会社が設立された。有田鉄道は大正4年(1915)に全線開通し、湯浅町内には、吉川駅・湯浅駅・海岸駅が設置された。現有田川町の金屋口駅から湯浅町海岸駅を繋ぎ、沿線で収穫されたみかんや木材を湯浅港まで運搬した。しかし、昭和2年(1927)に国鉄紀勢西線が開通したことにより、有田鉄道は衰退していき、第二次世界大戦による影響で昭和19年(1944)に藤並駅以西のレールを取り外した。以降は本数を減らし国鉄線への乗り入れを行い、平成14年(2002)に廃線となった。                                                 |
| 有田川町  | 有田鉄道と近代交通の発展          | 有田鉄道は大正4年(1915)に開業し、当初は有田地方の動脈や奥有田の開発に資することを期待されたが、当地域の主要産業であるみかんの運搬に大きな役割を果たした。最も賑わいを見せたのは、昭和40年(1965)前後で、旅客は年間160万人、貨物は3万トンを超えた。しかし、みかんの輸送手段が自動車へと移行し、通勤・通学等の利用者も減少の一途をたどって、平成14年(2002)全線廃線となって87年の歴史に幕を閉じた。平成22年(2010)には金屋口駅舎周辺が鉄道公園として整備され、線路跡の大部分も「ぽっぽ道」として遊歩道化されるなど、旧駅舎等の関連遺産の保存活用が図られている。有田鉄道は、近代和歌山県における鉄道を中心とした交通の歴史を知る上で意義深い。                 |
| 御坊市   | 紀勢線御坊駅から市街地を走る御坊臨港鉄道  | 近代になり、鉄道建設が進み、和歌山県でも紀勢線が建設される。その中で、どこに鉄道、駅をつくるかは大きな問題になった。御坊においては、旧御坊町から少し離れた湯川町小松原につくられた。まちの有志が資金を出し合って鉄道会社(御坊臨港鉄道)を設立した。御坊臨港鉄道は国鉄御坊駅から市街地を通り、日高川河口の港まで敷設され、旅客と貨物を輸送した。                                                                                                                                                                                |
| みなべ町  | 紀勢鉄道の開通<br>岩代駅、南部駅の開業 | 明治中期以降、紀南住民の悲願であった紀勢鉄道の建築案が大正7年(1918)に国会を通過し、紀勢西線(和歌山市一串本間)は大正10年(1921)和歌山市から着工された。昭和6年(1931)9月21日、印南―南部間が全通し、切目・岩代・南部の3駅が開業した。南部駅開業とともに、印南―白浜間の明光バス路線が南部以南に短縮した。南部駅は終点駅で、南部以南の列車乗降客がバスを使用するので、南部駅前毎日大混雑で、乗車待ち合わせ客で賑わった。龍神自動車、南部タクシー、国際通運も駅前で開業した。昭和7年(1932)には南部―田辺間が開通し、芳養・紀伊田辺駅が開業した。これにより、終点駅であった南部の賑わいは火の消えたようになった。                                 |
| 新宮市   | 新宮における近代交通の整備と発展      | 陸上交通の不便な紀南地方において、大正時代における新宮鉄道の開通やプロペラ船の就航をきっかけに、観光、木材輸送を主として紀伊半島一周の交通機関が地域の努力によって整備されていった。戦後は、陸上交通が主となり、道路網が整備される。基幹道路だけでなく、ダム建設や木材輸送の需要により熊野川水系の川丈筋にも道路網が整備されていく。その発展の足跡を示す文化遺産群。                                                                                                                                                                      |
| 那智勝浦町 | 新宮鉄道建設による交通の発展        | 那智勝浦町浦神出身である衆議院議員山口熊野氏らが紀勢鉄道敷設運動を起こし、地元住民の強い関心と運動の功績により明治43年(1910)4月新宮鉄道KKが設立され同年5月着工、大正元年(1912)11月14日に現実のものとなった。大正2年(1913)、勝浦新宮間に新宮鐵道が開業。その目的は熊野川を筏で新宮に下った豊富な木材を勝浦港から直接台湾に搬出する事であったが、この事は地域の生活や産業にも大きな変化と発展をもたらした。とりわけ勝浦はサンマ漁中心の漁村から熊野の玄関口へと変貌し、棧橋には客船が発着し、温泉旅館が建ち並び、港は木材や鉱石の搬出と阪神からの観光客の上陸で賑わった。本鉄道は現在も地元住民の交通手段の要として利用されており、産業の発展にも大きく貢献された重要な事象である。 |



| 市町村 | 歴史的事象    | 概要                                                                                                                                                                                                                       |
|-----|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北山村 | 川から陸の交通へ | 村内の道路は、昭和40年(1965)の七色、小森ダム完成前後に資材運搬用やダム補償による村道の延長改修により急速に整備された。特に画期的な改善は、それまで三重県側に渡るには、渡し船しか手段がなかったが、橋の建設により従来の閉鎖状況を脱した。自動車での交通が可能になったことで、のちにバスの運行も行われ、村民生活の向上、村の近代化に大きく寄与した。現在も当時の橋を利用し、住民生活が成り立っており、これらの橋は北山六橋と呼ばれている。 |

#### 【4 和歌山県を支えた近代における産業】

| 市町村 | 歴史的事象             | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 海南市 | 棕櫚産業と地域の発展に尽くした人々 | 和歌山県における棕櫚栽培の歴史は古く、弘和年間に遡るといえる。耕作地が少なく山林が多い、海南市東部から紀美野町にかけての地域は、農家の副業として棕櫚皮の生産が貴重な収入源になっていた。明治時代以降になると、棕櫚皮のまま出荷するのではなく、綱や縄などの棕櫚製品を盛んに生産し出荷、地域の一大産業となり、地域の交通の発展にも大きく影響した。その後、素材が棕櫚からパーム、そして化学繊維に変わっていくなか、海南市を支える産業として現在まで受け継がれている。海南市域には、棕櫚産業を支えた人々の功績を称え顕彰する石碑や、それらの人々が残した建造物が残されており、これらは地域の歴史を知る上で重要な文化遺産である。                                                                                                                                                |
| 海南市 | 紀州漆器のまち黒江         | 黒江地区周辺で生産される紀州漆器は「黒江塗」として知られ、福島県(会津塗)・石川県(山中塗、輪島塗)とともに三大漆器産地のひとつであり、昭和53年(1978)には通商産業省から「伝統工芸品」の指定を受けている。紀州漆器は室町時代の木地師により作られていた洪地椀から始まり、江戸時代には紀州藩の保護を受け大きく発展し、江戸時代後期には全国に出荷されていた。幕末には堅地板物の製作や蒔絵による加飾がなされるようになり、国内に止まらず海外にも輸出されるようになった。また、黒江地区には、家屋が鋸歯状の並ぶ独特な景観を残している。紀州漆器は和歌山県を代表する伝統産業であるとともに重要な歴史的事象である。                                                                                                                                                    |
| 岩出市 | 紀ノ川流域の苦心の治水と開田    | 山地の多い和歌山県にとって紀ノ川流域は、河口付近を中心に最大の稲作地帯で、水田の水の確保のために古代以来幾多の努力が続けられてきた。このことは、古代の耕地を区分けした条里制の名残をみれば明らかである。また、中世には、日前宮や根来寺、粉河寺、高野山をはじめとする荘園領主が展開し、水田稲作の安定のため、池の築造や治水にも意が配られてきた。やがて江戸時代になると井澤弥惣兵衛が永や大畑才蔵らによって、新田開発や洪水対策、さらには農業の技術の向上が図られた。中でも藤崎用水路や小田井用水路の開削により、それまでは畑作地帯であった一帯を水田化し、紀州藩の財政の立て直しに貢献することとなった。平成29年(2017)、小田井用水路は300年以上前に正確な設計、仕様とともに、詳細な現地測量に基づく効率的な建設手段を導入した優れた例として、世界かんがい施設遺産に登録された。                                                                 |
| 橋本市 | 凍豆腐製造と販売          | 凍豆腐製造の起源については詳らかではないが、中世には高野山において凍豆腐作りが開始されたと考えられる。近世に入ると野迫川村や高野町富貴等、高野山寺領内でも凍豆腐の製造が開始された。野迫川村の凍豆腐作りに使用する材料や製品は、山道を背負って運搬されていたが、索道が開通されると索道で運搬された。製品は橋本市内にあった高野豆腐組合に出荷された。橋本市内では文化4年(1807)伏原村井筒屋羽右衛門が狭山・膳所両藩の許可を得て南葛城山において凍豆腐の製造を開始する。これは、高野寺領外での個人的な凍豆腐製造の初見である。近世は凍豆腐製造小屋が主に河内側に造られている。これは高野山からの介入を避け、山の北側斜面という凍豆腐作りに適した環境を選んだためと考えられる。葛城山における天然凍豆腐製造は明治期に最盛期を迎えたが、人工冷凍技術の発達や気候変動、第二次世界大戦による材料の入手困難により、高野山麓周辺の天然凍豆腐の生産地は衰退し、葛城山での天然凍豆腐製造は、昭和24年(1949)に終焉する。 |

| 市町村  | 歴史的事象            | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 九度山町 | 旧高野営林署及び森林鉄道跡    | 明治6年(1873)金剛峯寺寺有林のうち約2900haが国有林に編入され、明治19年(1886)営林署を高野山に設置した。同37年(1904)国有林初の森林鉄道(幹線)を起工し、同42年(1909)高野山と九度山貯木場間の約26kmの森林鉄道が完成した。この間営林署施設を高野山から九度山町入郷に移転、昭和3年(1928)花坂線鉄道を新設し、同6年(1931)関係機械類は全て木炭ガスに切り替えられ、戦前には合計約45kmの大森林鉄道網が完成したが、同29年(1954)鉄道を自動車道改修に着手し、同34年(1959)全線自動車運搬に切り替えられた。同36年(1961)に伐採量最盛期47000m <sup>3</sup> となるが、同46年(1971)～平成10年(1998)貯木場跡を順次売却し、同13年(2001)事務所を廃止した。これらの歴史を有し、近代から現在までの国有林業務を現す近代の文化遺産である。 |
| 高野町  | 高野山周辺の森林鉄道・索道の発展 | 高野山周辺に広がる森林は、高野山金剛峯寺の寺領から、明治6年(1873)に大部分が国有林に編入され、山林局の和歌山大林区署高野小林区署で管理された。明治から昭和にかけては軌道・索道の数ヶ線が敷かれ、機関車等も導入され木材が搬出された。また、山に多くのシュロが植えられたことで、シュロ皮の運送に森林鉄道が利用された。索道では高野町域からは木材や凍り豆腐などが出荷され、町外からは凍り豆腐の原材料である大豆や、生活物資などを入荷した。索道は自動車道路網の発展に伴って衰退し、昭和35年(1960)に廃線した高野索道が最後となり、歴史の幕を閉じた。                                                                                                                                         |
| 有田市  | 有田みかんの栽培         | みかん栽培の起源については諸説あるが、17世紀中頃には有田地方で盛んに栽培されるようになった。その一説に登場する伊藤孫右衛門に関するものが有田市内に遺されている。伊藤孫右衛門が肥後八代から持ち帰り、小蜜柑の苗木を植えた「紀州みかん」最初の地や、江戸時代末～明治に建てられた代々続くみかん農家の伊藤家住宅、伊藤孫右衛門の功績を称えた顕彰碑などである。豊かな自然に恵まれ、幾多の先人の努力によって育まれてきた有田みかんは、江戸期から受け継がれ、昭和に入ると有田郡内で2番目にモノラックを架設したり、灌漑施設を整備し全国初急傾斜地柑橘園スプリンクラー施設を完成させるなど、有田地方の主要産業として発展の道をたどってきた。農家を潤し、この地方の生活と文化を豊かにした有田みかんは、この地域における重要な産業の歴史的事象である。                                                 |
| 有田市  | 除虫菊産業の始まり        | 除虫菊産業の起源となった山田原に初めて植えた人について通常2説が広く流布されている。「明治19年(1886)1月上山英一郎が米国植物会社社長エイチ・アモアー氏より種子の贈与をうけ栽培したのが最初」とする説と「明治21年(1888)御前七郎右衛門が和歌山県植物試験場より数株の苗を譲りうけて栽培したのが除虫菊の起こり」とする説である。いずれにせよ、一茎の未知の植物と取組、栽培に、製品の工業化に心血をそそぎ、この地に日本除虫菊の基盤を築いた先人たちの功績は後世に残すべき重要な歴史的事象である。また除虫菊移入の由来や栽培、全国への普及、輸出などの功労者を詳しく書いた「除虫菊記念碑」が昭和12年(1937)に除虫菊発祥の地、山田原の八王子公園内に建立されており、昭和17年(1942)に上山英一郎の顕徳碑が須佐神社に建立された。(現在は昭和60年(1985)に銅像に建てなおされている。)               |
| 湯浅町  | 「最初の一滴」醤油醸造発祥の地  | 鎌倉時代、宋で修行をした僧覚心より金山寺味噌の製法が伝えられ、金山寺味噌を製造している過程で湯浅にて醤油が生まれたといわれている。江戸時代には紀州藩の保護のもと製造・販売が進められ各地に広がり、湯浅は大いに栄え、近代には湯浅と広の醸造家が結託し湯浅醤油株式会社が立ち上げられた。江戸初期創業当初からの金山寺味噌の製造方法を受け継ぐ家や、醸造関係の建造物群が広く残り、現役で醸造施設としての利用がされている家等、醸造家の町家や蔵が並ぶほか、醸造の材料の搬入や、醤油の積み出しのため、大仙堀が内港として築かれた。他にも、醤油屋の使用人が利用した甚風呂や、醸造に不可欠な麴の製造・販売を行う家等、多くの種類の店が建ち並び、商工業都市として発展し、醸造業で栄えた町並みは現代にも残る。また、顯國神社や深専寺等の神社仏閣は、醸造家をはじめとした地域住民の信仰を集め、祭礼や行事が行われた。                   |

| 市町村  | 歴史的事象            | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 湯浅町  | 安政の地震における被害と復興   | 安政年間には日本各地で地震災害が相次いだ。紀州においては、安政元年(1854)11月4日・5日に起きた、安政東海及び南海地震の被害が大きい。関東から九州までの広範囲を揺らし甚大な津波被害が出ている。湯浅では、深専寺境内に「大地震津波心得の記」碑が地元の人々の寄付により建てられ、地震・津波被害の甚大さ、地震が起きたら天神山へ逃げるようにという教訓が刻まれている。                                                                                                                                                                                                                   |
| 湯浅町  | 有田のみかん栽培         | 紀州藩の保護を受け江戸や大阪にみかんの出荷が行われる中、貞享4年(1687)に紀州藩によって組株の数や問屋の指定がされ、正徳4年(1714)には27組の蜜柑組株のうち1組が湯浅の組株であった。明治以降は積み出しに湯浅港も使われるようになり、有田鉄道などの交通網も発展した。湯浅では主に田・栖原でみかん農業が活発に行われ、地形を活かし山間部に形成される段々畑と石積みによる畑の景観は今も変わらない。第二次世界大戦後に到来したみかんブームで平地の畑の開墾も進み、以降もみかんの栽培は活発になる。湯浅でも「田村みかん」のブランドが生まれ、有田地方は今尚全国有数のみかんの産地として著名である。                                                                                                   |
| 広川町  | 広川町の漁業史          | 近世における広川の漁民は、東は千葉県銚子、西では長崎県五島列島奈良尾に船団を組んで出漁した。銚子市外川には崎山次郎右衛門が私財を投じて港を造り、漁民と同じように海を渡った広川の商人達は銚子市で醤油醸造をはじめた。その中の一つが現在のヤマサ醤油である。新上五島町奈良尾近海は広川の漁民が近世末期まで最後の漁場とした地である。「五島通い」を続けている中で奈良尾に定住する漁民もいた。その中でも代表的なのが戸田長兵衛である。戸田長兵衛は網元として重要な役割を果たしていた広における旧家の一つである広浦戸田家から分家して、奈良尾に移住し初代当主となった。移住した漁民たちはその地に漁法や土木技術を伝えた。昭和38年(1963)12月に広川町と奈良尾町(現在は新上五島町)は姉妹町の関係を結び、現在も相互の交流が続いている。                                   |
| 広川町  | 有田みかんの栽培         | 有田(ありだ)みかんは、『紀州蜜柑伝来記』によると天正2年(1574)伊藤孫右衛門が肥後八代からみかんの苗木を持ち帰ったと伝えられるのが始まりである。有田川中下流域で始まったみかん栽培が、時代の進展とともに盛んになって、江戸時代中期ごろには有田の特産物として知られるようになった。近世末期には広浦波止場から年間、びわ・みかんあわせて20万箱積出したという記録が残る。昭和35年(1960)頃から水田の畑地転換が急速に進み、それまでの山畑を主にした柑橘栽培が平地果樹園主体に変化した。それに加えて、山地における畑開墾も盛んに行われ、当地方の農業の中心は柑橘経営となった。農業地域の集落では、家々を取り囲むように畑を開墾しみかんが栽培されている。集落から周囲を見渡すと石垣積みで築き上げられたみかんの段々畑が広がりこの地方独特の景観が形成されている。                   |
| 御坊市  | 御坊の産業革命―紡績工場―の痕跡 | 御坊で最初の近代的工場は、大正2年(1913)操業を始めた日出紡績で、御坊の産業革命の先がけとなった。すでに、明治の終わり頃、日高製材所・日高電灯会社の創立をみていたが、大正時代には、日高紡績・日出紡織松原工場・野村・常磐製材所等が設立操業された。御坊の産業革命の中心は、紡績と製材業で、日高川河口に集まった三紡績工場の従業員は郡内外、遠くは東北・九州・沖縄から働きに来て、大正末には2,000人を越したと言われる。                                                                                                                                                                                        |
| 日高川町 | 日高川の水力発電         | 明治末から大正にかけて、本町の中部を流れる二級河川日高川には六つの水力発電所が建設され、そのほとんどの発電所は現在においても稼働中である。これらの発電所は、その当時の電力需要にこたえ、商工業の発展などに長年寄与してきている。越方発電所については、日高川水系の第一発電所として竣工した発電所である。建設時の写真も残っていて、大変な労力と時間を費やして建設しているのがわかる。また、旧高津尾発電所棟においては、新発電所棟が平成11年(1999)の運転開始に伴い廃止されたものの、赤レンガのどっしりとした建物で、外壁はレンガの長手だけの段と小口だけの段を一段置きに積むオランダ積で構成されていて、その壁面に帯状の白い擬石にて装飾が施されており、柱やアーチ状の凸凹でレンガ造の壁面が豊かな表情をもたせている。レンガ造りの旧発電所棟においては、現在においてもほぼ建設当時のまま保存されている。 |



| 市町村  | 歴史的事象                  | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日高川町 | 日高川町における林業関連産業(流筏、備長炭) | 木材需要が増加し林業が盛んであった頃、日高川流域において木材輸送は流筏が主流であった。日高川における運材は、初期のころは船津(旧中津村)の滝本まで管流で、船津から筏にして川口まで流筏だった。その後、旧美山村から筏で流すようになり、船津は、筏の中継点となり、筏宿が軒を連ねてにぎわった。筏師の中心となって活躍したのは、美山、中津地区の人たちで、中には熊野川や四国の吉野川、四万十川まで、遠くは北朝鮮まで筏流しの出稼ぎに行く人もあった。大正期には、龍神から田辺までワイヤーロープで木材を運ぶようになったりして、昭和28年(1953)の大水害で御坊周辺の製材業は大打撃を受け、水害後日高川の流筏は姿を消したが、筏流し唄保存会において、当時の状況が語り継がれている。また、林業関連産業として、紀州備長炭製炭業についても紀州備長炭保存会によって技術の伝承につとめている。                                    |
| 田辺市  | 天然砥石「神子浜砥」を産出した石山の仕事   | 田辺市の神子浜・文里地域は、砥石をはじめとした石材を産出する採石業(石山の仕事)が盛んに行われた。その歴史は古く、寛永15年(1638)『毛吹草』『諸国物産名収録』に「神子浜砥」、『和漢三才図会』の砥石の項に礪石の産地として紀州神子浜が登場する。最盛期には採石場(石山)の数が十数カ所を数え地場産業として栄えたが、人造砥石やセメント・コンクリートの普及により昭和40年(1965)頃終焉を迎えた。現在採石場跡の大部分は宅地化され、わずかに残された採石の痕跡が往時を偲ぶ。採石場で切り出された石はその質により様々な製品が造られた。「砥石」はその代表で、不純物が混じらない上質な石で造られた貴重な品であった。次に「建築用石材」として間石、玉石、つか石、「土木工事用石材」として積み石(かた石)、捨て石が造られた。ほかに、板石、灯籠などの石製品が造られている。神子浜の採石業は、地域の産業史を考える上で重要な歴史的事象である。      |
| 田辺市  | 山元製材の栄枯盛衰              | かつて木材を挽く作業は、幅の広い鋸を使った手作業であった。明治の後半には製材機械が登場し、山間部では水力や蒸気を利用した山元製材工場が広がりを見せた。明治29年(1896)に奈良の植田理太郎(前ノ川製板所)、明治35年(1902)に安田多三郎(安田製板所)、三重の小泉亀吉(小泉製板所)等県外の業者が進出した。背景には日露戦争を契機とした木材市場の好景気があり、紀南の山々には、黒木の天然林や動力源となる水が豊富にあった。明治40年(1907)頃には、田辺の近藤新十郎(安川製材所)、佐武伊平(玉谷製材所・和田川製板所)、上音松(和田川製板所)等地元業者による山元製材が行われた。また、工場の開業に伴い製品搬出の必要から、道路改修等の交通の整備が行われている。しかし、これらの製材所は木材市場の低迷や資源の枯渇等により大正期に相次いで撤退し終焉を迎えた。山元製材は地域の産業史をはじめ交通の発展を考える上で重要な歴史的事象である。 |
| 白浜町  | 中大浜で栄えた地引き網漁           | 白浜町中地区(中大浜)で江戸時代中期以降に盛んであった地引き網漁がおこなわれていたことを現す遺産として、旧中漁業協同組合納屋群として一括して遺存している。納屋群は、上組と下組に分かれている。中地区は、近世に菱垣廻船発祥の地とも伝わり、古くから海運で栄えていたと考えられている。それらを背景に大規模な施設が作られたとみられる。江戸時代以降に「大職網組」が誕生し、その後「納屋組」「万栄組」「栄福組」といった漁業集団ができてきたのであるが、互いに競争となり利益を得ることができなかったため、明治初年に5組に整理し、さらに明治43年(1910)には5組を統合し、「中網組共同社」ができた。これが、「中漁業協同組合」につながっていく。現在でも地域の方により、地引網体験イベントが催されている。                                                                          |
| 白浜町  | 戦国時代より続く湯崎鉛山の鉱業遺産      | 戦国～江戸時代前半代に盛況を博した湯崎鉛山鉱山について、一時期衰退しているようだが、大正～昭和前半代に再び活況を取り戻している。その後、採掘量の著しい低下により操業が停止してしましたが、一部の施設が現存している。ただし、詳細な現地調査がなされていないため、今後の課題である。地元では、山に入ると間歩穴に落ちるので注意しないといけない、と今でも言い聞かせている。近代の鉛山鉱山においては、採鉱したのち、原石のまま梶原谷の浜から帆船に積み込み、九州の大牟田の製錬工場へと運ばれた。帆船は4隻あり、第1～第4「運鉱丸」と名付けられている。搬出港の一部は、現在も確認できるが、銅山の影響か、付近の海岸は赤銅色の特異な景観を呈している。温泉とともに、白浜の歴史にとって欠かすべからざる遺産である。                                                                         |

| 市町村  | 歴史的事象                   | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 白浜町  | 白浜の観光商工業                | 昭和30年代に新婚旅行のメッカとなっていた泉都白浜の観光商工業を支えた歴史文化遺産群。近代を通じて、観光地として栄えており、その中心となるのは、やはり温泉であった。有間皇子の時代より「牟婁湯」として知られ、江戸時代には「湯崎七湯」として、温泉街を形成していた。近代に入ると、古来よりの湯崎温泉以外にも、さまざまな源泉が開発され、白浜半島全体に温泉地ができることにより、近代の発展につながっていった。ただし、白浜温泉内でも誘客競争が盛んとなり、各地区における客の取り合いが熾烈になり、とくに白浜の玄関口とされた白浜口駅(現白浜駅)ではその傾向が顕著であった。また、古くから景勝地として名高い白良浜の白砂は、ガラスの原料として一時期大阪まで搬出されており、そのための船を舫う石製の棒(棒杭)が、海岸沿いに残されている。                                                                                                            |
| 新宮市  | 新宮における木材産業の発展           | 紀伊半島は温暖多雨な気候風土により、豊富な山林資源に恵まれている。新宮市街地は、熊野川河口に位置し、熊野川流域の木材の集散地であり、河口部には「東洋一」ともいわれる巨大な貯木場が設けられた。良質な材木は、古来より多くの需要があり、船運により各地へ運ばれた。近代には、震災及び戦災復興等により、木材産業は活況を呈した。木材産業の発展に伴い、鉄工、造船、電気等の関連産業も整備された。川丈からの木材輸送に関しては、近代前半には筏等による水上輸送であったが、近代後半以降は道路網が整備され、陸上輸送に変化していった。新宮の発展の基盤となった木材産業に関連する文化遺産群。                                                                                                                                                                                       |
| 太地町  | 太地の捕鯨文化：古式捕鯨の終焉と近代捕鯨の導入 | 明治11年(1878)末、遭難事故「脊美流れ」によって太地鯨組は百名以上を失い、古式捕鯨に事実上の終止符が打たれた。明治20年代になると海外出稼ぎに活路を見出す人が大勢いた一方で、日本沿岸で捕鯨を続けた人々は、アメリカで発達した捕鯨ボートや爆発銃を試みた。明治40年代に入ると大手資本が経営する捕鯨会社が太地に事業所を開設し、ノルウェー式の近代捕鯨船が大型鯨類を水揚げするようになった。また小型の動力船の舳先に小口径の捕鯨砲を搭載した「テント船」や「ミンク船」を個人で所有する人が増え、小型鯨類の水揚げも盛んになった。昭和11年(1936)、林兼商店(後の大洋漁業)が日新丸船団を初めて南極海に出漁することが決まると、日本沿岸で稼働する捕鯨船の砲手が真っ先に雇われた。好成績を収めた彼らは社内で強い権限を持つようになり、太地出身の砲手たちは太地の若者を率先して雇うよう会社働きかけた。終戦の翌年から南極海捕鯨が復活し、日本が世界最大の捕鯨国になった昭和30年代の最盛期には、小さな太地町から数百名の男たちが出漁するようになった。 |
| 古座川町 | 古座川の木材輸送                | 紀伊山地の広大な森林から、立木が伐採され木材として搬出されるまでの行程を歴史的に眺めると、木材を消費地まで搬送する手段に筏、鉄道、トラックと大きな変化があった。古座川町においても、古座川での流送、牛車、トロッコなどにより河口域の製材所まで木材が搬送されていたが、その輸送方法は次第にトラックへと置き換わっていった。特に流送では、「管流」と「筏流」の方法がとられ、川流しの職人集団によって木材が下流へと流された。また、江戸時代以来の水運の発達と相まって、流域の中継点となった真砂区は、川船業、米小売商、木炭商や旅館の集まる商業地となり、登記所や銀行も設置されるほど発展した。このような古座川流域における木材輸送の変遷は、和歌山県の基幹的な産業である木材産業を語る上で、重要な歴史的な事象であると言える。                                                                                                                   |
| 古座川町 | 古座川弧状岩脈の鉱床              | 古座川の中・下流域には、天柱岩・嶽の森山・古座川の一枚岩・飯盛岩・牡丹岩・少女峰・高池の虫喰岩などの奇岩・岩峰があり、清流に映える古座峡を形成している。これらの奇岩・岩峰は、古座川に沿って弧状に分布しており、その先は池野山付近から浦神の虫喰岩を経て太地町付近まで続き脈状の岩体「古座川弧状岩脈」を形づくっている。その「古座川弧状岩脈」は、西南日本の各地で起こった1500万年前ごろの火山活動に連動して起こった、熊野カルデラ火山の活動によって形成された。古座川町にはこの熊野カルデラ火山にともなうできた鉱脈型熱水性鉱床があり、多くの小規模鉱山跡がある。近代化に向けた銅需要の増加に伴い、主に銅を採掘する鉱山として、江戸時代から昭和の終戦期に稼働されていた。                                                                                                                                          |

| 市町村 | 歴史的事象        | 概要                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北山村 | 筏下りの歴史と観光事業化 | 昔から北山村周辺の木材を運搬するために行われてきた筏流しは、急峻な山々からなる北山川の多くの難所を越えて、河口の新宮市と経済的、文化的な繋がりを深めてきた。多くの村人が筏師として生計を立てていたが、危険な仕事のため犠牲となる方も多くいた。北山川周辺には、筏師の安全を祈願する石碑などが今も残っている。陸上運送の発展と北山川のダム開発により筏流しは衰退したが、筏流しの伝統技術と文化を継承していくため、昭和54年(1979)から観光筏下りとして復活している。 |

## 【5 和歌山県における近代の災害と防災】

| 市町村   | 歴史的事象               | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高野町   | 高野山の消防組・警防団         | 高野山に警察が出来たのは明治39年(1906)で、橋本警察署の高野分署といった。高野山は落雷等による火災が多く、消防組が組織されてきたが、明治21年(1888)の大火を鑑みることからはじまり、警防団を組織するまでの沿革を残した。これまでの消防組の歴史を後世に残すため警防団令実施の日に合わせ昭和14年(1939)に「高野町消防組沿革誌石碑」が作られた。大正12年(1923)には日本に3台しかなかったという性能のよいドイツ製のポンプでの消火活動も行われていた。3台のうち1台は東京消防庁、もう1台は大阪消防署が購入したものだった。東京からきたポンプで、関東大震災(大正12年(1923)9月1日)での消火作業で使われた後に汽車で大阪梅田を経由して高野口駅に到着。紀ノ川で九度山に引き上げられ牛3頭で椎出から長坂を通り不動坂を引き上げて高野山にやってきた。  |
| かつらぎ町 | 紀州大水害               | 和歌山県内において、昭和28年(1953)7月18日を中心とした集中豪雨によって引き起こされた大規模水害、紀州大水害(通称28水)は、死者行方不明者1,000人以上、被災者約30万人、被災家屋約7,000万棟という和歌山県史上最悪のものだった。かつらぎ町花園地区では、7月18日の夜半から未明にかけての大雨で有田川が増水・氾濫し洪水となり、紀伊山地斜面も崩落し川筋の集落が濁流に飲み込まれた。さらに9月25日に台風13号が通過した結果、被害状況は、死者行方不明者111名、被災家屋113棟、被災山林3100町歩、被災農地50町歩となった。このように、紀州大水害は町史上においても1村が壊滅的となるほとんど経験のない災害であり、体験者による証言、当時の状況から復興までをまとめた冊子やビデオ、金剛の滝をはじめとする記念物が遺され、現在にその惨禍を伝えている。 |
| 有田市   | 有田川の水害と復興           | 有田市の中央を東西に流れる有田川は度々氾濫し、川沿いに暮す人々に甚大な被害を与えてきた。有田市内には主に明治22年(1889)と昭和28年(1953)の水害の被害状況を記したり、復興の決意を表わした災害記念碑や供養塔、最高水位標などが数多く建立されている。これは、先人が残してくれた災害の痕跡として後世に伝えるべきものである。また堤防構築や水門、隧道など治水事業に尽力した方々の顕彰碑も建立されている。そのほか、浄念寺には、水害で流れ着いた人々を救い「浄念寺の人助け柏槨」と呼ばれる巨木がある。この柏槨のおかげで水の流れが変わり、本堂が流されなかったと言われている。その本堂は、水害後、住職の意志を聞いた人々が、我が家の作業を後回しにして復興整備を行い、災害地乳幼児の託児所となった。このような水害後の復興に関するものも、重要な歴史的現象である。      |
| 広川町   | 安政の津波からの稲むらの火の伝承と復興 | 安政元年(1855)11月5日安政の大地震が広村を襲い津波が襲来した。醤油醸造を営む家の当主であった濱口梧陵が田の稲むらに火を灯し、村人を高台の広八幡神社へと誘導し多くの命を救った。その後、梧陵は私財を投げ打ち津波から村を守る広村堤防の築堤を計画し、災害により生活に困っていた村人を雇うことで離散を防ぎ村の復興に導いた。広村堤防には、梧陵が私財を投じて堤防を築堤したことに対する感謝の言葉が刻まれた感恩碑や、大津波で亡くなった村人を供養するために建てられた溺死者供養塔など様々な記念碑が建てられている。毎年11月5日「世界津波の日」には広村堤防に土盛りを行い濱口梧陵らの偉業を称える「津波祭」が行われ、地元の小・中学生が参加する。この津波からの復興は世代から世代へと伝えられ防災遺産として町に息づいている。                          |



| 市町村  | 歴史的事象              | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 有田川町 | 近代における有田川の利用と紀州大水害 | 昭和28年(1953)7月18日に発生した紀州大水害は、死者615人、行方不明者431人、重軽傷者6,600人以上、家屋の全壊流出8,600棟余り、被害者総数25万人という大惨事を引き起こした県下史上最悪の気象被害である。最も被害が大きかった有田郡では総人口の約6割が被災者となり、500名もの犠牲者を出した。有田川とその支流では明治後期から水力発電施設の建設が相次ぎ、林業でも伐採木の運搬が行われてきたが、水害によって多くの施設が甚大な被害を受け、特に水力発電は廃止に追い込まれた。紀州大水害は、人々の生活生業や景観、生態系などに甚大な影響を与えた大災害として記録される重要な歴史的事象であり、水害関連碑をはじめとした関連遺産は今後の災害教訓となるものである。                                                                                                                   |
| 御坊市  | 御坊に残る水害の碑          | 明治22年(1889)、昭和28年(1953)7月18日に和歌山県(日高地方)に大規模な水害が起こった。それらに係する石碑等が残されている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 美浜町  | 回船天寿丸の遭難           | 嘉永2年(1849)9月回船天寿丸(950石積)は、菌浦を出港し、有田郡箕島の北湊で紀州物産を積んで、10月14日に江戸に着く。エゴマ油、イワシしめ粕などを積んで江戸を出港。翌年1月6日伊豆沖で大風雪に遭い難破し太平洋上を漂流した。漂流は60余日、食料は尽きて瀕死の状態であったが、3月12日に米国の捕鯨船ヘメニラリ号に乗組員全員(13名)が救助される。船内の食糧事情から乗組員は船頭虎吉と梶取り長助等の二派にわかれ、虎吉一行は香港着、上海に移り、12月長崎に帰着。一方長助一行はロシア領カムチャッカに滞在後ロシア船で下田についたのは嘉永5年(1852)1月2日であった。                                                                                                                                                                |
| 美浜町  | 高砂丸海難事故対応における遺徳顕彰  | 昭和32年(1957)2月10日夜半、名古屋から神戸へ航行中のデンマーク国マースクライン会社エレン・マースク号は、美浜町の日ノ御崎灯台沖に差し掛かったとき、海上で火災を起こしている徳島県海南町の船磯庚一氏所有の機帆船「高砂丸」を発見した。同船は直ちに接近し、日本人船員1名を救命艇に救助したが、同船員はエレン・マースク号本船に移乗する際、海中に転落した。このとき、同船の機関長ヨハネス・クヌッセン氏(39歳)は、船員を救う為暗夜の激浪の中に飛び込んだ。同夜は北西の季節風が強く、山のような波に同氏は日本人船員とともに紀州灘に姿を没し、翌日早朝、日高町田杭海岸で遺体となって発見された。海に生きるものを救おうとして殉難した、国境を越えた同氏の国際愛は日本とデンマーク両国だけでなく、世界各民族の親愛と平和の推進に光明をかかげたものである。美浜町三尾にはクヌッセン機関長顕彰碑と胸像、日高町田杭には石碑と救命艇を格納した展示場、また、高砂丸の母港であった徳島県海陽町にも顕彰碑が建てられている。 |
| 日高町  | ヨハネス・クヌッセン機関長殉難    | 昭和32年(1957)2月10日夜、神戸港に向けて航海中のデンマーク船エレンマースク号は、日ノ御崎沖で炎上している徳島県の機帆船「高砂丸」を発見、同船は直ちに接近して救命艇を降ろし、日本人船員1名を救命艇に救助したが、疲れ切っていた同船員は、本船に縄梯子で乗り移るさい、舷側から海中に転落した。このとき同船のクヌッセン機関長は、日本人船員を救うため暗夜の荒れ狂う海に飛び込んでいった。同夜の風速は20メートル、北西の季節風が強く山のような波に日本人船員とともに波間に姿を消した。翌11日早朝、日高町田杭海岸にクヌッセン機関長の遺体とエレンマースク号の救命艇が発見された。                                                                                                                                                                 |
| 日高川町 | 七・一八水害             | 七・一八水害は「紀州大水害」と呼ばれ、昭和28年(1953)7月17日から18日にかけて、梅雨前線による非常な集中豪雨に起因する水害である。和歌山県中部を中心として山崩れや崖崩れ、洪水が起こり、和歌山県史上最悪の気象災害となった。本町の中央部を流れる二級河川日高川でも大氾濫をおこし、流域の各所においては、家屋等が流失したり、山津波(山崩れ)が発生したりして、甚大な被害がもたらされた。中でも、旧美山村の弥谷地区では、山津波によって、集落全体の跡形もなくなるほどの未曾有の大災害となった。この災害により85名の尊い命が犠牲となり、昭和31年(1956)には弥谷地区には慰霊塔が建立され、昭和38年(1963)には水害遭難者の名前が刻まれた供養地蔵尊も建立された。また、この災害により治水計画が検討され、日高川本流には和歌山県下最大級の多目的ダムである椿山ダムが建設された。                                                            |

| 市町村  | 歴史的事象                   | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 田辺市  | 明治22年大水害の記憶と教訓          | <p>これまで幾度となく、台風をはじめとした集中豪雨により多くの被害がもたらされ、尊い命が犠牲となってきた。和歌山県水害史上最悪の1247名の方が犠牲となった明治22年大水害は、3日間で1295mmという記録的な集中豪雨であった。この豪雨により大規模な山崩れで自然堰堤ができ、水圧に耐えきれず決壊し下流へ押し寄せ、会津川、熊野川沿いの多くの家屋や耕地をはじめ熊野本宮大社までもが流出した。水害後、壊滅的な荒廃を受けた会津川で復旧工事が始まったが、不十分なものであったため明治26年の水害で再び荒廃した。明治27年(1894)にオランダ人ヨハネス・デレーケの計画をもとに川敷拡張、連続堤・高堤防化といった大規模な改修が行われ、現在まで人々を洪水から守っている。明治22年大水害は、いわゆる治水三法といわれる『河川法』(明治29年)、『砂防法』『森林法』(同30年)が制定されるきっかけとなり、今後の災害の教訓となる重要な歴史的事象である。</p>                |
| 田辺市  | 南海地震と津波の襲来              | <p>南海地震は長い歴史の中で繰り返し発生し、その周期は約100年～150年とされ、激しい揺れと大きな津波が特徴である。安政元年(1855)11月5日、M8.4の安政南海地震が発生し、大きな揺れとともに発生した津波は田辺の町中や新庄村などの沿岸地域、下秋津村や糸田村などの川を遡上した地域を襲い、多くの家屋をはじめ廻船や大橋などが流出、多数の犠牲者を出した。昭和21年(1946)12月21日にはM8.0の昭和南海地震が発生し、紀伊半島や四国は烈震に見舞われたが、二十数分後には津波が襲来し、沿岸地域の家屋や橋脚の流出、田畑の冠水、新庄村では船舶や木材が流出し家屋等を押流した。この地震による犠牲者・行方不明者は80名である。新庄村では昭和南海地震の津波を受けて、昭和23年(1948)に津波潮位標の建設、昭和25年(1950)に防潮堤を竣工し、その記憶は後世へと引き継がれている。南海地震は、近い将来起こるとされる南海トラフ地震の教訓となる重要な歴史的事象である。</p> |
| 白浜町  | 明治22年に起こった富田川大水害        | <p>明治22年(1889)8月に起こった台風による大規模災害。奈良県・和歌山県にかけて、土砂崩れや洪水等により、1,000人以上の死者が出た。被災後、災害記念碑が地元の尽力により、建立され、今に伝わっている。富田川における河川災害としては、明治22年(1889)時の水害が記憶に強く残っているようで、記録がよく残っている。単なる水位碑(票)だけでなく、慰霊のための記念碑や治水に対する功績を称える碑や災害後、海岸へ流れついた溺死者の墓といったものの、それぞれに災害の概要や危険性を伝えるメッセージを残している。100年以上経過した平成23年(2011)紀伊半島大水害が起こるまでは、近代以降の富田川の水害では一番被害が大きかったとみられる。流域をともにする、市町にも所在する。</p>                                                                                               |
| 白浜町  | 人災か天災か、昭和33年の日置川水害      | <p>昭和33年(1958)8月25日に白浜町周辺に上陸した台風17号による日置川水害は、日置川奥地の猛烈な豪雨による降水量に加え、前年に完成したばかりの殿山ダムによる全門放水により、下流域が大洪水となり、大災害を引き起こしたものである。流域の橋のほとんどが被災し、一時交通が困難な地区もあった。また、当時の日置川町における主要な産業であった林業への被害も甚大なものであったようである。降水量としてはより多量の地点もあったが、ダムからの放水により一瞬にして、川の水位が上がり、下流一帯の被害が大きくなったといわれる。人災か天災か、現在でも被災者により当時の被害が語り継がれており、その経緯は『日置川町史災害編』に詳細に纏められている。</p>                                                                                                                     |
| 上富田町 | 明治22年(1889)の大水害にかかわる痕跡等 | <p>明治22年(1889)の大水害は紀南地方に未曾有の被害をもたらした。長雨の上、二日間の集中豪雨による河川の氾濫により河川沿いの集落や耕地に壊滅的な打撃を与えた。この大水害による犠牲者は全体で約1300名だが和歌山県下で1247名、そのうち富田川流域は565名と富田川流域の死亡者が格別多かった。(圧死23人・溺死542人・負傷者52人・家屋流出749戸・半流47戸・全壊459戸・半壊148戸・牛馬死亡136頭)現在も各地に慰霊碑や痕跡が残されており、自然災害に対する教訓として大切にしていかなければならない。現在、役場近くに唯一残されている富田川水害礫集積地(盛り土)は、木や草が生えて小山のようになっているが、それが何なのかを知る人はほとんどいない。</p>                                                                                                        |

|      |                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| すさみ町 | 宝永地震津波と周参見下地浦の「浪避堤」 | 宝永地震による津波の被害を受けて、谷三郎左衛門が浪避堤防を建設した。これによって安政の津波の際には、各地の被害に比べて、当地の被害は非常に少なかったといわれている。完成後に公金横領お嫌疑を掛けられ、谷三郎左衛門堤防は出頭を命じられ、高野山に出家した。地元ではこの日(享保4年(1719)1月5日)を命日として墓地を建てた。堤防の築造は当地にとって重要な出来事であったことから昭和2年(1927)に地元の有志が谷三郎左衛門を顕彰しようと碑を万福寺の裏山に顕彰碑を建設され、昭和40年(1965)に多くの人に谷三郎左衛門の功績を伝えるため浪避堤の南東端(現存する地点)の国道脇に移設された。今は地中に半ば埋もれているが360メートルが残っていて、堤防の存在が地域のあゆみを示している。                 |
| すさみ町 | 災害の記憶               | 安政地震津波の2年余りたった安政4年(1857年)1月に、山崎地区(すさみ町周参見)の住人が建設した津波記念碑で、この碑によると山崎の人たちは、津波が襲来する前に大日山の山頂に避難して、難を逃れることができたとして建てられた。記念碑がある山頂に祭られていた大日如来の仏力の擁護と村人みんなの信仰のおかげで、命が救われたと記されている。山崎地区では毎年1月28日の大日講という行事に合わせ碑の立つ高台の広場へ貴重が先頭で小太鼓を鳴らし、後に続く人たちは掛け声を出しながら登っていた。この行事と同時に夜間の津波来襲を想定し、音を頼りに広場へ登る避難訓練でもあった。現在も津波避難目標地点となっている。                                                           |
| 太地町  | 鯨組の遭難「脊美流れ」         | 明治11年(1878)12月24日、遭難事故「脊美流れ」によって太地鯨組は百名以上を失い、古式捕鯨に事実上の終止符が打たれた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 串本町  | エルトゥールル号遭難事故にみる災害対応 | エルトゥールル号遭難事故は、明治天皇への勲章等の奉呈のため来日していたオスマン帝国のフリゲート艦のエルトゥールル号が明治23年(1890)9月に東牟婁郡串本町檜野崎沖で遭難し、500名もの犠牲者を出した日本最大級の海難事故である。エルトゥールル号は船甲羅と呼ばれる岩礁に衝突し水蒸気爆発を起こした。海に投げ出された乗組員の生存者は檜野崎灯台の灯りを頼りに岸へと流れ着き、灯台職員に助けを求めた。これがきっかけとなり、檜野の人々による捜索や灯台官舎等での負傷者の献身的な看護が行われ、69名の生存者が本国へと生還することができた。なお、犠牲者は今も遭難者墓地に眠っており、5年に一度、串本町により慰霊祭が举行されている。この事故における行政、民間の対応は、今後の災害教訓ともなるものであり、重要な歴史的事象である。 |

## 【6 和歌山県で起こった近代の重大事件】

| 市町村  | 歴史的事象                 | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 紀の川市 | 粉河騒動と地租改正             | 明治5年(1873)、地租改正条例が公布され土地の税率を一定とすることになった。和歌山県では和歌山、田辺、新宮の3か所の米価の平均を基にして、土地の値段を決めた。当時那賀郡は、米価がその平均よりも安かったものでこれに粉河周辺の人々は不満を持った。児玉仲児らが県令の神山郡廉に願い書を提出し反対したが、その後、那賀郡の戸長などたち(児玉庄右衛門、曾和震十郎、八塚林之助、千田軍之助、林玄昌)が陳情を県に提出し県に呼び出しを受けたが、逆に戸長たちは捕らえられてしまう。村人たちは、捕らえられた人たちの解放を求めて5月6日昼過ぎ粉河寺などに集まった。役人の説得と軍隊の出動により、9日に村人は解散し、10日には県令が出向き、和歌山には軍隊が駐屯した。戸長などは懲役や罰金が科せられた。この粉河騒動は、地租改正からおこった騒動であり近代化における重要な事象である。 |
| 高野町  | 日本最後の仇討ち—神谷(かみや)の仇討ち— | 播磨国赤穂藩内の派閥抗争が発端で、赤穂藩参政である村上真輔が、同じ藩の西川桝吉一派に暗殺された。西川一派は高野山が殺生禁断の地であることを理由に、村上一派からの反撃(仇討ち)を逃れるため、高野山に逃げ込もうとした。しかしその途中、神谷の黒石付近で追手の村上一派につかまり、仇討ちが果たされた。明治6年(1873)の敵討禁止令(仇討禁止令)が明治政府より出される直前の仇討ちがこの仇討ちであるため、これが日本最後の仇討ちであるといわれている。                                                                                                                                                               |



| 市町村 | 歴史的事象       | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 有田市 | 黒船の来航と浦組の活躍 | 寛永年中(1624～44)に、海防のため紀州藩が制定した浦組は、最初はキリスト教禁止と抜荷(密貿易)の取締りのために、外国船の接岸を警戒するためだったが、後に黒船到来に備える海防が目的となった。遠見番所は日高郡の白崎→広川町名南風ノ鼻→宮崎ノ鼻→下津町大崎浦へと狼煙を上げて知らせる仕組みだった。嘉永7年(1854)9月16日九ツ時(正午)、突如としてロシアの使節ブチャーチンの乗った軍艦ルイジアナ号が宮崎ノ鼻沖を通過した。この日は立神社の秋祭りで、人も出盛り大騒ぎになった。10月5日にルイジアナ号が近海を立ち去ったので警護を解いた。この経験によって安政3年(1856)その増補が行われた。また、「上の岬(宮崎ノ鼻)は人を取り、下の岬(潮の岬)は舟をのむ」といわれるように、宮崎の鼻は波が荒く難破船が多かった。海に面するこの地域の出来事は、海防と災害の重要な歴史的事象である。                                                 |
| 田辺市 | 大逆事件と成石兄弟   | 明治40年(1907)に新刑法第73条が公布・施行された最初の事件の犠牲者として本宮町出身の成石勘三郎・平四郎兄弟がいる。明治41年(1908)7月、公判にあわせて幸徳秋水は病身ながらも上京を決意し、新宮の医師大石誠之助を訪ね診察を受け静養する。新宮滞在中に熊野川で海老掻きや高木顕明の浄泉寺で講演会を開き、平四郎ら青年に深い影響を与える。大石が逮捕され、芋づる式に新年会参加者の平四郎をはじめとした4名が逮捕、平四郎の関連で兄の勘三郎も逮捕された。「大逆事件」の審理開始が明治43年(1910)12月、翌年1月18日には24人の者に死刑判決が言い渡され、翌日に天皇の恩赦で12人が無期懲役に減刑される。いわゆる紀州グループと呼ばれる6名のうち、大石と平四郎が死刑、勘三郎含めたほか4名は収監された。勘三郎は昭和4年(1929)天皇即位の恩赦で仮出獄するが、昭和6年(1931)1月郷里の請川で病死した。この事件は、県内における重大事件の1つであり、重要な歴史的事象である。 |

## 【7 近代における和歌山県民の生活】

| 市町村 | 歴史的事象          | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高野町 | 高野山年忌行事と高野山の発展 | 明治初年頃の高野山上には寺が436か寺、商家が90戸あり、参詣客は半年間でおおよそ4万人、このうち1万7000人が高野山上で宿泊していた。御遠忌や大規模な法会といった高野山年忌行事に伴い、参詣客は増加し、高野山上の町家と寺院の関係も変容と遂げ、市街も変化していった。参詣客を迎えるために数々の商店が建てられた。大正4年(1915)の高野山開創1100年記念大法会と、昭和9年(1934)の弘法大師1100年御遠忌大法会の二つの法会に向けて、高野山上のライフラインの整備が行われた。また、壇上伽藍では金堂や根本大塔(落慶は昭和12年(1937)が再建された。明治の中頃までは花坂を歩いて高野に登る人が多く、花坂に8軒、矢立に3軒の宿屋があったが、その後花坂で火災が起こったことや、高野口までついた汽車により、花坂を通らず高野参りをするように変貌していった。 |

## 【8 和歌山県の近代の偉人】

| 市町村  | 歴史的事象              | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 和歌山市 | 近代日本の記念碑文化と漢学者・倉田績 | 近代日本においては、様々な人々が郷土の偉人の顕彰や戦死した兵士の慰霊等のために記念碑を建立した。そういった記念碑を建立する場合、著名な政治家や軍人、学者などに撰文・書が依頼されるのが常であったが、明治から大正にかけて和歌山におけるそうした記念碑の撰文・書の要求を一手に引き受けたのが、漢学者・倉田績(1827～1919)である。彼は紀州藩伊勢領一志郡下之庄村(現松阪市)出身の神官・学者である。嘉永2年(1849)に和歌山、さらに江戸に行き、儒学者佐藤一斎の門下に入り陽明学を学んだ。安政5年(1858)に和歌山へ戻ると、城下で家塾を開いて多くの門人を育てた。明治以降は水門吹上神社神官・龜山神社宮司を勤める一方、関西陽明学の泰斗として活躍した。和歌山市内には明治から大正にかけて倉田が撰文あるいは書を担当した記念碑が数多く残されている。それらは近代日本の記念碑文化をたどることができる重要な文化遺産である。 |

| 市町村  | 歴史的事象                                       | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 紀美野町 | 郷土の農業灌漑用水路を拓いた農業者 貝尻兼蔵                      | 貝尻兼蔵の生まれた下神野村(現紀美野町)は、山間地のため水不足がはなはだしく、水の安定確保は農民の悲願であった。農業を営み資産家であった兼蔵は「人のためになる仕事がしたい」と農業用水路の工事に乗り出す決心をした。しかし、用水路完成には天拝峠の水路トンネル貫通が必須であった。そのため、兼蔵は自分の檜山の老木を手放し、独力でもトンネルを掘削する決意のもと、工事に取りかかった。このとき兼蔵は61歳、明治45年(1912)のことであった。天拝峠のトンネル工事は難航を極めたが、工事開始後3年目に全長50mのトンネルが貫通し、神野市場までの全長4km、幅1mの農業灌漑用水路を完成させるとともに耕地整理も行った。こうして、稲作に必要な大量の水の安定供給により、村の米作り農家の人々の生活の基盤が確立できた。昭和28年の水害で水路が部分的に決壊したが修復され、現在もその一部を使って田畑に水を運んでいる。 |
| 紀の川市 | 勤王の儒学者森田節斎と妻無絃                              | 森田節斎は文化8年(1811)に奈良県五條市で生まれ、京都や江戸で頼山陽や古賀洞庵に学んだ。明治維新へ続く日本の変革に重要な役割を果たした儒学者で、吉田松陰に代表される勤皇の志士たちを指導した。門人が天誅組に加わったため身辺が危険となり、慶応元年(1865)に荒見の北家に身をよせた。在村中にも私塾を開き付近の子弟を教え、明治元年(1868)に没した。妻無絃は藤沢東暁の愛弟子で、国内第一の女流文学者と称された。夫の没後も同村で私塾を開いていたが、明治8年(1875)に息子司馬太郎が安楽川村市場小学校の先生に着任することを契機に、市場村へ移り住んだ。市場村でも13年間私塾を開き多くの門人を輩出した。その後、母子は市場村を離れ、無絃は明治28年(1895)に東京で没し、司馬太郎は明治31年(1898)小笠原父島で没している。現在、節斎と無絃、司馬太郎は荒見北家の墓域に並んで葬られている。   |
| 九度山町 | 懸案であった不平等条約の解消等に尽力した日本外交の祖、明治政府の初代外務大臣 陸奥宗光 | 和歌山藩士であった伊達宗広(宗光の父)は嘉永5年(1852)に藩内の勢力争いに巻き込まれて翌年に改易となり、宗光らは『城下十里』外へ追放となった。10里に当たる名古屋一里塚(橋本市高野口町名古屋)で追放され転々としたあと、義兄宗興・弟健吉らと共に九度山町(旧入郷村)庄屋玉置左五兵衛方の借家を借り、同玉置家・同村の高野四所庄官の一であった岡左仲・慈尊院村の中橋弘道らの援助を受けて生活していた。生活のみでなくこれらの姻戚の関係者から後に江戸での活動に庇護を受け、活躍の基礎を築いていった。文久2年(1862)脱藩し、勝海舟や坂本龍馬らと交わり、維新後は兵庫県知事・明治21年(1888)駐米公使を務めメキシコと対等条約の締結を果たし、同23年(1890)に農商務大臣、同25年(1892)に初代外務大臣に任じられ、懸案であった西欧諸国との不平等条約の解消に務めた。                 |
| 湯浅町  | 栖原の偉人、菊池海荘                                  | 垣内家は、天文21年(1552)に紀伊栖原に移住し、房総・江戸・大阪の地へ赴き漁業・商業を営んだ一族で、垣内家一族の多くは栖原施無畏寺墓地に葬られている。菊池海荘は、垣内家の分家に生まれ、菊池姓を名乗った。父の跡を継ぎ、江戸和泉街の砂糖・菓種商を営むなか、漢詩文家としても優れており、旅館広久を学者の集いである古碧吟社の拠点とし、郷土人だけでなく多くの人物を集め、紀南詩壇の興隆へ大いに貢献した。大塩平八郎や勝海舟、佐久間象山らとも親交をもち、飢饉が起こると、海荘は私財を投じて栖原坂・田村坂の改修、日高由良港の荒地開墾などの工事を起こし、失業者の救済に努めた。青少年へ剣槍の武技を修練させ、幕末には攘夷を唱え、海防に努める。明治からは有田郡民政局の副知局事となり教育殖産の振興に尽くした。                                                      |
| 御坊市  | 御坊の偉人羽山家の人々ー地域医療の範(天然痘予防)、幕末紀州の知識人、南方熊楠との親交 | 羽山維碩(大学)は、華岡青洲の門に学び、医業、製菓業を営む。長崎に伝来した天然痘予防接種をいち早く取入れ、積極的な普及をはかった。ペリー来航と彗星出現に触発されて、近郷の有力者や自らの手で集めた幕末の情勢を「彗星夢冊子」(115冊)としてまとめた。羽山維碩(大学)の養子、直記は医家を継ぎ、塩屋村長を務めたり、地域産業の育成に努めた。直記には6男2女がいた。男子5人は、いずれも優秀で医学の道を志すが、学業半ばあるいは終えてすぐに病に冒されて亡くなった。長男と次男は南方熊楠と親交があり、熊楠は渡米前に羽山家を何度か訪れた。熊楠は羽山兄弟姉妹に対し、終生親愛の情を持ち続けた。                                                                                                               |

| 市町村  | 歴史的事象                           | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 御坊市  | 御坊の偉人鈴木立庵―地域医療の範(ハンセン病治療)、灌漑用水路 | 御坊市岩内にある鈴木家は、神代から始まり、熊野発祥とされる鈴木姓(海南の鈴木家)とも深く関わるといわれている。さらに、江戸時代には医者として藩主・紀伊徳川家や田辺城主・安藤家につかえ、ハンセン病(当時:「癩病」)の治療にすぐれた実績があり、江戸時代中ごろから当主は立庵とよばれていた。第6代鈴木立庵は、幕末から明治初め頃、池の大改修工事と池から2000mにおよぶ灌漑用水路(3つの導水トンネル含む)を築造した。                                                                                                                                                                                                     |
| 美浜町  | 松本栄次郎と松の植栽                      | 美浜町の人々が自慢できるものとしてあげる煙樹海岸大松林は、紀州初代藩主徳川頼宣が本格的につくったといわれる人工林で、その松林に苗木を植え始めたのが松本栄次郎である。彼は吉原浦漁業会を創設し、初代会長としてその発展と近代化に尽くした人物でもあり、松の苗木を植え始めたのは、昭和24年(1949)のことである。消防団や婦人会の協力を得ながら私財を投じて数万本の若木の植栽につとめたが、夏期の暑熱や台風襲来など困難を極めた。また、彼苦心の若木を砂中に埋没せしめた昭和36年(1961)の第2室戸台風の甚大な被害にも、くじけず再度松の植栽に挑戦し、松の生長にかけた夢と情熱は彼の死の時まで消えることはなかった。                                                                                                     |
| 美浜町  | 工野儀兵衛とカナダ移民                     | 工野儀兵衛翁は安政元年(1854)5月23日三尾村に生まれる。故あって明治21年(1888)34歳で単身カナダに渡り、つらい困難な生活の中にあってもわずかに明るい兆しを認め、翌年三尾村の人々をカナダに呼び寄せた。その後親類縁者・村の人々は「つれもていこらい」とばかりに儀兵衛を頼ってカナダに渡る。儀兵衛は仕事に清励し、頼ってくる人々の世話を良くし、後進の指導をしてきた。明治44年(1912)病氣療養で帰国、大正5年(1916)8月、62歳の生涯を終えた。のち、偉大なる海外発展の先覚者、カナダ移民の父と呼ばれるようになる。旧野田家、田中家のように洋風住宅が数件、工野儀兵衛野功績を顕彰するための石碑やカナダ移住百年を記念した記念碑、また、三尾の歴史は永い移住生活の歴史で、数々の思い出等の資料を収集して展示したカナダ資料館等がある。                                   |
| 由良町  | 陸上交通の先駆者・由良守応(ゆらもりまさ)           | 文政10年(1827)に由良町で生まれた由良守応は、幼少期から武術や漢学を学び、幕末の志士として活躍し、後藤象二郎、伊藤博文、陸奥宗光らと親交をもったとされ、明治新政府に仕えた。また、岩倉具視使節団の一員として文明開化のために先駆文化を学んだひとりであり、英国で見た二輪馬車や二階建ての乗車馬車を日本でも普及させようと、帰国後に、千里軒とよばれる二階建て乗合馬車の開業を行ったとされ、由良町が誇る偉人のひとりである。                                                                                                                                                                                                  |
| みなべ町 | 長岡佐介による鹿島の観光開発～鹿島遊園地～           | 貿易商で財を成した長岡佐介は、明治41年(1908)に鹿島の官有地払下げをうけ、私財を投じて観光開発に着手し、茶吞所、里見館、倶楽部、東条庵、観月庵、三条庵、凱旋門、絵馬堂、戦勝観音、船玉神社、恵比寿大黒天社などの施設を建立し、全てを鹿島神社に寄進した。大正6年(1917)に鹿島遊園保勝会が発足し、施設の経営にあたった。戦時中は経営を中断していたが、昭和27年(1952)には展望台を設置、昭和29年(1954)には長岡翁記念会館が落成、翌年には波止場が竣工した。南部海岸一帯が県立自然公園に指定されたことを追い風に、さらなる観光客誘致をはかったが、昭和36年(1961)の第二室戸台風で壊滅的な被害を受け、さらにカラムシの大被害があり、神社関係の建物以外すべてなくなり、遊園地の経営ができなくなった。現在は鹿島神社や船玉神社らの祠と記念館跡の建屋が残されるだけで、観光客で賑わった当時の面影はない。 |
| みなべ町 | 長岡佐介による千里の観光開発～千里遊園地～           | 貿易商で財を成した長岡佐介は、鹿島の観光開発が一段落した大正9年(1934)、千里全山を開拓して遊園地を整備しようと地元山内区民と相談し、開拓に着手した。佐介は鹿島同様に巨額の私財を投じ、千里王子社の裏山を購入して道を拓き、観音堂、休憩所、額堂、籠堂、太子塔のほか、宿泊施設を数棟建築した。千里遊園地の諸施設がほぼ完成した大正12年(1937)、山内区民によって治勝会が発足し、施設の管理運営体制が整った。昭和30年ごろまでは宿泊利用者も見込まれ、施設の増改築を行いながら運営していたが徐々に客足は遠のき、重ねて施設の老朽化がすすみ、殆どの宿泊施設は撤去された。                                                                                                                         |



| 市町村 | 歴史的事象           | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 田辺市 | 世界を駆けた博物学者 南方熊楠 | 南方熊楠は、博物学、民俗学の分野における近代日本の先駆者的存在であり、同時に植物学、特に「隠花植物」と呼ばれていた菌類・変形菌類・地衣類・蘚苔類・藻類の日本における初期の代表的な研究者である。熊楠は和歌山城下に生まれ、大学予備門(現東京大学)退学後、明治20～33年(1887～1900)まで米英に遊学し、学問活動の場を広げた。帰国後の明治37(1904)年から田辺へ定住し、人生の半分37年間を過ごす。結婚し長男が誕生した頃、神社合祀政策により整理統合された神社跡は、神社林が払い下げられ伐採された。熊楠の研究対象は森に保護された微少な生物であり、この施策に激怒し反対運動を起こしたが、父祖の産土神大山神社が合祀され、熱情が冷め再び研究生活に戻る。昭和4年(1929)南紀行幸の昭和天皇に進講し、粘菌標本百十点を進献する。その後も神島の指定や研究に奔走したが、昭和16年(1941)74歳で永眠、高山寺に葬られた。南方熊楠は、和歌山県の重要な近代偉人の1人である。 |

## 【9 その他】

| 市町村  | 歴史的事象                | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 和歌山市 | 天皇・皇后及び皇族による行幸啓と「聖蹟」 | 江戸時代、人々の眼前に姿を現すことがほとんどなかった天皇・皇后及び皇族は、明治以降、天皇が治める国家であることを国民に周知するため、積極的に行幸啓を行うようになった。戦後以降も、天皇・皇后及び皇族は精力的に行幸啓を行っている。また、前近代に天皇・皇后及び皇族が関わった土地も、「聖蹟」として認知されるようになる。和歌山市内では、神武天皇の東征神話に関わる「聖蹟」とされた場所や仲哀天皇や応神天皇が一時滞在したとされる場所に石碑が建てられている。また、景行から仁徳にいたる5代の天皇に仕えた伝説的な家臣とされる武内宿禰誕生地とされる場所には、武内神社がある。さらに、和歌山市内各所を天皇・皇后や皇族が訪れるたび、植樹等が行われ、関連する場所に石碑が建てられた。和歌山市内にはこういった「聖蹟」や行幸啓関連の遺産が数多くあり、近現代の歴史を考える上で重要な文化遺産群である。                                   |
| 紀の川市 | 米国移民のさきがけ 那賀地方       | 1846年アメリカ・メキシコ戦争が起こり、アメリカは1848年にはカリフォルニアなど西部を手に入れ、領土の拡大をした。また、1861年には南北戦争などもあり、治安も安定しないアメリカの激動のころに、那賀地方の人々はアメリカに渡った。(明治23年(1890)時点で県内150人中38人が那賀地方出身)その背景には、慶應義塾を創立した福沢諭吉の存在と共修学舎など設立された私塾があり、当時キリスト教の普及も当地方で行われていたことがあげられる。渡米している親や親せきなどを頼りに渡米をしたり、また、呼び寄せ、帰国者のアメリカでの事業成功の話を聞くなどにより、次第に渡米者の数は増えていく。その後、明治40年(1908)に日米紳士協定(移民の渡航制限)、大正13年(1924)に排日移民法が成立するとほとんどの渡米者は帰国することになった。那賀地方のアメリカ移民には、私塾、キリスト教の普及、交通など多様な歴史が絡んでおり重要な歴史事象である。 |
| 高野町  | 高野山の勧進活動             | 荊萱堂では荊萱の絵入り本をもとにして絵解きが行われ、多数の参詣客や観光客に解かれている。近世から高野登山の主要街道であった高野参詣道京大坂道不動坂は、石童丸が荊萱道心に会うためにたどったといわれる。このような絵解きは弘法大師信仰の拠点として高野七口とよばれるさまざまなルートをたどって多くの人々が山へと登った多数の参詣者の信仰により行われてきた。そして勧進聖による布教と勧進で、堂塔造営や参詣道普請の費用の調達が行われてきた。                                                                                                                                                                                                               |
| 広川町  | 熊野古道(紀伊路)            | 熊野古道は、「熊野本宮大社」、「熊野速玉大社」、「熊野那智大社」の三つの神社と「青岸渡寺」及び「補陀洛山寺」二つの寺院からなる「熊野三山」への参詣道として中世の頃は、あらゆる職業人の所要交通路として利用され多くの往来者でにぎわい、近世以降は、多くの西国巡礼者の経路として利用された。広川町の熊野参詣道「紀伊路」は、広川河口から広川に沿い集落や蜜柑畑を縫って進み、鹿ヶ瀬峠を越え日高町に向かう。熊野古道沿いの集落には旅籠や茶屋の名称が今も残り、鹿ヶ瀬峠頂上付近は往時の雰囲気を感じられ、熊野古道と記された古道表示石や、参詣道と関連のある地蔵尊が熊野往還の地であったことを今に伝えている。熊野参詣に端を発した関連する遺産は、今も地元の人々の信仰によって支えられ継承されている。                                                                                    |

| 市町村  | 歴史的事象                          | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 美浜町  | 大賀蓮                            | 大賀蓮は、大賀一郎博士が昭和26年(1951)3月に千葉県検見川の地下5mの泥炭層から約2500年前の古蓮の実3粒を発見し、発芽育成させたものである。大賀一郎博士に師事した御坊市出身の元日高高校教諭阪本祐二氏は伝播経路、品種保存、育種交配などの研究に没頭し、博士から譲り受けた蓮根を育成し分根を行い各地に広めた。このことを知った当時の湯川忠一美浜町長等は阪本教諭を通じて大賀一郎博士に蓮根の分根と栽培の指導を懇請した。その後、大賀博士の直接指導により大谷池(大賀蓮池)に分根移植したが冷水によって発育が悪かったので、再度、昭和38年(1963)4月に大賀博士が持参した蓮根を移植したものが大輪を咲かせ、7月に第1回観蓮会を開催した。同時に、関係者が集まり和歌山県大賀ハス保存会を結成し、以後観蓮会の開催、冷水問題を解消するための蓮池改修、雑草除去、施肥など蓮池の管理を行い、記念誌「蓮の実」を発行するなどの活動が現在も継続されている。 |
| 上富田町 | 幕末につくられ、現在も使われている「上溝水路」(市ノ瀬地区) | 市ノ瀬地区南岸の丘陵地は天水田が多く、よく干ばつで農民を苦しめた。天保年間には飢饉や干ばつで特に人々は苦しめられた。これを見かねた三栖新兵衛と三栖源之丞らが中心となって標高約95mの清水谷から下ノ岡まで水路建設に取り組み、延長約6kmの[上溝水路]を約2年の難工事の末、天保4年(1833)に完成させた。(高低差約10m)この「上溝水路」は現在も活用され地域に水を潤している。取水口の清水谷から下ノ岡地区興禅寺の上方までの山腹約6kmを高低差を考えて溝を造るのは当時の測量技術では大変難しかったと思われるが、夜に松明をかかげて対岸等から傾斜を測ったという話が地元には伝わっている。                                                                                                                                |

## 和歌山県近代の文化遺産調査報告書Ⅱ

— 分野に基づく調査 —

2024 年 3 月 31 日

編集・発行：和歌山県教育委員会

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通一丁目 1 番地

印刷・製本：白光印刷株式会社

〒641-0062 和歌山県 和歌山市雑賀崎 2021-3